このたびは、スズキ ランディ を
お買い求めいただきありがとうございます。

ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お車の取扱いを誤ると、事故や故障の原因となります。本書をよくお読みいただき、いつまでも快適なカーライフをお楽しみください。

- 本書は、お車の取扱いや万一のときの処置などについて説明しています。
- 「**必ずお読みください**」は、とくに重要な項目です。しっかりお読みください。
- 本書では、次の記号を使用しています。
  ⚠警告 、 **⚠注意** 、 **アドバイス** は、とくにしっかりお読みください。

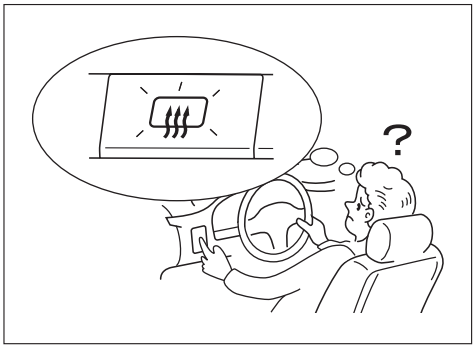
⚠警告	**取扱いを誤ると、死亡または重大な傷害を生じる可能性が想定される内容です。**
⚠注意	**取扱いを誤ると、傷害を負う可能性がある、または物的損害の発生が予想される内容です。**
アドバイス	お車のために守っていただきたい、または知っておくと便利な内容です。

- イラストの中で「 ✕ 」の記号があるときは、図示されている行為の禁止を示しています。
- グレードにより異なる装備またはオプションのため、すべての車についていない装備には、★マークを表示しています。
- 参照して読んで頂きたいページなどを、マークで表示しています。

- 保証や点検整備については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。本書とあわせてお読みください。
- 本書とメンテナンスノートは、常にお車の中に保管してください。
- お車をおゆずりになるときは、次に所有されるかたのために、本書とメンテナンスノートをお車につけてお渡しください。
- 限定車の装備品や、スズキ販売店またはスズキ代理店で取り付けた装備品などについては、装備品に添付されている取扱説明書をお読みください。
- 車の仕様などの変更により、本書の内容やイラストとお車が一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ご不明な点は、担当セールススタッフにおたずねください。

検索のしかた

お客さまが知りたい内容・項目を簡単に検索できるように、色々な検索方法を用意しています。



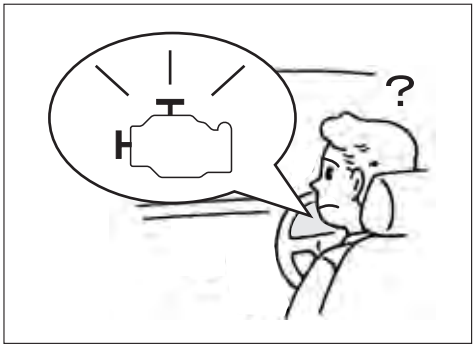
取り付け位置から探す

イラスト目次 …… 4



名称・タイトルから探す

五十音さくいん …… 315
アルファベットさくいん… 321



警告灯・警告表示から探す

警告灯・警告表示
さくいん …… 323

目次

イラスト目次 ……4

1. 必ずお読みください

お出かけまえには ……10
お子さまを乗せるときは ……13
走行するときは ……15
駐・停車するときは ……19
オートマチック車を運転するときは ……20
こんなことにも注意 ……22
こんなときは異常ではありません ……24
イベントデータレコーダ ……25

2. 走行する前に

各部の開閉のしかた ……28
キー ……28
キーレスプッシュスタートシステム ……29
ドアについて ……38
前席ドア ……39
スライドドア ……41
バックドア ……49
携帯リモコン封じ込み防止機能 ……54
エンジンフード ……55
パワーウインドー ……57
燃料補給口 ……59
ハンドル・シート・ミラーの調節のしかた ……61
正しい運転姿勢 ……61
ハンドル ……62
フロントシート ……63
セカンドシート ……66
サードシート ……72
ドアミラー ……76
防眩式ルームミラー ……77
ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー ……78
シートベルトの着用のしかた ……79
シートベルトの正しい着用 ……79
シートベルトの着用のしかた ……82
前席フォースリミッター付プリテンショナーシートベルト ……87
チャイルドシート ……88
チャイルドシートについて ……88
チャイルドシート適合表 ……90
ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具について ……92
SRSエアバッグ ……94
SRSエアバッグの作動 ……94
SRSエアバッグが作動するとき・しないとき ……98

3. 走行するとき

メーター・表示灯・警告灯の見かた …102
メーター …102
表示灯 …123
警告灯 …127
キーレスプッシュスタートシステムの警報について …136
警報装置 …140
スイッチの使いかた …142
ライトスイッチ …142
方向指示器スイッチ …145
非常点滅表示灯スイッチ …145
ヘッドランプレベリングスイッチ …146
ワイパー・ウオッシャースイッチ …147
リヤウインドーデフォッガースイッチ …149
ホーンスイッチ …149
運転のしかた …150
エンジンスイッチ …150
パーキングブレーキ …154
セレクトレバーの使いかた …155
オートマチック車の運転のしかた …158
4WD（4輪駆動）車の扱いかた …162
VDC（ビークルダイナミクスコントロール） …163
ヒルホールドコントロール …165
ECOモード …166
アイドリングストップ …166
S-HYBRID …171
LDW（車線逸脱警報） …172
クルーズコントロール …176
エマージェンシーブレーキ …180
ふらつき警報 …184
踏み間違い衝突防止アシスト …186
ABS …199

4. 室内装備の使いかた

エアコンの使いかた …… 202
エアコンを上手に使うために …… 202
吹き出し口について …… 204
インテリジェントエアコンシステムについて …… 207
フルオートエアコン …… 209
フルオートデュアルエアコン（前席用） …… 209
インテリジェントエアコンシステム（前席用） …… 209
フルオートデュアルエアコン（後席用） …… 214
インテリジェントエアコンシステム（後席用） …… 214
リヤクーラー …… 218
オーディオの使いかた …… 219
オーディオを上手に使うために …… 219
カメラシステム …… 220
全方位モニター（MOD〔移動物検知〕機能付） …… 220
室内装備品の使いかた …… 236
サンバイザー …… 236
室内照明 …… 236
カップホルダー／ボトルホルダー …… 239
グローブボックス …… 241
助手席アッパーボックス …… 241
運転席アッパーボックス …… 242
運転席アンダーポケット …… 242
ティッシュボックス収納 …… 243
アクセサリーソケット …… 243
ロールサンシェード …… 244
パーソナルテーブル …… 245
ラゲッジアンダーボックス …… 245
ラゲッジフック …… 246
フロアマット …… 247

5. 車との上手なつきあいかた

快適ドライブのために …… 250
雨の日の快適ドライブ …… 250
夏の快適ドライブ …… 251
寒冷時の取り扱い …… 252
タイヤチェーンについて …… 256
お手入れのしかた …… 257
外装のお手入れ …… 257
内装のお手入れ …… 260
その他のお手入れ …… 261
ワイパーの交換 …… 262
タイヤの交換 …… 263

6. 万一のとき

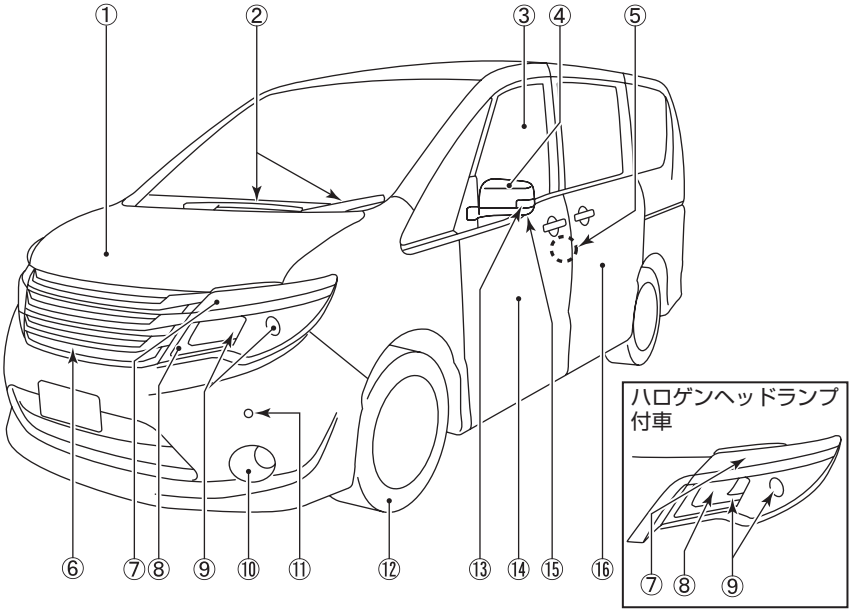
ドアが開かないときは …… 268
携帯リモコンでドアが開かない …… 268
エンジンが始動しないときは …… 269
携帯リモコンで始動できない …… 269
ジャンプスタートのしかた …… 270
各種警告機能について …… 274
警告灯がついたときは …… 274
ブザー（警報音）が鳴ったときは …… 279
くもりが取れないときは …… 280
窓ガラスのくもりの取りかた …… 280
動かないときは …… 282
セレクトレバーが動かない …… 282
雪道やぬかるみからの脱出のしかた …… 282
けん引について …… 283
後ろ側のフックについて …… 285
路上で故障したときは …… 286
発炎筒の使いかた …… 286
故障したときの対処方法 …… 287
工具・ジャッキについて …… 288
格納場所 …… 288
ジャッキアップのしかた …… 289
パンクしたときは …… 293
タイヤ応急修理のしかた …… 293
オーバーヒートしたときは …… 298
ヒューズを点検・交換するときは …… 299
電球（バルブ）を交換するときは …… 301
事故が起きたときは …… 307

サービスデータ

サービスデータ …… 309

さくいん

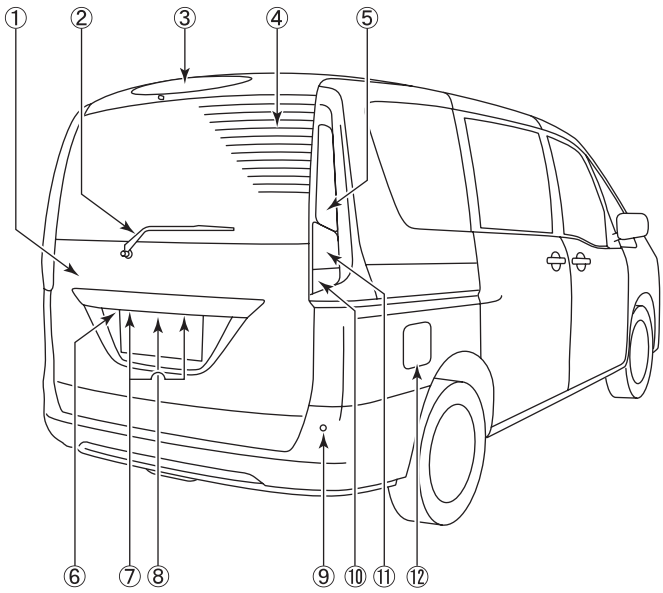
五十音さくいん …… 315
アルファベットさくいん …… 321
警告灯・警告表示さくいん …… 323



ZSI0428

①エンジンフード……55
②フロントワイパー…… 147
③パワーウインドー……57
④ドアミラー……76
⑤チャイルドプルーフ……44
⑥全方位モニターカメラ
（全方位モニター付車)…… 220
⑦方向指示器 兼 非常点滅表示灯
…… 145、312
⑧車幅灯…… 142、312
⑨ヘッドランプ…… 142、312
⑩フォグランプ…… 144、312
⑪フロントソナー…… 233
⑫タイヤ…… 263、312
⑬方向指示器 兼 非常点滅表示灯
…… 145、312
⑭前席ドア……39
⑮全方位モニターカメラ
（全方位モニター付車)…… 220
⑯スライドドア……41
パワースライドドア
（オートスライドドア)……45

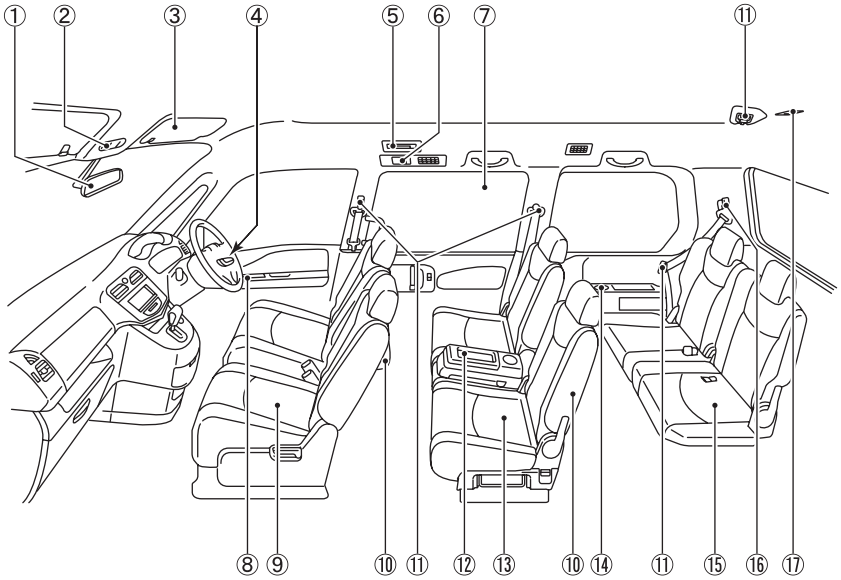
※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。



ZSI0429

①バックドア……49
②リヤワイパー…… 148
③ハイマウントストップランプ…… 312
④リヤウインドーデフォッガー…… 149
⑤尾灯・制動灯…… 312
⑥全方位モニターカメラ
（全方位モニター付車）…… 220
⑦番号灯…… 142、312
⑧電磁式バックドアオープナースイッチ
……50
⑨バックソナー…… 233
⑩後退灯…… 312
⑪方向指示器 兼 非常点滅表示灯
…… 145、312
⑫フューエルフィラーリッド……59

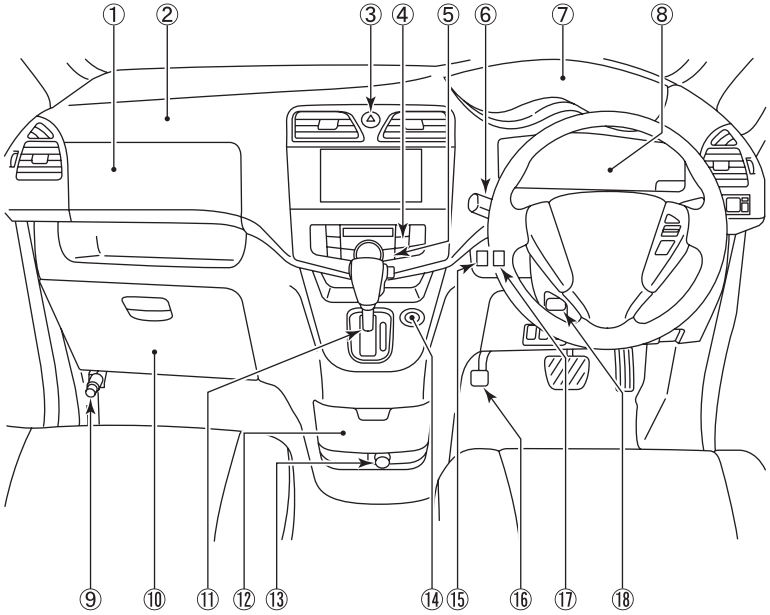
※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。



ZSI0430

①ルームミラー…… 77、78
②マップランプ…… 237
③サンバイザー…… 236
④ロックノブ…… 41、42
⑤後席用エアコン…… 214
リヤクーラー…… 218
⑥パーソナルランプ…… 237
⑦ロールサンシェード…… 244
⑧パワーウインドースイッチ……57
ドアロックスイッチ……41
⑨フロントシート……63
⑩パーソナルテーブル…… 245
⑪シートベルト……79
⑫スマートマルチセンターシート……71
セカンドシート用カップホルダー
…… 239
⑬セカンドシート……66
⑭サードシート用カップホルダー… 240
⑮サードシート……72
⑯スマートアップサードシート
（低位置格納式固定フック）……74
⑰ルームランプ（サード&ラゲッジ用）
…… 238

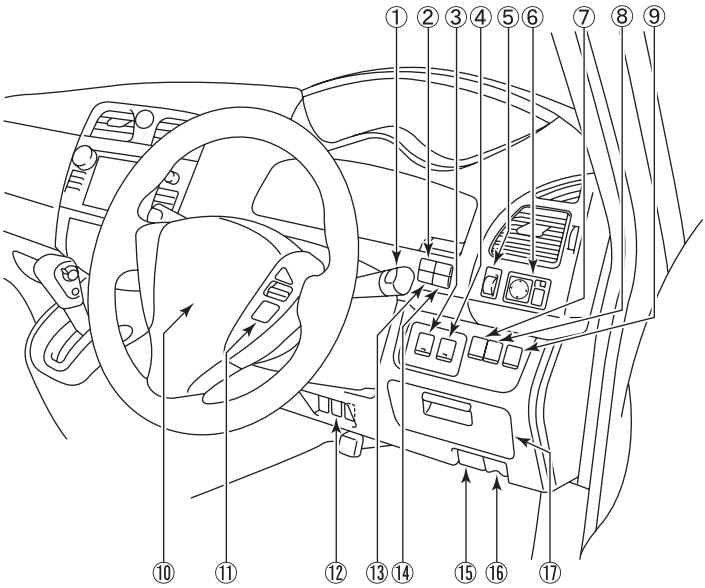
※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。



ZSI0245

①助手席アッパーボックス…… 241
②助手席SRSエアバッグシステム …94
③非常点滅表示灯スイッチ…… 145
④リヤウインドーデフォッガースイッチ …… 149
⑤エアコンスイッチ…… 202
⑥ワイパー・ウオッシャースイッチ …… 147
⑦メーター…… 102
⑧運転席アッパーボックス…… 242
⑨発炎筒…… 286
⑩グローブボックス…… 241
⑪セレクトレバー…… 155
⑫カップホルダー…… 239
⑬アクセサリーソケット…… 243
⑭エンジンスイッチ…… 150
⑮アイドリングストップOFFスイッチ …… 170
⑯パーキングブレーキ…… 154
⑰VDC OFFスイッチ …… 164
⑱ハンドル位置調節レバー……62

※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。



ZSI0431

①ライトスイッチ…… 142
フォグランプスイッチ…… 144
方向指示器スイッチ…… 145
②決定スイッチ❑/選択スイッチ●
…… 106
③エマージェンシーブレーキ／
踏み間違い衝突防止アシストスイッチ
…… 182、188
④LDW（車線逸脱警報）スイッチ
…… 174
⑤ヘッドランプレベリングスイッチ
…… 146
⑥ドアミラースイッチ……76
⑦助手席側パワースライドドア
スイッチ……47
⑧運転席側パワースライドドア
スイッチ……47
⑨ECOモードスイッチ …… 166
⑩運転席SRSエアバッグシステム …94
⑪クルーズコントロールスイッチ… 176
⑫パワードアメインスイッチ ……46
⑬トリップ切り替えスイッチ…… 103
⑭イルミネーションコントロール
スイッチ…… 105
⑮エンジンフードオープナー……55
⑯フューエルフィラーリッドオープナー
……60
⑰運転席アンダーポケット…… 242

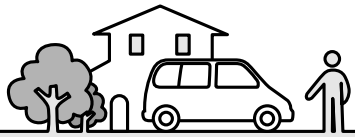
※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。

必ずお読みください 1

お車を安全にお使いいただくため、必ず守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
ご使用前には各章と合わせて必ずお読みください。

●お出かけまえには…… 10
●お子さまを乗せるときは…… 13
●走行するときは…… 15
●駐・停車するときは…… 19
●オートマチック車を運転するときは…… 20
●こんなことにも注意…… 22
●こんなときは異常ではありません…… 24
●イベントデータレコーダ…… 25

⚠重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

日常点検は必ず実施

●車を安全にお使いいただくため、日常点検は必ず実施してください。
車の状態に応じて、適切な時期に実施することが法律で義務づけられています。
メンテナンスノートをお読みください。

●いつもと違うことに気がついたらスズキサービス工場で点検を受けてください。
（音、振動、臭い、水・油漏れなど）



TSG0054Z

タイヤの空気圧を点検する

●タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。日常点検でタイヤの空気圧を点検してください。
タイヤ空気圧の点検…P.264

バッテリーの液量を点検する

●バッテリーの液量が下限（LOWER LEVEL）以下になったまま使用、又は充電すると、バッテリーが爆発するおそれがあります。日常点検でバッテリーの液量を点検してください。
メンテナンスノートをお読みください。

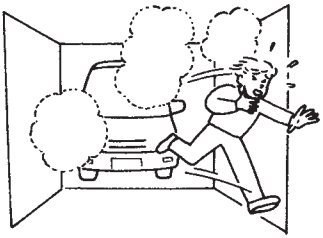
車にあった燃料を補給

●指定以外の燃料は補給しないでください。
●軽油や有鉛ガソリン、粗悪な燃料を使用すると車に悪影響を与えます。

エンジン型式	指定燃料
MR20DD	無鉛レギュラーガソリン

車庫や屋内ではエンジンをかけたままにしない

●車庫や屋内など換気が悪い所では、排気ガスが充満しやすいため、エンジンをかけたままにしないでください。排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
●排気管に穴や亀裂がある場合や排気音に異常があるときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。排気ガスが車内に侵入するおそれがあり危険です。

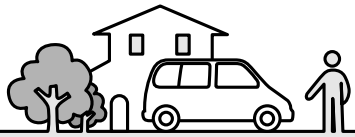


TCB0002Z

正しい運転姿勢に調節

●走行前にシート、ハンドル、ヘッドレストの位置を正しい運転姿勢がとれるように調節し、ドアミラー、ルームミラーなどを後方視界が十分確認できる位置に調節してください。
正しい運転姿勢…P.61

⚠重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

シートベルトは正しく着用

●走行する前に必ず全員がシートベルトを着用してください。

●シートベルトは正しく着用しないと、ベルトの効果が十分発揮できなかったり、ベルトによりケガをするおそれがあります。正しい着座姿勢で正しく着用してください。



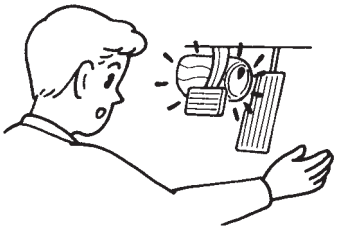
TCA0003Z

シートベルトの正しい着用…P.79

運転席足元には物を置かない

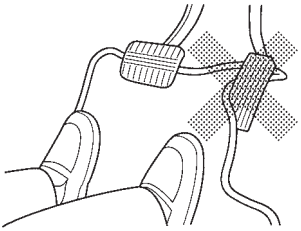
●足元のまわりにあき缶などの物を置かないでください。

●ブレーキペダルやアクセルペダルに物が挟まると、ペダルの操作ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0004Z

車に合ったフロアマットを適切に使用する



ESD0143Z

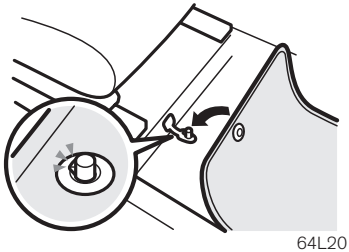
●ペダル操作のさまたげになって思わぬ事故につながるおそれがありますので、次のことをお守りください。

・足元の形に合わないフロアマットを使わない

・フロアマットを重ねて敷かない

・フロアマットは固定具などで確実に固定する

スズキ純正フロアマットの例

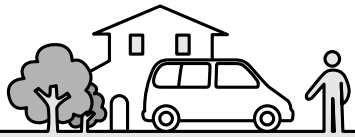


64L20190

・運転席および助手席側のフロア（カーペット下）には、スズキ純正フロアマットに付属する固定具を取り付ける穴があります。

●この車専用のスズキ純正フロアマットのご使用をおすすめします。

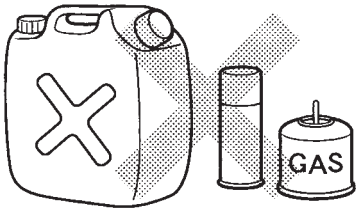
⚠重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

●ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まないでください。引火や爆発するおそれがあり危険です。

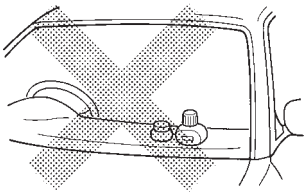


TCA0005Z

インストルメントパネルの上に物を置かない

●アクセサリーや芳香剤などを置かないでください。SRSエアバッグが作動したときの衝撃で飛び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●走行中に移動しやすい物や、視界を妨げるような大きい物は置かないでください。安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

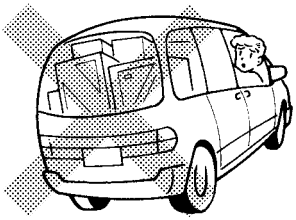


TCA0006Z

荷物を積みすぎない

●助手席や後席に荷物を重ねて積まないでください。急ブレーキなどのとき荷物が落ちてきて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

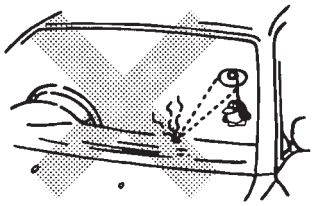
●ラゲッジルーム（荷室）に荷物を置くときは、背もたれの高さを越えないようにしてください。



TSB0434Z

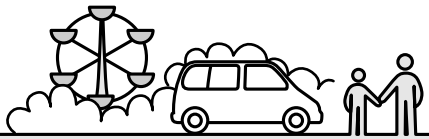
アクセサリーの取り付けに注意

●ウインドーにアクセサリーを取り付けると、視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こしたり、SRSエアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0029Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



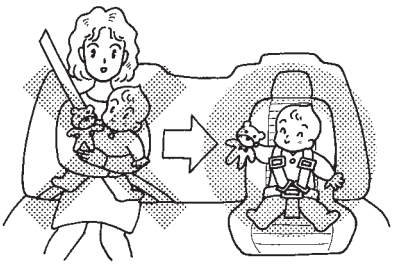
お子さまを乗せるときは

お子さまは後席に

●助手席に乗せるのは避けてください。お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになるおそれがあります。
また、助手席SRSエアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを着用

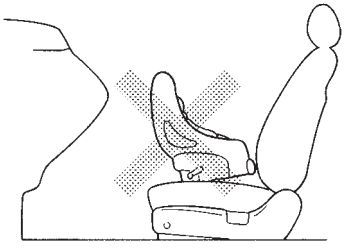
●お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを抱いていると、衝突時などに支えることができず重大な傷害を受けるおそれがあります。
シートベルトの着用のしかた…P.79
●シートベルトが首や顔に当たったり、腰骨に掛からないような小さなお子さまには、チャイルドシートをお使いください。
チャイルドシート…P.88



TCA0008Z

チャイルドシートは後席に

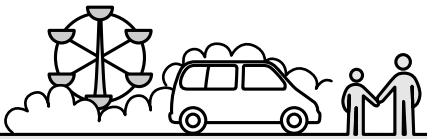
●チャイルドシートは後席に取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認してください。
固定方法及び取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
●助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けることはできません。SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。やむを得ず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。
●チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、荷室などに収納してください。室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0355Z

チャイルドシート…P.88

⚠重要です。しっかりお読みください。



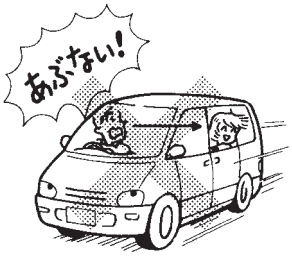
お子さまを乗せるときは

ドア、ウインドーなどは大人が操作

- ドア、ウインドーなどの開閉は、お子さまには操作させないでください。開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- チャイルドプルーフ（P.44）やパワーウインドーロックスイッチ（P.58）を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。

窓から手や顔を出さない

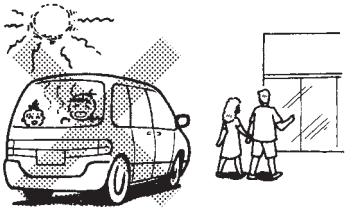
- お子さまが手や顔を出さないように注意してください。急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。



TSB0134Z

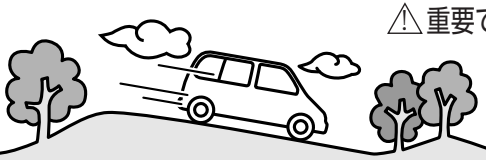
車内にお子さまだけを残さない

- 車から離れるときは、必ずお子さまを一緒に降ろしてください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。
- お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSB0436Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



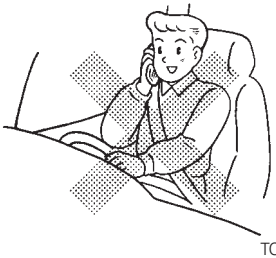
走行するときは

車のためにならし運転を

●エンジン本体、駆動系などこの車両の持っている性能を十分に引き出すためには、ならし運転が必要です。
走行距離約1,600kmまでは適度な車速、エンジン回転数で運転してください。

走行中は電話をしない

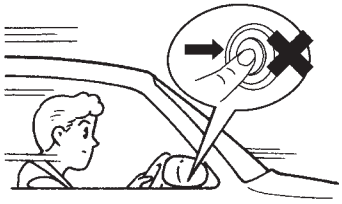
●運転しながらのハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話などの使用はやめてください。周囲への注意力が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0031Z

走行中はエンジンを止めない

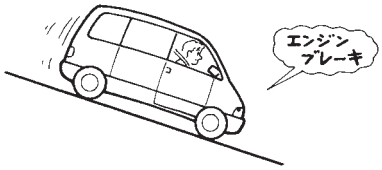
●エンジンが止まると、極度にハンドル操作力が重くなったり、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●エンジンをかけないで坂道を利用した移動は、極度にブレーキの効きが悪かったり、ハンドル操作力が重くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



ZSS0016

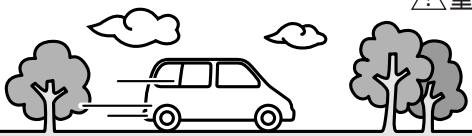
長い下り坂ではエンジンブレーキを併用

●ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあり危険です。坂の勾配に応じてエンジンブレーキを併用してください。（エンジンブレーキとは走行中アクセルペダルから足を離したときに発生するブレーキ力です。）
●坂の勾配に応じて最適なエンジンブレーキになるよう自動化してありますが、特に強いエンジンブレーキが必要なときは、セレクトレバーを L に入れます。
下り坂の走行…P.160



TCB0006Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

雨天時の走行は速度を落とす

●路面がぬれると滑りやすくなります。
通常より注意して安全運転に心がけてください。

●わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、タイヤが水に乗った状態（ハイドロプレーニング現象）になり、ハンドルやブレーキが効かなくなり危険です。スピードを落として走行してください。特に摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起こりやすいので注意してください。

●冠水路など深い水たまりは走行しないでください。エンジン破損や車両故障につながるおそれがあります。



TCG0035Z

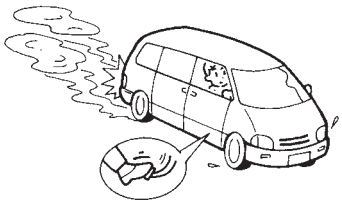
タイヤを傷つける運転をしない

●道路の縁石などにタイヤの側面を接触させたり、道路上の凹みや突起物の乗り越しなどは避けてください。タイヤを傷つけるおそれがあります。

水たまり走行後はブレーキの効きを確認

●水たまり走行後や洗車後は、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ブレーキペダルを軽く踏んで効きを確認してください。

●効きが悪いときは、周囲の安全に十分注意しながら低速で走行し、効きが回復するまでブレーキペダルを繰り返し軽く踏んでください。

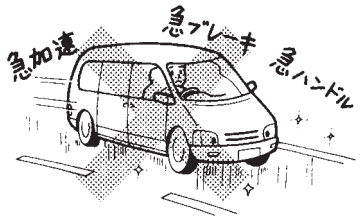


TCG0026Z

滑りやすい路面を走行するときは慎重に

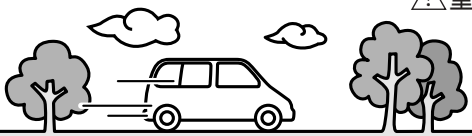
●ぬれた路面や凍結路、積雪路などではスピードを落としてください。

●急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキは避けてください。
タイヤがスリップしやすく、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCB0009Z

⚠重要です。しっかりお読みください。

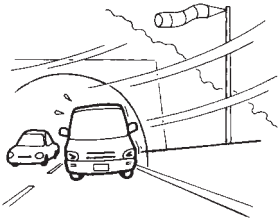


走行するときは

横風が強いときは

●横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落としてください。

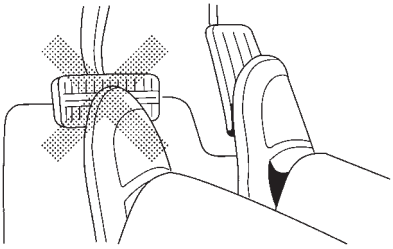
●トンネルの出口、橋の上、切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。



TCB0010Z

ブレーキペダルに足をのせたままにしない

●ブレーキペダルに足をのせたまま走行しないでください。ブレーキの部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。



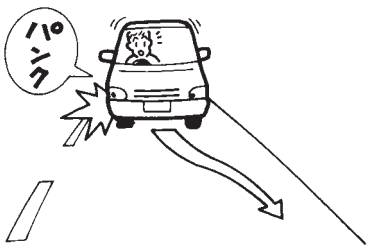
TCA0019Z

走行中に異常があったら

●警告灯（P.114、127）が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。
そのまま走行すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

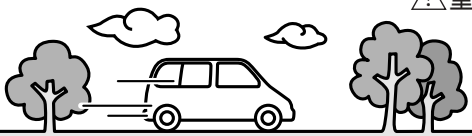
●走行中にタイヤがパンクやバースト（破裂）したときは、あわてずにハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落とし、安全な場所に停車してください。急ブレーキや急ハンドルを行うと、車両がコントロールできなくなり危険です。

●床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに安全な場所に停車し、ブレーキ液や燃料の漏れ、マフラーなど車体下部の各部に損傷がないか確認してください。漏れや損傷がある場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店に連絡してください。



TCB0011Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

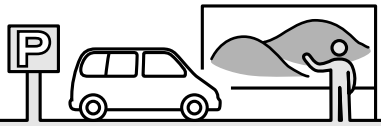
車を後退させるときは周囲に注意

●バックミラーでは確認できない視界があります。車から降りて後方の人や障害物を確認してください。



ZSS0044

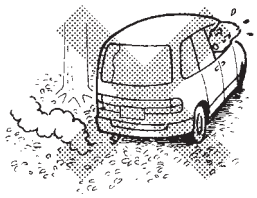
⚠重要です。しっかりお読みください。



駐・停車するときは

燃えやすい物の上や近くに駐・停車しない

●枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐・停車しないでください。排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。



TSB0437Z

車から離れるときは必ずエンジンを止め施錠する

●無人で車が動き出したり、盗難など思わぬ事故につながるおそれがあります。車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止めてから施錠してください。

●お子さまや介護が必要な方を車内に残したままにしたり、貴重品を置いたままにしないでください。

●坂道駐車はパーキングブレーキを確実にかけ、セレクトレバーを**P**に入れてください。更にタイヤに輪止めをすると効果があります。

仮眠や長時間駐車するときは必ずエンジンを止める

●無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故やエンジン過熱による火災などにつながるおそれがあり危険です。

●以下の状況ではエンジンをかけたままにしないでください。一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

・雪が積もった場所や降雪時
・壁などに囲まれた換気の悪い場所
・他車の排気口が近くにあるとき

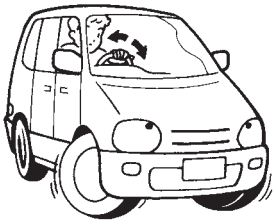


TCG0037Z

ハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けない

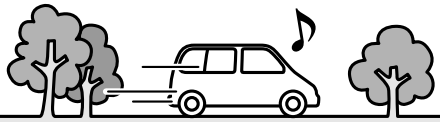
●車庫入れなどで、エンジンをかけたままハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けると、ハンドル操作力が重くなることがありますが異常ではありません。

詳しくは、EPS（電動パワーステアリング）警告灯…P.130をお読みください。



TCG0038Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



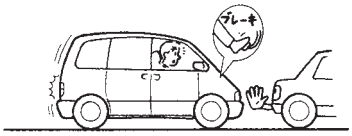
オートマチック車を運転するときは

オートマチック車はその特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。
詳しくは、P.158の「オートマチック車の運転のしかた」も合わせてお読みください。

クリープ現象に注意

●エンジンがかかっているとき、セレクトレバーをP、N以外に入れると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。（これをクリープ現象といいます。）

●停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。特にエンジン始動直後やエアコン作動時など、エンジン回転数が上がっているときは、動く力が強くなりますので、しっかりと踏んでください。



TCB0016Z

キックダウンは適切に

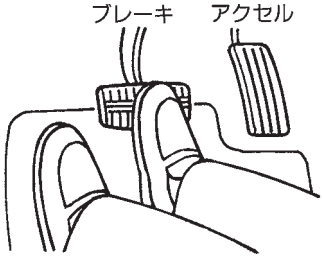
●セレクトレバーがDで走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、エンジン回転数が上がって、自動的に低速ギヤに切り替わり急加速します。（これをキックダウンといいます。）

●滑りやすい路面や急カーブではキックダウン操作を避けてください。キックダウンすると、タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

ペダルの位置を確認

●ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。エンジンをかける前に必ずペダルの位置を確認してください。

●アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。



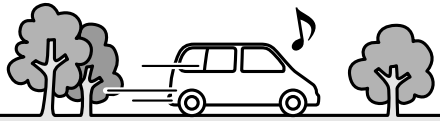
TCA0579Z

セレクトレバーの操作は正しく確実に

●発進時はブレーキペダルを踏んでセレクトレバーを操作してください。アクセルペダルを踏んだ状態で操作すると、急発進して危険です。

●後退したあとは、すぐセレクトレバーをRからNに戻す習慣をつけてください。
セレクトレバーの使いかた…P.155

⚠重要です。しっかりお読みください。

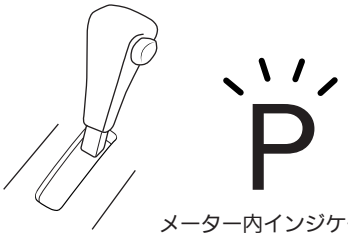


オートマチック車を運転するときは

セレクトレバー位置は目で確認

●エンジンをかけるときはP、前進するときはD、後退するときはRにあることを目で確認してください。

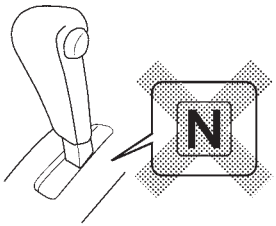
●電源ポジションがONのとき、セレクトレバーをRに入れると、後退位置を知らせるブザーが車内で鳴ります。（車外の人に注意するものではありません。）



メーター内インジケーター
ESF0301Z

走行中はNにしない

●走行中にセレクトレバーをNにすると、エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスアクスルが故障する原因となります。



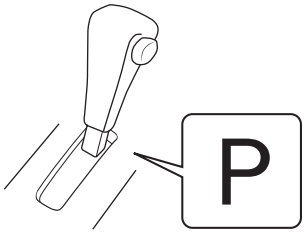
ESF0302Z

無用な空吹かしはしない

●万一、セレクトレバーがP、N以外に入っていると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐車するときはPにする

●エンジンがかかったまま、セレクトレバーがP、N以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



ESF0303Z

シフトロックシステム

よく理解して正しく操作してください。

●電源ポジションがONのときは、ロック装置が作動し、ブレーキペダルを踏んでいないと、Pからセレクトレバーを動かすことができません。

●セレクトレバーをPに入れないと、電源ポジションがLOCKになりません。

●セレクトレバーのボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かせないことがあります。
ブレーキペダルを踏んでから、セレクトレバーのボタンを押してセレクトレバーを動かしてください。

⚠重要です。しっかりお読みください。



こんなことにも注意

炎天下で駐車するときは

●炎天下で駐車するときは、車内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車内が高温になり、爆発したり変形するおそれがあります。

ガスライターにも注意

●操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしないでください。荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して、火災につながるおそれがあります。

工具や布などの置き忘れに注意

●点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。

ラジエーターが熱いときはキャップを外さない

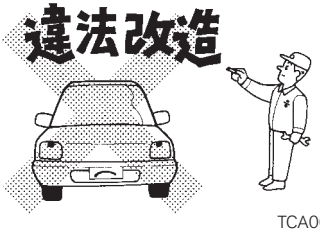
●ラジエーターやリザーバータンクが熱いときはキャップを外さないでください。
蒸気や熱湯が噴き出し危険です。

●冷却水の補給は温度が下がってから行ってください。

違法改造はしない

●車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自己流のエンジン調整や配線などを行わないでください。正常な性能を発揮できなかったり、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

●スズキが国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違法改造になることがあります。



TCA0030Z

●次のような場合にはスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

・タイヤ、ロードホイールの交換
指定以外のタイヤやロードホイールを装着しないでください。性能や機能に支障をきたし、安全な走行ができなくなるおそれがあります。

・電装品、無線機などの取り付け
適切でない電装品や無線機などを取り付けないでください。電子機器部品に悪影響を及ぼしたり、誤った配線は故障や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。
また、バッテリー端子に電装品やアース線などを直接つながないでください。バッテリーがあがる可能性があります。
（詳しくは、スズキ販売店またはスズキ代理店へご相談ください。）

⚠重要です。しっかりお読みください。



こんなことにも注意

・ハンドルの取り外しや交換
ハンドルの取り外しや交換を不適切に行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

冷却水に添加剤などを入れない

●冷却水には、市販されている水漏れ防止剤などの添加剤を入れないでください。冷却装置に悪影響を及ぼし、車両故障につながるおそれがあります。
●冷却水は、ランディ用スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

フロントバンパーと路面の干渉に注意

●エアロバンパー装着車は路面との間隔が狭いため、段差の大きい場所や縁石などに特に注意してください。フロントバンパーが路面と干渉して、破損するおそれがあります。

⚠重要です。しっかりお読みください。



こんなときは異常ではありません

ブレーキペダルを踏むと音がする

●朝一番及び長時間駐車後の走り始め、又は降雨後や洗車後など湿気が多いときにブレーキペダルを踏むと、“キー”という音がする場合があります。この音はブレーキパッドが水分を吸収し、表面の摩擦力が一時的に変化したためで異常ではありません。

●これらの音がときどきするのは異常ではありませんが、頻繁に音がする場合は、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

●S-HYBRID付車は、ブレーキペダルをゆっくりと奥まで踏み込むと、“カチッ”という音とブレーキペダルに若干の振動を感じることがありますが、ブレーキアシスト機構が正常に作動しているためで異常ではありません。

ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる

●ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。またヘッドランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもるのと同様の現象で、機能上の問題ではありません。

また、レンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。

ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

⚠重要です。しっかりお読みください。



イベントデータレコーダ

車両データの記録・蓄積について

●この車両に装備されている以下システムの各コンピューターはEDR（イベントデータレコーダ）機能を備えています。
以下システムの各コンピューターは正常に作動しているかどうかを常に診断し、EDRで車両が衝突したときの車両データを記録・蓄積しています。

SRSエアバッグシステム

●SRSエアバッグシステムが作動したときに下記車両データを記録・蓄積します。
・エアバッグシステムの作動に関する情報
・エアバッグシステムの故障診断情報

アドバイス

●EDR（イベントデータレコーダ）は一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

データの扱いについて

●スズキおよびスズキが委託した第三者は、EDRに記録されたデータをスズキの車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。
なお、スズキおよびスズキが委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。
・車両の使用者の同意がある場合
・裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
・統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

走行する前に 2

●各部の開閉のしかた…… 28
- キー …… 28
- キーレスプッシュスタートシステム …… 29
- ドアについて …… 38
- 前席ドア …… 39
- スライドドア …… 41
- バックドア …… 49
- 携帯リモコン封じ込み防止機能 …… 54
- エンジンフード …… 55
- パワーウインドー …… 57
- 燃料補給口 …… 59

●ハンドル・シート・ミラーの調節のしかた…… 61
- 正しい運転姿勢 …… 61
- ハンドル …… 62
- フロントシート …… 63
- セカンドシート …… 66
- サードシート …… 72
- ドアミラー …… 76
- 防眩式ルームミラー …… 77
- ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー … 78

●シートベルトの着用のしかた…… 79
- シートベルトの正しい着用 …… 79
- シートベルトの着用のしかた …… 82
- 前席フォースリミッター付プリテンショナーシートベルト… 87

●チャイルドシート…… 88
- チャイルドシートについて …… 88
- チャイルドシート適合表 …… 90
- ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具について… 92

●SRSエアバッグ …… 94
- SRSエアバッグの作動 …… 94
- SRSエアバッグが作動するとき・しないとき… 98

各部の開閉のしかた

キー

⚠警告

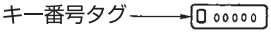
●航空機内では携帯リモコンのスイッチを押さないでください。また、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。
万一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあります。

アドバイス

- キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちにスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- キー番号を打刻したタグは、大切に保管してください。キー番号をスズキ販売店またはスズキ代理店に連絡すると購入できます。

- 携帯リモコン（キー内蔵）が2個ついています。





ZIC0598

※車種により、形状が異なります。

キー…P.37

キーレスプッシュスタートシステム

キーレスプッシュスタートシステムとは、携帯リモコンを携帯することにより、キーを取り出すことなくドアの施錠・解錠やエンジンの始動が可能になる大変便利なシステムです。従来通り、キーレスエントリー機能も使えます。

⚠注意

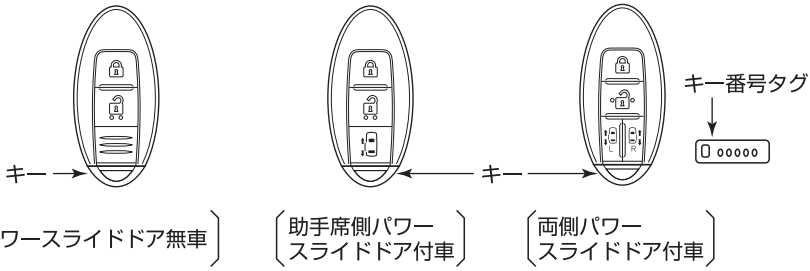
携帯リモコンは運転者が必ず携帯してください。

- **エンジンの始動やドアの施錠・解錠など、車を操作するためにはなくてはならないものです。大切に保管してください。**

アドバイス

- 携帯リモコンは微弱な電波を使用しています。
  次のような使用環境では機能に障害が起こるため、キーレスプッシュスタートシステムやキーレスエントリー機能が正常に作動しない場合があります。
  携帯リモコンが正常に作動しないとき･･･P.153
  - ・近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波を発生する設備があるとき。
  - ・無線機や携帯電話などの無線通信機器を一緒に携帯しているとき。
  - ・携帯リモコンが金属性のものに接したり、覆われたりしているとき。
  - ・近くで電波式キーレスエントリーを使用しているとき。
  - ・携帯リモコンをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき。
  - ・コインパーキングに駐車したとき。(車両検出用の電波の影響があるため)
  - ・近くで電波式侵入警報装置を使用しているとき。
  - ・極端に気温が低いとき（電池の性能が低下するため）
- 携帯リモコンは電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。
  - ・電池を交換するとき以外は分解しない。(分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。)
  - ・日本国内のみで使用する。
- 携帯リモコンは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池の寿命は使用状況によりますが約2年程度です。電池が切れた場合は、新しい電池と交換してください。(P.32)
- 携帯リモコンの電池が切れたとき、応急処置としてエンジンの始動やドアの施錠・解錠を行うことができます。
  携帯リモコンが正常に作動しないとき…P.153
- 携帯リモコンをテレビやパソコンなどの電化製品の近くに置かないでください。電池を著しく消耗することがあります。
- 本車両は電気的にステアリングロックを制御しているため、電源ポジションがLOCKのときにバッテリーがあがると、ステアリングロックの解除が行えなくなります。バッテリーあがりには特に注意してください。
- 万一バッテリーがあがったときは、すみやかにバッテリーを充電してください。(P.270)

キーについて



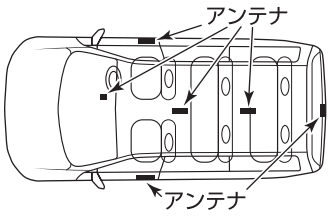
ZIC0597

携帯リモコンには以下の機能があります。

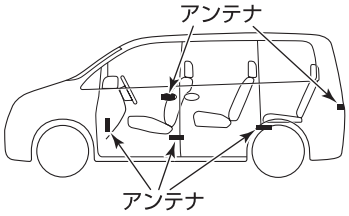
- キーレスプッシュスタートシステム （P.33）
- キーレスエントリー機能 （P.35）
- キー機能 （P.37）

⚠警告

- **植え込み型心臓ペースメーカー及び植え込み型除細動器（ICD）を使用している方は、アンテナから約22cm以内の範囲に装着部位が近づかないようにしてください。ドア開閉時、各リクエストスイッチ操作時、エンジン始動時などにキーレスプッシュスタートシステムの電波が植え込み型心臓ペースメーカー及び植え込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。**



ZIC0589



ZIC0590

- **植え込み型心臓ペースメーカー及び植え込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用している方は、キーレスプッシュスタートシステムの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があるため、医療電気製造業者などへ影響を確認してからご使用ください。**
- **詳しくは、スズキ販売店またはスズキ代理店にお問い合わせください。**

アドバイス

- 携帯リモコンは送信機を内蔵している精密電子機器です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
  - ・長時間高温になる場所に置かない。
  - ・分解しない。
  - ・無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
  - ・水にぬらさない。
  - ・超音波洗浄器などにかけない。
  - ・磁気を帯びたキーホルダーなどを付けない。
  - ・テレビ、オーディオなど、磁気を帯びた機器の近くに置かない。
- 携帯リモコンはドアポケットに入れないでください。ドアを閉めるとき衝撃により破損するおそれがあります。またドアポケット内に一緒に入れておいた物がドアを閉めた衝撃で当たるなどして勝手にスイッチが入り、キーを車内に封じ込めるおそれがあります。
- 携帯リモコンは同じ車両で最大4個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちにスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- キー番号を打刻したタグは大切に保管してください。キー番号をスズキ販売店またはスズキ代理店に連絡すると購入できます。
- 携帯リモコンのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗又は故障が考えられます。スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

電池の交換のしかた…P.32

■電池の交換のしかた

⚠警告

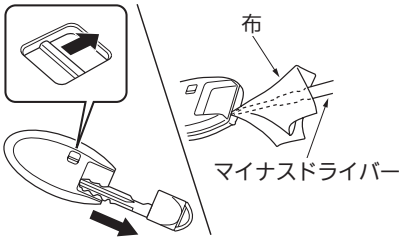
●電池及び取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意してください。

アドバイス

●電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。スズキ販売店またはスズキ代理店での交換をおすすめします。

使用電池：リチウム電池CR2025

①携帯リモコン裏側のロックを外しながら、キーを引き抜きます。
②スリットにマイナスの精密ドライバーを差し込み、ひねって上下に分解します。

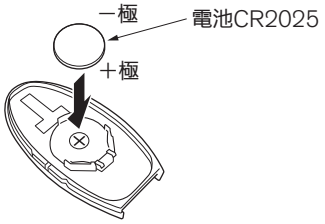


ESG0742Z

アドバイス

●本体に傷をつけるおそれがあるため、ドライバーに布などを当てて外してください。ドライバーを奥に差し込みすぎると内部の基板を傷つけるおそれがあります。

③古い電池を取り外し、新しい電池の＋極を下側にしてはめ込みます。

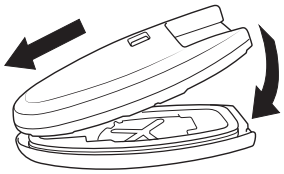


ECE0138Z

アドバイス

●電池の＋極と－極は必ず正しい向きにしてはめ込んでください。
●内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。

④組み付けるときはふたの先端を合わせてから上下を組み付けます。



ECH0006Z

アドバイス

●電池交換後は、キーレスプッシュスタートシステムの機能が正常に作動するか必ず確認してください。

キーレスプッシュスタートシステムについて

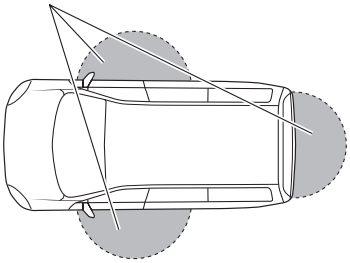
車内及び車外の作動範囲内で携帯リモコンを携帯しているときに操作できます。

■ドア施錠・解錠の作動範囲

●作動範囲は、各リクエストスイッチから周囲約80cm以内です。

ドアの施錠・解錠…P.39
バックドアの施錠・解錠…P.50

作動範囲（各リクエストスイッチから周囲約80cm以内）



ESF0119Z

アドバイス

●車両（ドアガラスやドアハンドル、リヤバンパーなど）に近づきすぎている場合などは作動しないことがあります。
●作動範囲は各リクエストスイッチを中心に約80cmの球状になっているため、地面近くや高い場所では作動しないことがあります。
●携帯リモコンの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。

アドバイス

キー連動室内照明システム

●運転席ドアを解錠すると室内照明（P.236）が約15秒間点灯します。

アンサーバック機能

●ドアの施錠・解錠時に、作動確認のためのブザーと非常点滅表示灯が作動します。
（施錠時1回、解錠時2回）
●アンサーバック機能を停止することができます。スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

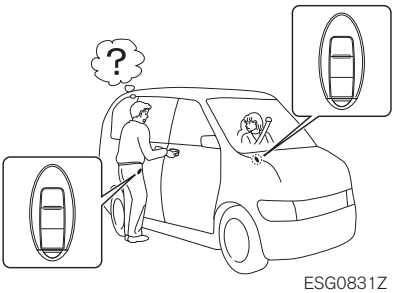
ウェルカムライト（フェアウェル機能付）★

●車幅灯・尾灯・番号灯がドアの施錠時に約10秒間、解錠時に約30秒間点灯します。
●ウェルカムライト（フェアウェル機能付）を停止することができます。スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

アドバイス

- 携帯リモコンが作動範囲内にあれば、携帯リモコンを携帯している人以外でもリクエストスイッチを押して施錠、解錠ができます。
- 自車の携帯リモコンが車内にあるときは、携帯リモコン封じ込み防止のため、リクエストスイッチによるドアの施錠はできません。
  施錠したいときは、以下のことを行ってください。
  - 車内にある携帯リモコンを取り出し、リクエストスイッチを押す。
  - キーレスエントリー機能（P.35）又はキー機能（P.37）で施錠する。



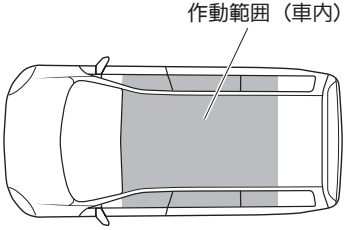
ESG0831Z

作動しないとき

- 次のような場合、キーレスプッシュスタートシステムによるドアの施錠・解錠ができません。
  - 電源ポジションがAcc、ONのとき。
  - ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき。
  - 携帯リモコンが施錠・解錠作動範囲内（P.33）にないとき。
  - 携帯している携帯リモコン以外に自車の携帯リモコンが車内にあるとき。（解錠のみできます。）
  - 携帯リモコンの電池が切れているとき。（P.32）

■エンジン始動の作動範囲

作動範囲は、車両室内です。（ラゲッジルーム内は除きます。）



ESF0120Z

アドバイス

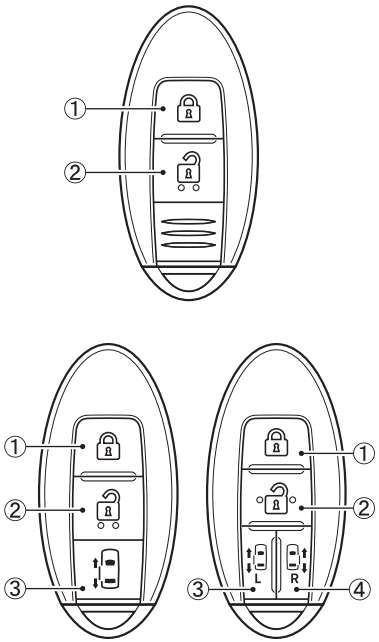
- 携帯リモコンの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。
- ラゲッジルーム内は作動範囲ではありませんが、エンジンの始動が可能になることもあります。
- 車内でもインストルメントパネル上、グローブボックス内、ドアポケット内などに携帯リモコンがあるときは、エンジンの始動ができないことがあります。
- 車外でもドアやドアガラスに近づきすぎた場合は、エンジンの始動が可能になることがあります。

キーレスエントリー機能について

離れたところ（約1m）から携帯リモコンで全ドアの施錠・解錠ができます。

■使いかた

- 車に近づき、携帯リモコンのスイッチを押します。
- キーレスエントリー機能で施錠したあとは、必ず施錠されたことを確認してください。



ZIC0556

スイッチ	作　　動
①ドア施錠スイッチ	全ドアを施錠します。
②ドア解錠スイッチ	全ドアを解錠します。
③パワースライドドア開閉スイッチ（助手席側）★	約1秒間押し続けるとパワースライドドア（オートスライドドア）（P.45）が開閉します。※
④パワースライドドア開閉スイッチ（運転席側）★	

※オート作動中にスイッチを押すと、作動している方向と反対の方向に動き、全開又は全閉して停止します。

アドバイス

- ドアの施錠・解錠時にはキー連動室内照明システム、アンサーバック機能が作動します。（P.33）
- ドア施錠スイッチを押したときに車外警報ブザーが“ピピピピ･･･”と鳴ったときは、ドアが施錠されていません。以下を確認し、再度施錠してください。
  - ・いずれかのドアが半ドアになっていないか。
  - ・ドアを閉める前にドア施錠スイッチを押していないか。

■作動しないとき

- 次のような場合は、携帯リモコンのスイッチを押しても作動しません。
  - ・電源ポジションがAcc、ONのとき。
  - ・ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき。（解錠のみできます。）
  - ・車から離れすぎているとき。
  - ・携帯リモコンの電池が切れているとき。

アドバイス

- 周囲の状況によっては、作動する距離が変わることがあります。確実に作動させるためには、車両から約1mまで近づいてください。

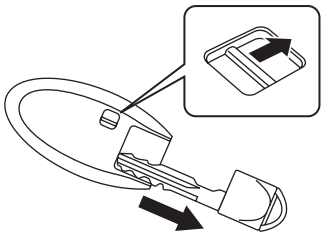
★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

キー機能

携帯リモコンの電池が切れたときや、車両のバッテリーがあがったときなどにドアの施錠・解錠ができます。

■キーの取り外しかた

●携帯リモコン裏側のロックを外しながらキーを引き抜きます。



ZIC0035

●元に戻すときは、ロックが戻るまで確実に差し込みます。

⚠注意

●携帯リモコンは必ずキーを内蔵した状態で携帯してください。

イモビライザー（盗難防止装置）

車両の盗難に対する防御性能を高めるために、携帯リモコンに送信機を内蔵し、あらかじめ登録されている携帯リモコン以外でのエンジンの始動を禁止するシステムです。

●イモビライザーが働いているときは、セキュリティーインジケーター（P.125）が点滅します。

アドバイス

●電源ポジションをONにしたときセキュリティーインジケーターが点灯し続ける場合は、システムの異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。
●携帯リモコンに登録された信号は、携帯リモコンごとに異なります。
●エンジンが始動できない場合は、一度電源ポジションをOFFにして、5秒以上経過してから再始動してください。
●上記の操作を行ってもエンジンが始動できない場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。

ドアについて

⚠警告

- **ドアの開閉はお子さまにはさせないでください。手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。**
- **ドアを開けるときは、周囲の安全を十分確認してください。後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。**
- **走行する前にドアを確実に閉めてください。走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

⚠注意

- **車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ずエンジンを止め施錠してください。**

アドバイス

- ドアハンドルを引きながら解錠しようとすると、ドアが解錠できないことがあります。一度ドアハンドルを戻すと自動的に解錠し、再度ドアハンドルを引くとドアを開けることができます。

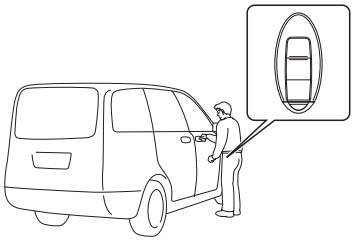
キー連動室内照明システム

- 運転席ドアを解錠すると、室内照明（P.236）が約15秒間点灯します。

前席ドア

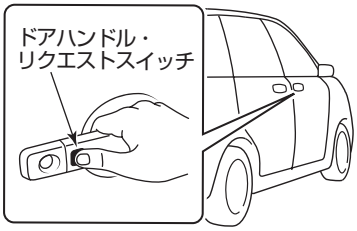
■キーレスプッシュスタートシステムによる施錠・解錠

キーを取り出すことなく施錠や解錠ができます。



ESG0833Z

- 携帯リモコンを携帯しているとき、運転席ドア又は助手席ドアの施錠・解錠作動範囲内でドアハンドル・リクエストスイッチを押すと全ドアが施錠又は解錠します。
- 施錠したあとは、必ず施錠されたことを確認してください。



ZIC0527

アドバイス

- 携帯リモコンを検知しているドアハンドル・リクエストスイッチでのみ施錠・解錠を行うことができます。
- ドアの施錠・解錠時にはアンサーバック機能が作動します。（P.33）

作動しないとき

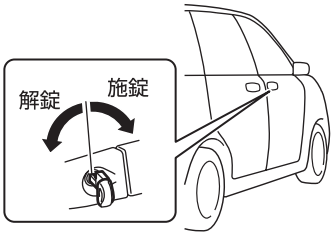
- 次のような場合は作動しません。
  - ・電源ポジションがAcc、ONのとき。
  - ・ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき。
  - ・携帯リモコンが施錠・解錠作動範囲内（P.33）にないとき。
  - ・携帯している携帯リモコン以外に自車の携帯リモコンが車内にあるとき。（解錠のみできます。）
  - ・携帯リモコンの電池が切れているとき。（P.32）

■キーによる施錠・解錠

車両前方に回すと施錠し、車両後方に回すと解錠します。

●運転席ドアを施錠・解錠すると、全ドアが同時に、施錠･解錠します。

キー機能について…P.37



ZIC0607

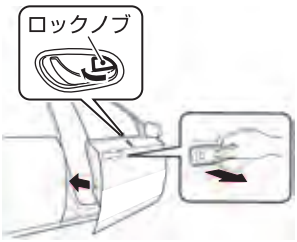
■キーレスエントリー機能による施錠・解錠

●車に近づき、携帯リモコンのスイッチを押します。

キーレスエントリー機能について…P.35

■キーを使わない施錠

●車内のロックノブを押し込み、ドアハンドルを引きながらドアを閉めます。



ZIC0558

アドバイス

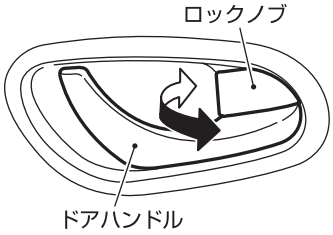
●携帯リモコン封じ込み防止のため、キーを携帯していることを確認してから施錠してください。

携帯リモコン封じ込み防止機能…P.54

●携帯リモコンが車内にあるとき、運転席ロックノブ又はドアロックスイッチで施錠できません。

■ロックノブによる施錠・解錠

- 車内のロックノブを車両前方に押し込むと施錠し、車両後方に押し込むと解錠します。
- 運転席のロックノブで施錠・解錠すると、全ドアが同時に、施錠・解錠します。
- ドアを開けるときは、解錠後ドアハンドルを引きます。



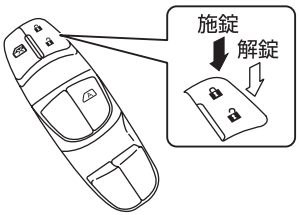
ZIC0557

アドバイス

- 運転席ドアは、施錠したままでもドアハンドルを引くとドアが開けられます。
  そのとき、全ドアが同時に解錠します。

■ドアロックスイッチによる施錠・解錠

- 運転席のドアロックスイッチを押すと、全ドアの施錠・解錠ができます。

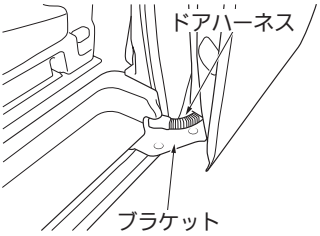


ZIC0559

スライドドア

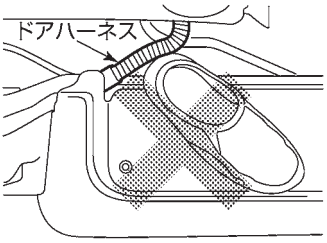
⚠注意

- **必ず次のことをお守りください。重大な傷害や事故又は車両破損につながるおそれがあります。**
  - **・必ずドアハンドルを持って開閉する。**
  - **・傾斜地でスライドドアを開けるときは、ロックするまで確実に開ける。**
  - **・スライドドアを強く開けない。**
  - **・ドアハーネスやブラケットに手や足などを掛けない。**



ESF0014Z

- **・スライドドアを閉めるときは、ステップの上に物が無いことを確認する。**



ZIC0280

アドバイス

- 燃料補給口を開けているときに運転席側のスライドドアを開けると、リッドとの干渉を防ぐために約半分開いたところで止まります。
- 運転席側のスライドドアが全開しているとき、燃料補給口を開けるとスライドドアと干渉します。

施錠・解錠のしかた

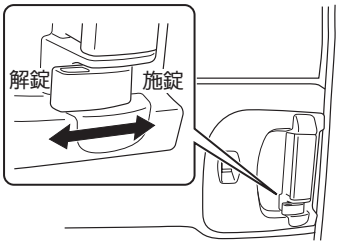
■携帯リモコンによる施錠・解錠

- 車に近づき、携帯リモコンのスイッチを押します。

キーレスエントリー機能について… P.35

■ロックノブによる施錠・解錠

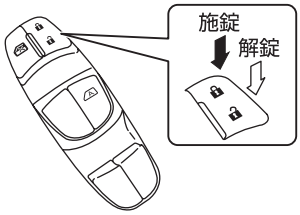
- 車内のロックノブを車両前方に押すと施錠し、車両後方に押すと解錠します。



ESH0854Z

■ドアロックスイッチによる施錠・解錠

- 運転席のドアロックスイッチで、スライドドアの施錠・解錠ができます。

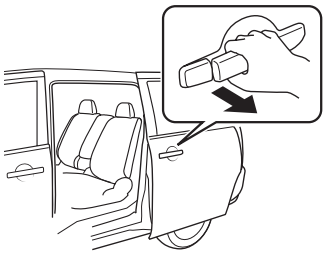


ZIC0559

開閉のしかた

■車外からの開閉

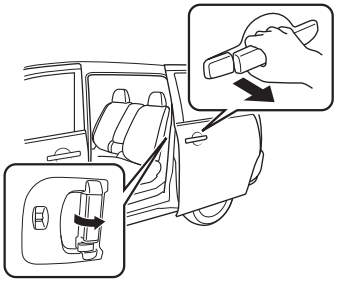
●解錠後、ドアハンドルを手前に引きながらスライドドアを開閉します。



ESH0855Z

アドバイス

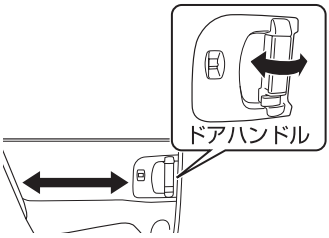
●スライドドアを全開すると全開位置でロックします。ロックしているときに、外側のドアハンドルを斜めに引いてもロックが外れず閉められません。ドアハンドルはスライドドアに対して垂直に引いてください。また、ロックは内側のドアハンドルを引いても外れます。



ESH0856Z

■車内からの開閉

●解錠後、ドアハンドルを引きながらスライドドアを開閉します。



ZIC0560

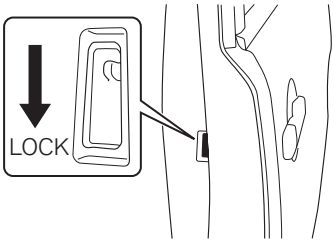
チャイルドプルーフ

車内のロックノブの位置に関係なく、スライドドアを車内から開けられなくなります。

●お子さまを乗せるときに使います。

■施錠のしかた

●左右のスライドドアにあるロックレバーをLOCK側にしてスライドドアを閉めます。



ZIC0475

●ロックを解除するときは、ロックレバーを元に戻します。

■スライドドアを開けるとき

●ロック作動中にスライドドアを開けるときは、車内のロックノブが解錠していることを確認し、車外からドアハンドルを引きます。

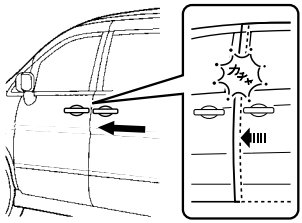
アドバイス

●車内から開けるときは、窓ガラスを下げ、手を外に出して車外のドアハンドルを引きます。

スライドドアクローザー

自動的にスライドドアを全閉させる機能です。

閉めるとき、半ドア状態まで閉めると自動的に全閉します。



TSF0002Z

⚠注意

●スライドドアや車体側に手を触れていると、手を挟まれてケガをするおそれがあります。

●スライドドアを閉めるときは、スライドドアのふちやその周辺に手を掛けず、ドアハンドルを持って閉めてください。

アドバイス

●ドアハンドルを開方向に引いたままスライドドアを閉めると、スライドドアクローザーは作動しません。

●バッテリーが弱っている場合には、スライドドアクローザーが作動しないことがあります。

●スライドドアクローザーの故障によりスライドドアが閉まりきらないときは、スライドドアを一旦開け、再度手で閉めてください。

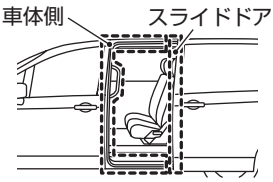
●スライドドアクローザーの故障によりスライドドアが開かなくなった場合には、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

パワースライドドア（オートスライドドア）★

解錠した状態からスイッチを押すだけで、スライドドアを自動的に開閉させる機能です。（両側が作動する車種と助手席側のみが作動する車種があります。）

⚠注意

- **確実に停車している状態で開閉操作をしてください。**
- **開閉操作をするときは、車外及び車内のスライドドア周囲の安全を十分確認してから行ってください。周囲の人の身体がスライドドアや車体側に触れたままオート作動させると、手や腕などを挟まれたり、頭や腕を引き込まれて思わぬケガをするおそれがあります。**

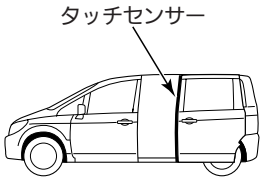


ZIC0687

- **車が大きく傾いている状態ではオート作動させないでください。**
- **オート作動中にドアを押したり引いたりしないでください。反転して挟まれるおそれがあります。**
- **スライドドアレール部には手を入れないでください。レール部のケーブルに触れると、スライドドアがオート作動するおそれがあります。**

アドバイス

- エンジン停止時に何回も作動させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。
- オート作動中はエンジンを始動させないでください。正常に作動しなくなることがあります。
- 車を発進させるときは、パワースライドドア（オートスライドドア）が全閉していることを確認してください。
- 次の場合は、パワードアメインスイッチをOFFにしてください。
  - ・スライドドアが故障したとき
  - ・スライドドアを長時間開けたままにするとき
  - ・洗車や整備を行うとき
  - ・手動で使用するとき
- 全開時には、スライドドアの外側又は内側のドアハンドルに不用意に手を掛けたり、ワンタッチスイッチに触れないでください。ドアハンドル又はスイッチを操作すると自動でドアが閉まり始めます。
- スライドドア前端部のタッチセンサーを傷つけないようにしてください。センサーが切断されると、パワースライド機能は作動しなくなります。



ESE1041Z

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

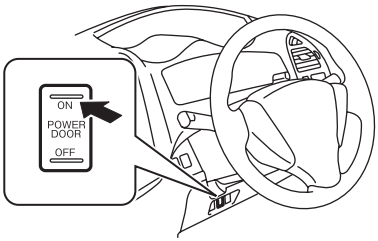
アドバイス

- バッテリーあがりやバッテリーの脱着を行ったあと、スライドドアが開いている状態で再びバッテリーをつないだときは、必ず一旦手動でドアを全閉してからオート作動を行ってください。全閉位置以外からスイッチ操作を行うと、ドアのオート開閉機能が正常に作動しないことがあります。
- 閉作動時、半ドア位置までドアがスライドすると、スライドドアクローザー機能で全閉します。
  スライドドアクローザー…P.44
- パワードアメインスイッチがONのとき、スライドドアを開けたまま車を動かすとブザーが鳴ります。(停車又はスライドドアを閉めると鳴り止みます。)
- オート作動の開始時とオート閉作動中は、ブザーが鳴ります。
- 燃料補給口が開いているときは、リッドとの干渉を防ぐため運転席側スライドドアのパワースライド（自動開閉）機能が作動しません。

■パワードアメインスイッチ

パワースライド（自動開閉）機能のON・OFFができます。
通常はONにしておきます。

- パワースライド機能を使うときは、ON側を押します。
- 使わないときは、OFF側を押します。



ZIC0561

アドバイス

- パワードアメインスイッチをOFFにしてもスライドドアクローザー（P.44）は作動します。

オート作動は、以下の状態が満たされたときのみ作動させることができます。

アドバイス

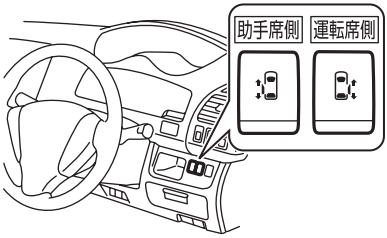
- オート作動中に次の内容が満たされなくなると、作動が停止しオート作動しなくなることがあります。その場合、作動状態を再度満たせばオート作動させることができます。
- バッテリー電圧が極端に下がっている（11V以下）と作動しません。

- 車両が停止しているときは、電源ポジションがどの位置にあっても作動させることができます。
- 電源ポジションがONのときは、次の状態も1つ以上満たしていないと作動させることができません。
  - セレクトレバーがPに入っている
  - フットブレーキを踏んでいる
  - パーキングブレーキをかけている

■運転席スイッチによる開閉のしかた

スライドドアを解錠してから操作します。

- スライドドア全閉時にスイッチを約1秒間押すと、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にスイッチを約1秒間押すと、自動的に閉まります。
- オート作動中にスイッチを押すと、作動している方向と反対の方向に動き、全開又は全閉して停止します。

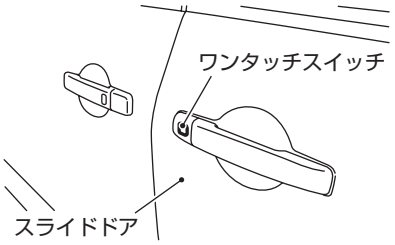


ZIC0562

■ワンタッチスイッチによる開閉のしかた

スライドドアを解錠してから操作します。

- スライドドア全閉時にワンタッチスイッチを押すと、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にワンタッチスイッチを押すと、自動的に閉まります。
- オート作動中にワンタッチスイッチを押すと、作動している方向とは反対の方向に動き、全開又は全閉して停止します。



ZIC0478

■携帯リモコンによる開閉のしかた

スライドドアを解錠してから操作します。

- スライドドア全閉時に携帯リモコンのパワースライドドア開閉スイッチを約1秒間押すと、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にパワースライドドア開閉スイッチを約1秒間押すと、自動的に閉まります。
- オート作動中にパワースライドドア開閉スイッチを押すと、作動している方向と反対の方向に動き、全開又は全閉して停止します。

キーレスエントリー機能…P.35

■ドアハンドルによる開閉のしかた

スライドドアを解錠してから操作します。

スライドドアの外側又は内側のドアハンドルをブザーが鳴るまで操作します。

外側のドアハンドル

- スライドドア全閉時にドアハンドルを引くと、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にドアハンドルを引くと、自動的に閉まります。
- オート作動中にドアハンドルを引くと、作動している方向と反対の方向に動き、全閉又は全開して停止します。

内側のドアハンドル

- スライドドア全閉時にドアハンドルを開方向に操作すると、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にドアハンドルを開又は閉方向に操作すると、自動的に閉まります。
- オート作動中にドアハンドルを開又は閉方向に操作すると、作動している方向と反対の方向に動き、全閉又は全開して停止します。

アドバイス

- チャイルドプルーフをLOCK側にしているとき、スライドドア内側のドアハンドルでは開けることができません。

■挟み込み防止機構

- スライドドアがオート作動中に、挟み込み、引っ掛かりなどを感知すると、ドアが反対方向に動き、全開又は全閉して停止します。
- スライドドアがオート閉作動中にドア前端部のタッチセンサーに触れると、ドアが反対方向に動き、全開位置で停止します。

⚠注意

- **挟まれる物や挟まれかたによっては、挟み込み防止機構が作動しない場合があります。手などを挟まないように十分注意してください。**

アドバイス

- スライドドア前端部のタッチセンサーを傷つけないでください。
- タッチセンサーが切断されると、パワースライド機能は作動しなくなります。
- タッチセンサーが切断されたときは、安全のためすみやかにスズキ販売店またはスズキ代理店に連絡してください。
- 全開位置付近で挟み込みを感知すると、ドアは反転せずに停止することがあります。

バックドア

⚠警告

- **ラゲッジルーム（荷室）に人を乗せて走行しないでください。急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。**
- **走行前に、バックドアが確実に閉まっていることを必ず確認してください。バックドアを開けたまま走行すると、車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。**

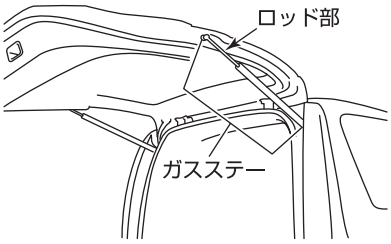
⚠注意

- **バックドアを開ける前に、バックドアに付着した雪や氷、ゴミ等の重量物を取り除いてください。重量物が付いたままバックドアを開けると、重みで突然閉まるおそれがあります。**
- **バックドアは必ず全開してください。途中で止めると突然閉まるおそれがあります。**
- **風が強いときに開けると、風にあおられ急に閉まることがありますので特に注意してください。**
- **バックドアを閉めるときは、手などを挟まないよう注意してください。**

⚠注意

バックドアガスステーについて

- **バックドアのガスステーはバックドアの重量を支えるために取り付けられています。ガスステーの損傷や作動不良を防ぐために、次のことをお守りください。**
  - **・ガスステーに手やひもなどをかけたり、横方向に力をかけたりしない**
  - **・ビニール片、ステッカー、接着剤などの異物をロッド部に付着させない**
- **ガスステーを持って、バックドアを閉めたり、ぶら下がったりしないでください。手や腕を挟んだりして思わぬケガをするおそれがあります。**



ZIC0592

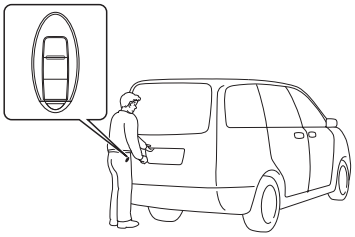
アドバイス

- 電磁式バックドアオープナースイッチを押したまま、リモコンでドアを施錠・解錠しないでください。故障の原因になります。

施錠・解錠のしかた

■キーレスプッシュスタートシステムによる施錠・解錠

キーを取り出すことなく施錠や解錠ができます。



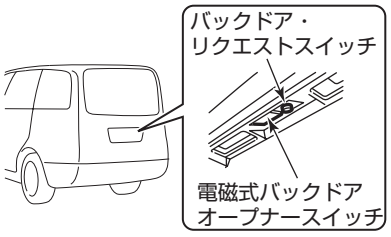
ESG0834Z

バックドア・リクエストスイッチ

- 携帯リモコンを携帯しているとき、作動範囲内でバックドア・リクエストスイッチを押すとバックドア（ドアも同時に）が施錠又は解錠します。
- 施錠したあとは、必ず施錠されたことを確認してください。

電磁式バックドアオープナースイッチ

- 携帯リモコンを携帯しているとき、作動範囲内で電磁式バックドアオープナースイッチを押すと、バックドアを解錠し開けることができます。この時、ドアも同時に解錠します。



ZIC0480

アドバイス

- 施錠するときはバックドアを閉めてからバックドア・リクエストスイッチを押します。
- 施錠・解錠時にはアンサーバック機能（P.33）が作動します。ただし、電磁式バックドアオープナースイッチで解錠したときは作動しません。

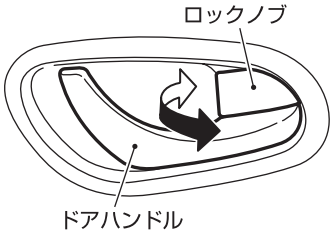
■携帯リモコンによる施錠・解錠

- 車に近づき、携帯リモコンのスイッチを押します。

キーレスエントリー機能について… P.35

■ロックノブによる施錠・解錠

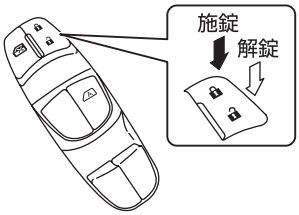
- 運転席のロックノブで施錠・解錠すると、バックドアが同時に施錠・解錠します。



ZIC0557

■ドアロックスイッチによる施錠・解錠

- 運転席のドアロックスイッチでバックドアの施錠・解錠ができます。

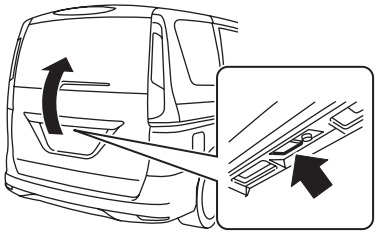


ZIC0559

開閉のしかた

■開けかた

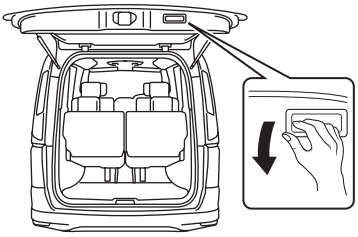
- 電磁式バックドアオープナースイッチを押してバックドアを持ち上げます。



ZIC0563

■閉めかた

●ドアグリップに手を掛け、バックドアを降ろし確実にロックするまで押しつけます。



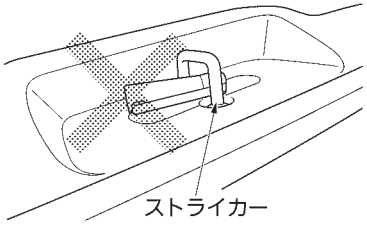
ZIC0564

⚠警告

●バックドアや車体側に手を触れたままバックドアを閉めると、手を挟まれてケガをするおそれがあります。
●バックドアを閉めるときは、バックドアのふちやその周辺に手を掛けないでください。必ず外から押して閉めてください。
●バックドアを閉めたあとは、確実に閉まっていることを必ず確認してください。走行中にバックドアが開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

●バックドアを閉めるときは、ストライカーに異物をかみ込まないようにしてください。ストライカーやバックドアのロックが破損し、バックドアが閉まらなくなるおそれがあります。



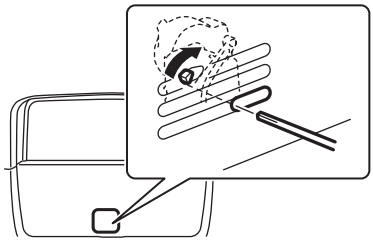
ESF0147Z

■バックドアが開けられなくなったとき

バッテリーあがりなどにより、電磁式バックドアオープナースイッチでバックドアを開けられなくなったときは、次の操作をしてください。

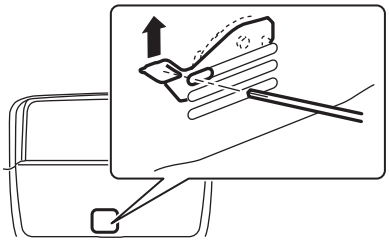
①バックドア車内側にある穴にお手持ちのマイナスドライバーなどを差し込みます。
②差し込んだマイナスドライバーでレバーを矢印の方向に動かし、解錠します。

バックドアクローザー無車



ZIC0565

バックドアクローザー付車



ZIC0566

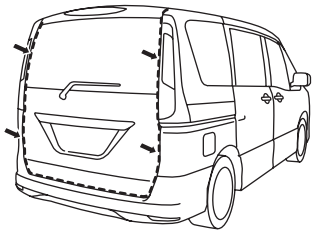
③バックドアを持ち上げます。

アドバイス

- 操作後はなるべく早くスズキサービス工場で点検を受けてください。

バックドアクローザー★

自動的にバックドアを全閉させる機能です。
閉めるとき、半ドア状態まで閉めると自動的に全閉します。



ZIC0567

⚠警告

- **バックドアや車体側に手を触れていたり、ドアグリップを握ったままバックドアを閉めると手を挟まれてケガをするおそれがあります。**
- **バックドアを閉めるときは、バックドアのふちやその周辺に手を掛けないでください。必ず外から押して閉めてください。**

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

アドバイス

- 次のような場合はバックドアクローザーが作動しません。ドア開き警告が表示されているときはバックドアを一旦開け、再度閉め直してください。
  - ・バックドアを開けて0.5秒以内に閉めたとき。
  - ・電磁式バックドアオープナースイッチを押したあと、バックドアを開けなかったとき。
- バッテリーが弱っているとバックドアクローザーが作動しないことがあります。その場合は、手で強く閉めるかエンジンをかけてから閉め直してください。
- バックドアクローザーの故障によりバックドアが閉まりきらないときは、バックドアを一旦開け、再度手で閉めてください。
- 荷物の積みすぎなどによりバックドアクローザーで閉めきれない状態を繰り返すと、バックドアクローザーが作動しなくなります。そのときはスズキサービス工場で点検を受けてください。

携帯リモコン封じ込み防止機能

携帯リモコンを車内に入れたまま施錠することを防ぐ機能です。

アドバイス

- 次のような場所に置いているときは、携帯リモコン封じ込み防止機能が作動しないことがあります。
  - ・インストルメントパネル上
  - ・グローブボックス内
  - ・ドアポケット内
  - ・金属製のバッグの中
  - ・金属製のものの近く
- 周囲の電波環境によっては携帯リモコン封じ込み防止機能が作動しないことがあります。
- 携帯リモコンが車外にあっても、車両（ドアやドアガラス、リヤバンパーなど）に近づけすぎた場合、携帯リモコン封じ込み防止機能が作動することがあります。

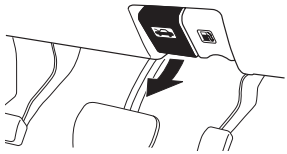
●携帯リモコンが車内にあるとき
⇒運転席ドアを開けた状態での運転席のロックノブ又はドアロックスイッチによる施錠ができません。（施錠後、すぐに全ドアが解錠されます。）

●ドアを開けた状態で運転席のロックノブ又はドアロックスイッチにより全ドアを施錠し、携帯リモコンを車内に入れてしまったとき
⇒全ドアを閉めると、車外警報ブザーが“ピピピピ…”と鳴り、全ドアが解錠されます。

エンジンフード

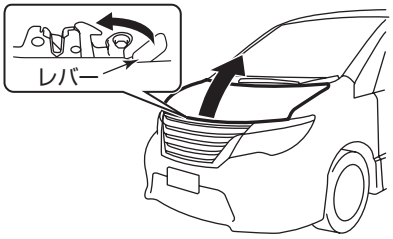
■開けかた

①運転席右下にあるオープナーを引きます。
ロックが外れエンジンフードの先端が少し浮き上がります。



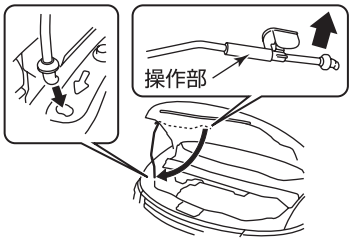
ESF0027Z

②エンジンフード先端のすき間に手を入れ、レバーを横に押しながらエンジンフードを持ち上げます。



ZIC0728

③ステーの操作部を持ってフックから外し、エンジンルーム内にある穴に確実に差し込みます。



ZIC0569

⚠注意

- **風が強いときに開けると、風にあおられますので、しっかり持ってゆっくり開けてください。**
- **エンジンフードを開けたときは、フードに頭などをぶつけないように注意してください。**
- **エンジンがかかっているとき、エンジンルーム内に手、衣服、工具などを入れないでください。思わぬケガをするおそれがあります。**
- **エンジン停止直後は、排気系部品、ラジエーターなどの高温部に触れないでください。やけどをするおそれがあります。**

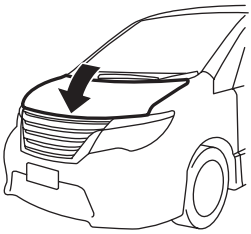
アドバイス

- ワイパーアームを起こしたままエンジンフードを開けないでください。エンジンフードやワイパーを損傷します。

■閉めかた

①エンジンフードを支えながらステーの操作部を持って穴から外し、フックに固定します。

②エンジンフードをゆっくり降ろして、20～30cmの高さからエンジンフードを落とし、確実にロックします。



ZIC0729

⚠警告

- **走行前に、エンジンフードが確実に閉まっていることを、必ず確認してください。ロックされていないと、走行中エンジンフードが開いて、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

⚠注意

- **エンジンフードを閉めるときは、手などを挟まないようにゆっくり降ろしてください。**

パワーウインドー

電源ポジションがONのとき操作できます。

⚠警告

- **走行中は顔や手、物などを車外に出さないでください。車外のものに当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。**
- **窓ガラスを閉めるときは、手や首などを挟まないよう注意してください。**
- **お子さまを乗せているときは、パワーウインドーロックスイッチを押し込み、操作させないようにしてください。重大な傷害につながるおそれがあります。**

アドバイス

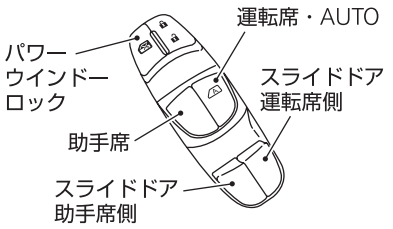
- 運転席のパワーウインドーロックスイッチが押し込まれているときは、助手席・後席窓ガラスの操作ができません。

キーOFF後作動機構

- 運転席の窓ガラスは電源ポジションをAcc又はOFFにしたあとでも、約15分間は開閉することができます。ただし、その約15分間に運転席ドアを開けて閉める（ドアが開いているときは閉める）と、窓ガラスの開閉はできなくなります。

運転席スイッチ

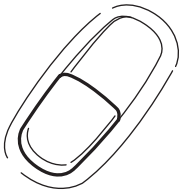
運転席スイッチで、各席の窓ガラスの開閉ができます。



ZIC0571

助手席スイッチ

助手席スイッチで自席の窓ガラスの開閉ができます。



ZIC0457

■開閉のしかた

- スイッチを押している間、開きます。
- スイッチを引き上げている間、閉まります。

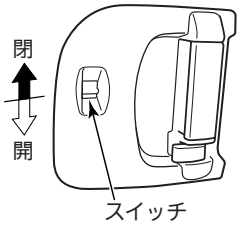
■ワンタッチ開閉のしかた

運転席の窓ガラスは、ワンタッチで開閉できます。

- スイッチを強く押すと全開します。
- スイッチを強く引き上げると全閉します。
- 途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引きます。

スライドドアスイッチ

スライドドアスイッチで自席の窓ガラスの開閉ができます。



ESF0031Z

■開閉のしかた

- スイッチを下側に押している間、開きます。
- スイッチを上側に押している間、閉まります。

■挟み込み防止機構

- 運転席の窓ガラスを自動で閉めているときやキーOFF後作動機構で閉めているときに、車体と窓ガラスの間に異物の挟み込みを感知すると、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し下降し止まります。
- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重が窓ガラスに加わると作動することがあります。

⚠注意

●窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。指などを挟まれないよう注意してください。

アドバイス

- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを上側へ引き続けて閉めてください。

■パワーウインドーのロックのしかた

- パワーウインドーロックスイッチを押し込むと、助手席とスライドドアの窓ガラスの開閉ができなくなります。
- スイッチを押し戻すと開閉できます。

スイッチ位置	作　動
ON ■	ロックされます。
OFF ■	ロックが解除されます。

■正常に作動しないとき

バッテリーを外したり、開閉操作を連続して行うと、運転席窓ガラスの自動閉操作、挟み込み防止機構、キーOFF後作動機構が正常に作動しないことがあります。
以下の操作を行い、初期設定してください。

①電源ポジションをONにします。
②運転席・AUTOスイッチを押し、窓ガラスを全開にします。（すでに全開しているときは、操作する必要はありません。）
③運転席・AUTOスイッチを引き上げ続け、窓ガラスが全閉して3秒以上たってから手を離します。
④正常に作動することを確認します。
・正常に作動しないときは、再度上記の操作を行ってください。

アドバイス

- 上記の操作で作動できない場合は、早めにスズキサービス工場で点検を受けてください。

燃料補給口

燃料補給口は運転席側の車両後方にあります。

⚠警告

- **燃料補給時は、以下のことを必ずお守りください。**
  - **・エンジンを止める。**
  - **・車のドアや窓を閉める。**
  - **・タバコなどの火気を近づけない。**
  - **・気化した燃料を吸わない。**
- **補給作業を行う前に、金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。放電による火花で燃料に引火したり、やけどをするおそれがあります。**
- **補給作業はひとりで行ってください。作業中に車内に戻ったり、帯電している人や物に触れると再帯電するおそれがあります。**
- **キャップを開けるときはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外してください。急に開けると、燃料が補給口から吹き返すおそれがあります。**
- **給油ノズルは確実に給油口へ挿入してください。給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。**
- **給油ノズルの自動停止後は、給油の継ぎ足しをしないでください。継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。**
- **ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。**

■燃料の補給

●燃料タンクの容量は、約60ℓです。

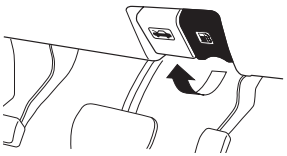
エンジン型式	指定燃料
MR20DD	無鉛レギュラーガソリン

アドバイス

●指定以外の燃料は補給しないでください。

■開けかた

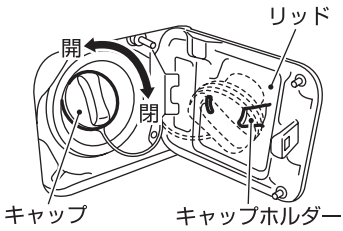
①運転席右下にあるオープナーを引きリッドを開けます。



ESF0032Z

②キャップを左にゆっくり回して開けます。

・補給時、キャップはリッドの裏側に置きます。



ZIC0572

■閉めかた

①キャップを“カチッ、カチッ”と、2回以上音がするまで右に回して閉めます。

②リッドを閉めます。

⚠警告

●キャップは確実に閉めてください。閉まっていないと走行中に燃料が漏れ、火災につながるおそれがあります。

●スズキ純正品以外のキャップは使用しないでください。

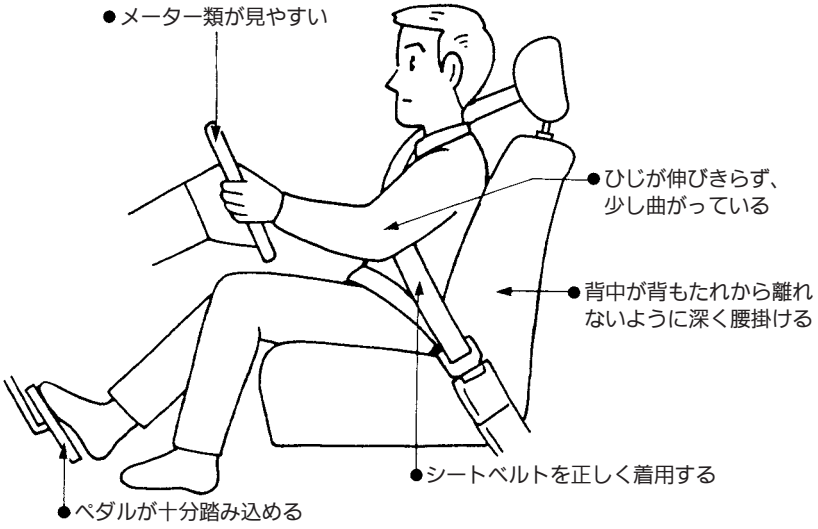
アドバイス

●リッドを開閉するときは、運転席側スライドドアが閉まっていることを確認してください。スライドドアと干渉するおそれがあります。

ハンドル・シート・ミラーの調節のしかた

正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるよう、ハンドル、シート、ミラーを調節してください。



TCD0008Z

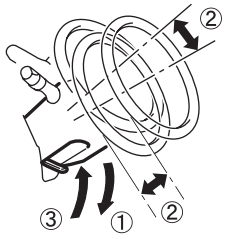
⚠警告

- ハンドル、シート、ミラーの調節は安全のため必ず走行前に行ってください。走行中に調節をすると前方不注意となり危険です。
- 調節したあとは確実に固定されたことを確認してください。ハンドルやシートが固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- 調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
- 背もたれを調節するときは、背もたれを支えながら調節してください。顔や身体に当たり思わぬケガをするおそれがあります。
- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 室内を清掃するときやシートの下に落とした物を拾うときなど、シートの下に手を入れるときは十分に注意してください。シートレールやシートフレームに当たりケガをするおそれがあります。

ハンドル

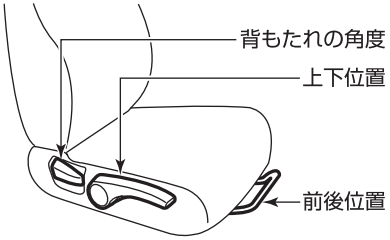


ZIC0574

前後・上下調節

①レバーを押し下げます。
②ハンドルを前後又は上下に動かし、
適切な位置で止めます。
③レバーを引き上げ固定します。

フロントシート



ZIC0053

調節箇所	レバー	操　作	運転席	助手席
前後位置 （スライド）	 ZIC0125	●引いたまま調節したい方向にシートを動かします。	○	○
背もたれの角度 （リクライニング）	 ZIC0126	●引いたまま調節したい方向に背もたれを動かします。	○	○
上下位置 （リフター）	 ZIC0127	●引き上げると高くなります。 ●押し下げると低くなります。	○	−

⚠警告

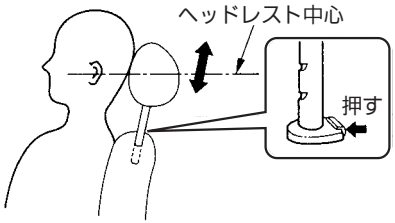
- **シートは必ず固定する位置で使用してください。**
- **背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。**
- **背もたれを起こすときは、背もたれを手で押さえ、ゆっくり戻してください。急に戻すと顔や身体などに当たり、思わぬケガをするおそれがあります。**

ヘッドレストの使いかた

■上下調節のしかた

ヘッドレストの中心が、耳の高さになるように調節します。

- 上げるときは、そのままヘッドレストを引き上げます。
- 下げるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを下げます。



TCE0051Z

■脱着のしかた

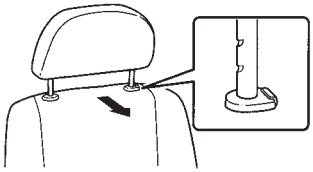
- 取り外すときは、ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。
- 取り付けるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを差し込みます。

⚠警告

●ヘッドレストは外したまま走行しないでください。万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠注意

●取り付けるときは、前後の向きを間違えないでください。



TCA0491Z

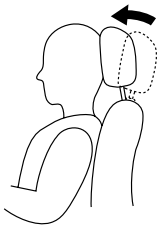
●取り付けたあとは、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認してください。万一のとき、ヘッドレストが効果を十分発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

■前席アクティブヘッドレストについて

追突されたときに背もたれが乗員を受け止める力を利用して、ヘッドレストが瞬時に前方に移動します。

ヘッドレストの移動により、頭部の過度な後方への傾きを防ぎ、首への負担を軽減します。

いわゆる「むち打ち症」が多く発生するといわれている、低速から中速までの追突時に効果を発揮します。



TSC1471Z

⚠注意

●ヘッドレストのステーにテーブル、テレビなどの用品を取り付けないでください。万一の追突時にアクティブヘッドレストの機能が損われるおそれがあります。

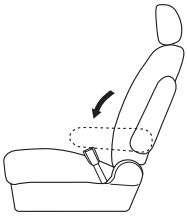
アドバイス

●アクティブヘッドレストは、追突時のみ作動し、追突後は元の位置に戻ります。

●アクティブヘッドレストの調節方法は、通常のヘッドレストと同じです。正しく調節してください。

アームレストの使いかた

●使うときはアームレストを前に倒します。格納するときは引き上げます。



TSE0416Z

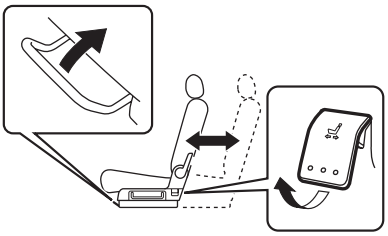
セカンドシート

前後位置調節（スライド）

左右別々に調節することができます。

①レバーを引いたまま、シートを前後に動かします。
助手席側シートは、シート後ろ側のレバーでもシートを前後に動かせます。

②レバーから手を離し、固定する位置までスライドさせます。



ZIC0575

⚠警告

●シートは必ず固定する位置で使用してください。

アドバイス

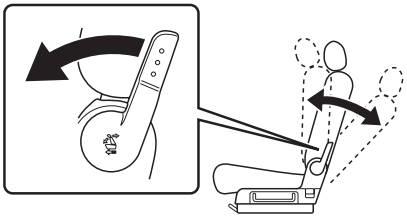
●スライド範囲の最前端でシートを固定するときは、シート固定ベルトを使用してください。
セカンドシート固定ベルトの使いかた…P.70

背もたれの角度調節（リクライニング）

左右別々に調節することができます。

①レバーを引いたまま、背もたれを傾けます。

②レバーから手を離したところで固定します。



ESH0867Z

⚠警告

●背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

●背もたれを起こすときは、背もたれを手で押さえ、ゆっくり戻してください。急に戻すと顔や身体などに当たり、思わぬケガをするおそれがあります。

ヘッドレストの使いかた

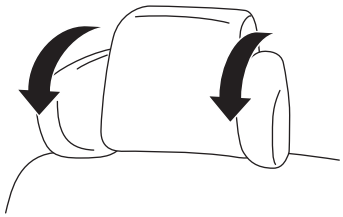
ヘッドレストの上下調節方法と脱着のしかたは、フロントシートと同じです。

ヘッドレストの使いかた…P.64

リラックスモード付ヘッドレスト★

頭を左右から支えることで、快適に座ることができます。

●使うときはヘッドレストの両端を前に傾けます。使わないときは格納しておきます。



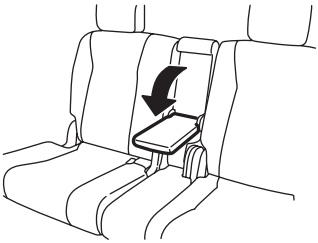
ZIC0576

アームレストの使いかた

スマートマルチセンターシート部にあります。

①スマートマルチセンターシートの前後位置と背もたれの角度を座っているシートに合わせます。

②アームレストを前に倒して使います。



ZIC0577

●格納するときは引き上げます。

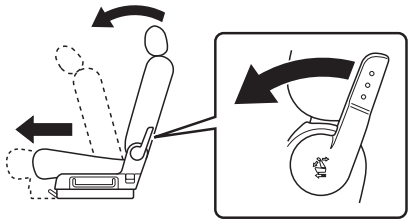
★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

サードシートへの乗り降り（ウォークイン機構）

サードシートへ乗り降りするとき、セカンドシートを前方にスライドさせ、乗り降りを楽にすることができます。

①セカンドシートのリクライニングレバーを引くと背もたれが倒れます。

②セカンドシートを前方にスライドさせます。



ESH0868Z

●元に戻すときは、シートを後方にスライドさせたあと、背もたれを起こして固定させます。

⚠警告

●ウォークイン機構を作動させるときは背もたれを手で押さえ、ゆっくり作動させてください。急に背もたれが倒れたりシートがスライドすると、顔や身体などに当たったり、手や足を挟んだりして思わぬケガをするおそれがあります。

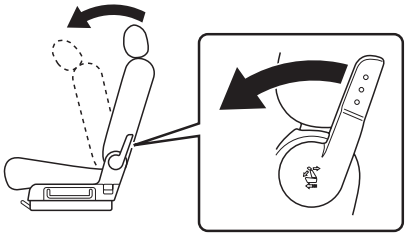
⚠注意

●物や飲物などを置いたままウォークイン機構を作動させないでください。物を壊したり室内を汚すおそれがあります。

セカンドシートの折りたたみかた

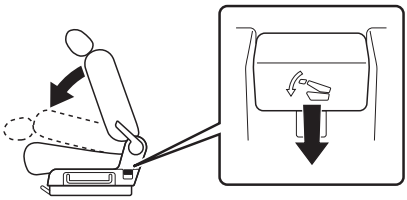
助手席側のセカンドシートを折りたたむことができます。

①リクライニングレバーを引いて、背もたれを前に倒します。



ESH0869Z

②リクライニングレバーの下側にあるレバーを押して背もたれを倒します。



ESH0870Z

アドバイス

●フロントシートに当たりシートが折りたためないときは、ヘッドレストを格納するか、シートの前後位置を調節してください。

ヘッドレストの使いかた…P.64
前後位置調節（スライド）…P.66

●元に戻すときは、背もたれをロックする位置まで起こしてから、リクライニングレバーで背もたれの角度を調節します。

⚠注意

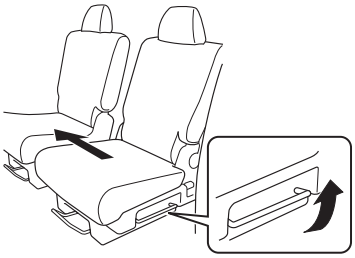
●シートを折りたたんだとき、折りたたんだ背もたれの上に乗らないでください。シートを損傷したり、転んだりして思わぬケガをするおそれがあります。
●物や飲物などを置いたままシートを折りたたまないでください。物を壊したり室内を汚すおそれがあります。

横スライド機構

サードシートへ乗り降りするときなどに、助手席側のセカンドシートを横にスライドさせることができます。

①スマートマルチセンターシートを前方にスライドします。
スマートマルチセンターシート…P.71

②シート横側にある横スライドレバーを引いたまま、シートを右に動かし固定します。



ESH0871Z

●元に戻すときは、スライドレバーを引いたまま、シートを左に動かし固定します。

⚠注意

●助手席側のシートを運転席側に横スライドしたときは、3人掛けのシートとして使用できません。3人掛けをするときは、スマートマルチセンターシートを合わせて使ってください。
スマートマルチセンターシート…P.71

クッションの跳ね上げ（チップアップ）

運転席側のセカンドシートクッションを跳ね上げ、クッション下部にあるシートアンダーボックスを使うことができます。

●シートクッション下側にあるストラップを車両前方に引いてロックを解除し、クッションを持ち上げてロックします。



ZIC0591

●元に戻すときは、ストラップを引いてロックを解除し、クッションを押し戻します。

⚠注意

●クッションを跳ね上げるときは、確実にロックさせてください。
●クッションを跳ね上げた状態で、クッションの上に乗らないでください。シートを損傷したり、転んだりして思わぬケガをするおそれがあります。

アドバイス

●シートアンダーボックスに物を入れすぎないでください。クッションを戻したときに収納物が破損するおそれがあります。

アドバイス

●タイヤパンク応急修理キットが格納してあります。

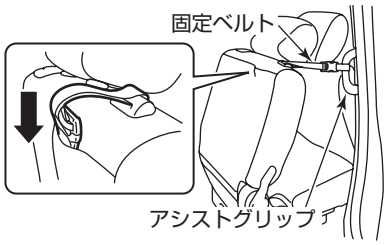
セカンドシート固定ベルトの使いかた

ラゲッジスペースを広げるためにセカンドシート（左右）をスライド範囲の最前端で固定できます。

①セカンドシートの背もたれを前に倒し、一番前までスライドさせます。

②セカンドシート肩部にある固定ベルトをアシストグリップに掛けます。固定ベルトの長さを調節し、シートをしっかりと固定します。

・固定ベルトがアシストグリップに届かないときは、フロントシートの前後位置を調節してください。



ZIC0681

●固定ベルトを使わないときは、背もたれ後ろ側に格納します。

スマートマルチセンターシート（セカンドシート中央部）

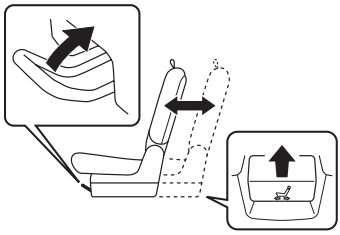
運転席側のセカンドシートと合わせてシートとして使ったり、背もたれを倒してアームレストやカップホルダー、テーブルとして使うことができます。

⚠警告

- **センターシートに座るときは、必ず運転席側のセカンドシートと前後位置と背もたれの角度を合わせてください。またシートベルトもセンターシート用のベルトを使用してください。位置がずれたままシートベルトを使用すると正しく着用ができず、万一の場合、傷害を増大させることがあります。**
- **フロントシートの間にスライドさせたときは、絶対にセンターシートに座らないでください。シートとして使用することはできません。**

■前後位置調節（スライド）

①シートの前又は後ろ側にあるレバーを引いたまま、シートを前後に動かします。
②レバーから手を離し、固定します。



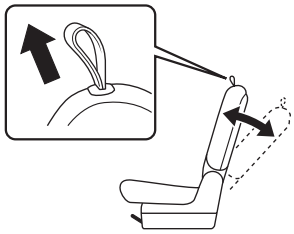
ESF0051Z

アドバイス

- シートをフロントシート側にスライドさせると、セカンドシートとサードシート間をウォークスルーできます。

■背もたれの角度調節（リクライニング）

①ストラップを引いたまま、背もたれを傾けます。
②ストラップから手を離したところで固定します。

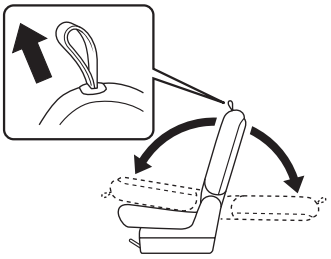


ESF0052Z

■背もたれの倒しかた

シートの背もたれを前又は後ろ側に倒すことができます。

- ストラップを引いたまま背もたれを倒します。
- セカンドシートのアームレストやカップホルダー、テーブルとして使うときは、背もたれを前側に倒します。



ESF0053Z

- 元に戻すときは、ストラップを引いたまま背もたれを起こしてロックさせます。

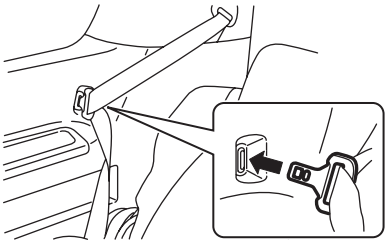
⚠注意

- **背もたれを倒したときは、上に乗らないでください。シートを損傷したり、転んだりして思わぬケガをするおそれがあります。**
- **アームレストやカップホルダー、テーブルとして使うときは、背もたれを確実にロックさせてください。**

サードシート

アドバイス

- シートを戻すときは、必ずシート脚部を起こしてから操作してください。
- シートを操作するときは、左右のシートベルトのタングを格納してください。



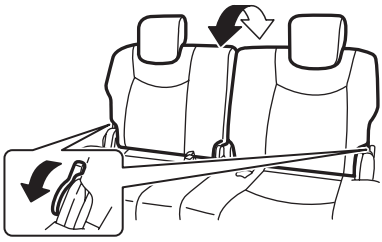
ZIC0578

背もたれの角度調節（リクライニング）

左右別々に調節することができます。

①レバーを引いたまま、背もたれを傾けます。

②レバーから手を離したところで固定します。



ZIC0579

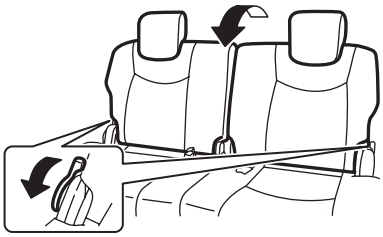
⚠警告

- **シートは必ず固定する位置で使用してください。**
- **背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。**
- **背もたれを起こすときは、背もたれを手で押さえ、ゆっくり戻してください。急に戻すと顔や身体などに当たり、思わぬケガをするおそれがあります。**

背もたれの倒しかた

左右別々に倒すことができます。

- レバーを引いたまま前又は後ろ側に倒します。



ZIC0580

⚠注意

- **背もたれを前に倒した状態で、背もたれの上に乗らないでください。シートを損傷したり、転んだりして思わぬケガをするおそれがあります。**

- 元に戻すときは、レバーを引いたまま背もたれを起こします。

ヘッドレストの使いかた

ヘッドレストは、格納位置からロックする位置まで上げた状態で使います。

⚠注意

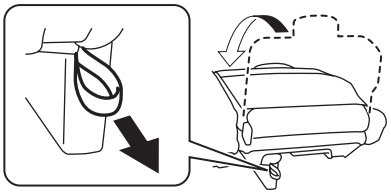
●ヘッドレストはロック位置まで上げ、確実に固定されていることを確認してから使用してください。格納状態では機能が十分に発揮できません。

●ヘッドレストの脱着は、フロントシートと同じです。
ヘッドレストの脱着のしかた… P.64

スマートアップサードシート（低位置格納式）

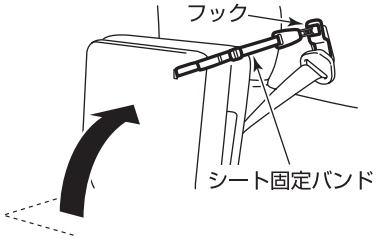
ラゲッジスペースを広げることができます。

①ストラップを引いてシート脚部（レッグ）のロックを解除します。（同時に背もたれが前に倒れます。）



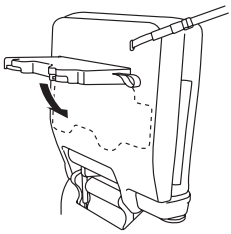
ZIC0581

②シートを横へ折りたたみ、シート固定バンドをシートベルト上のフックに確実に引っ掛けます。
シート固定バンドの長さを調節して、シートをしっかりと固定します。



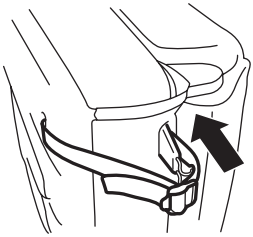
ZIC0583

③シート脚部（レッグ）を折りたたみます。



ZIC0582

●元に戻すときは、シート固定バンドをシートに格納してから、横に折りたたんだときと逆の手順で操作します。



ZIC0584

⚠ 警告

- **シートに人が乗っていたり、物や飲物などを置いたまま操作を行うと、ケガをしたり、物を壊したり、室内を汚すおそれがあります。特にストラップで背もたれを倒すときは、シートで前方が見えにくいので注意してください。**
- **シート固定バンドは確実にシートベルト上のフックに引っ掛けてください。**
- **シート固定バンドをシートベルト上のフックに掛けるときは、ねじれないようにしてください。振動で外れたりすると危険です。**
- **シートを元の位置に戻したときは、シート脚部（レッグ）のロックが確実に固定されたことを確認してください。**

ドアミラー

電源ポジションがAcc又はONのとき操作できます。

⚠警告

●鏡面の調節は走行前に行ってください。走行中の調節は前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

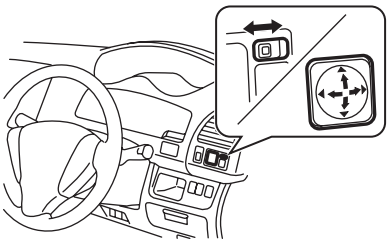
アドバイス

●ミラーの映像は実際より遠くに見えるので注意してください。

■角度調節のしかた

①左右切り替えスイッチを調節する側に動かします。

②角度調節スイッチを上下・左右に押して、後方が十分確認できる位置に調節します。

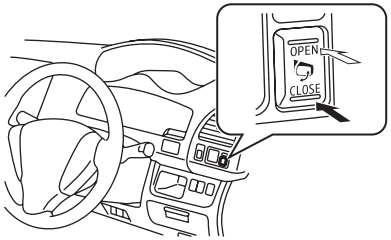


ZIC0585

■格納するとき

●スイッチの下側を押すと、左右のミラー本体が格納されます。

●スイッチの上側を押すと、元に戻ります。



ZIC0586

⚠注意

●ミラーが動いているときは手を触れないでください。手を挟んだり、ミラーが故障する原因になるおそれがあります。

●ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができないため危険です。

●手動で開閉すると走行中ミラーが前方又は後方に倒れるおそれがあります。手動で開閉したあとは、走行前に電動で開閉操作を行ってください。

アドバイス

- スイッチ操作を連続して行うと、途中で停止することがありますが、故障ではありません。しばらくしてから作動させてください。
- 手動で開閉した場合、格納スイッチの位置により、電源ポジションをAcc又はONにしたときにミラーが動き出すことがあります。
- スイッチの上側が押されたままでミラーを前方に倒したとき、電源ポジションをAcc又はONにするとミラーが更に前方に倒れます。元の状態に戻すときは一度格納操作をしてください。

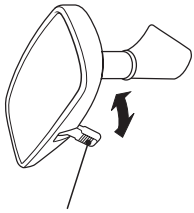
ヒーター付ドアミラー（寒冷地仕様車）

- 電源ポジションがONのときにリヤウインドーデフォッガースイッチ（P.149）を押すと、バックドアガラスのくもりを取るのと同時にドアミラーの霜やくもりを取ります。

防眩式ルームミラー

通常は防眩切り替えレバーを前方に押した状態で使います。

- ミラー本体を持って、後方視界が十分確認できる位置に角度を調節します。
- 後続車のヘッドライトがまぶしいときは、防眩切り替えレバーを手前に引くと反射が弱くなります。



ESG0764Z

⚠警告

● ミラーの調節は走行前に行ってください。また、防眩への切り替えは必要なときのみ行ってください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

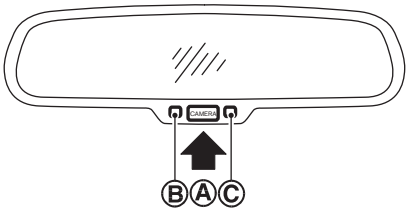
アドバイス

- ルームミラーのまわりに無線機やアクセサリーなどを取り付けたり、配線から電源をとったりしないでください。携帯リモコンの電波受信機が内蔵されているため、ドアの施錠・解錠が正常に作動しなくなるおそれがあります。また、キーレスプッシュスタートシステムによるエンジンの始動などができなくなるおそれがあります。

ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー★

自動防眩式ルームミラーは、後続車両のヘッドランプの明るさに応じて反射率を自動的に調整します。電源ポジションをONにすると自動的に作動します。

- システムが作動状態になるとインジケーターⒷが点灯し、後続車両のヘッドランプによるまぶしさを軽減します。
  スイッチⒶを約3秒間押すと、ルームミラーは標準作動状態になり、インジケーターが消灯します。スイッチを再び約3秒間押すと、自動防眩システムが作動します。
- セレクトレバーをRに入れると、モニターには車両周辺が映し出されます。
  全方位モニター…P.220



ZIC0726

⚠ 警告

- ミラーの調節は走行前に行ってください。また、防眩への切り替えは必要なときのみ行ってください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ルームミラーに物をかけたり、ガラスクリーナーを使用したりしないでください。センサーⒸの感度が低下し、作動不良の原因となる場合があります。

アドバイス

- 全方位モニターを表示中は、防眩システムの作動、非作動の切り替えはできません。
- ルームミラーのまわりに無線機やアクセサリーなどを取り付けたり、配線から電源をとったりしないでください。携帯リモコンの電波受信機が内蔵されているため、ドアの施錠・解錠が正常に作動しなくなるおそれがあります。また、キーレスプッシュスタートシステムによるエンジンの始動などができなくなるおそれがあります。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

シートベルトの着用のしかた

シートベルトの正しい着用

- 走行する前に全員が必ずシートベルトを着用してください。
- シートベルトは正しい姿勢で正しく着用しないと、シートベルトの効果が十分発揮できなかったり、ベルトによりケガなどをするおそれがあります。
- 次の使用方法、警告にしたがって正しく着用してください。



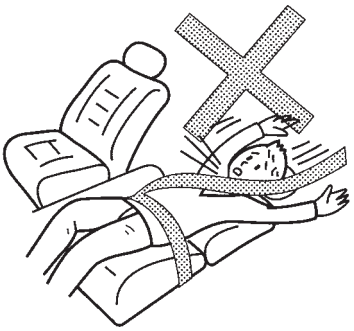
TCD0009Z

⚠警告

- **走行する前に全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。**
- **シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。着用するときは以下のことを必ずお守りください。**
  - **・運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。**
  - **・ベルトは1人用です。2人以上で1本のベルトを使わないでください。**
  - **・ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。**
  - **・腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腹部に強い圧迫を受けることがあります。**
  - **・肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分掛かっていないと、上半身を拘束しないことがあります。**
  - **・シートベルトをクリップなどで故意にたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果を発揮しないことがあります。**

⚠警告

- シートの背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。



TCA0041Z

- バックルや巻き取り装置の中に異物を入れないでください。シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
- 妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので医師に相談し、注意事項を確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは、確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。



TCA0042Z

- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートをお使いください。
〇チャイルドシート…P.88
- 一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分発揮しないことがあります。事故などにより衝撃を受けたり傷がついた場合は、スズキサービス工場に点検を依頼してください。

⚠警告

●シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分発揮しないことがあります。

アドバイス

●運転者がシートベルトを着用していないと、警告灯（P.127）や警報（P.140）が作動します。

シートベルトの着用のしかた

⚠警告

●スマートマルチセンターシートに座るときは、単独で使用せず、必ず運転席側セカンドシートと前後位置と背もたれの角度を合わせてください。
また、サードシート中央に座るときは、左右の背もたれの角度を合わせてください。
角度を合わせないままベルトを使用すると正しい拘束ができなくなり、傷害を増大させるおそれがあります。

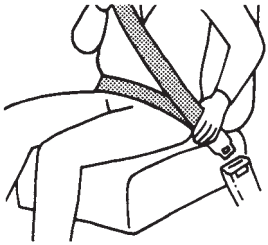
アドバイス

●中央席用のシートベルトは、タングとバックル（タングはサードシートのみ）に「CENTER」と表示されているものをご使用ください。

ELR（緊急固定）付3点式シートベルト（フロント・セカンドシート、サードシート左右）

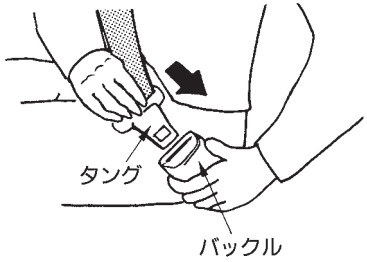
通常は身体の動きに合わせて伸縮しますが、衝突時など強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックし身体を固定します。

①タングを持ってベルトをゆっくり引き出します。
・ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。
②ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。



TCA0043Z

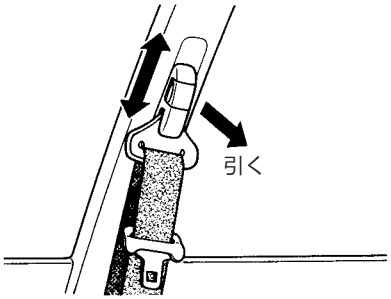
③ベルトがねじれないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



TCA0044Z

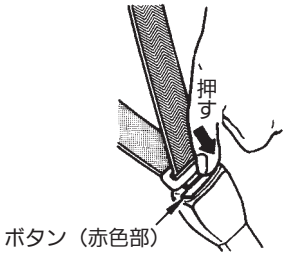
④肩ベルトのアンカー位置の高さを調節します。（フロント・セカンドシート左側のみ）

・ノブを引きながらアンカー部を上下させ、ベルトが肩に確実に掛かる位置に調節し手を離します。
・手を離したあと、“カチッ”と音がするまで動かし固定させます。



TCA0219Z

●外すときは、バックルのボタンを押し、タングを持ってゆっくり戻します。



TCG0046Z

⚠ 警告

●肩ベルトのアンカー位置は確実に肩に掛かるように調節してください。また、アンカーは確実に固定されていることを確認してください。ベルトが肩から外れたり、万一のときシートベルトが十分効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。特に、横スライド機構（P.69）を使ってセカンドシートを運転席側に動かした状態でシートベルトを使用するときは、肩ベルトが肩に掛かるようにアンカーの位置を調整してください。

ELR（緊急固定）付3点式シートベルト（サードシート中央）

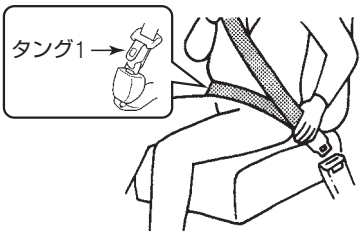
■着用のしかた

①タング1を持ってベルトをゆっくり引き出します。

・ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

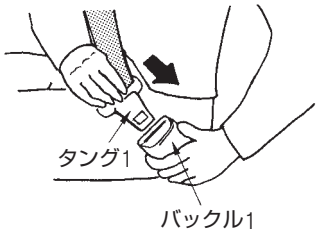
ベルトが格納されている場合は、取り出しかた…P.86をお読みください。

②ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。



ZIC0115

③ベルトがねじれないようにして、タング1をバックル1に“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。

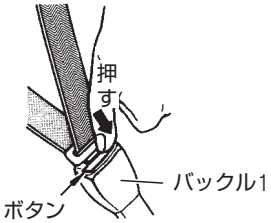


ZIC0116

⚠警告

●サードシート中央用のタングとバックルは2個ずつあります。着用するときは必ずタング1と2、バックル1と2を正しく差し込んでお使いください。正しく固定されていないと、万一のときシートベルトが十分効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

●外すときは、バックル1のボタンを押し、タングを持ってゆっくり戻します。



ZIC0117

アドバイス

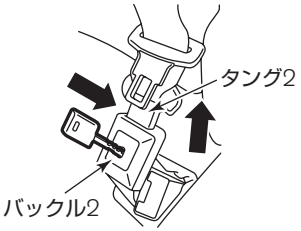
●ベルトを外すとき、タングが急に戻ることがありますので、タングから手を離さないでください。

●バックル1は、「CENTER」と表示されているものをご使用ください。

■格納のしかた

サードシート中央を使用しないときやサードシート背もたれを倒すときは、ラゲッジルームの天井にタングを格納できます。

①タング2を持ってバックル2の穴にキーなどで押し込んでロックを解除します。



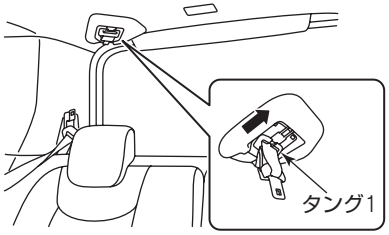
ZIC0646

アドバイス

●ベルトを外すとき、タングが急に戻ることがありますので、タングから手を離さないでください。

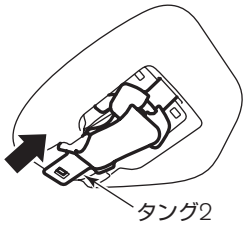
②タング2を持ってゆっくりと格納場所まで戻します。

③タング1を車両前方側の格納部に差し込みます。



ZIC0676

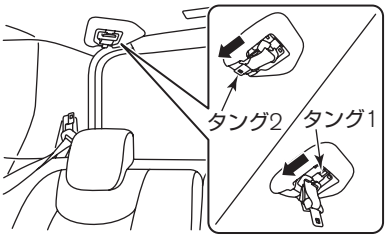
④タング1を手で押さえながらタング2のベルトを少し引き出し、タング2を車両後方側の格納部に差し込みます。



ZIC0677

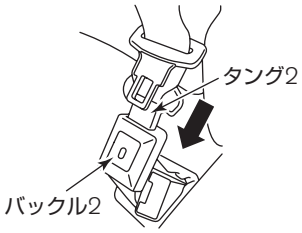
■取り出しかた

①タング2を車両後方側の格納部から抜き出した後、タング1を車両前方側の格納部から抜き出します。



ZIC0678

②タング2をゆっくり引き出し、タング2をバックル2に“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



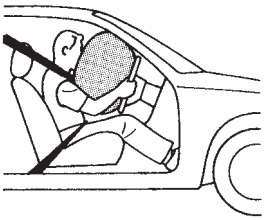
ZIC0649

前席フォースリミッター付プリテンショナーシートベルト

正面衝突など車両前方から強い衝撃を受けたとき、装着したシートベルトを瞬時に巻き取るプリテンショナーと乗員に加わるシートベルトの拘束力を一定レベルに保つフォースリミッターが付いています。

●運転席・助手席SRSエアバッグシステムと同時に作動します。

SRSエアバッグが作動するとき・しないとき…P.98



TCA0050Z

⚠警告

●使用方法は通常のシートベルトと同じです。正しく着用しないと、プリテンショナー及びフォースリミッターの効果が十分発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠注意

●電源ポジションをON後約7秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーは作動しません。SRSエアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。

■プリテンショナーシートベルト付車の取り扱いについて

運転席にはダブルプリテンショナー機構が付いています。ラップアウタープリテンショナーが腰部シートベルトの緩みを引き込み、肩部のフォースリミッター付プリテンショナーと合わせて乗員の拘束性能を高めます。

⚠警告

●プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理したり、電気テスターを使ってプリテンショナーのシステムの回路診断をしないでください。誤って作動したり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

⚠注意

●廃車にするときやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ずスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

アドバイス

●プリテンショナーが作動したとき作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。

●プリテンショナーは、一度作動すると再使用できません。衝突を起こしたときは必ずスズキサービス工場で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

チャイルドシート

チャイルドシートについて

乳児用チャイルドシート、幼児用チャイルドシート、ジュニアシートの総称として「チャイルドシート」と呼んでいます。
チャイルドシートの固定機構を使ってチャイルドシートを固定することができます。

⚠注意

- **お子さまの年齢や体格にあった、適切なチャイルドシートをお選びください。**
- **固定方法及び取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。**

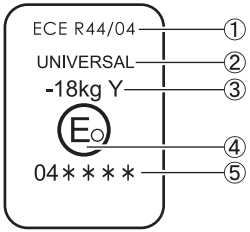
アドバイス

- この車はECE R44※の基準に適合したISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具を標準装備しています。

※ECE R44はチャイルドシートに関する国際法です。

ECE R44認可マークについて

ECE R44の基準に適合した汎用（ユニバーサル）チャイルドシートには、下記の認可マークが表示されています。必ずECE R44の基準に適合したチャイルドシートをお使いください。



ZIC0388

①法規番号
②チャイルドシートのカテゴリー（UNIVERSALは汎用品の認可であることを表します。）
③対象となるお子さまの体重範囲
④当該装置を認可した国番号
⑤当該装置認可番号

チャイルドシートの質量グループ

■質量グループについて

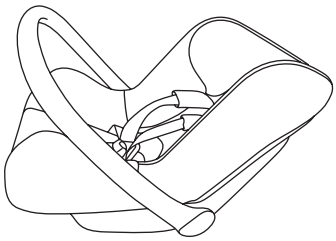
ECE R44の基準に適合するチャイルドシートはお子さまの体重により以下のように分類されます。

質量グループ	お子さまの体重
グループ0	10kgまで
グループ0^+	13kgまで
グループⅠ	9～18kgまで
グループⅡ	15～25kgまで
グループⅢ	22～36kgまで

チャイルドシートの種類（例）

■乳児用チャイルドシート

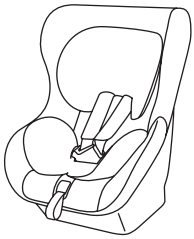
●ECE R44基準のグループ0、0^+に相当します。



ZIC0381

■幼児用チャイルドシート

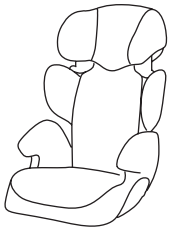
●ECE R44基準のグループ0^+、Ⅰに相当します。



ZIC0382

■ジュニアシート

●ECE R44基準のグループⅡ、Ⅲに相当します。



ZIC0383

チャイルドシート適合表

チャイルドシートの固定方法には、シートベルトで取り付ける方法と、ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具で取り付ける方法があります。次の表から各着席位置でどのチャイルドシートが使用できるかを確認してください。

シートベルトで取り付けるチャイルドシートについて

■選択の目安

詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

質量グループ	着席位置				
	フロントシート（助手席）	セカンドシート		サードシート	
		左右	中央	左右	中央
0（10kgまで）	×	U	×	U	×
0^{+}（13kgまで）	×	U	×	U	×
Ⅰ（9～18kg）	UF	U	×	U	×
Ⅱ（15～25kg）	UF	U	×	U	×
Ⅲ（22～36kg）	UF	U	×	U	×

凡例

U　：この質量グループでの使用を認可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーのチャイルドシートに適合しています。

UF　：この質量グループでの使用を認可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーの前向きチャイルドシートに適合しています。

×　：チャイルドシートを取り付けることはできません。

⚠注意

●表に記載されていないチャイルドシートを使用するときは、チャイルドシート製造業者又は販売業者にご相談ください。

ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具で取り付けるチャイルドシートについて

■選択の目安

詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

質量グループ	サイズ等級	固定具	車両ISOFIX位置	
			セカンドシート（左右）	セカンドシート（中央）
キャリーコット	F	ISO/L1	×	−
	G	ISO/L2	×	−
0（10kgまで）	E	ISO/R1	×	−
0⁺（13kgまで）	E	ISO/R1	IL	−
	D	ISO/R2	×	−
	C	ISO/R3	×	−
Ⅰ（9～18kg）	D	ISO/R2	×	−
	C	ISO/R3	×	−
	B	ISO/F2	IUF	−
	B1	ISO/F2X	IUF	−
	A	ISO/F3	IUF	−
Ⅱ（15～25kg）	−	（1）	×	−
Ⅲ（22～36kg）	−	（1）	×	−

凡例

IUF　：この質量グループでの使用を認可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーのISOFIX対応前向きチャイルドシートに適合しています。

IL　：この質量グループでの使用を認可された、以下の表に記載されている「スズキ純正ISOFIX対応ベビーシート」に適合しています。

×　：チャイルドシートを取り付けることはできません。

（1）：サイズ等級表示の無いチャイルドシートの各シート位置でのISOFIX対応チャイルドシート固定機構の取り扱いについては販売業者にご相談ください。

■スズキ純正ISOFIX対応チャイルドシート

質量グループ	サイズ等級	固定具	商品名	取り付け向き	カテゴリー
0⁺（13kgまで）	E	ISO/ R1	スズキ純正ISOFIX対応ベビーシート	後向き	準汎用

⚠注意

- **スズキ純正ISOFIX対応ベビーシートの取り付けには別売りのベースシートが必要です。**
- **ISOFIX対応のチャイルドシートをすでにお持ちの場合、ご使用前にECE R44の基準に適合していることを確認してください。適合していないチャイルドシートは取り付けられません。詳しくは、スズキ販売店にご相談ください。**

ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具について

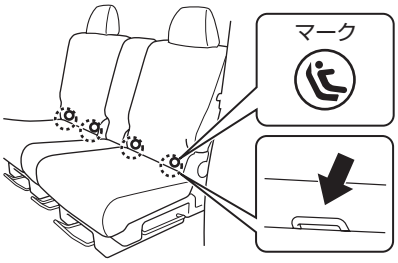
セカンドシート左右にはISOFIX対応チャイルドシートを取り付けるためのアンカー（固定装置）が装備されています。

⚠注意

●ISOFIX対応チャイルドシートを取り付けるときは、セカンドシートのヘッドレストを取り外してください。

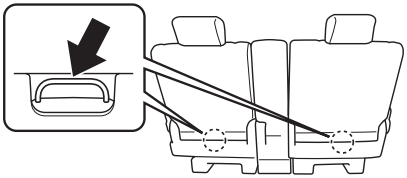
■アンカーの場所

●ISOFIX対応チャイルドシート固定用アンカーは、マーク下側にあります。



ZIC0664

●チャイルドシート固定用テザーアンカーは、シートクッション後ろ側にあります。

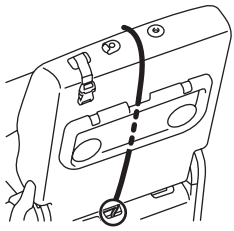


ESH0880Z

●取り付けかた及び取り外しかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

⚠警告

- **チャイルドシートを取り付けるときは、アンカー部周辺に異物がないことや、シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物やシートベルトなどをかみ込むとチャイルドシートが固定されず、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。**
- **チャイルドシートは確実に固定してください。確実に固定されていないと、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。**
- **パーソナルテーブル付車にテザーストラップを取り付けるときは、パーソナルテーブルを引き上げ、テーブル中央部の隙間に通してください。走行するときは、テーブルを格納してください。**



ZIC0731

パーソナルテーブル…P.245

アドバイス

- シートカバーを装着するときは、スリットがあるものを使用してください。スズキ純正シートカバーをおすすめします。

SRSエアバッグ

SRSエアバッグの作動

SRSエアバッグは、シートベルトと併用することで安全性を高めます。シートベルトは必ず着用してください。

※SRSとは、Supplemental Restraint Systemの略でシートベルトの補助拘束装置の意味です。

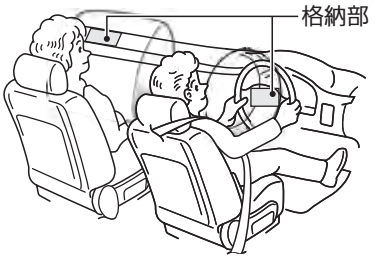
●電源ポジションがONのとき作動可能です。

■運転席・助手席SRSエアバッグシステム

車両前方から強い衝撃を受けたときSRSエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の頭部にかかる衝撃を緩和するシステムです。

●運転席SRSエアバッグは、ハンドル部に格納されています。

●助手席SRSエアバッグは、助手席側インストルメントパネル部に格納されています。乗員がいなくても運転席と同時に作動します。



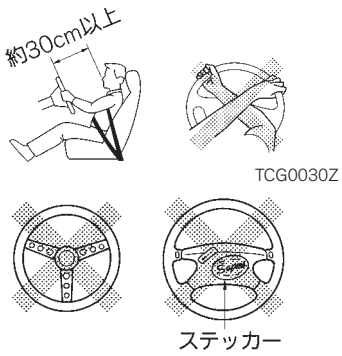
ESG0449Z

⚠警告

- SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRSエアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。SRSエアバッグの効果を発揮させるため、必ずシートベルトを正しい姿勢で正しく着用してください。
- 乗車するときは必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・ハンドルまわり、車両前部、インストルメントパネルまわり、センターコンソールまわりなどのSRSエアバッグ格納部を修理するときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。また、SRSエアバッグ格納部に傷がついていたりひび割れがあるときは、そのまま使用せずスズキサービス工場で交換してください。
  - ・SRSエアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。
  - ・電気テスターを使ってSRSエアバッグの回路診断をしたり、回路を変更しないでください。
  - ・エアロパーツなどを取り付けたりサスペンションを改造するときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。

運転席SRSエアバッグシステム

- 必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受けたり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・ハンドルから顔をできるだけ（約30cm以上）離し、ハンドルにもたれかかるなどSRSエアバッグ格納部に手や顔、胸などを不必要に近づけないでください。また、内がけでのハンドル操作はしないでください。
  - ・不適正なハンドルに交換したり、センターパッド部（SRSエアバッグ格納部）にステッカーなどを貼らないでください。
  - ・前面ガラスにアクセサリーなどを付けないでください。

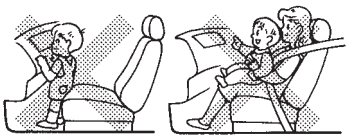


TCG0030Z
TCG0031Z

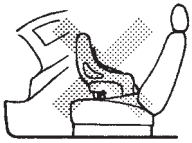
⚠警告

助手席SRSエアバッグシステム

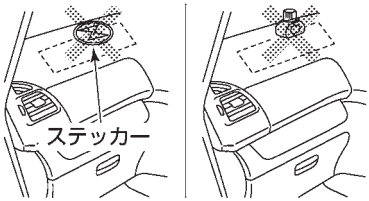
- 必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受けたり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・インストルメントパネル（SRSエアバッグ格納部）に手や足を置いたり、顔や胸などを近づけないでください。また、お子さまをSRSエアバッグ格納部の前に立たせたりひざの上に抱いたりせず、後席に乗せてください。
  - ・チャイルドシートは後席シートに取り付けてください。やむを得ず助手席シートに取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。
    ○チャイルドシート…P.88
  - ・チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認してください。固定方法及び取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
  - ・インストルメントパネル上面にステッカーなどを貼ったり、アクセサリーや芳香剤などを置かないでください。



TCG0032Z



TSG0038Z



ZIC0587

⚠注意

- **電源ポジションをONにしたあと約7秒間はメーター内のSRSエアバッグ警告灯が点灯し、システムチェックを行うため、SRSエアバッグは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。**
- **SRSエアバッグは膨らんだあと高温になるため、30分以内はさわらないでください。やけどをするおそれがあります。**
- **SRSエアバッグは高温のガスにより高速で膨らむため、事故の状態によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。**
- **SRSエアバッグが膨らむとき、作動音や白煙が出ますが火災ではありません。また、発生するガスによりむせることがありますが毒性はありません。ただし、SRSエアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じることがあります。**
- **廃車にするときやSRSエアバッグを廃棄するときは必ずスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。SRSエアバッグの作動により、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。**

アドバイス

- SRSエアバッグは、一度膨らむと再使用できません。スズキサービス工場で交換してください。
- 助手席SRSエアバッグが作動した衝撃で前面ガラスが割れることがあります。
- 運転席、助手席SRSエアバッグは膨らんだあとすぐにしぼむので、視界の妨げになることはありません。

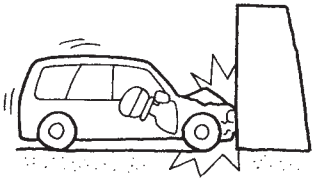
SRSエアバッグが作動するとき・しないとき

正面衝突時や側面衝突時において、乗員がシートベルトを正しく着用していても重大な傷害を受けるおそれのあるような衝撃を受けた場合に作動します。しかし衝撃が車体で吸収又は分散され、車両の損傷は大きくても乗員への衝撃が強くならない場合には、必ずしも作動するとはかぎりません。

■作動するとき

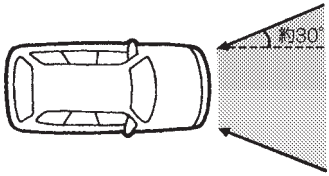
次のような衝撃が強いときに作動します。

- 25km/h以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき



TCA0258Z

- 車両前方左右、約30度以内の方向から強い衝撃（左図と同等）を受けたとき



TCA0259Z

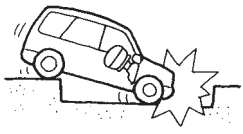
次のような、車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります。
（車両の損傷は少なくても乗員への衝撃は強いとき）

- 高速で縁石などに衝突したとき



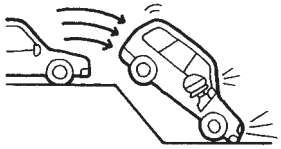
TCA0260Z

- 深い穴や溝に落ち込んだとき



TCA0261Z

- ジャンプして地面にぶつけたとき

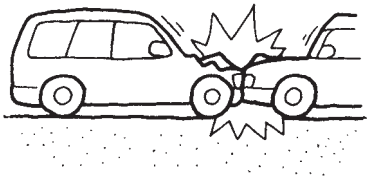


TCA0262Z

■作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。
衝突したものが変形したり移動したときや、衝突したものの形状や衝突の状態によって衝突時の衝撃が緩められたときは、作動しにくくなります。

- 停車している同クラスの車に約50km/h以下の速度で衝突したとき



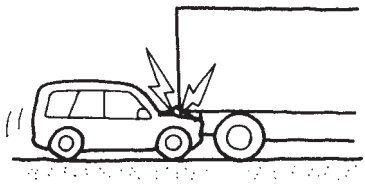
TCA0263Z

- 衝突時に折れない電柱などに約30km/h以下の速度で正面衝突したとき



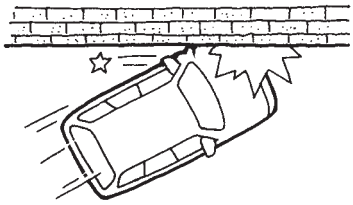
TCA0264Z

- トラックなどの荷台の下にもぐり込んだようなとき



TCA0265Z

- 斜め前方からガードレールなどに衝突したとき

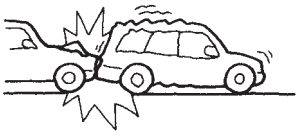


TCA0266Z

■作動しないとき

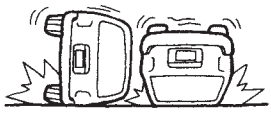
一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 横方向や後ろから衝突されたとき



TCA0267Z

- 横転、転覆したとき



TCA0268Z

走行するとき 3

●メーター・表示灯・警告灯の見かた…… 102
メーター …… 102
表示灯 …… 123
警告灯 …… 127
キーレスプッシュスタートシステムの警報について… 136
警報装置 …… 140

●スイッチの使いかた…… 142
ライトスイッチ …… 142
方向指示器スイッチ …… 145
非常点滅表示灯スイッチ …… 145
ヘッドランプレベリングスイッチ …… 146
ワイパー・ウオッシャースイッチ …… 147
リヤウインドーデフォッガースイッチ … 149
ホーンスイッチ …… 149

●運転のしかた…… 150
エンジンスイッチ …… 150
パーキングブレーキ …… 154
セレクトレバーの使いかた …… 155
オートマチック車の運転のしかた …… 158
4WD（4輪駆動）車の扱いかた …… 162
VDC（ビークルダイナミクスコントロール)… 163
ヒルホールドコントロール …… 165
ECOモード …… 166
アイドリングストップ …… 166
S-HYBRID …… 171
LDW（車線逸脱警報)…… 172
クルーズコントロール …… 176
エマージェンシーブレーキ …… 180
ふらつき警報 …… 184
踏み間違い衝突防止アシスト …… 186
ABS …… 199

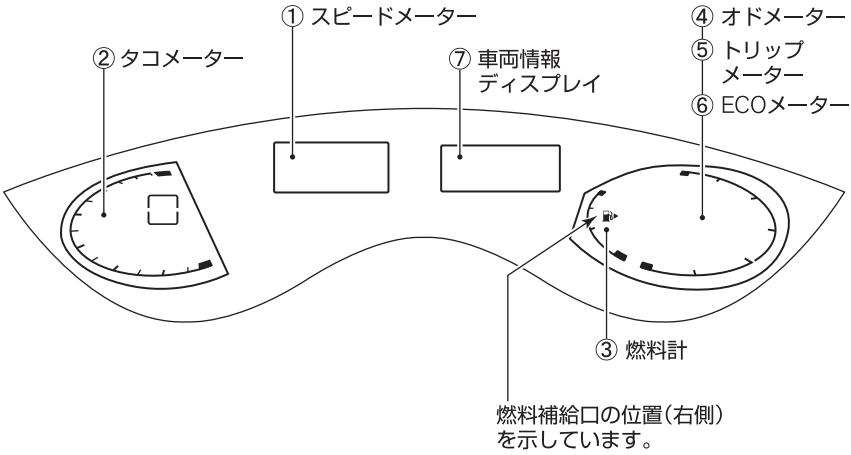
メーター・表示灯・警告灯の見かた

メーター

メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。
電源ポジションをONにすると表示します。

アドバイス

- 運転席ドアを開けると、スピードメーター、タコメーター、ECOメーターが全点灯します。
- エンジンを始動すると、タコメーター及びECOメーターは一度最大値付近を示したあと戻り、スピードメーターは点灯します。



ZPA0836

①スピードメーター（速度計）
走行速度を表示します。

②タコメーター（エンジン回転計）
1分間あたりのエンジン回転数を表示します。

⚠注意

- **レッドゾーン（赤色表示部）に入らないように運転してください。レッドゾーンではエンジンが過回転となり故障の原因になります。**

③燃料計
電源ポジションがONのとき、燃料の残量を表示します。

- 燃料タンクの容量は約60ℓです。

アドバイス

- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、燃料計の表示が上下することがあります。

④オドメーター（積算距離計）

電源ポジションがONのとき、総走行距離をkmで表示します。



TCA0084Z

⑤トリップメーター（区間距離計）

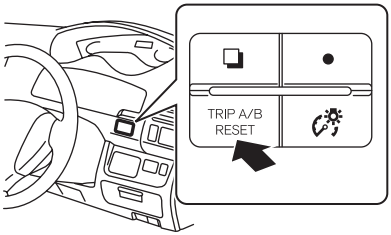
Aと Bで2種類の区間走行距離をkmで表示します。



ZPA0837

※イラストは、Aの表示です。

- トリップ切り替えスイッチを押すごとにAとBが切り替わります。
- リセットするときは0にしたいほうを表示させ、トリップ切り替えスイッチを約1秒以上押します。



ZPA0838

アドバイス

- バッテリーを外したときは、Aと Bの記憶が消去され0に戻ります。

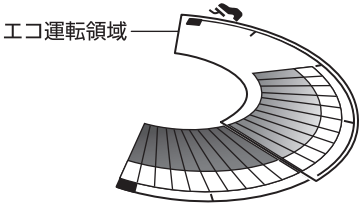
⑥ECOメーター

車両情報ディスプレイでの設定及びECOモードスイッチにより切り替わります。

ECOメーター表示…P.111

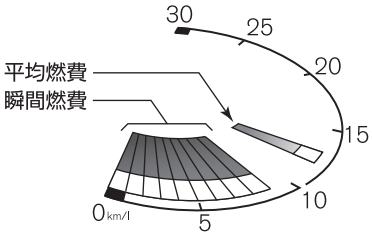
エコドライブナビゲーター

走行中に、車速に応じたアクセルペダルの踏み加減を表示します。アクセルペダルの踏み加減をエコ運転領域内になるように調整することで、エコドライブにつながります。



ZPA0839

瞬間燃費計（平均燃費表示機能付）



ZPA0840

瞬間燃費

走行中の瞬間燃費を表示します。

平均燃費

リセットしてから次にリセットするまでの平均燃費を表示します。

●リセットするときは、ドライブコンピューターの平均燃費、平均車速を表示させてから、選択スイッチ●を約1～3秒押します。（燃費表示機能の平均燃費とドライブコンピューターの平均燃費を同時にリセットします。）

ドライブコンピューター…P.106

アドバイス

●数値は30秒ごとに更新します。

アイドリングストップタイマー★

アイドリングストップ中に、リセットしてから次にリセットするまでのアイドリングストップしている時間を表示します。

分：2周（1分）ごとに1コマずつ増えます。

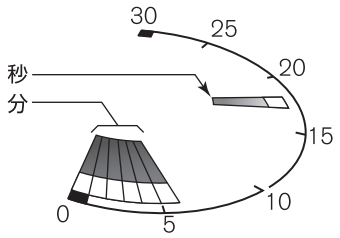
秒：1秒ごとに1コマずつ表示します。

●30秒で1周し、最大30分まで表示します。

●電源ポジションをOFFにするとリセットします。

●リセットするときは、ドライブコンピューターのアイドリングストップ時間節約燃料（1トリップ）を表示させてから、選択スイッチ●を約1秒以上押します。（アイドリングストップタイマーとアイドリングストップ時間節約燃料〔1トリップ〕を同時にリセットします。）

ドライブコンピューター…P.106



ZPA0841

例：6分18秒または6分48秒アイドリングストップした場合

アイドリングストップ警告ブザー…P.141
アイドリングストップ…P.166

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

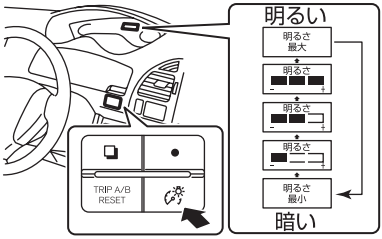
⑦車両情報ディスプレイ
以下の情報を表示します。

- **イルミネーションコントロールレベル表示**…P.105
- **ドライブコンピューター**…P.106
- **携帯リモコン表示・警告**…P.119
- **クルーズコントロール**…P.176

イルミネーションコントロール

メーター照明の明るさを調節できます。

- スイッチを押して調節します。
- 明るさのレベル表示は、車両情報ディスプレイに表示されます。



ZPA0842

アドバイス

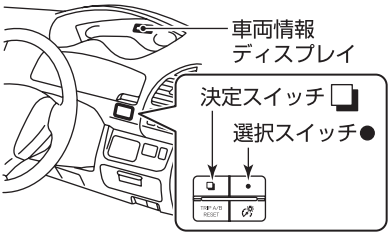
- バッテリーを外すと調節した記憶は消去されます。

ドライブコンピューター

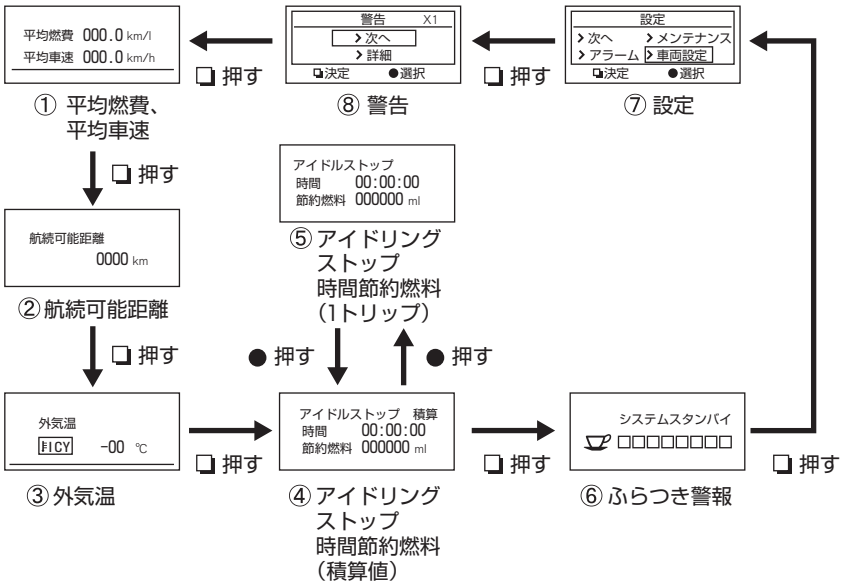
車両情報ディスプレイに表示されます。

■切り替えかた

●決定スイッチ❑を押すごとに表示が切り替わります。



ZPA0843



ZPA1125

アドバイス

- ●アイドリングストップ無車は、④アイドリングストップ時間節約燃料（積算値）、⑤アイドリングストップ時間節約燃料（1トリップ）を表示しません。
- ●ふらつき警報無車は、⑥ふらつき警報を表示しません。
- ●③外気温のあとは、④アイドリングストップ時間節約燃料（積算値）、⑤アイドリングストップ時間節約燃料（1トリップ）のうち、前回選択した画面の方を先に表示します。
- ●⑧警告の表示は、警告している内容の有り無しによって表示が一部異なります。

■表示について

アドバイス

●表示される数値は、走行状況などにより実際の数値と異なる場合があります。

①平均燃費、平均車速

●リセットしてから次にリセットするまでの平均燃費を表示します。

●選択スイッチ●を約1～3秒間押すと、ドライブコンピューターの平均燃費と瞬間燃費計（平均燃費表示機能付）の平均燃費がリセットされます。3秒以上押すと、平均燃費、平均車速、アイドリングストップ時間節約燃料がリセットされます。

瞬間燃費計（平均燃費表示機能付）
…P.104

アドバイス

●バッテリー接続後やリセット後は「---」と表示します。

●数値は約30秒ごとに更新します。

②航続可能距離

●現在の燃料残量と平均燃費から航続可能な距離を表示します。

●燃料残量警告（P.115）が表示されると、航続可能距離の距離表示が点滅します。

●燃料残量警告表示後も燃料を補給しないと「----」と表示します。

アドバイス

●数値は約30秒ごとに算出しています。

③外気温

●外気温を表示します。

アドバイス

●次の場合には、正しく外気温が表示されないことがあります。
・外気温が－30℃以下、又は55℃以上のとき
・停車又は低速走行（約20km/h以下）しているとき

●外気温が3℃以下になると「ICY」と表示します。

④アイドリングストップ時間節約燃料（積算値）★

●リセットしてから次にリセットするまでのアイドリングストップしている時間と節約燃料の量を表示します。

●リセットするときは、選択スイッチ●を約1～3秒間押します。3秒以上押すと、平均燃費、平均車速、アイドリングストップ時間節約燃料（1トリップ）もリセットされます。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

⑤アイドリングストップ時間節約燃料（1トリップ）★

- 電源ポジションをONにするごとのアイドリングストップしている時間と節約燃料の量を表示します。
- リセットするときは、選択スイッチ● を約1～3秒間押します。3秒以上押すと、平均燃費、平均車速、アイドリングストップ時間節約燃料（積算値）もリセットされます。

⑥ふらつき警報★

- 走行中、ハンドルの動きを検出して表示します。

アドバイス

- 時速約60km/h以上で走行中に作動します。

ふらつき警報…P.184

⑦設定

メンテナンス、アラーム、車両設定を設定することができます。

アドバイス

- 以下の場合は、設定することができません。
  - ・走行しているとき。
  - ・携帯リモコン表示・警告を表示しているとき。
  - ・イルミネーションコントロールレベルを表示しているとき。

メンテナンス

各種交換時期の設定ができます。

- 設定した距離を超えると、以下の表示で知らせます。

エンジンオイル



ZPA0075

タイヤ



ZPA0077

オイルフィルタ



ZPA0076

その他の部品



ZPA0078

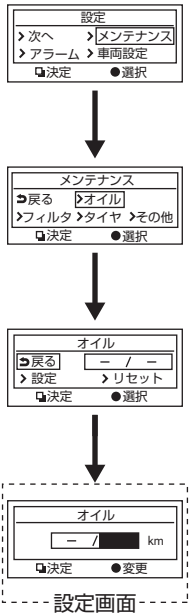
★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

アドバイス

- 走行距離を元にお知らせしているもので、実際の車両状態を示したものではありません。目安としてお使いください。
- 「その他」には、お好みの部品の交換時期を設定してください。

〈設定のしかた〉

- 選択スイッチ●で項目を選び、決定スイッチ❑で決定して各設定画面にしたり、リセットしたりします。



ZPA1126

例：エンジンオイルの設定の場合

〈距離の設定〉

- 最大30,000kmまで設定できます。
- 各設定画面で選択スイッチ●を押して距離を切り替えます。
  短く押す：
  500km単位で切り替わる
  長く（約1秒以上）押す：
  1,000km単位で切り替わる
- 設定しないときは、「－」にします。

〈距離のリセット〉

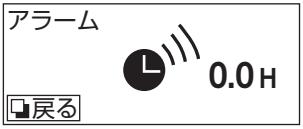
- 走行した距離をリセットできます。
- 各メンテナンス項目画面のリセットを選択し、決定スイッチ❑で決定します。

アラーム

走行時間の表示を設定できます。

●走行時間

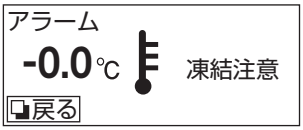
・設定した時間まで連続走行したことを知らせます。



ZPA0072

●凍結注意

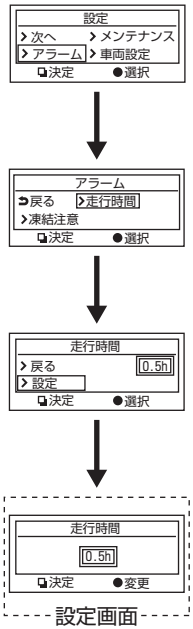
・外気温が3℃以下になったことをお知らせします。



ZPA1127

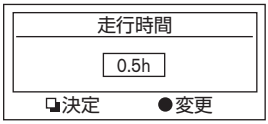
設定のしかた

●選択スイッチ●で項目を選び、決定スイッチ❑で決定して各設定画面にします。



ZPA1128

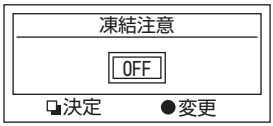
〈走行時間の設定〉



ZPA0668

- 最大6時間まで設定できます。
- 走行時間設定画面で選択スイッチ●を押して時間を切り替えます。
  短く押す：
  0.5h（30分）単位で切り替わる
  長く（約1秒以上）押す：
  1.0h（60分）単位で切り替わる
- 設定しないときは、「－」にします。

〈凍結注意表示の設定〉



ZPA1129

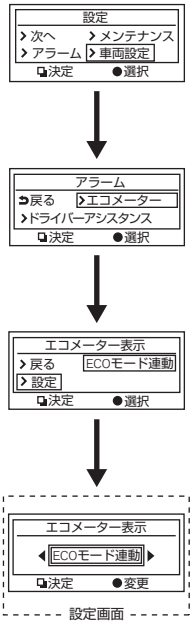
- 凍結注意の設定画面で選択スイッチ●を押してON／OFFを切り替えます。
  ON ：アラーム設定
  OFF：アラーム解除

車両設定

ECOメーターの表示、ドライバーアシスタンスを設定することができます。

〈ECOメーター表示〉
設定のしかた

- 選択スイッチ●で項目を選び、決定スイッチ❑で決定して各設定画面にします。

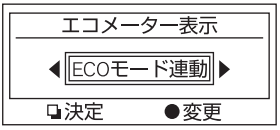


ZPA1130

例：ECOモード連動の設定の場合

ECOメーター…P.103

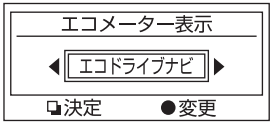
〈ECOモード連動の設定〉



ZPA0848

●ECOモードスイッチ（P.166）がONのときはエコドライブナビゲーター（P.103）を表示し、ECOモードスイッチがOFFのときは瞬間燃費、平均燃費（P.104）を表示します。

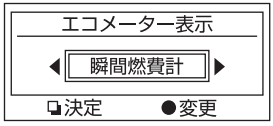
〈エコドライブナビゲーターの設定〉



ZPA0849

●ECOモードスイッチ（P.166）のON／OFFに関わらず、常にエコドライブナビゲーター（P.103）を表示します。

〈瞬間燃費計（平均燃費表示機能付）の設定〉

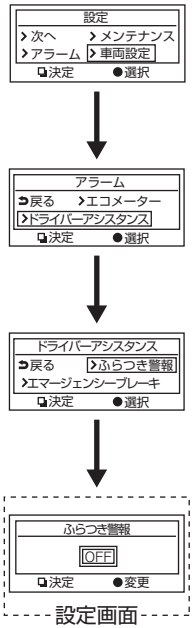


ZPA0850

●ECOモードスイッチ（P.166）のON／OFFに関わらず、常に瞬間燃費、平均燃費（P.104）を表示します。

〈ドライバーアシスタンス★〉
設定のしかた

●選択スイッチ●で項目を選び、決定スイッチ❑で決定して各設定画面にします。



ZPA1132

例：ふらつき警報設定の場合

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

〈ふらつき警報の設定★〉



ZPA1134

●ふらつき警報（P.184）のON、OFFを設定します。

〈エマージェンシーブレーキの設定★〉



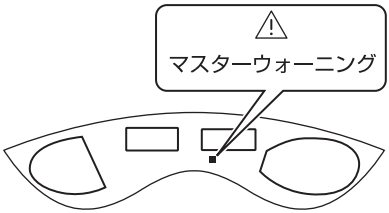
ZPA1135

●エマージェンシーブレーキ（P.180）のON、OFFを設定します。
●OFFにすると、エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯（P.135）が点灯します。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

⑧警告

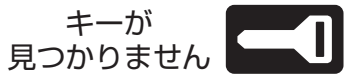
●以下の内容を検知するとマスターウォーニング（P.134）が点灯し、警告を表示します。
●警告が表示されたときは、すみやかに適切な処置をしてください。放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。



ZPA0851

●警告表示中に決定スイッチ❑を押すと、元の表示に戻す（また、処置されていない警告を確認する）ことができます。

携帯リモコン持ち出し警告



ZPA0722

●電源ポジションがONのとき、携帯リモコンが車外へ持ち出されると表示します。

アドバイス
●携帯リモコンが車外へ持ち出されていないか確認してください。
●電源ポジションをOFF又はLOCKにしてください。
●次の場合に表示が消えます。
・携帯リモコンが車内に戻ってきたとき

ドア、バックドア開き警告



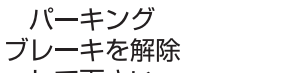
ZPA0852

●ドア又はバックドアが確実に閉まっていないとき、開いている位置を表示します。

⚠注意
●走行前に表示が消えていることを確認してください。ドア、バックドアが完全に閉まっていない（半ドア）と走行中に突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス
●ドアやバックドアを確実に閉めてください。

パーキングブレーキ戻し忘れ警告



ZPA0853

●パーキングブレーキ（P.154）を戻し忘れたまま走行すると（約7km/h以上）、表示します。

アドバイス

●すみやかにパーキングブレーキを解除してください。
●低速走行時には表示されない場合があります。走行するときは必ずパーキングブレーキを解除してください。

燃料残量警告



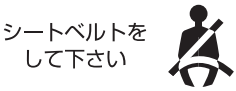
ZPA0084

●燃料が少なくなると表示します。残っている燃料で航続可能な距離を表示します。

アドバイス

●すみやかに指定の燃料を補給してください。
●燃料の残量が約13ℓで表示します。
●車両姿勢、走行状況によっては、燃料がタンク内で移動するため、警告が表示されるタイミングが変わる場合があります。

シートベルトリマインダー



ZPA0854

●電源ポジションがONのとき、運転者がシートベルトを着用していない状態で走行すると（約15km/h以上）、表示します。

⚠警告

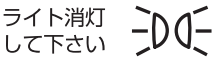
●走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。

アドバイス

●走行前にメーター内のシートベルト警告灯が消灯していることを確認してください。

シートベルト警告灯…P.131

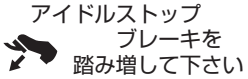
ライト消し忘れ警告



ZPA0855

●ライトを点灯したまま、電源ポジションをOFF又はLOCKにして運転席ドアを開けると、表示します。
●ライトスイッチがAUTO位置かつフォグランプ★がONで電源ポジションをOFFにすると、表示します。

アイドリングストップメッセージ★



ZPA1139

●車両停止時に、ブレーキペダルの踏み込みが少ないことにより、アイドリングストップしないときに表示します。

アドバイス

●アイドリングストップを作動させたいときはブレーキを踏み増してください。
●次の場合にインジケーターは消灯します。
・アイドリングストップが作動したとき
・運転を開始したとき

アイドリングストップ…P.166

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

LEDヘッドランプシステム異常警告★

ヘッドランプシステム異常
説明書を見て下さい

ZPA1136

●LEDヘッドランプシステムに異常があると表示します。

アドバイス

●すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

ふらつき警報システム故障警告★

システム故障 

ZPA1137

●ふらつき警報システムに異常があると表示します。

アドバイス

●安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
●再始動後も表示が出続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、スズキサービス工場で点検を受けてください。

ふらつき警報…P.184

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

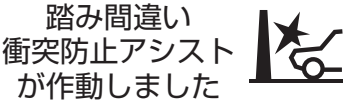
エマージェンシーブレーキ作動警告★



ZPA1138

●追突の危険性が高まったときに点滅します。
エマージェンシーブレーキ…P.180

踏み間違い衝突防止アシスト作動警告★



ZPA1006

●踏み間違い衝突防止アシストが作動すると、表示します。
（低速衝突軽減ブレーキ機能（P.191）が作動したときは表示しません。）

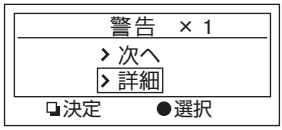
アドバイス

●車速約15km/h未満で進行方向に壁などの障害物を検知している場合に、アクセルペダルが素早く深く踏み込まれたとシステムが判断したときに作動します。

踏み間違い衝突防止アシスト…P.186

〈警告の確認のしかた〉

●選択スイッチ●で「詳細」を選び、決定スイッチ❑で決定します。



ZPA0085

●警告が複数ある場合は、決定スイッチ❑を押して表示を切り替えます。

アドバイス

●表示する警告がない場合は、上記画面は表示されません。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

携帯リモコン表示・警告

●警告を表示したときは、同時に警報ブザーが鳴ります。
キーレスプッシュスタートシステムの警報について…P.136

■エンジン始動操作表示



ESG0226Z

●ブレーキペダルを踏みながらエンジンを始動することを表示します。

アドバイス

●ブレーキペダルを踏みながら、エンジンスイッチを押してください。
●次の場合に表示が消えます。
・エンジンを始動したとき。
・電源ポジションをOFFにしてから約15秒経過したとき。
・キーレスエントリー機能、又はリクエストスイッチでドアを施錠したとき。
・セレクトレバーがP以外になったとき。

■ステアリングロック未解除表示



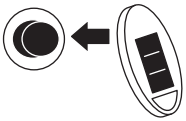
ESG0227Z

●ステアリングロックを解除できないときに表示します。

アドバイス

●ハンドルを軽く左右に回しながらエンジンスイッチを押してください。
●次の場合に表示が消えます。
・ステアリングロックを解除したとき。
・表示から約15秒経過したとき。

■携帯リモコン非作動時エンジン始動表示



ZPA0489

●携帯リモコンの電池が切れたときや、使用環境により、携帯リモコンと車両の通信が正常に行われないときに表示します。

アドバイス

●ブレーキを踏みながら、携帯リモコンの裏面をエンジンスイッチに接触させてください。(P.153)

■携帯リモコン電池切れ表示



ZPA0118

●携帯リモコンの電池切れが近くなると電池の交換を知らせます。

アドバイス

●新しい電池に交換してください。(P.32)

●次の場合に表示が消えます。

・表示から約30秒経過したとき。

・電源ポジションをON以外にしたとき。

■携帯リモコン持ち出し警告



ZPA0723

●電源ポジションがAccのとき、携帯リモコンが車外へ持ち出されると表示します。

アドバイス

●携帯リモコンが車外へ持ち出されていないか確認してください。
●電源ポジションをOFF又はLOCKにしてください。
●次の場合に表示が消えます。
・携帯リモコンが車内に戻ってきたとき。

●携帯リモコンを携帯していないときに表示します。

アドバイス

●携帯リモコンを携帯してください。

●携帯している携帯リモコンの電池が切れているときに表示します。

アドバイス

●新しい電池に交換してください。（P.32）

●登録されていない携帯リモコンを携帯しているときに表示します。

アドバイス

●自車の携帯リモコンであることを確認してください。
●表示から約5秒経過すると表示が消えます。

■P戻し忘れ警告



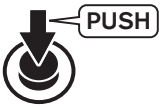
ESG0233Z

●セレクトレバーがP以外のとき、電源ポジションをONからOFFにすると表示します。
●セレクトレバーがP以外にあることをお知らせします。

アドバイス

●セレクトレバーをPにしてください。
●次の場合に表示が消えます。
・セレクトレバーをPにしたとき。
・電源ポジションをONにしたとき。

■電源ポジションOFF忘れ警告



ESG0234Z

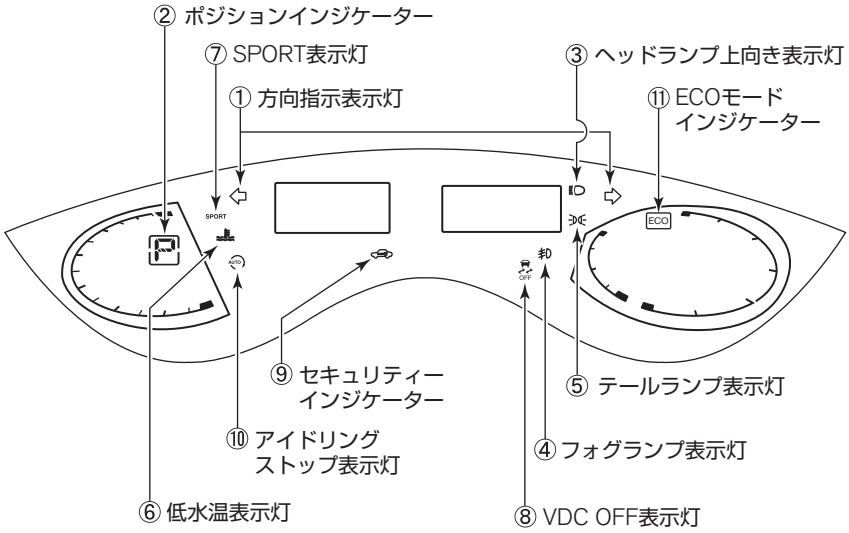
●電源ポジションがAccでP戻し忘れ警告の表示中に、セレクトレバーを操作してPにしたときに表示します。
●上記を操作後、エンジンスイッチを押して電源ポジションをONにしたときに表示します。

アドバイス

●電源ポジションをOFFにしてください。
●次の場合に表示が消えます。
・電源ポジションをOFFにしたとき。
・エンジンを始動したとき。
・セレクトレバーをP以外にしたとき。

表示灯

メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。
電源ポジションをONにすると表示します。



ZPA1140

①方向指示表示灯



TCA0087Z

方向指示器又は非常点滅表示灯を作動させると点滅します。

アドバイス

- 方向指示器のランプの電球が切れたときは点滅が速くなります。電球を交換してください。
  電球（バルブ）を交換するときは…P.301

方向指示器スイッチ…P.145
非常点滅表示灯スイッチ…P.145

②ポジションインジケーター



ESH0941Z

セレクトレバーのセット位置を表示します。

セレクトレバーの使いかた…P.155

③ヘッドランプ上向き表示灯



TCA0089Z

ヘッドランプの上向きを点灯させると点灯します。

ヘッドランプの上向き、下向き切り替え…P.144

④フォグランプ表示灯★



ESD0132Z

フォグランプを点灯させると点灯します。

フォグランプの点灯・消灯…P.144

⑤テールランプ表示灯



TCC0014Z

車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。

ライトの点灯・消灯…P.142

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

⑥低水温表示灯（緑色表示）



ESC0041Z

エンジン冷却水の温度が低いと点灯します。

アドバイス

- しばらく走行したあとも点灯し続けるときは、水温センサーの異常が考えられます。すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

赤色が点灯し続けるときは、高水温警告灯（赤色表示）…P.132をお読みください。

⑦SPORT表示灯



TSA2077Z

電源ポジションをONにすると、約2秒間点灯後、消灯します。

- セレクトレバーがDのとき、スポーツモードスイッチをONにすると点灯します。

スポーツモードスイッチの使いかた…P.156

⑧VDC OFF表示灯



ZPA0492

VDC OFFスイッチを押すと点灯します。

VDC…P.163

⑨セキュリティーインジケーター



TSC1941Z

電源ポジションがON以外のときに点滅します。

アドバイス

- 電源ポジションをONにしたあとも点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

イモビライザー（盗難防止装置）…P.37

⑩アイドリングストップ表示灯★



ZPA0581

アイドリングストップが可能な状態と、アイドリングストップ中に点灯します。

- アイドリングストップ中に、運転席ドアが開いたときや、エンジンフードが開いたときに、速く点滅します。
- アイドリングストップの異常のときに、遅く点滅します。
- アイドリングストップOFFスイッチをONにすると消灯します。

アドバイス

速い点滅をしたとき
(約1秒間に2回)

- 運転席ドアが開いていないか確認してください。
- エンジンフードが開いていないか確認してください。エンジンフードが開いていると、通常のエンジン停止状態となります。その場合はエンジンをかけ直してください。

遅い点滅をしたとき
(約2秒間に1回)

すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

- 停車前にアイドリングストップ表示灯が点灯していても、坂道やハンドル操作などにより、アイドリングストップしないことがあります。

アイドリングストップ警告ブザー…P.141
アイドリングストップ…P.166

⑪ECOモードインジケーター



ZPA0493

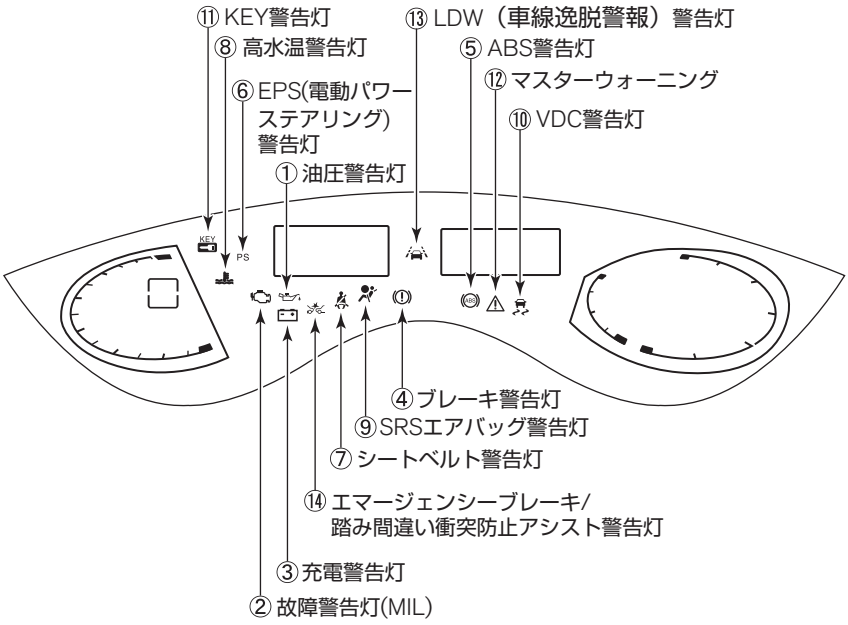
- ECOモードスイッチをONにすると点灯します。

ECOモード…P.166

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

警告灯

警告灯が点灯又は点滅したときは、すみやかに適切な処置をしてください。
放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。
電源ポジションをONにすると表示します。



ZPA1141

①油圧警告灯



TCA0097Z

電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

- エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。

⚠注意

- **点灯したまま走行しないでください。エンジンを破損するおそれがあります。**

アドバイス

- 点灯したときは、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、スズキ販売店またはスズキ代理店に連絡してください。

②故障警告灯（MIL）



TCA0098Z

電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

- エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯又は点滅します。

アドバイス

- 点灯又は点滅したときは、ただちにスズキ販売店またはスズキ代理店に連絡してください。

③充電警告灯



TCA0099Z

電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

- エンジン回転中、バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。

⚠注意

- **点灯したまま走行しないでください。バッテリーが破損したり、エンジンが突然停止し、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

アドバイス

- 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車して、スズキ販売店またはスズキ代理店に連絡してください。

④ブレーキ警告灯



TCE0049Z

パーキングブレーキを解除しているとき、電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

●電源ポジションがONで、次のような場合に点灯します。
・パーキングブレーキをかけたとき。

⚠注意

●パーキングブレーキの解除のし忘れに注意してください。パーキングブレーキをかけたまま走行すると、パーキングブレーキ戻し忘れ警告（P.115）が表示され、パーキングブレーキ戻し忘れ警報（P.140）が鳴ります。

アドバイス

●走行中はパーキングブレーキを解除してください。

・ブレーキ液が不足しているとき。（エンジン始動後でパーキングブレーキを解除しているとき。）

アドバイス

●パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、ただちに安全な場所に停車して、スズキ販売店またはスズキ代理店に連絡してください。この場合はブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。

・ABSのシステムに異常があるとき。（パーキングブレーキを解除し、ブレーキ液量が正常でABS警告灯と同時に点灯したとき。）

⚠警告

●パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、点灯したまま走行しないでください。また、ブレーキ液が規定量以下になっていたら走行しないでください。ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

●エンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

⑤ABS警告灯



TSA1106Z

電源ポジションをONにすると数秒間点灯後、消灯します。

- 電源ポジションがONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯します。

アドバイス

- 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、又はエンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。
- 点灯したときはABSは作動しませんが、ABSのない普通のブレーキ性能は確保されています。この場合は、滑りやすい路面でのブレーキ時や急ブレーキ時にタイヤがロックすることがあります。

ABS…P.199

⑥EPS（電動パワーステアリング）警告灯



TSA2076Z

電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

- 電源ポジションがONのとき、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。

アドバイス

- 点灯したときは、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。
- 停車中又は極低速走行中にハンドル操作を繰り返したり、ハンドルに力をかけた状態を長く続けると、電動パワーステアリングシステムの過熱を防ぐためにシステムの働きを制限します。
  そのためハンドル操作力が重くなりますが、異常ではありません。
  しばらくハンドル操作を控えると、電動パワーステアリングシステムの温度が下がり、通常のハンドル操作力に戻ります。
- 電動パワーステアリングシステムが過熱するようなハンドル操作を繰り返すと、電動パワーステアリングシステムが故障する原因となります。
- 点灯しているときは、電動パワーステアリングは作動しませんが、マニュアルステアリングの性能は確保されています。この場合は、ハンドル操作力が重くなります。
- すばやいハンドル操作を行うと、ハンドル付近から擦れるような音が聞こえてくることがありますが、異常ではありません。

⑦シートベルト警告灯



TCH0012Z

電源ポジションがONのとき、運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。

⚠警告

●走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。

アドバイス

- 点灯したときはシートベルトを着用してください。
- 点灯したまま走行すると、シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）（P.141）が鳴ります。

⑧高水温警告灯（赤色表示）



ESC0041Z

電源ポジションをONにすると約2秒間点灯後、消灯します。

●エンジン回転中、エンジン冷却水の温度が異常に高くなったとき点灯します。

⚠警告

●そのまま走行を続けると、エンジンが故障する原因となり、火災につながるおそれがあります。

アドバイス

●点灯したときは、ただちに安全な場所に停車して処置してください。

オーバーヒートしたときは…P.298

⑨SRSエアバッグ警告灯



TCA0335Z

電源ポジションをONにすると約7秒間点灯後、消灯します。

●電源ポジションがONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯又は点滅を続けます。

⚠警告

●電源ポジションをONにしても点灯しないときや、点灯、点滅を続けるときは、放置したまま走行しないでください。万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

アドバイス

●電源ポジションをONにしても点灯しないとき、又は約7秒間たっても点灯、点滅を続けるときは、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

SRSエアバッグ…P.94
前席フォースリミッター付プリテンショナーシートベルト…P.87

⑩VDC警告灯



ESH0408Z

電源ポジションをONにすると数秒間点灯後、消灯します。

- VDC作動中に点滅します。
- 電源ポジションがONのとき、VDCのシステムに異常があると点灯します。

アドバイス

- 点灯したときは、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。
- 点灯したときはVDCの作動は停止しますが、VDCのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

VDC…P.163

⑪KEY警告灯



ZPA0606

電源ポジションをONにすると約2秒間点灯後、消灯します。

- ステアリングロックや携帯リモコンのシステムに異常があると点灯します。

アドバイス

- 点灯したときはスズキ販売店またはスズキ代理店に連絡してください。エンジンがかからないことや電源ポジションがLOCKから動かないことがあります。

キーレスプッシュスタートシステム…P.29

⑫マスターウォーニング



ESG0221Z

●車両情報ディスプレイに警告が表示されると点灯します。

アドバイス

●点灯したときは車両情報ディスプレイの警告表示を確認して、適切な処置をしてください。
●警告された要因が処置されると消灯します。
●車両情報ディスプレイの表示を切り替えても、警告された要因を処置しないとマスターウォーニングは消灯しません。

車両情報ディスプレイ（警告）…P.114

⑬LDW（車線逸脱警報）警告灯★



ZPA0359

●右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、点滅します。
●LDW（車線逸脱警報）に異常があると、点灯します。

LDW（車線逸脱警報）…P.172

アドバイス

●点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。エンジン再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、スズキサービス工場で点検を受けてください。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

⑭エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯★



ZPA1142

- 正常なときは、電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。
- 次の場合に点灯します。
  - ・エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストスイッチをOFFにしているとき（踏み間違い衝突防止アシスト付車）
  - ・メーター内のディスプレイで、エマージェンシーブレーキをOFFにしているとき（踏み間違い衝突防止アシスト無車）
  - ・VDCをOFFにしているとき
  - ・エマージェンシーブレーキまたは踏み間違い衝突防止アシストのシステムに異常が発生しているとき
- 次の場合に点滅します。
  - ・フロントガラスの汚れなどにより、カメラが前方を認識できなくなったとき
  - ・前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき
  - ・炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき

アドバイス

- 点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。エンジン再始動後も点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、スズキサービス工場で点検を受けてください。
- フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。

踏み間違い衝突防止アシスト付車

- ・エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストスイッチをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。

踏み間違い衝突防止アシスト無車

- ・メーター内のディスプレイでエマージェンシーブレーキをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。

- VDCをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。
- 室内の温度が高いときなどは、温度が下がると自動的に作動を復帰します。

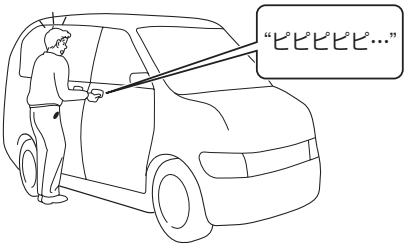
エマージェンシーブレーキ…P.180
エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストスイッチ（踏み間違い衝突防止アシスト付車）…P.182、188
エマージェンシーブレーキの設定（踏み間違い衝突防止アシスト無車）…P.113
VDC OFFスイッチの使いかた…P.164

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

キーレスプッシュスタートシステムの警報について

キーレスプッシュスタートシステムでは、誤操作などによる予期せぬ車両の動き出しや、車両盗難などを防ぐため、車内外で警報ブザーを鳴らします。

●警報ブザーが鳴ったときは、必ず車両及び携帯リモコンの確認を行ってください。



ESF0122Z

アドバイス

●警報と同時に車両情報ディスプレイに携帯リモコン表示・警告（P.119）を表示する場合があります。

■ドア開閉時の警報

ドアを閉めたときに、車外警報ブザーが“ピッピッピッ”と鳴ったとき

ドアを閉めたときに、車内警報ブザーが“ピピッピピッピピッ”と鳴ったとき

●電源ポジションがAcc又はONのまま、携帯リモコンが車外へ持ち出されていませんか？
⇒携帯リモコンを車内に戻してください。
⇒電源ポジションをOFF又はLOCKにしてください。

アドバイス

●携帯リモコンがインストルメントパネル上、グローブボックス内、ドアポケット内、ラゲッジルーム内などにあると警報ブザーが作動することがあります。

ドアを閉めたときに、車外警報ブザーが“ピー”と鳴り続けたとき

●セレクトレバーがP以外に入っているときに、携帯リモコンが車外へ持ち出されていませんか？
⇒セレクトレバーをPにしてから携帯リモコンを持ち出してください。

アドバイス
●車外警報ブザーはセレクトレバーをPに戻すと停止します。

運転席ドアを開けたときに、車内警報ブザーが“ピピピピッ、ピピピピッ…”と鳴ったとき

●電源ポジションがLOCKになっていますか？
⇒電源ポジションをLOCKにしてください。

アドバイス
●車内警報ブザーは下記のいずれかの操作を行うと停止します。
・電源ポジションをLOCKにする。
・運転席ドアを閉める。

ドアを閉めたときに、車外警報ブザーが“ピピピピ･･･”と鳴ったとき

●無意識にリクエストスイッチを押していませんか？
⇒リクエストスイッチに触れないようにして ドアを閉めてください。

■ドア施錠時の警報

リクエストスイッチを押したときに、車外警報ブザーが“ピピピピ…”と鳴ったとき

●電源ポジションがOFF又はLOCKになっていますか？
⇒電源ポジションをOFF又はLOCKにしてください。

●携帯リモコンを車内又はラゲッジルーム内に置き忘れていませんか？
⇒携帯リモコンを取り出してください。

●いずれかのドアが半ドアになっていませんか？
⇒ドアを閉め直してください。

●ドアを閉める前にリクエストスイッチを押していませんか？
⇒ドアを閉めてからリクエストスイッチを押してください。

アドバイス

●警報ブザーが鳴ったときは、施錠されていません。原因を確認し、再度施錠してください。
●次の場合に携帯リモコンのドア施錠スイッチを押しても警報ブザーが作動します。
・いずれかのドアが半ドアのとき。
・ドアを閉める前にドア施錠スイッチを押したとき。

■エンジンスイッチを押したときの警報

車内警報ブザーが“ピピピピピピッ”と鳴ったとき

●セレクトレバーがPになっていますか？
⇒セレクトレバーをPにしてください。

車内警報ブザーが“ピピッピピッピピッ”と鳴ったとき

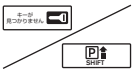
●携帯リモコンを携帯していますか？
⇒携帯リモコンを携帯してください。
⇒携帯している場合は、電池を交換（P.32）してください。

■セレクトレバーをPにしたとき

車内警報ブザーが“ピピピピピピッ”と鳴ったとき

●電源ポジションがOFFになっていますか？
⇒電源ポジションをOFFにしてください。

■警報ブザー音別一覧表

警報ブザー音		車両情報ディスプレイ	何をしたときに鳴ったか？	確認すること
車外警報ブザー	ピピピピ…	−	リクエストスイッチを押したとき	電源ポジションがAcc又はONのままになっていませんか？
		−		携帯リモコンを車内又はラゲッジルーム内に置き忘れていませんか？
		−		いずれかのドアが半ドアになっていませんか？
		−		ドアを閉める前にリクエストスイッチを押していませんか？
		−	携帯リモコンのドア施錠スイッチを押したとき	ドアを閉める前にドア施錠スイッチを押していませんか？
				いずれかのドアが半ドアになっていませんか？
		−	ドアを閉めたとき	無意識にリクエストスイッチを押していませんか？
	ピッピッピッ		ドアを閉めたとき	電源ポジションがAcc又はONのまま、携帯リモコンが車外へ持ち出されていませんか？
	ピー		ドアを閉めたとき	セレクトレバーがPになっていますか？
車内警報ブザー	ピピピピッ、ピピピピッ…		運転席ドアを開けたとき	電源ポジションがAcc又はONのままになっていませんか？
	ピピッピピッピピッ		ドアを閉めたとき	電源ポジションがAcc又はONのまま、携帯リモコンが車外へ持ち出されていませんか？
			エンジンスイッチを押したとき	携帯リモコンを携帯していますか？(※)
	ピピピピピピッ		エンジンスイッチを押したとき	セレクトレバーがPになっていますか？
			セレクトレバーをPにしたとき	電源ポジションがAcc又はONのままになっていませんか？

※：携帯リモコンを携帯していても警報ブザーが鳴るときは、携帯リモコンの電池を交換してください。(P.32)

警報装置

キーレスプッシュスタートシステムの警報については、P.136をお読みください。

■ブレーキパッド摩耗警報

ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗すると、走行中にブレーキ付近から金属音（キーキー音）が発生します。

●金属音が発生したときは、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

⚠注意

●金属音が発生したまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。

■ライト消し忘れ警告ブザー

ライトを点灯したまま、電源ポジションをAcc、OFF又はLOCKにして運転席ドアを開けると、ブザーが鳴ります。

ライトスイッチ…P.142

■リバースブザー

電源ポジションがONのとき、セレクトレバーをRにすると、車内でブザーが鳴ります。

アドバイス

●ブザーを鳴らして、セレクトレバーがRに入っていることを運転者に知らせます。車外の人に対する警報ではありません。

■パーキングブレーキ戻し忘れ警報

パーキングブレーキを戻し忘れたまま走行すると（約7km/h以上）、ブザーが鳴ります。

●すみやかにパーキングブレーキを解除してください。

⚠警告

●パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

パーキングブレーキ…P.154

■シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）

運転者がシートベルトを着用していない状態で走行すると（約15km/h以上）、約90秒間ブザーが鳴ります。

⚠警告

●走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。

アドバイス

●走行前にメーター内のシートベルト警告灯（P.131）が消灯していることを確認してください。

■アイドリングストップ警告ブザー★

アイドリングストップ中に運転席ドアが開いたときや、エンジンフードが開いたときにブザーが鳴ります。

アドバイス

●運転席ドアが開いていないか確認してください。
●エンジンフードが開いていないか確認してください。エンジンフードが開いていると、通常のエンジン停止状態となります。その場合はエンジンをかけ直してください。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

スイッチの使いかた

ライトスイッチ

アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。
- ライトを点灯したままエンジンを止めて運転席ドアを開けると、ライト消し忘れ警告ブザー（P.140）が鳴ります。

バッテリーセーバー

- ライトを点灯したままエンジンを止め、リモコン又はリクエストスイッチで施錠するとバッテリーあがりを防止するためライトが消灯します。（次回運転席ドアを開けるとライトが再点灯します。）

- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。

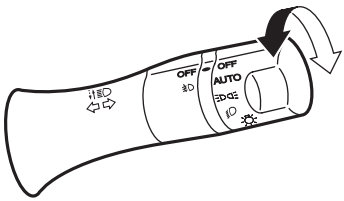
ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる…P.24

ヘッドランプオートレベリング（LEDヘッドランプ付車）

- ヘッドランプが下向き点灯時に乗車人員や荷物量の違いにより車両姿勢が変化すると自動的に照射方向を調整するシステムです。

ライトの点灯・消灯

スイッチを回し、●の位置にマークを合わせると、次のように点灯・消灯します。



ZPA0088

スイッチ位置	ヘッドランプ（前照灯）	車幅灯・尾灯番号灯
OFF	消　灯	消　灯
AUTO	自動点灯・消灯	
 TCA0106Z	消　灯	点　灯
 ECD0021Z	点　灯	点　灯

オートライトシステムの使いかた…P.143

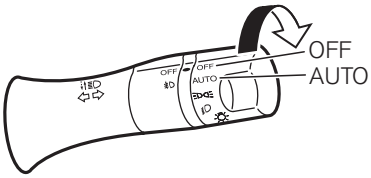
オートライトシステムの使いかた

■オートライトシステムについて

本車両のオートライトは、車外の明るさに応じてライトを自動的に点灯・消灯させるシステムです。

■使いかた

電源ポジションがONのときに使えます。



ZPA0090

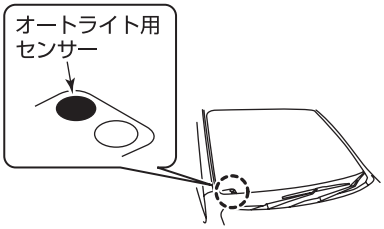
●スイッチを回し、●の位置にマーク（AUTO）を合わせると、次のように点灯・消灯します。

ワイパー / 車外	作動中	停止
明るいとき	点灯	消灯
薄暗いとき	点灯	点灯
暗いとき	点灯	点灯

●電源ポジションをOFFにすると消灯します。

アドバイス

●センサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。



ZPA0858

●ワイパー作動時は、ワイパーが数回作動すると点灯します。

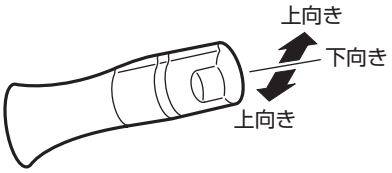
●オートライトの感度を調整したい場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店へご相談ください。

フロントワイパー連動・薄暮れ感知機能

●夜間やトンネルなどの走行時に加え、歩行者事故等が多く発生している夕暮れ時や雨天でのフロントワイパー作動時もライトを点灯させることにより、自車両を目立たせ、周囲の歩行者やドライバーへの注意を喚起します。

ヘッドランプの上向き、下向き切り替え

- ヘッドランプ点灯時、スイッチを車両前方に押すと上向き（ハイビーム）になります。
  （メーター内の表示灯が点灯）
- スイッチを元の位置に戻すと下向き（ロービーム）になります。
- ライトスイッチの位置に関係なく、スイッチを手前に引いている間も、ヘッドランプの上向きが点灯します。



ZPA0092

アドバイス

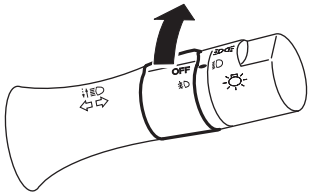
- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。

ヘッドランプ上向き表示灯…P.124

フォグランプの点灯・消灯★

ライトが点灯しているときに使えます。
霧などで視界が悪いときに使います。

- スイッチの マークを●の位置に合わせると点灯します。
  （メーター内の表示灯が点灯）
- 消灯するときは、OFFに合わせます。
  （メーター内の表示灯が消灯）



ZPA0093

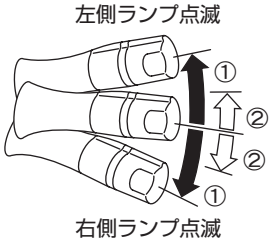
ライトの点灯・消灯…P.142

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

方向指示器スイッチ

電源ポジションがONのとき使えます。

- スイッチを①の位置まで上又は下に動かすと、方向指示器のランプが点滅します。
  （メーター内の表示灯が点滅）
- 車線変更などのときには、スイッチを②の位置まで上又は下に軽く押さえます。
  スイッチを押さえている間は点滅し、手を離すと消灯します。



ZPA0094

アドバイス

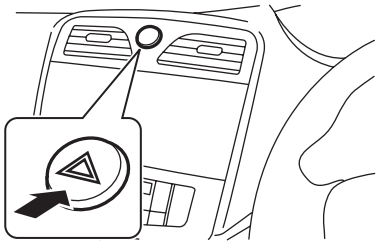
- 方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯の点滅が速くなったときは、方向指示器のランプの電球切れなどのおそれがあります。電球を交換してください。
  電球（バルブ）を交換するときは…P.301

方向指示表示灯…P.123

非常点滅表示灯スイッチ

故障などでやむを得ず路上駐車するときや、非常時に使います。

- スイッチを押すと、すべての方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯（P.123）が点滅します。
- 止めるときは、スイッチを押し戻します。



ZPA0907

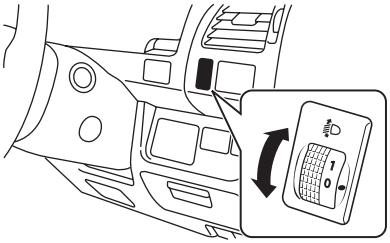
アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

ヘッドランプレベリングスイッチ★

ハロゲンヘッドランプ付車はヘッドランプが下向き点灯時に、照らす向きを調整します。

- 通常、スイッチは0の位置にします。
- スイッチを回し、数字が大きくなるほど、照らす向きが下側になります。



ZPA0860

スイッチ位置の目安

乗　員	ラゲッジルームの積載状況	スイッチ位置
運転席のみ フロントシート2名	積載なし	0
フロントシート2名+サードシート3名	積載なし	1
8名	積載なし	2
	満　載	2
運転席のみ	満　載	3

アドバイス

- 乗車人員や荷物量の違いにより、ヘッドランプが上側を照らすときや、アップダウンの多い山道などで、前を走行する車のミラーや対向車のフロントガラスを照らすようなときは、照らす向きを下側に調整してください。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

ワイパー・ウオッシャースイッチ

電源ポジションがONのとき使えます。

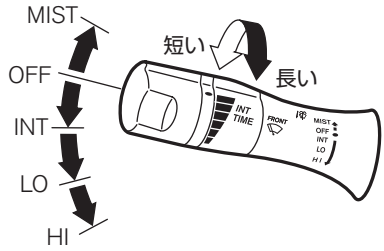
■ワイパーの使いかた

アドバイス

- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。
- ワイパーアームを起こすときは、運転席側のワイパーアームを先に起こしてください。
- ワイパー作動中、雪などの障害物によりワイパーが作動できなくなると、モーター保護のためにワイパーの作動が停止することがあります。その場合は、スイッチをOFFにし障害物を取り除いたあと、モーターが冷えるまで（約1分程度）待ってから、再度スイッチをONにしてください。ワイパーが作動を開始します。
- 凍結などでブレードがガラスに張り付いているときは、作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障するおそれがあります。
- ガラスが乾いているときは、ウオッシャー液を噴射してからワイパーを使ってください。ガラスが乾いた状態でワイパーを使用すると、ガラスやブレード（ゴム部）を傷つけるおそれがあります。

フロントワイパー

- スイッチを下げる（MISTは上げる）と、次のようにワイパーが作動します。
- 止めるときは、OFFの位置に戻します。
- 間けつ作動の間隔を調節するときは、スイッチを回します。



ZPA0097

スイッチ位置	作　動
MIST	1 回 作 動
OFF	停　止
INT	間 け つ 作 動
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動

アドバイス

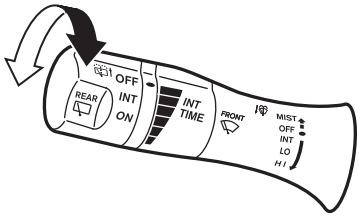
- MISTの位置では、スイッチを押し上げている間ワイパーは作動し、手を離すと自動的にOFF位置に戻り停止します。
- 間けつ作動の間隔は、車速が速くなると短くなる車速感知式です。
- 車速感知機能のON/OFFを切り替えたい場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店へご相談ください。
- ライトスイッチがAUTO位置のときにワイパーが数回作動すると、車外の明るさに関係なくライトが点灯します。

オートライトシステムの使いかた…P.143

リヤワイパー

●スイッチを回し、●の位置にマークを合わせると次のように作動します。

スイッチ位置	作　動
OFF	停　止
INT	間けつ作動
ON	連続作動



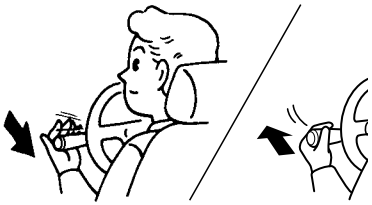
ZPA0098

アドバイス

●フロントワイパー作動中にセレクトレバーをRにすると、リヤワイパーが自動的に1回作動します。

■ウオッシャーの使いかた

●フロント側はスイッチを手前に引くと、リヤ側は車両前方に軽く押すとウオッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。



ECF0054Z

⚠警告

●寒冷時は、ウインドーガラスに吹きつけられたウオッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
ウオッシャー液を噴射する前に、ヒーターを使ってウインドーガラスを温めてください。また、ウオッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にしてください。
○ウオッシャー液の濃度点検…P.252

アドバイス

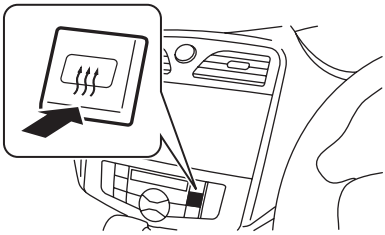
●ウオッシャー液が出ないときは、そのままで30秒以上作動させないでください。
モーターが故障する原因となります。

●ウオッシャー液を補給しても液が出ないときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

リヤウインドーデフォッガースイッチ

電源ポジションがONのとき使えます。
バックドアガラス内側のくもりを取るときに使います。

- スイッチを押すと約15分間作動します。
（スイッチの表示灯が点灯）
- 作動中に止めるときは、スイッチをもう一度押します。
（スイッチの表示灯が消灯）



ZPA0908

アドバイス

- 連続して長時間使用しないでください。消費電力が大きいためバッテリーあがりの原因になります。
- ヒーター付ドアミラー（P.77）付車は、リヤウインドーデフォッガースイッチを押すと、ドアミラーヒーターも同時に作動します。

ホーンスイッチ

- ハンドルのラッパマークがあるパッド面を押すと、ホーンが鳴ります。



ZPA0862

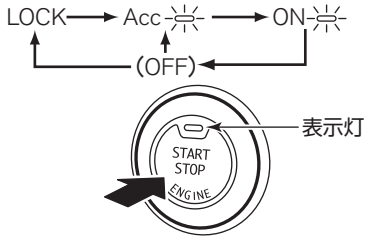
運転のしかた

エンジンスイッチ

■電源ポジションの切り替えかた

携帯リモコンを携帯しているとき、ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押すと電源ポジションが切り替わります。

●電源ポジションがOFFのとき、いずれかのドアを開けるか、又は閉めるとLOCKに切り替わります。



ZPA0167

電源ポジション	働　き
LOCK	ステアリングロックが作動する位置
Acc	オーディオ、ドアミラーなどが使える位置
ON	すべての電装品が使える位置
（OFF）※消灯	電源が切れる位置

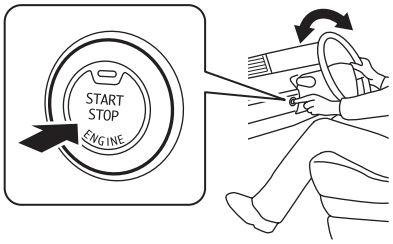
アドバイス

●バッテリーあがりを防止するため、以下の条件がそろった状態で約60分経過すると自動的に電源がOFFになります。
・電源ポジションがAccのとき。
・全ドアが閉まっているとき。
・セレクトレバーがPのとき。

●エンジンを止めたままオーディオなどを長時間つけておいたり、電源ポジションをAcc又はONにしたまま長時間放置しないでください。バッテリーがあがり、エンジンの始動やステアリングロックの解除ができなくなります。

●携帯リモコンの電池が切れているときは、電源ポジションを切り替えることができません。対処方法については、以下のページをお読みください。
携帯リモコンが正常に作動しないとき…P.153
電池の交換のしかた…P.32

●エンジンスイッチを押したときに電源ポジションがLOCKから切り替わらないときは、ハンドルを左右に軽く回しながらエンジンスイッチをもう一度押してください。



ZPA0238

エンジンの始動・停止のしかた

■エンジンの始動のしかた

運転するときは、携帯リモコンを運転者が必ず携帯してください。
携帯リモコンが作動範囲内にあるとき、キーを取り出すことなくエンジンの始動ができます。

エンジン始動の作動範囲…P.35

⚠警告

- **換気の悪い車庫や屋内では、暖機運転をしないでください。排気ガスによる一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。**
- **ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。**

⚠注意

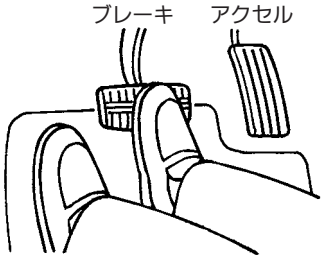
- **エンジンの始動は、必ず運転席に座って行ってください。車外から行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

アドバイス

- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、“カチッ”と音が聞こえることがありますが異常ではありません。

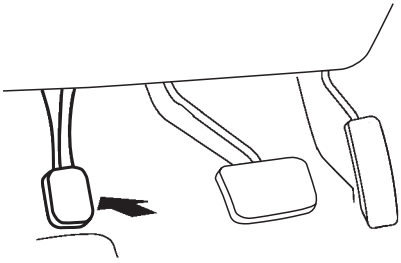
①アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認します。

・正しい運転姿勢（P.61）がとれるようにハンドル、シート位置を調節します。



TCA0579Z

②パーキングブレーキがかかっていることを確認します。



ECF0020Z

③セレクトレバーがPにあることを確認します。

・セレクトレバーがNでも始動できますが、安全のため必ずPで始動してください。

④ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
⑤アクセルペダルを踏まずに、エンジンスイッチを押すとエンジンが始動します。
（一度押しただけでエンジンがかかります。）
・エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを5秒以上押し続けてください。

アドバイス
- 緊急時以外は走行中にエンジンスイッチの操作を行わないでください。（走行中にエンジンスイッチを3連打以上、又は2秒間押し続けるとエンジンが停止します。）
- エンジンの始動を連続して行うと保護機能が作動し、エンジンがかからなくなることがあります。その場合は、3分以上待ってから再度エンジンスイッチを押して始動してください。

エンジンがかかりにくいときは

ブレーキペダルを踏みながら、アクセルペダルをいっぱいに踏み込んでエンジンスイッチを一度押してください。
ブレーキペダル、アクセルペダルは離さず、約5秒後にもう一度エンジンスイッチを押してください。
そのあと、再度① ～ ⑤ の操作をしてください。

■エンジンの停止のしかた

①停車後、セレクトレバーをPにします。
②エンジンスイッチを押します。
・電源ポジションがOFFになり、エンジンが停止します。

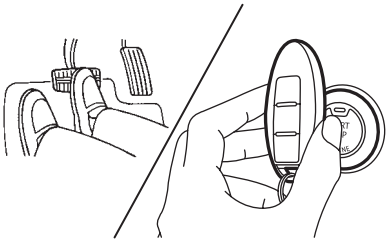
⚠注意
- **車から離れるときは以下のことをお守りください。**
  - **セレクトレバーをPに入れる。**
  - **電源ポジションをLOCKにする。**

アドバイス
- セレクトレバーをPに戻す前にエンジンスイッチを押すとLOCKになりません。（P 戻し忘れ警告（P.122）が表示）
エンジンを停止するときは、必ずセレクトレバーをPにしてからエンジンスイッチを押してください。

■携帯リモコンが正常に作動しないとき

携帯リモコンの電池が切れたときや、使用環境により携帯リモコンと車両の通信が正常に行われないときには、以下の手順でエンジンを始動してください。

①セレクトレバーがPにあることを確認し、ブレーキペダルを踏みます。
②携帯リモコンの裏面を、エンジンスイッチに接触させます。
（ブザーが“ピピッ”と鳴ります。）



ZPA0181

③ブザーが鳴ってから約10秒以内に、ブレーキペダルを踏んだままエンジンスイッチを押すとエンジンが始動します。
・ブレーキペダルから足を離してエンジンスイッチを押すと、電源が切り替わります。

アドバイス

- 上記の操作で始動できない場合は、早めにスズキ販売店またはスズキ代理店へ連絡してください。

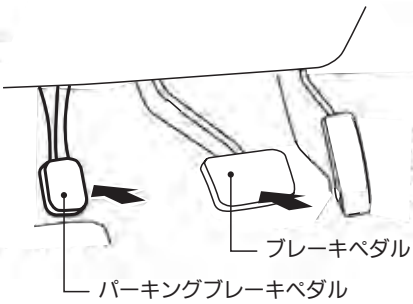
- エンジンを止めるときは、通常のときと同じように、セレクトレバーをPにしてからエンジンスイッチを押してください。

アドバイス

- ドアの施錠・解錠は、キーを使って行ってください。（P.37）
- 携帯リモコンの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。（P.32）

パーキングブレーキ

●パーキングブレーキをかけるときは、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいに踏み込みます。



ESG0731Z

●解除するときは、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルを“カチッ”と音がするまで踏み、ゆっくりと離します。

⚠警告

●パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

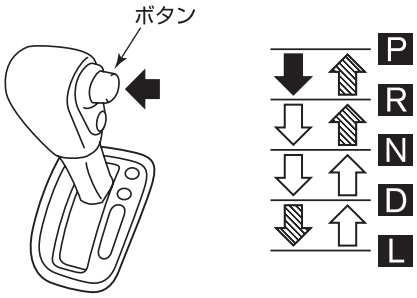
●駐車するときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。
●パーキングブレーキをかけたあとに、パーキングブレーキをかけ直したいときは、一度解除してから踏み込み直してください。
●パーキングブレーキをかけると後輪が固定されます。
●パーキングブレーキをかけたまま走行すると、パーキングブレーキ戻し忘れ警告（P.115）が表示され、パーキングブレーキ戻し忘れ警報（P.140）が鳴ります。

セレクトレバーの使いかた

■各セレクトレバー位置と働き

セレクトレバー位置	働き
P パーキング	**駐車及びエンジンを始動するときの位置** 電源ポジションをOFF又はLOCKに切り替えることができます。 （P以外では電源ポジションをLOCKにできません。）
R リバース	**後退するときの位置** 車内でブザーが鳴り運転者に知らせます。 （車外の人に注意するものではありません。）
N ニュートラル	**動力が伝わらない状態の位置** （Nでもエンジンの始動ができますが、安全のためPで始動してください。）
D ドライブ	**通常走行するときの位置** 速度に応じて無段階に自動変速します。
L ロー	**急な下り坂を走行するときの位置** 強いエンジンブレーキが必要なときに使います。 （急な下り坂以外ではなるべく使わないでください。）

■セレクトレバーの操作



レバー操作	
➡	ブレーキペダルを踏んだままボタンを押して操作します。
⇨	ボタンを押さずにそのまま操作します。
⇨	ボタンを押して操作します。

ZPA0863

⚠警告

●次のような操作は、トランスアクスルを破損し、思わぬ事故につながるおそれがありますので、絶対にしないでください。
・車が完全に停止する前にPに入れる。
・車を前進させているときにRに入れる。
・車を後退させているときにD、Lに入れる。

アドバイス

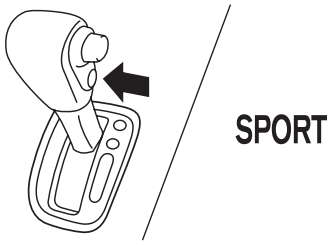
●⇨印の操作は、ボタンを押さないで操作する習慣をつけてください。ボタンを押して操作すると、意に反してP、R、Lに入れてしまうおそれがあります。
●Pから操作するとき、ボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かせないことがあります。ボタンは、ブレーキペダルを踏んでから動かしてください。

■スポーツモードスイッチの使いかた

セレクトレバーがDのとき使えます。

●通常走行するときはスイッチを押してメーター内の表示灯を消灯させます。
（スポーツモードOFF状態）

●スポーティーな走行をするときや、下り坂で軽いエンジンブレーキをかけたいときはスイッチを押してメーター内の表示灯を点灯させます。
（スポーツモードON状態）



ZPA0864

スポーツモード	メーター内表示灯	働き
ON	SPORT（点灯）	登坂路走行、パワフル走行など走りを重視した走行や、下り坂で軽いエンジンブレーキをかけることができます。
OFF	（消灯）	燃費性能など、経済性を重視した走行ができます。

アドバイス

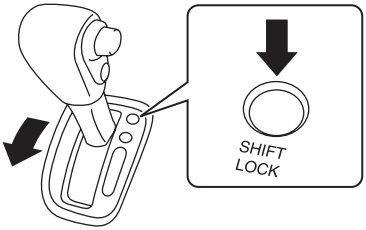
●セレクトレバーをD以外にすると自動的にスポーツモードがOFFになります。
●スポーツモードではエンジンが高出力を発生する回転域を使用したギヤ比が自動的に選択されます。

■シフトロック解除ボタンの使いかた

万一バッテリーあがりなどでセレクトレバーをPから動かせないときに使います。

①安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。

②シフトロック解除ボタンを押しながらセレクトレバーのボタンを押して、セレクトレバーを動かします。



ZPA0865

アドバイス

●セレクトレバーをPから動かせないときは、シフトロックシステム（P.21）などの故障が考えられます。すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

■アダプティブシフトコントロール

急な上り下りや、カーブが連続するような道路状況でも快適で安全な走りを実現できるよう自動的に適切なギヤチェンジを行います。

上り坂での制御

変速回数の少ないなめらかな走行ができるように、坂の勾配に応じて低速ギヤを保持します。

下り坂での制御

エンジンブレーキを併用させることで、フットブレーキを使う回数を低減させるように坂の勾配に応じて低速ギヤに切り替えます。

スポーティな走行での制御

アクセルペダルを踏み込んだときにもたつきのないスムーズな加速が得られるように、加減速を繰り返すような連続するカーブでは低速ギヤを保持します。

⚠注意

●オートマチックトランスアクスルが、走行開始直後で暖まっていないときや、低速で高負荷な走行を繰り返し過熱しているときは制御が作動しない場合があります。その場合は必要に応じてスポーツモード又はセレクトレバーをLに入れ、シフトダウンしてください。

オートマチック車の運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作が無くギヤチェンジを自動化してあるため、運転操作が簡単になりますが、オートマチック車特有の取り扱いかたがありますので、運転の基本操作を十分理解して、正しく操作する習慣をつけてください。

■発進のしかた

通常の発進

①ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、セレクトレバーを動かします。
・前進するときはD（又はL）に入れます。
・後退するときはRに入れます。
・セレクトレバー位置を、目で確認してください。

⚠警告

●発進時は、絶対にアクセルペダルを踏んだままのセレクトレバー操作をしないでください。急発進して、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

●セレクトレバーがP、N以外にあると、クリープ現象で車が動き出します。エンジン始動直後やエアコン作動時は、特に動き出す力が強くなりますので、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

②パーキングブレーキを解除します。
③ブレーキペダルを徐々にゆるめたあと、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。

急な上り坂での発進

①セレクトレバーの位置を、目で確認します。
②パーキングブレーキをかけたままで、ブレーキペダルを徐々にゆるめます。
③アクセルペダルをゆっくり踏み、車が動き出す感触を確認します。
④パーキングブレーキを解除し、発進します。

■走行のしかた

⚠注意

- **走行中はセレクトレバーをNにしないでください。エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスアクスルが故障する原因となります。**
- **次のような場合は、CVT保護のためにエンジン出力を抑制することがあります。**
  - **・エンジン回転数が急激に上がったとき。**
  - **・滑りやすい路面を走行したとき。**
  - **・動力測定機で動力測定したとき。**

通常の走行

- セレクトレバーをDに入れたまま走行します。
- アクセルペダルとブレーキペダルの操作だけで加速、減速を行います。
  アクセルペダルの踏みかげんと走行速度や走行状況などにより、適切なギヤに自動変速されます。

急加速したいとき

- アクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。
  キックダウンし急加速します。

上り坂の走行

- 速度が下がってきたら、セレクトレバーはDのままでアクセルペダルを踏み込みます。
  坂の勾配に応じて、自動的に低速ギヤに切り替わり、低速ギヤを保持します。
- アクセルペダルの踏みかげんと走行速度により、キックダウンすることがあります。
- 坂の勾配に応じてスポーツモードスイッチ（P.156）をONにするとスポーティーな走行ができます。

下り坂の走行

エンジンブレーキを併用して走行します。

- セレクトレバーがDでも、アクセルペダルを戻すと自動的にエンジンブレーキが得られます。
- 強いエンジンブレーキが必要な勾配のきつい下り坂ではLに入れます。
- スポーツモードスイッチ（P.156）をONにしても軽いエンジンブレーキが得られます。

⚠警告

- **セレクトレバーをDにしたまま下り坂を走行すると、エンジンブレーキの効きが弱く、スピードが出すぎることがあります。このようなときは、フットブレーキだけを使い続けると、フットブレーキに負担がかかり、過熱してブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。必ずエンジンブレーキを併用してください。**
- **滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキは効かせないでください。タイヤがスリップするおそれがあり危険です。**

■停車のしかた

- セレクトレバーはDのままで、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- 上り坂では、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 停車時間が長くなるときは、セレクトレバーをNに入れます。

⚠警告

- **停車中の空吹かしはしないでください。万一、セレクトレバーがP、N以外にあると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。停車後の再発進は、セレクトレバーの位置を、目で確認してください。**

⚠注意

- **エアコン使用時はエンジン回転数が変動するため、クリープ現象が断続的に強くなることがあります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏んでください。**

アドバイス

- 上り坂ではクリープ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つような停車はしないでください。トランスアクスルが故障する原因となります。

■駐車のしかた

①車を完全に停止させます。
②ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけます。
③セレクトレバーをPに入れ、目で確認します。
・セレクトレバーをPに入れると駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。
④エンジンを止めます。

⚠注意

●車から離れるときは、必ずセレクトレバーをPに入れ、エンジンを止めてください。エンジンがかかったままで、セレクトレバーがP、N以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■そのほかに気をつけること

⚠警告

●坂道などでセレクトレバーをD（又はL）に入れたまま惰性での後退をしたり、Rに入れたまま惰性での前進をしないでください。エンジンが止まり、極度にハンドルの操作力が重くなったりブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車を少し移動させるとき

●車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダル、アクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

●後退時は身体をひねった状態となり、ペダルの操作を間違うおそれがあります。ブレーキペダルが確実に踏める姿勢をとるようにしてください。
●少し後退したときなどは、セレクトレバーをRに入れたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐにセレクトレバーをNに戻す習慣をつけてください。

4WD（4輪駆動）車の扱いかた

■4WD車について

4WD車は、滑りやすい路面などで優れた走行性能を発揮しますが、万能ではありません。

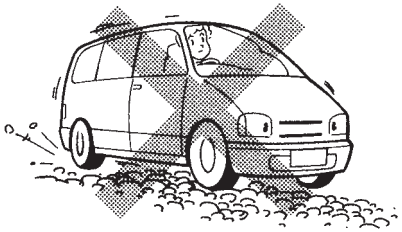
■走行するとき

●オフロード（不整地）走行やラリー走行用ではありません。走行するときは以下のことを必ずお守りください。

・渡河などの水中走行はしない。

・砂地、ぬかるみなど、前輪が空転しやすいところでの連続走行はしない。

・脱輪などにより車輪が宙に浮いているときは、むやみに空転させない。



TCG0041Z

●運転操作は一般車と同様です。ハンドル、アクセル及びブレーキペダルなどの操作は慎重に行い、安全運転に心がけてください。

■タイトコーナーブレーキング現象

乾燥した舗装路を4WD状態で走行中、ハンドルをいっぱいにきって旋回すると、ブレーキをかけたような状態になることがあります。この現象をタイトコーナーブレーキング現象といいます。

この現象は旋回するとき前後輪に回転差が生じるために起きる4WD車特有の現象で異常ではありません。この現象が発生したときはハンドルの操作力が重くなります。

アドバイス

●タイトコーナーブレーキング現象が起きるとタイヤのスリップ音や駆動系のきしみ音などが発生することがあります。

●4WD車は、2WD車に対し、制動距離が短くなるわけではありません。

●砂地などのオフロード走行や脱輪時の無理な操作などにより、前後輪間の回転数差が大きい（車輪が空転する）状態が続くと駆動系部品の油温が上昇します。この場合、駆動系部品の保護のため、一時的に4WDから2WD（前輪駆動）に切り替わることがあります。しばらくして油温が下がると、4WDに復帰します。

■タイヤについて

- タイヤの交換は4輪とも同時に行い必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを装着してください。
- 摩耗差が大きいものやサイズが異なるタイヤを装着すると車の機構を破損するおそれがあります。
  冬用タイヤも必ず4輪同じものを装着してください。
  タイヤ交換はスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

VDC（ビークルダイナミクスコントロール）

走行中、滑りやすい路面や障害物の緊急回避などのときには、車両が横滑りや尻振りを起こすことがあります。
VDCは横滑りや尻振りを起こしそうになると横滑り状態をセンサーが判別し、ブレーキ制御とエンジン出力制御により走行時の車両安定性を向上させるシステムです。

- VDCが実際に作動しているとき、メーター内のVDC警告灯が点滅します。
- VDCシステム内のトラクションコントロール機能のみが作動しているときもVDC警告灯が点滅します。
- VDC警告灯が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっていますので特に慎重に運転してください。

VDC警告灯…P.133

⚠注意

- この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。VDCの作動にも限界があるため、滑りやすい路面やコーナーの手前では特にスピードを落とし安全運転に心がけてください。
- 下記部品を純正品以外に交換したり、改造したときにVDC警告灯が点灯することがあります。
  その場合は、VDCが正常に作動しないことがあります。
  - ・サスペンション関係部品（ショックアブソーバー、ストラット、スプリング、ブッシュ類など）
  - ・タイヤ、ホイール（指定サイズ以外）
  - ・ブレーキ関係部品（パッド、ローター、キャリパーなど）
  - ・エンジン関係部品（マフラー、ECCSコントロールユニットなど）
  - ・車体補強関係部品（ロールバー、タワーバーなど）
- サスペンション、タイヤ、ブレーキなどの関係部品が著しく摩耗及び劣化した状態で走行すると、VDC警告灯が点灯することがあります。その場合は、VDCが正常に作動しないことがあります。
- 駐車場の入り口などにあるターンテーブルや動くものの上に車があるとき、VDCの警告灯が点灯することがあります。この場合はターンテーブルなど動くものの上から降りてからエンジンをかけ直してください。
- 極端に傾いた特殊な路面（サーキット路に見られるバンクなど）を走行するとVDC警告灯が点灯することがあります。その場合は、VDCが正常に作動しないことがありますので、そのような路面を走行しないでください。
- VDC付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

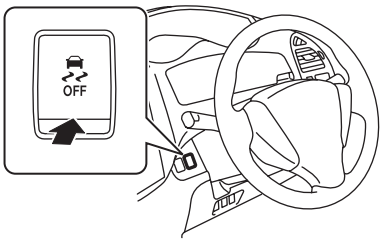
アドバイス

- VDCには「ブレーキLSD」機能があります。これは、滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、空転している駆動輪にブレーキをかけることにより、もう一輪の駆動力を確保するLSD（リミテッドスリップデフ）機能です。作動時は、ブレーキの作動により音や振動が発生する場合がありますが、異常ではありません。

■VDC OFFスイッチの使いかた

VDCの作動をやめたいときに使います。

- VDC OFFスイッチを押すと、VDCの働きを停止します。
  （メーター内の表示灯が点灯）
- もう一度スイッチを押すか、エンジンを再始動するとVDCは作動を回復し、表示灯が消灯します。



ZPA0866

アドバイス

- VDCが作動すると発進時や加速時に車体及びペダルにわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。
- ぬかるみや新雪から脱出するときなどは、スリップ状態を感知し、アクセルペダルを踏み込んでもエンジン回転数が上がらないことがあります。回転数を上げたいときはVDC OFFスイッチを押してシステムをOFFにしてください。
- VDC OFFスイッチを押すと、ABS機能及びブレーキLSD機能を除くVDCの全ての機能（トラクションコントロールを含む）が停止します。
- 電源ポジションをONにしたときや、エンジン始動後最初の発進時に、エンジンルームからモーターなどの音が聞こえることがありますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

ヒルホールドコントロール

急な上り坂での発進時に、ブレーキペダルからアクセルペダルへの踏み替えの間に発生する車両の後退を一定時間保持し、発進を容易にするシステムです。

- セレクトレバーが P、N以外のとき、ブレーキペダルから足を離すと、約2秒間ブレーキ力を保持します。

⚠注意

- **この装置は上り坂での発進を補助するものですが、機能を過信しないでください。凍結した坂や泥状の上り坂での発進はとくに安全運転に心がけてください。**
- **坂道で駐停車するためにヒルホールドコントロールを使わないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。**

アドバイス

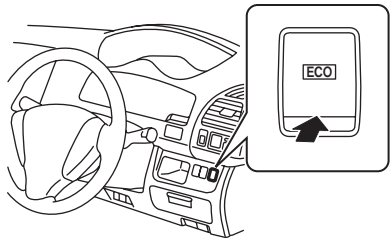
- VDC警告灯（P.133）が点灯したときは作動しません。
- ヒルホールドコントロール作動時に、ブレーキペダルの踏み応えが変化したり、わずかな振動、作動音が発生することがありますが、異常ではありません。

ECOモード

エンジンやCVTを自動で制御をすることで、急発進・急加速を抑え燃費向上に配慮したエコドライブをサポートするシステムです。

- スイッチを押すと作動します。（メーター内のECOモードインジケーターが点灯）
- もう一度スイッチを押すと機能が停止します。（メーター内のECOモードインジケーターが消灯）

○ECOモードインジケーター… P.126



ZPA1264

アドバイス

- システムに異常がある場合は、自動で機能が停止します。
- ECOモードを解除するときは、スイッチを押したあと、一旦アクセルペダルから足を離し、再度必要な量まで踏み込んでください。
- 次のように、加速が必要な場合は、必要に応じてECOモードを停止させてください。
  - ・乗車人員や荷物量が多いとき。
  - ・急勾配を登坂走行するとき。

アイドリングストップ★

車両を停車させると、自動的にエンジンを停止させ、再び走行するときは自動的にエンジンを始動することで、アイドリングによる排気ガスの発生や騒音を抑制するとともに燃費を向上させます。

⚠注意

● システムによるエンジン停止中に車両が動き出した場合（約2km/h以上）は、エンジンが自動的に再始動するため、すみやかにブレーキペダルを踏んでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 次のような場合は、アイドリングストップしません。（室内外の温度やエアコンの作動状況によっては下記の条件以外でも、アイドリングストップしない場合があります。）
  - ・エンジンを始動して、一度も走行しないでアイドリングを続けているとき。
  - ・エンジン冷却水の温度が低いとき。（冷却水の温度によっては、低水温表示灯が点灯中でもアイドリングストップします。）
  - ・バッテリーの容量が低いとき。
  - ・バッテリーの温度が低い又は著しく高いとき。
  - ・車両が動いているとき。
  - ・ブレーキ倍力装置の負圧が低下したとき。
  - ・エンジン回転中にエンジンフードを開けたとき。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

アドバイス

・エンジンフードを開けた状態でエンジンを始動させたとき。
・運転席のシートベルトが着用されていないとき。
・運転席ドアが開いているとき。
・ハンドル操作をしているとき。
・アイドリングストップ表示灯が低速で点滅しているとき。
・アクセルペダルを踏んでいるとき。
・セレクトレバーがRのとき。
・室内の温度が約20℃以下のとき。
・室内の温度が約30℃以上のとき。（エアコンがOFFのときはアイドリングストップします。）
・前席、後席のエアコンの風量が最大のとき。
・デフロスタースイッチ（P.211）がONのとき。（外気温によってはアイドリングストップする場合があります。）
・リヤウインドーデフォッガースイッチ（P.149）がONのとき。
・アイドリングストップOFFスイッチがONのとき。
・EPS（電動パワーステアリング）警告灯、VDC警告灯が点灯しているとき。
・ブレーキペダルの踏み込みが弱いとき。
・踏み間違い衝突防止アシスト★が作動しているとき。
・急勾配の坂道で停車したとき。
・消費電力が大きいとき。
・標高約2000m以上の高地のとき。

アドバイス

●次のような場合は、システムが作動するまでに時間がかかる場合があります。
・バッテリーが放電しているとき。
・外気温が低いまたは高いとき。
・バッテリー交換したあとや、長期間バッテリー端子を外したあと。

●次のような場合は、アイドリングストップ中にブレーキから足を離しても、エンジンが再始動をしません。
・セレクトレバーがPのとき。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

アドバイス

- 次のような場合は、アイドリングストップ中にブレーキから足を離さなくても、エンジンが再始動をします。（室内外の温度やエアコンの作動状況によっては下記の条件以外でも、エンジンが再始動する場合があります。）
  - ・アイドリングストップしてから、3分以上経過したとき。
  - ・アイドリングストップOFFスイッチを押したとき。
  - ・室内の温度が約20℃以下になったとき。
  - ・室内の温度が約30℃以上になったとき。（エアコンがOFFのときはアイドリングストップし続けます。）
  - ・エアコンスイッチ（P.209）又はAUTOスイッチ（P.209）を押したとき。
  - ・デフロスタースイッチ（P.211）をONにしたとき。（外気温によってはエンジンが再始動しない場合があります。）
  - ・リヤウインドーデフォッガースイッチ（P.149）をONにしたとき。
  - ・アクセルペダルを踏んだとき。
  - ・ハンドル操作をしたとき。（ハンドルの操作力が重く感じることがありますが、異常ではありません。）
  - ・バッテリーの容量が低くなったとき。
  - ・消費電力が大きいとき。
  - ・坂道でブレーキを緩め、車両が動き出したとき。

アドバイス

- ・セレクトレバーをRにしたとき。
- ・セレクトレバーがL、D、Nのときにブレーキペダルを緩めたとき。
- ・セレクトレバーをN又はPからL、Dにしたとき。
- ・ブレーキペダルを数回踏みなおすなどして、ブレーキ装置の負圧が不足したとき。
- ・運転席シートベルトを外したり、運転席ドアを開けたとき。

アドバイス

- このシステムは、信号待ちなどのときに使用し、長時間の停車などの場合はエンジンを停止してください。
- アイドリングストップ中にエンジンフードを開けると、ブザーが鳴るとともに通常のエンジン停止状態となります。その場合は、エンジンをかけ直してください。
- アイドリングストップ中は、エアコン（冷房・暖房・除湿機能）がOFFになり、送風になります。

車両後退抑制機能

- 坂道でアイドリングストップ中から発進するときに、ブレーキペダルからアクセルペダルへの踏み替えの間に発生する車両の後退を軽減するシステムです。
- この装置はVDC（P.163）のブレーキ制御を利用しているため、VDC警告灯（P.133）が点灯したときは作動しません。

■アイドリングストップの使いかた

走行中にアイドリングストップする条件を満たすと、メーター内のアイドリングストップ表示灯が点灯します。

- セレクトレバーがL又はDの状態でブレーキペダルを踏み停車すると、自動的にエンジンが停止します。
- ブレーキペダルから足を離すと自動的にエンジンが再始動します。



ZPA0581

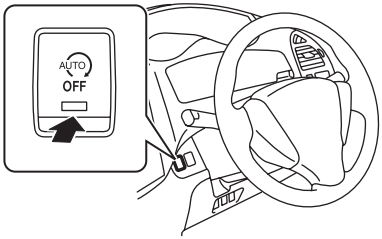
アドバイス

- ブザーとアイドリングストップ表示灯で、アイドリングストップの状態をお知らせします。
  アイドリングストップ表示灯…P.126
- ドライブコンピューターでアイドリングストップの積算時間と節約した燃料の量を確認できます。
  ドライブコンピューター…P.106
- アイドリングストップタイマーでアイドリングストップ時間を確認できます。
  アイドリングストップタイマー…P.104

■アイドリングストップOFFスイッチ

アイドリングストップの作動をやめたいときに使います。

- アイドリングストップOFFスイッチを押すと、作動を停止します。（スイッチの表示灯が点灯）
- もう一度スイッチを押すか、エンジンを再始動するとアイドリングストップは作動を回復します。（スイッチの表示灯が消灯）



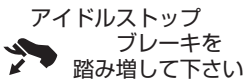
ZPA0867

アドバイス

- アイドリングストップ中にスイッチを押すと、エンジンは再始動します。

■アイドリングストップメッセージ

- 車両停止時、ブレーキペダルの踏み込みが少ないことにより、アイドリングストップしないとき、メーターのディスプレイにアイドリングストップメッセージ（P.116）が表示されます。



ZPA1139

S-HYBRID★

アイドリングストップ、エンジンアシスト機能、バッテリーへの充電（エネルギー回生機能）、を効率良く制御し、燃費を向上させます。
アイドリングストップ…P.166

■バッテリーについて

S-HYBRID専用にバッテリー（メイン）とバッテリー（サブ）の2つのバッテリーを使用しています。
エンジンルーム内配置図…P.313

⚠注意

●バッテリーの端子を外した状態で走行しないでください。各システムが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 充放電能力と寿命性能を強化したアイドリングストップ付車専用のバッテリーを使用しています。専用バッテリー以外を使用すると、バッテリーの早期劣化やアイドリングストップ機能、エンジンアシスト機能が正常に作動しなくなる原因となります。
- バッテリーはお客さまの車に適合したスズキ純正部品をおすすめします。詳しくは、スズキ販売会社にご相談ください。
- S-HYBRIDは、日産自動車株式会社の登録商標です。

エネルギー回生機能

アクセルペダルを踏まずに惰性での走行中やブレーキペダルを踏んで減速しているときなど、作動条件を満たすと、モーターの発電量を増大させバッテリーを充電します。

エンジンアシスト機能

バッテリーの充電量に十分な余裕があるとき、アイドリングストップからの発進後、加速中に作動条件を満たすと、約1秒間モーターの力で駆動力をアシストします。

- エンジンアシスト機能が一回作動すると、次にアイドリングストップして発進するまでは作動しません。

アドバイス

- 次のような場合は、エンジンアシスト機能が作動しません。（車両の状態によっては以下の条件以外でも、エンジンアシストしない場合があります。）
  - アイドリングストップ時間が5秒以下のとき。
  - 急発進、急加速したとき。
  - 発進したあとにブレーキペダルを踏んだとき。
  - 発進したあとにアクセルペダルを緩めたとき。
  - ハンドルを切っているとき。
  - VDCが作動しているとき。
  - バッテリーの充電量が十分でないとき。
  - 外気温度が低く、バッテリーの保護が必要なとき。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

バッテリー（サブ）の電圧低下に伴う現象について

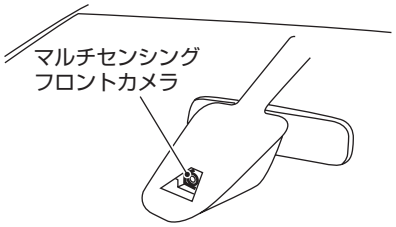
●エンジン始動直後に以下の現象が発生する場合は、バッテリー（サブ）の電圧低下の可能性がありますので、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

・VDC警告灯が点灯する。
・KEY警告灯が点灯する。
・EPS（電動パワーステアリング）警告灯が点灯する。
・セレクトレバーがP以外のときにエンジンスイッチを押してもエンジンが停止しない。（エンジンスイッチを3連打以上、又は2秒間以上押し続けると停止します。）
・スライドドアのオートスライド機能が作動しない。（エンジン始動直後に作動しない場合があります。）

LDW（車線逸脱警報）★

運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、警報によって注意を促します。

●LDW（車線逸脱警報）は車速約60km/h以上で作動します。
●フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより走行車線のレーンマーカーを検知し、右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると運転者に警報します。（警報音が鳴り、メーター内のLDW（車線逸脱警報）警告灯が点滅します。）レーンマーカーとは、車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。



ZPA1146



ZPA1145

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

⚠警告

●LDW（車線逸脱警報）は、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転に心がけてください。

アドバイス

●次の場合は警報を行いません。
- 方向指示器を使用しているとき（方向指示器を解除した後、約2秒間は作動しません）
- 車速が約60km/hを下回っているとき

⚠注意

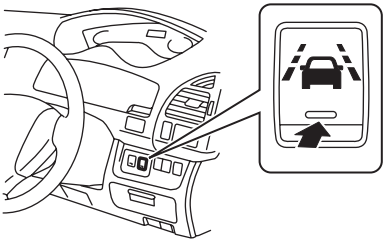
●次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
- 検出しにくいレーンマーカー（不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカー）がある道路を走行するとき。
- 急なカーブのある道路を走行するとき。
- 消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき。
- 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき。（これらのものをレーンマーカーとして検出して警報する場合があります。）
- 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき。
- 自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき。
- 先行車との車間距離が短く、マルチセンシングフロントカメラの検出範囲が遮られるとき。
- 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき。
- 汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき。
- 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき。
- 急な明るさの変化が起こったとき。（トンネルの出入り口など。）

●状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。

■ON／OFFのしかた

●LDW（車線逸脱警報）スイッチを押すごとにON／OFFが切り替わります。

スイッチの表示灯	ON／OFF状態
点灯	ON
消灯	OFF



ZPA1143

アドバイス

●ON／OFF状態は、エンジンを再始動しても維持されます。

■警告表示

●LDW（車線逸脱警報）に異常があると、メーター内の警告灯が点灯し、自動的に作動が停止します。



ZPA0359

アドバイス

●点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。エンジン再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、スズキサービス工場で点検を受けてください。

●炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったときは、LDW（車線逸脱警報）スイッチの表示灯が点滅し、一時的に作動が停止します。（室内の温度が下がると、自動的に作動が復帰します。）



ZPA1144

LDW（車線逸脱警報）警告灯… P.134

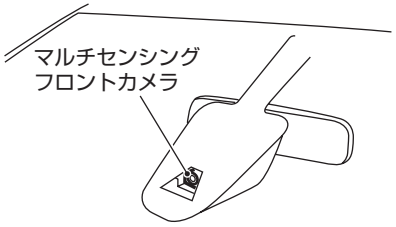
■マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

●カメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。

●カメラ前方のフロントガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。

●カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。またカメラを取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでカメラ周辺部が変形した場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。



ZPA1146

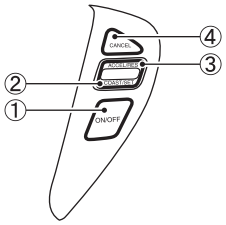
クルーズコントロール

クルーズコントロールをセットするとアクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができます。
約40～100km/hの間で任意の速度にセットできます。

⚠注意

- **車間制御は行わないため、ブレーキ操作制御や警報は行われません。**
  先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- **次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので使わないでください。**
  - **交通量の多い道や急カーブのある道**
    交通状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。
  - **凍結路や積雪路など滑りやすい路面**
    タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
  - **急な下り坂**
    急な下り坂ではエンジンブレーキが十分効かないため、セットした速度を超えてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■クルーズコントロールスイッチ



ZPA0868

①メインスイッチ
・クルーズコントロールのON・OFFができます。

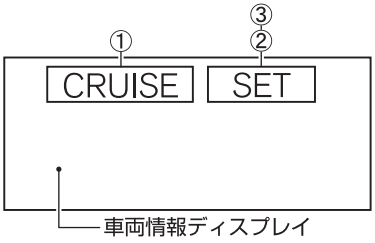
②セット/コーストスイッチ（下押し）
・クルーズコントロールのセットができます。
・設定車速を下げることができます。

③リジューム/アクセラレートスイッチ（上押し）
・クルーズコントロールを解除後、解除前の設定車速に再びセットすることができます。
・設定車速を上げることができます。

④キャンセルスイッチ
・クルーズコントロールの解除ができます。

■表示灯・警告灯

メーター内の車両情報ディスプレイに表示されます。



ZPA0869

①クルーズ表示灯

・クルーズコントロールのメインスイッチをONにすると点灯します。

②セット表示灯

・クルーズコントロール作動中に点灯します。

③セット警告灯

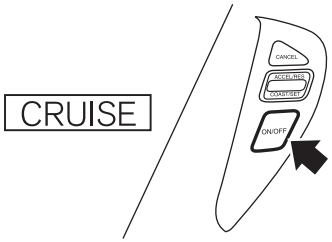
・次のようなときに点滅します。
　・セットの手順を正しく行わなかったとき。
　・クルーズコントロールに異常があるとき。

アドバイス

- 安全な場所に停車して、一度エンジンを止めてから再度セット操作をしてください。
- 上記の操作をしても点滅し続ける又はセットできない場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。

■セットのしかた

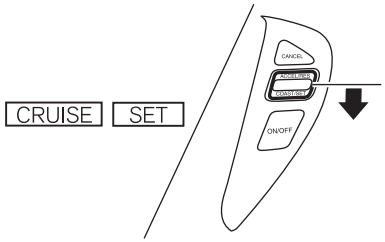
①メインスイッチを押し、クルーズ表示灯が点灯したことを目で確認します。



ZPA0870

②設定したい速度まで加速又は減速し、セット/コーストスイッチを押します。

・スイッチを押したときの車速が設定車速になります。
（セット表示灯が点灯）



ZPA0871

⚠注意

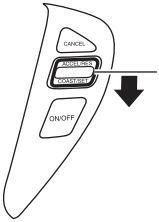
- **クルーズコントロールを使わないときは、メインスイッチをOFFにしてください。間違ってハンドルのスイッチを押すとクルーズコントロールがセットされ、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

■設定車速の変えかた

定速走行中に次の操作をします。

ペダルで変えるとき

①アクセルペダル又はブレーキペダルを踏み、速度を変えます。
②希望の速度になったら、セット/コーストスイッチを押します。

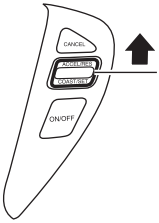


ZPA0872

クルーズコントロールスイッチで変えるとき

設定車速を上げたいとき

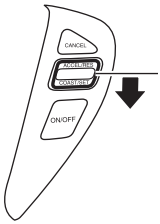
①リジューム/アクセラレートスイッチを押し続けると加速します。
②希望の速度になったら、手を離します。



ZPA0873

設定車速を下げたいとき

①セット/コーストスイッチを押し続けると減速します。
②希望の速度になったら、手を離します。



ZPA0872

一時的に加速、減速をしたいとき

加速したいとき

●アクセルペダルを踏むと、加速します。

減速したいとき

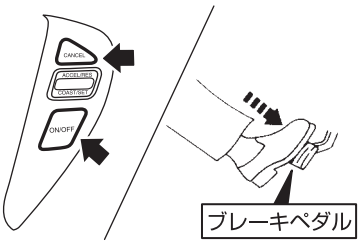
●ブレーキペダルを踏むと、減速（制御を解除）します。
（セット表示灯が消灯し、セット待機状態になります。）

もう一度、定速走行に戻したいとき

解除前の設定車速で再びセットしたいときは、リジューム/アクセラレートスイッチを押します。
（セット表示灯が再び点灯）

■解除のしかた

●次の操作でクルーズコントロール機能が解除されます。
・キャンセルスイッチを押す。
・メインスイッチを押す。
・ブレーキペダルを踏む。



ZPA0874

アドバイス

●キャンセルスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。

●次の場合はクルーズコントロールが自動的に解除されます。
・VDCが作動したとき。
・タイヤが空転したとき。
・セレクトレバーをNに入れたとき。
・クルーズコントロールシステムに異常があるとき。

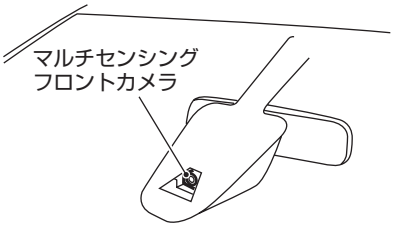
アドバイス

●クルーズコントロールシステムに異常があると、セット警告灯が点滅します。

エマージェンシーブレーキ★

前方の車両や歩行者と衝突のおそれがあるとき、警報と自動ブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。

- エマージェンシーブレーキは車速約10km/h～80km/hの範囲で作動します。
  （車速約60km/h以上では、停止している車両や歩行者に対しては作動しません。）
- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより前方の車両や歩行者を検知します。



ZPA1146

⚠警告

- **エマージェンシーブレーキは前方の車両や歩行者との衝突回避操作を支援、または衝突時の被害や傷害の軽減を目的としています。あらゆる状況で効果があるわけではありませんので機能を過信せず、運転者は周囲の安全確認を行い、前方車両との車間距離を維持し、常に安全運転を心がけて走行してください。**

■作動について

- システムが衝突するおそれがあると判断すると、エマージェンシーブレーキ警告灯が点滅し、警報音とともに、軽いブレーキで衝突回避操作を促します。
- 運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突の危険性が高まったときには、エマージェンシーブレーキ警告灯が点滅し、警報音とともに、衝突の直前に自動的にブレーキが作動します。



ZPA1142



ZPA1138

アドバイス

- 次の場合、システムによるブレーキの作動が解除されます。
  - ・アクセルペダルを強く踏み込んだとき
  - ・ハンドルを大きく、または素早く切ったとき
  - ・前方の車両や歩行者との衝突の危険がなくなったと判断したとき
- システムによるブレーキで車両が停止したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動的に解除されます。
- 運転者がハンドルやアクセル、ブレーキを操作している場合は、エマージェンシーブレーキの作動が遅れたり、作動しない場合があります。
- システムによるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

⚠注意

●次のような障害物は検知しません。
- ・子供などの背の低い人、動物、自転車
- ・夜間やトンネル内など暗い場合の歩行者
- ・対向車両
- ・前方を横切って通過する車両
- ・斜めに止まっている車両

●次のような場合は、前方の車両、歩行者が検知できないことがあります。
- ・悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪等）で視界が悪いとき
- ・前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- ・カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
- ・カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき
- ・カメラ前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
- ・夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
- ・夜間やトンネル内などで前方の車両の両側のテールランプが点灯していないとき
- ・トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- ・急なカーブを走行しているとき
- ・勾配の変化があるところを走行しているとき
- ・未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
- ・歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき

●次のような場合は、システムが機能を十分に発揮できないことがあります。
- ・滑りやすい路面を走行しているとき
- ・勾配のある路面を走行しているとき
- ・後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき

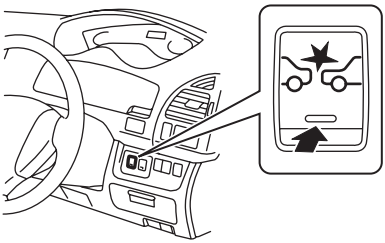
●状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。

■ON／OFFのしかた

踏み間違い衝突防止アシスト付車

●エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストスイッチを押すごとにON／OFFが切り替わります。

スイッチの表示灯	ON／OFF状態
点灯	ON
消灯	OFF



ZPA1147

●OFFにすると、システムが停止します。
（エマージェンシーブレーキ警告灯が点灯します）

アドバイス

●エンジンを再始動するとONになります。
●スイッチをOFFにすると踏み間違い衝突防止アシストもOFFになります。

踏み間違い衝突防止アシスト無車

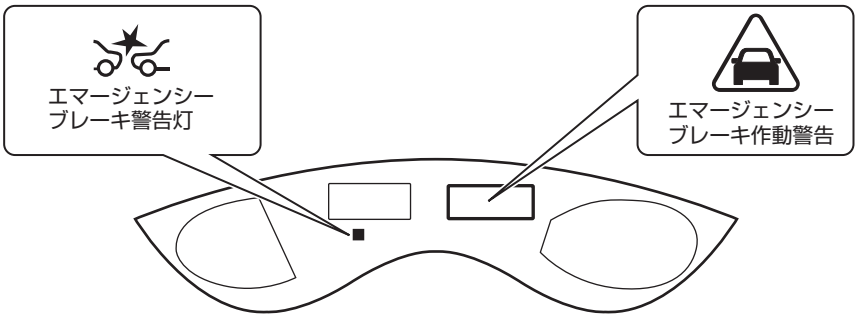
●メーター内のディスプレイで「設定」→「車両設定」→「ドライバーアシスタンス」→「エマージェンシーブレーキ」を選択すると、エマージェンシーブレーキのON／OFFを切り替えることができます。
●OFFにすると、システムが停止します。
（エマージェンシーブレーキ警告灯が点灯します）

アドバイス

●メーター内の設定でシステムをOFFにしても、エンジンを再始動すると自動的にONに切り替わります。

■警告表示

エマージェンシーブレーキ警告灯及び警告表示はメーター内にあります。



ZPA1184

●次の場合、メーター内のエマージェンシーブレーキ警告灯が点灯し、自動的に作動が停止します。
・エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストスイッチをOFFにしたとき（踏み間違い衝突防止アシスト付車）
・メーター内のディスプレイで、エマージェンシーブレーキをOFFにしたとき（踏み間違い衝突防止アシスト無車）
・VDCをOFFにしたとき

●次の場合、メーター内のエマージェンシーブレーキ警告灯が点滅し、システムが一時的に作動しなくなります。
・フロントガラスの汚れなどにより、カメラが前方を認識できなくなったとき
・前方からの強い光によりカメラが前方を認識できなくなったとき
・炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき（室内の温度が下がると、自動的に作動を復帰します）

●システムに異常があると、メーター内のエマージェンシーブレーキ警告灯が点灯し、システムが自動的に停止します。

アドバイス

- 点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。エンジン再始動後も点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、スズキサービス工場で点検を受けてください。
- フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。

エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯…P.135
エマージェンシーブレーキ作動警告…P.118

■マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

P.175をお読みください。

ふらつき警報★

ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したときに、メーター内のディスプレイ表示と音により運転者に休憩を促します。

■システムの作動

- 車速約60km/h以上で走行中、運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに、警報音とともにメーター内ディスプレイに“休みませんか？”とメッセージを表示します。

注意力レベル表示

- メーター内のディスプレイを切り替えると、システムが判断した注意力レベルを表示することができます。

詳しくは、P.108をお読みください。

■■■■□□□□

ZPA1122

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

アドバイス
- 注意力レベルは8段階で表示されます。
- エンジンを停止したときは、システムがリセットされます。

⚠警告

- **このシステムは疲労時の運転を補助するものではありません。疲労時の運転は重大な事故に至る危険がありますので、運転前に十分に休憩をとり、安全運転に努めてください。**

■ON／OFFのしかた

- メーター内のディスプレイで「設定」→「車両設定」→「ドライバーアシスタンス」→「ふらつき警報」を選択すると、ふらつき警報のON／OFFを切り替えることができます。

設定のしかたは、P.112をお読みください。

アドバイス
- 設定は、エンジンを再始動しても維持されます。

■警告表示

- システムに異常があると、メーター内のディスプレイに警告が表示され、自動的に作動が停止します。

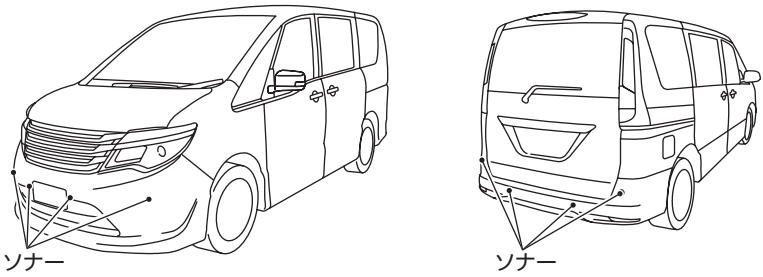
アドバイス
- 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
- 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。
  通常走行に支障はありませんが、スズキサービス工場で点検を受けてください。

ふらつき防止システム故障警告… P.117

踏み間違い衝突防止アシスト★

進行方向に壁などの障害物がある場所で、駐車操作時など低速のときにアクセルペダルとブレーキペダルを間違えて踏み込んだり、ブレーキ操作が遅れたときに運転者に音と表示で警告します。
さらに自動的にエンジン出力やブレーキを制御することで、過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。

- 前後のバンパーに取り付けられたソナーにより、進行方向の障害物を検知します。
- 踏み間違い衝突防止アシストには、次の2つの機能があります。
  - ・低速加速抑制機能
  - ・低速衝突軽減ブレーキ機能



ZPA1278

⚠警告

- **低速加速抑制機能は、停車中、または前進、後退での低速走行中におけるアクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えることにより引き起こされる暴走や衝突事故の軽減を目的とした補助機能です。あらゆる状況で効果があるわけではありませんので、機能を過信せず常に注意深い運転操作を心がけてください。**
- **低速加速抑制機能は、アクセルペダルをゆっくりと深く踏み込んだときには作動しません。故意にアクセルペダルを踏み込まないでください。車両が急に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。**
- **低速衝突軽減ブレーキ機能は、前進、後退での低速走行中における衝突事故の軽減を目的とした補助機能です。あらゆる状況で効果があるわけではありませんので、機能を過信せず常に安全運転を心がけてください。**

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

⚠注意

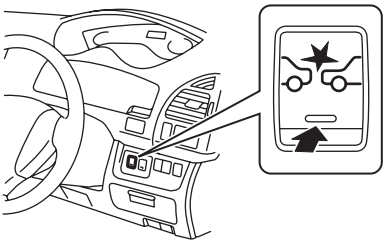
- 次の場合は、システムが正常に作動しなかったり、機能を十分に発揮できないことがあります。
  - ・悪天候（雨、霧、雪など）のとき
  - ・勾配が急な坂道を走行しているとき
  - ・段差などをまたいでいるときなど車両姿勢が変化しているとき
  - ・滑りやすい路面を走行しているとき
  - ・ハンドルを大きく切って旋回しているとき
  - ・タイヤチェーン、純正品以外のタイヤを使用しているとき
  - ・外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
  - ・下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき
  - ・水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
- 動いている物体に対しては踏み間違い衝突防止アシストは作動しません。
- 次の場合は、予期せずシステムが作動し、思わぬ事故につながるおそれがありますので、踏み間違い衝突防止アシストをOFFにしてください。
  - ・けん引するとき
  - ・トレーラーなどに積載するとき
  - ・シャシーダイナモを使用するとき
  - ・平坦でない場所を走行しているとき
  - ・純正品以外のサスペンション部品を使用しているとき

  （車高や車両の傾きが変わると正しく障害物を検知できないことがあります）
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

■ON／OFFのしかた

●エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストスイッチを押すごとにON／OFFが切り替わります。

スイッチの表示灯	ON／OFF状態
点灯	ON
消灯	OFF



ZPA1147

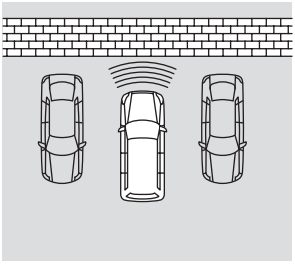
●OFFにすると、システムが停止します。
（エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯します）

アドバイス

●エンジンを再始動するとONになります。
●スイッチをOFFにするとエマージェンシーブレーキもOFFになります。

低速加速抑制機能

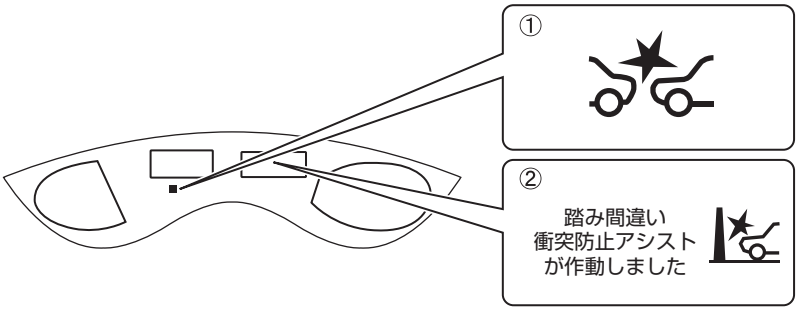
停車中、または前進、後退での低速（約15km/h未満）走行中、バンパーに取り付けられたソナーにより進行方向に壁などの障害物を検知している場合に、アクセルペダルが素早く深く（約1／2以上）踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間自動でエンジン出力を抑制したり、弱いブレーキをかけることで車速が上がることを抑えます。



ソナーで進行方向の
障害物を検知

ZPA1187

低速加速抑制機能が作動しているときは、警報音と警告灯の点滅、及びメーター内のディスプレイ表示によって運転者に警告します。



ZPA1148

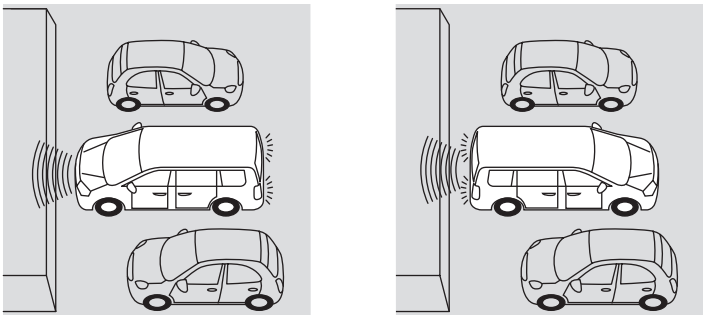
①エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯…P.135
②踏み間違い衝突防止アシスト作動警告…P.118

⚠注意

- 低速加速抑制機能は、車両から約2m以内の距離に存在する壁や車両などの大きな障害物に対して作動します。車両の幅以下の障害物に対しては作動しません。
- 低速加速抑制機能は、運転者がアクセルペダルを戻すと解除されます。
- 低速加速抑制機能は、アクセルペダルを踏み続けた場合に作動を開始してから約6秒後に自動的に解除されます。
- 渋滞中などで前方にいる車両を追い越すときなどに低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。
- 次の場合は、低速加速抑制機能は作動しません。
  - ・車速が約15km/h以上のとき。
  - ・ブレーキペダルを踏んでいるとき。
  - ・セレクトレバーがD、L、R以外のとき。
  - ・トラクションコントロールが作動しているとき。
  - ・タイヤが空転しているとき。
- 次のような障害物に対しては作動しません。
  - ・背の低い障害物。
  - ・幅の狭い障害物。
  - ・針金、金網、ロープなどの細い障害物。
  - ・バンパーに非常に近い障害物。
  - ・急に進行方向に現れた障害物。
- 次のような障害物に対しては作動しないことがあります。
  - ・地面から高い位置に存在する障害物。
  - ・スポンジ状のものや雪などの表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物。
- 次のような場合は作動しないことがあります。
  - ・雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき。
  - ・周囲で大きな音が鳴っているとき。
  - ・周囲に超音波を発するものがあるとき。
  - ・障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき。

低速衝突軽減ブレーキ機能

前進、後退での低速（約2km/h～15km/h未満）走行中、バンパーに取り付けられたソナーにより進行方向の障害物を検知し、障害物に衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、警報音と警告灯の点滅によって運転者に警告するとともに、自動的にエンジン出力制御、及びブレーキをかけて衝突を回避、または被害を軽減します。

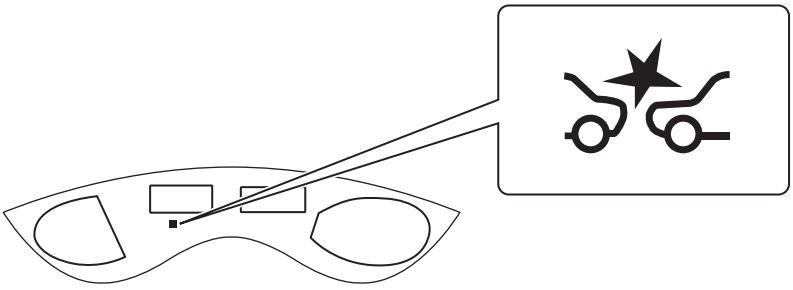


ZPA1059

アドバイス

- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは制動灯が点灯します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動しているときは、エンジンルームから作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。

低速衝突軽減ブレーキ機能が作動すると、警報音と警告灯の点滅によって運転者に警告します。



ZPA1149

エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯…P.135

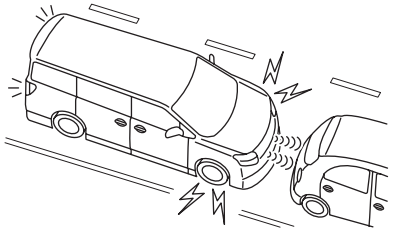
⚠注意

- 低速衝突軽減ブレーキ機能は、車両の状態、走行状況、交通環境、天候、路面状況などにより作動しない場合や、本来の性能を発揮できないことがあります。必要なときはシステムの作動を待たず、速やかにブレーキ操作をしてください。
- 自動ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいても作動しません。
- 自動ブレーキ制御は短時間しか作動しません。必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。
- 低速加速抑制機能が作動したあとに、低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動で解除され、車両が動き出します。車両を停止させる場合は、必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。
- 次の場合は、低速衝突軽減ブレーキは作動しません。
  - ・車速が約2km/h未満、または約15km/h以上のとき。
  - ・セレクトレバーがD、L、R以外のとき。
- アクセルペダルを踏んだ状態で障害物に接近したときは、作動が遅れることがあります。
- 前進時は車両後方の障害物に対しては作動しません。同様に、後退時は車両前方の障害物に対しては作動しません。
- 次のような障害物に対しては作動しません。
  - ・背の低い障害物。
  - ・幅の狭い障害物。
  - ・針金、金網、ロープなどの細い障害物。
  - ・バンパーに非常に近い障害物。
  - ・急に進行方向に現れた障害物。
- 次のような障害物に対しては作動しない、または作動が遅れることがあります。
  - ・地面から高い位置に存在する障害物。
  - ・スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物。
- 次のような場合は作動しないことがあります。
  - ・雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき。
  - ・周囲で大きな音が鳴っているとき。
  - ・周囲に超音波を発するものがあるとき。
  - ・障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき。
- 次のような場合は作動することがあります。
  - ・周囲に草が生い茂っているとき。
  - ・車両側面の近くに壁があるとき。
  - ・路面上に段差、または突起物があるとき。
  - ・垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき。

低速衝突軽減ブレーキが作動するとき・しないとき

渋滞時など、前方に停止している車両に衝突しそうになったとき

万一、運転者のブレーキ操作が遅れたときに、前方の停止車両に衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、警報音とメーター表示で警告し、自動的にブレーキをかけて衝突を回避、または被害を軽減します。

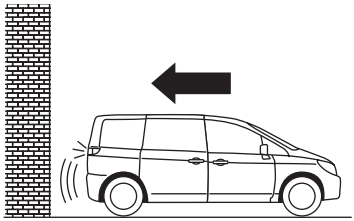


ZPA1068

- ●前方の車両が動いているときは作動しません。
- ●自動ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいたときは作動しません。
- ●アクセルペダルを踏んで前進しているときは作動が遅れることがあります。
- ●前方の車両が自車の正面から横にずれた位置にあるときは作動しないことがあります。

クルマ止めのない駐車場などで壁などに衝突しそうになったとき

万一誤って壁に接近してしまったとき、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、警報音とメーター表示で警告し、自動的にブレーキをかけて衝突を回避、または被害を軽減します。

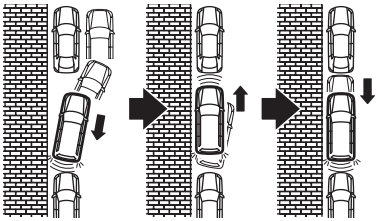


ZPA1069

- ●自動ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいたときは作動しません。
- ●アクセルペダルを踏んで後退しているときは作動が遅れる場合があります。

縦列駐車をするとき

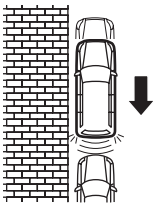
セレクトレバーをDからR、又はRからDに操作して切り替えたときは、セレクトレバーの操作を繰り返すたびに進行方向の障害物を検知して自動的にブレーキ制御が作動します。



ZPA1070

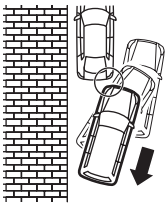
●自動ブレーキ制御が作動したあと、セレクトレバーを切り替えずにさらに同じ障害物に向かって前進、又は後退をしたときは、自動ブレーキ制御は作動しません。

●アクセルペダルを踏んでいるときは作動が遅れることがあります。



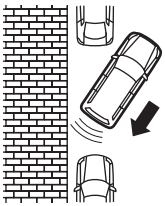
ZPA1071

●後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対しては作動しません。



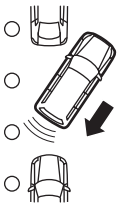
ZPA1072

●障害物に対し斜めに接近すると作動しないことがあります。



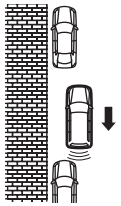
ZPA1073

●幅の狭い障害物に対しては作動しないことがあります。



ZPA1074

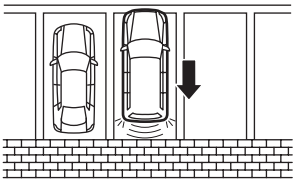
●他の車両が自車両に対して横にずれた位置にあるときは、作動しない又は作動が遅れることがあります。



ZPA1075

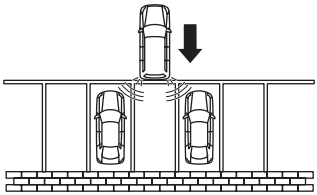
並列駐車をするとき

●アクセルペダルを踏んでいるときは作動が遅れることがあります。



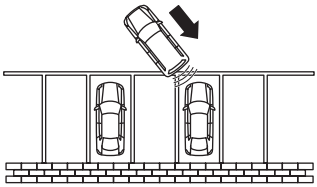
ZPA1081

●狭いスペースに進入するときに作動することがあります。



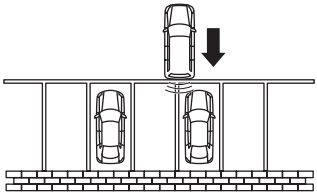
ZPA1076

●他の車両の角部に向かって接近したときは作動しません。



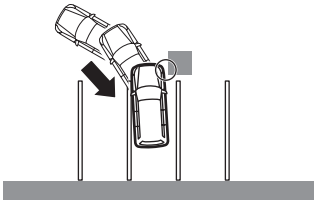
ZPA1077

●他の車両が自車両に対して横にずれた位置にあるときは作動しない、又は作動が遅れることがあります。



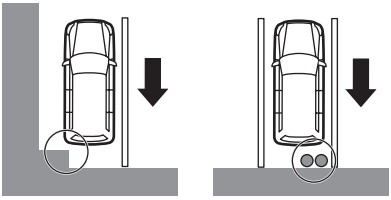
ZPA1078

●後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対しては作動しません。



ZPA1079

●壁から突き出している柱や配管などに対しては作動しません。



ZPA1080

■警告表示

- 次の場合、メーター内の警告灯が点灯し、自動的に作動が停止します。
  - ・エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストスイッチをOFFにしたとき
  - ・VDCをOFFにしたとき
- システムに異常があると、メーター内のエマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯し、システムが自動的に停止します。

アドバイス

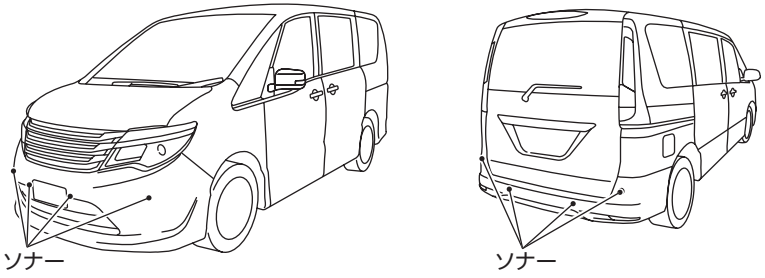
- エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストスイッチの表示灯が点灯している状態で、エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
  上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、スズキサービス工場で点検を受けてください。

エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯… P.135

ソナーの取り扱い

システムを正しく作動させるために、以下のことをお守りください。

- ソナーはいつもきれいにしておいてください。
  汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。
- ソナー又はその周辺に強い衝撃を与えないでください。またソナーの取り外し、分解などをしないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでソナーの取り付け部が変形した場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- ソナー又はその周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、アクセサリーなどを取り付けないでください。故障、誤作動の原因になります。



ZPA1278

ABS

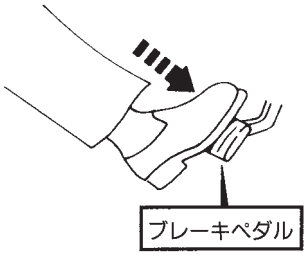
■ABSとは

急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロック（車輪の回転が止まる）を防止して、車両の安定性を向上させると共にハンドル操作による障害物回避をしやすくしたシステムです。

■ABS付車の取り扱いについて

急ブレーキを踏まなければいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。万一の危険な状況では次のようにしてください。

①危険だと感じたら、ためらわず思いきりブレーキペダルを踏み込んでください。



TCA0121Z

②ABSが作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これはABSの正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。

③障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。

⚠警告

- **ABSはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABSの付いていない車と同様に、コーナーの手前では十分な減速が必要です。早め早めの操作で安全運転をしてください。**
- **ABSはブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しようとするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、ABSの付いていない車より制動距離が長くなることがあります。このような道を走行するときは、特に速度を控えめにし、車間距離を十分とって運転してください。**
- **ABSは各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを4輪に装着してください。指定サイズ以外ではABSが正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

アドバイス

- 電源ポジションをONにしたときや、エンジン始動後最初の発進時に、エンジンルームよりモーターなどの音が聞こえることがありますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。
- 車両を確実に停止させるために、ABSは低速では作動しません。路面の状況により異なりますが、約10km/h以下では作動しません。

室内装備の使いかた 4

●エアコンの使いかた…… 202
エアコンを上手に使うために …… 202
吹き出し口について …… 204
インテリジェントエアコンシステムについて… 207
フルオートエアコン …… 209
フルオートデュアルエアコン（前席用）… 209
インテリジェントエアコンシステム（前席用）… 209
フルオートデュアルエアコン（後席用）… 214
インテリジェントエアコンシステム（後席用）… 214
リヤクーラー …… 218

●オーディオの使いかた…… 219
オーディオを上手に使うために …… 219

●カメラシステム…… 220
全方位モニター（MOD〔移動物検知〕機能付）… 220

●室内装備品の使いかた…… 236
サンバイザー …… 236
室内照明 …… 236
カップホルダー／ボトルホルダー …… 239
グローブボックス …… 241
助手席アッパーボックス …… 241
運転席アッパーボックス …… 242
運転席アンダーポケット …… 242
ティッシュボックス収納 …… 243
アクセサリーソケット …… 243
ロールサンシェード …… 244
パーソナルテーブル …… 245
ラゲッジアンダーボックス …… 245
ラゲッジフック …… 246
フロアマット …… 247

エアコンの使いかた

エアコンを上手に使うために

■エアコンを使うとき

エアコンは必ずエンジンをかけた状態で使ってください。

⚠警告

●エンジンがかかっていないときに送風してもエアコン（冷房・除湿機能）は作動しません。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。必ずエンジンをかけて使ってください。

■内気循環、外気導入について

通常は吸い込み口を自動制御、又は外気導入で使い、内気循環は必要なときだけ使ってください。

⚠警告

●内気循環で長時間使った場合、排気管に腐食や損傷による穴や亀裂があると、排気ガスによる一酸化炭素中毒になる危険があります。
●内気循環で長時間使用すると、窓ガラスがくもりやすくなり視界が損われ危険ですので、一時的に使ってください。

アドバイス

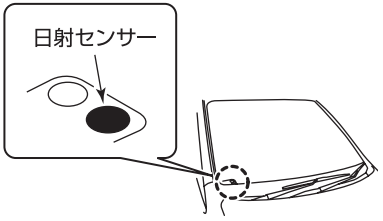
●外気導入に固定していると、夏場など外気温が高いときは、冷房の効きが悪くなる場合があります。その場合は、一時的に内気循環にしてください。

■自動温度調節

自動温度調節は日射センサーと温度センサーで行っていますので、センサーを汚したり、ふさいだりしないでください。センサーの感度が低下すると、自動温度調節が正常に作動しなくなります。

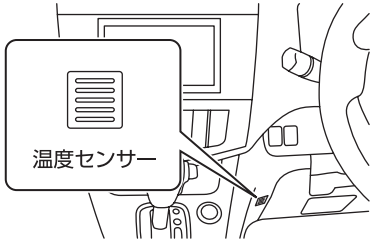
アドバイス

●日射センサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけたままにしないでください。



ZAA0811

●シールを貼るなどして車内の温度センサー部の穴をふさがないでください。



ZAA0860

■エアコンのにおいについて

エアコン装置は、空気中のいろいろなにおいが混ざり合うため、吹き出し風からにおいを感じることがあります。

アドバイス

- エアコン作動時のにおいを抑えるため、駐車時などは外気導入にしておくことをおすすめします。

■エアフィルター★

ほこり、花粉、粉じんなどを集じんするためのエアフィルターを装着しています。集じん性能を維持するため、メンテナンスは確実に行ってください。

交換時期：
1年ごと又は12,000km走行ごと

アドバイス

- 交換時期に満たない場合でも、エアコンやヒーターの吹き出し風量が極端に減少したり、窓ガラスがくもりやすくなった場合は交換してください。
- エアフィルターの取り付け、交換などについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

■長期間エアコン（冷房・除湿機能）を使わないとき

エアコン（冷房・除湿機能）装置のオイルの循環を切らさないために、ときどき冷房又は除湿暖房をしてください。

アドバイス

- 外気温が0℃近くまで下がるとエアコン（冷房・除湿機能）装置が作動しないことがありますので、暖かい日に行ってください。

■エアコンガス

本車両のエアコンガスはHFC134a（R134a）を使用しています。

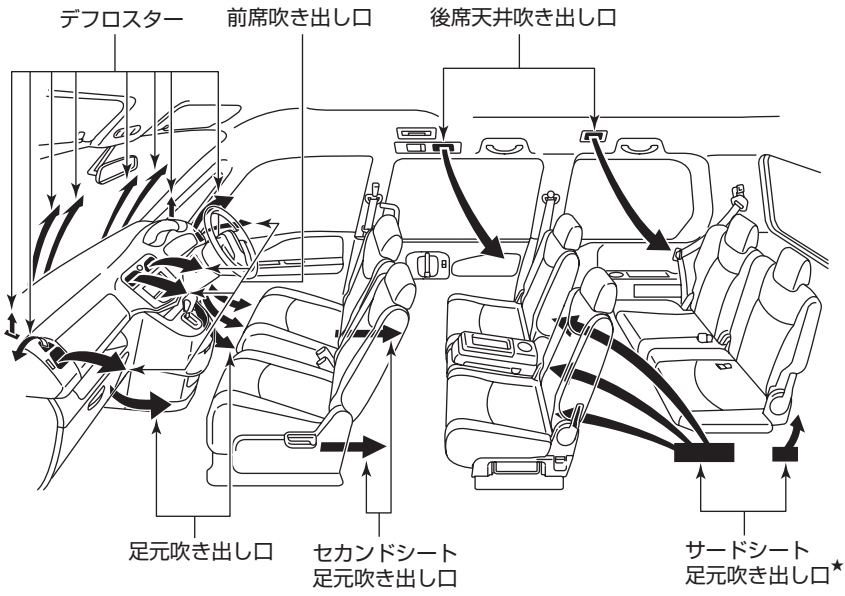
アドバイス

- エアコンガスは必ずHFC134a（R134a）を入れてください。
- 地球温暖化防止のため大気放出はしないでください。
- エアコンの冷え具合が悪いときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

吹き出し口について

■吹き出し口の位置



ZAA0868

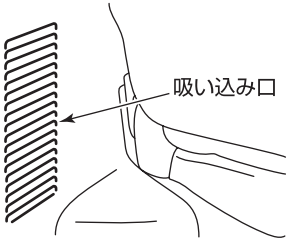
⚠注意

- **特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間連続してあたらないように運転者が注意してください。低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。**

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

アドバイス

- ラゲッジルームにある吸い込み口を荷物などでふさがないでください。吹き出し風量が減少するおそれがあります。

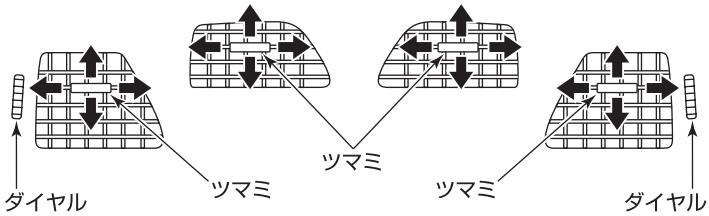


ZAA0814

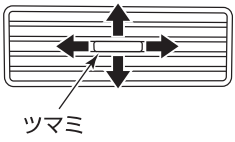
■吹き出し風の調節

- 吹き出し口のツマミを上下又は左右に動かして風向きを調節します。
- フロント左右の吹き出し口は、ダイヤルを回して風量の調節と開閉ができます。（閉：⊠、開：≡）

〈フロント上半身吹き出し口〉



〈リヤ天井吹き出し口〉



ZAA0815

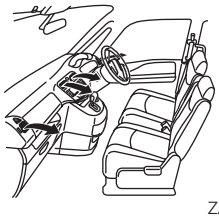
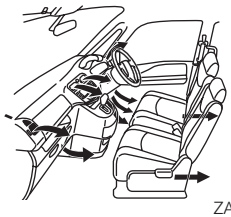
アドバイス

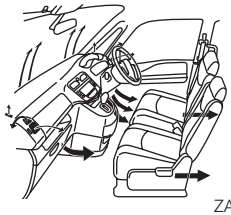
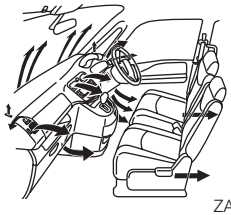
- 冷房時、吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので、異常ではありません。

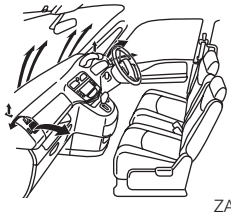
■吹き出し口の切り替えと使用目的

使用目的に合わせて、吹き出し口切り替えスイッチ又はデフロスタースイッチを押して切り替えます。

吹き出し口切り替えスイッチ…P.212、デフロスタースイッチ…P.211

使用目的	上半身に送風したいとき	上半身、足元に送風したいとき
表　　示	 ECE0121Z	 ECE0122Z
吹き出し口	 ZAA0816	 ZAA0817

使用目的	足元に送風したいとき	足元への送風と窓ガラスのくもりを取りたいとき
表　　示	 ECE0123Z	 ECE0124Z
吹き出し口	 ZAA0818	 ZAA0819

使用目的	前面及び側面ガラスのくもりを取りたいとき
表　　示	 ECE0125Z
吹き出し口	 ZAA0820

インテリジェントエアコンシステムについて★

プラズマクラスターイオン®フルオートエアコンとにおい・排出ガス検知式内外気自動切換え機構、ビタミンフィルターの働きにより、車内の空気をクリーンにする効果が得られます。エアコン操作部のクリーンスイッチ(CLEAN)を押すことにより、これらを同時に作動させることができます。
（スイッチの表示灯が点灯）

アドバイス

- 次のような場合は、クリーンスイッチを押してもインテリジェントエアコンシステムは作動しません。
  - ・吹き出し口がデフロスター位置のとき。
  - ・外気温が約0℃以下のとき。

においセンサー・排出ガス検知式内外気自動切換え機構…P.208
ビタミンフィルター…P.208

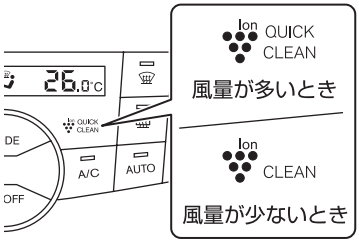
■プラズマクラスターイオン®フルオートエアコン（除菌機能付）

高濃度プラズマクラスターイオンをエアコンの吹き出し風に含ませ、除菌とともに内装に染みついたにおいを低減します。さらに肌の保湿効果をプラスしました。

アドバイス

- 本商品には、シャープ株式会社のプラズマクラスターイオン技術を搭載しています。プラズマクラスター、プラズマクラスターイオン及びPlasmaclusterはシャープ株式会社の商標です。

- 風量により、CLEANモードとQUICK CLEANモードが切り替わります。



ZAA0821

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

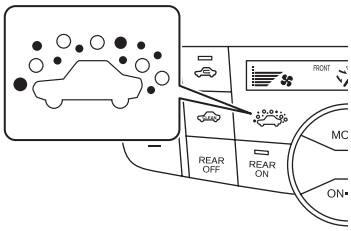
■におい・排出ガス検知式内外気自動切換え機構

排気ガスの有害成分（CO、NO_2）や不快なにおい（家畜臭、工場の排気臭など）を車両前部のセンサーで検知し、吸い込み口を切り替えるシステムです。

- エアコン操作部のクリーンスイッチを押すと作動します。（スイッチの表示灯が点灯）
- 作動後約5分間は、吸い込み口が内気循環に固定され、花粉などの侵入を防ぎながら車内をすばやく除菌します。
- 5分以降は、ガスセンサーの働きにより、内気循環⇔外気導入を自動で切り替えます。

アドバイス

- 風向きによっては排気ガスやにおいを検知できない場合がありますが異常ではありません。
- クリーンスイッチがONで車外の排気ガスや不快なにおいを検知したときは、表示部に下のマークが表示されます。（エンジンを始動して最初の30秒はクリーンスイッチのON／OFFに関係なく表示されます。）



ZAA0822

■ビタミンフィルター

- ほこりや粉じん、花粉などを集じんし、除去するエアフィルターを装着しています。また、ビタミンCと水分を放出し、皮膚や髪の水分量をキープし、紫外線による肌のダメージも軽減します。
- 集じん性能を維持するため、メンテナンスは確実に行ってください。

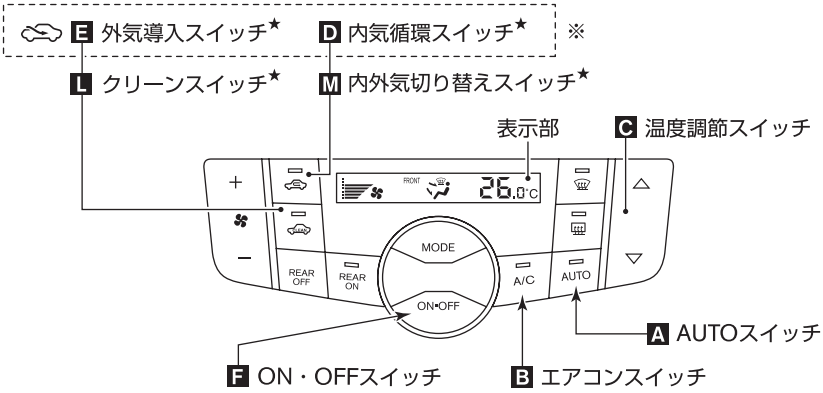
交換時期：
1年ごと又は12,000km走行ごと

アドバイス

- 交換時期に満たない場合でも、エアコンやヒーターの吹き出し風量が極端に減少したり、窓ガラスがくもりやすくなった場合は交換してください。
- フィルターの取り付け、交換などについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

フルオートエアコン★
フルオートデュアルエアコン（前席用）★
インテリジェントエアコンシステム（前席用）★

■オートで使うとき



ZAA0823

※フルオートエアコン付車、フルオートデュアルエアコン付車

通常の使いかた

以下の操作で、風量、吹き出し口（を除く）、内気循環・外気導入の切り替えが自動調節され、設定した温度に保ちます。

①AUTOスイッチAを押します。
（スイッチの表示灯が点灯）

アドバイス

●オートで使用中に、風量、吹き出し口をマニュアル操作するとスイッチの表示灯が消灯しますが、操作したスイッチ以外は自動調節されます。
任意に設定を変えて使うとき… P.212

②エアコンスイッチBの表示灯が消灯している場合は、エアコンスイッチを押してエアコン（冷房・除湿機能）を作動させます。
（スイッチの表示灯が点灯）

③温度調節スイッチCを押して希望温度にします。
温度の調節範囲は18～32℃です。
▲…温度が上がる
▼…温度が下がる

〈フルオートエアコン付車、フルオートデュアルエアコン付車〉

④内気循環スイッチD又は外気導入スイッチEの点灯している方のスイッチを約2秒間押して、吸い込み口を自動制御に切り替えます。
（スイッチの表示灯が2回点滅）

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

〈インテリジェントエアコンシステム付車〉

④クリーンスイッチLの表示灯が消灯している場合は、クリーンスイッチLを押して吸い込み口を自動制御に切り替えます。
（スイッチの表示灯が点灯）

※止めるときは、ON・OFFスイッチFを押します。

アドバイス

- 外気温が0℃近くまで下がると、エアコンスイッチBが点灯していてもエアコン（冷房･除湿機能）が作動しないことがあります。
- エンジン始動直後で冷却水温が低いときは、足元への吹き出し風量が少なくなります。
- 外気温が低いときは、外気温に応じてフロントデフロスターへの風量が多くなります。
- 外気温が低いときは、暖房効果を高めるために、通常の走行時よりもエンジン回転数が高くなることがありますが異常ではありません。

ヒーターとして使うとき

除湿を行わない自動調節のヒーターとして使えます。

①AUTOスイッチAを押します。
（スイッチの表示灯が点灯）

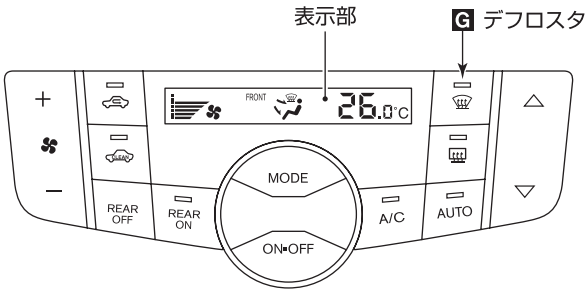
②エアコンスイッチBの表示灯が点灯している場合は、エアコンスイッチBを押します。
（スイッチの表示灯が消灯）

③温度調節スイッチCを押して希望温度にします。

アドバイス

- ヒーターとして使うときは、車内温度は外気温度より低くなりません。
- 外気温、湿度が低いときなどに使います。
- 除湿しながら暖房したいときは、エアコンスイッチBを押してエアコン（冷房・除湿機能）を作動させてください。

■窓ガラスのくもりを取るとき



ZAA0824

●デフロスタースイッチGを押します。
（スイッチの表示灯が点灯）
デフロスターから風が吹き出し、吸い込み口は外気導入になります。

※元に戻すときは、もう一度デフロスタースイッチGを押します。

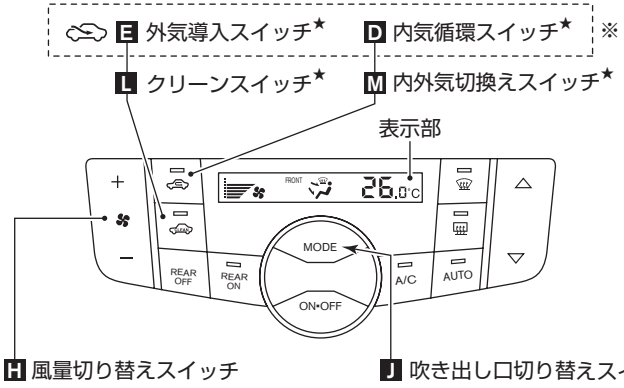
⚠注意

• エアコンのセット温度を低くすると、フロントウインドーガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

アドバイス

●デフロスタースイッチGを押したときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。
●早くくもりを取りたいときは、設定温度を高くし、吹き出し風量を多くします。
風量を変更したいとき…P.212
●エアコン（冷房・除湿機能）を作動させていないとき、デフロスタースイッチGを押すとエアコン（冷房・除湿機能）も作動します。
●AUTOスイッチの表示灯が点灯しているとき、デフロスタースイッチGを押すと表示灯は消灯しますが、風量と温度は自動調節します。
●バックドアガラスのくもりを取るときは、リヤウインドーデフォッガースイッチを使います。
リヤウインドーデフォッガースイッチ…P.149
●窓ガラスのくもりを取りながら足元への送風をしたいときは、吹き出し口を位置にします。
吹き出し口を変更したいとき…P.212

■任意に設定を変えて使うとき



ZAA0920

※フルオートエアコン付車、フルオートデュアルエアコン付車

お好みに合わせて風量、吹き出し口、内気循環・外気導入の設定を切り替えることができます。

アドバイス

- 切り替え操作をしたスイッチ以外で、それまで自動調節されていた部位は、自動調節を継続します。
- オート（自動調節）に戻したいときは、通常の使いかたの要領で操作します。

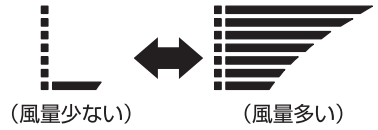
通常の使いかた…P.209

風量を変更したいとき

風量切り替えスイッチHを押すごとに切り替わります。

＋…風量が多くなる

－…風量が少なくなる



ZAA0847

吹き出し口を変更したいとき

- 吹き出し口切り替えスイッチJを押すごとに切り替わります。



ESE1120Z

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

内気循環・外気導入を切り替えたいとき

〈フルオートエアコン付車、フルオートデュアルエアコン付車〉

- 内気循環にするときは、内気循環スイッチDを押します。
- 外気導入にするときは、外気導入スイッチEを押します。
- 自動制御にするときは点灯している方のスイッチを約2秒間押します。

（スイッチの表示灯が2回点滅）

スイッチ	使用目的
内気循環  ZAA0716 点　灯	トンネル内や渋滞などで外気が汚れているときや、早く冷暖房したいとき。
外気導入  ZAA0843 点　灯	外気を取り入れたいときや、タバコの煙などを外に出したいとき。
自動制御 ※	車内の温度に応じて、吸い込み口を自動制御させるとき。

※自動制御時は、制御している方のスイッチの表示灯が点灯します。

〈インテリジェントエアコンシステム付車〉

- 内外気切換えスイッチMを押すごとに内気循環、外気導入に切り替わります。
- 以下の条件を満たしているときにクリーンスイッチLを押すと自動制御に切り替わります。
  - ・吹き出し口がデフロスター位置以外のとき。
  - ・外気温が約0℃以上のとき。

スイッチ	使用目的
内気循環  ZAA0716 点　灯	トンネル内や渋滞などで外気が汚れているときや、早く冷暖房したいとき。
外気導入  ZAA0528 消　灯	外気を取り入れたいときや、タバコの煙などを外に出したいとき。
自動制御 ※ クリーンスイッチ 点　灯	車外の排気ガス濃度に応じて、吸い込み口を自動制御させるとき。

※自動制御時は、クリーンスイッチLの表示灯が点灯し、内外気切換えスイッチMの表示灯が制御に合わせて点灯・消灯します。

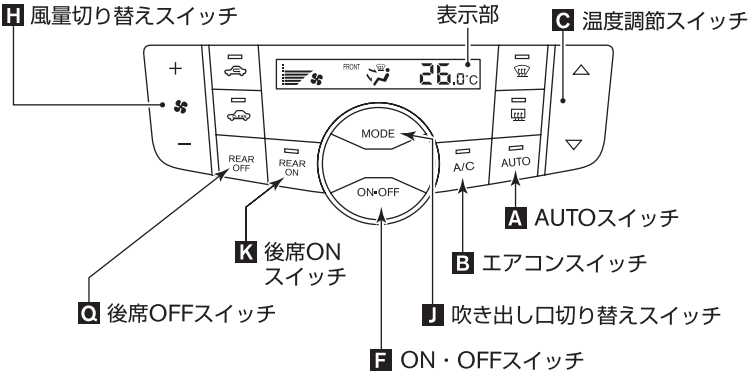
フルオートデュアルエアコン（後席用）★ インテリジェントエアコンシステム（後席用）★

以下の操作で風量、吹き出し口が自動調節され、設定した温度に保ちます。
前席用エアコン（冷房・除湿機能）を作動させてから操作します。

アドバイス

- エンジン始動直後で冷却水温が低いときは、足元への吹き出し風量が少なくなります。
- 前席用エアコンと後席用エアコンの温度、風量、及び吹き出し口を別々に調節できます。
- オートで使用中に、風量、吹き出し口をマニュアル操作すると、AUTOスイッチの表示灯は消えますが、操作したスイッチ以外は自動調節されます。

フロント操作部での使いかた



ZAA0827

■オートで使うとき

通常の使いかた

前席用エアコンを作動させてから操作します。

①後席ONスイッチKを押します。
（スイッチの表示灯が点灯）

②温度調節スイッチCを押して希望温度にします。
温度の調節範囲は18～32℃です。
▲…温度が上がる
▼…温度が下がる

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

※前席、後席用エアコンの両方を止めるときはON・OFFスイッチFを押します。

※後席用エアコンのみを止めるときは、後席OFFスイッチQを押します。
（後席ONスイッチKの表示灯が消灯）

アドバイス

- 後席ONスイッチKを押してから、約10秒間操作しないとフロント操作画面に切り替わります。
- 前席用エアコン（冷房・除湿機能）を作動させていないとき、後席用エアコンを作動させると前席用エアコン（冷房・除湿機能）が作動します。
- 後席用エアコン作動中で表示部に「FRONT」と表示されているとき、エアコンスイッチBを押して表示灯を消灯させると、後席用エアコンの作動が停止します。
（後席の吹き出し口が↓のときを除く。）

ヒーターとして使うとき

除湿を行わない自動調節のヒーターとして使えます。

①後席用エアコン作動中、後席ONスイッチKを押してリヤ操作画面に切り替えます。
（表示部に「REAR」と表示）
②吹き出し口切り替えスイッチJを押して、後席の吹き出し口を↓にします。
③温度調節スイッチCを押して希望温度にします。
④後席ONスイッチKを押して、フロント操作画面に切り替えます。
（表示部に「FRONT」と表示）
⑤エアコンスイッチBを押して、エアコンスイッチBの表示灯を消灯させます。

アドバイス

- ヒーターとして使うときは、天井の吹き出し口からは送風されません。また、車内温度は外気温度より低くなりません。
外気温、湿度が低いときなどに使ってください。
- 除湿しながら暖房したいときは、エアコンスイッチBを押してエアコン（冷房・除湿機能）を作動させてください。

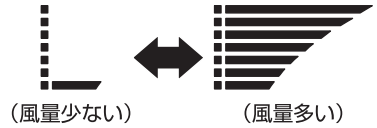
■任意に設定を変えて使うとき

アドバイス

●後席ONスイッチKを押して、後席エアコン操作画面に切り替えてから操作します。
（表示部に「REAR」と表示）

風量を変更したいとき

●風量切り替えスイッチHを押すごとに切り替わります。
＋…風量が多くなる
－…風量が少なくなる



ZAA0847

吹き出し口を変更したいとき

●吹き出し口切り替えスイッチJを押すごとに切り替わります。



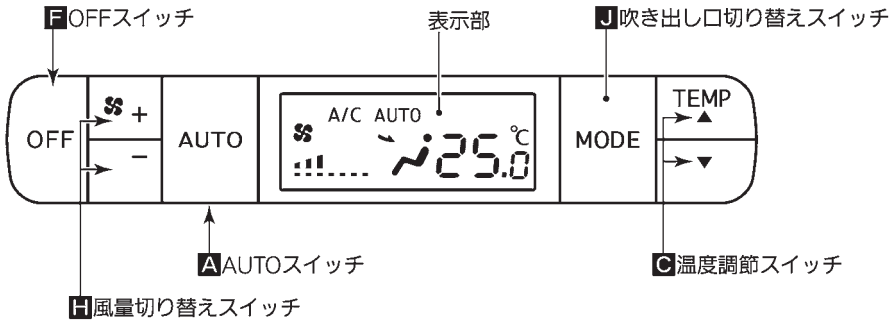
ECF0019Z

アドバイス

●風量、吹き出し口をオート（自動調節）に戻したいときは、後席ONスイッチKを押して「REAR」と表示させてからAUTOスイッチAを押します。

リヤ操作部での使いかた

※リヤ操作部は、セカンドシートの天井部右側にあります。



ESF0005Z

■オートで使うとき

通常の使いかた

前席用エアコン（冷房・除湿機能）を作動させてから操作します。

①AUTOスイッチAを押します。
（表示部に「AUTO」と表示）

②温度調節スイッチCを押して希望温度にします。
温度の調節範囲は18～32℃です。
▲…温度が上がる
▼…温度が下がる

※止めるときは、OFFスイッチFを押します。

ヒーターとして使うとき

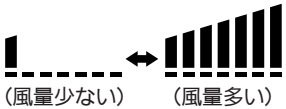
フロント操作部で操作します。

ヒーターとして使うとき…P.215

■任意に設定を変えて使うとき

風量を変更したいとき

風量切り替えスイッチHを押すごとに切り替わります。
＋…風量が多くなる
－…風量が少なくなる



TCF0001Z

吹き出し口を変更したいとき

●吹き出し口切り替えスイッチJを押すごとに切り替わります。



ECF0019Z

アドバイス

●風量、吹き出し口をオート（自動調節）に戻したいときは、AUTOスイッチAを押します。

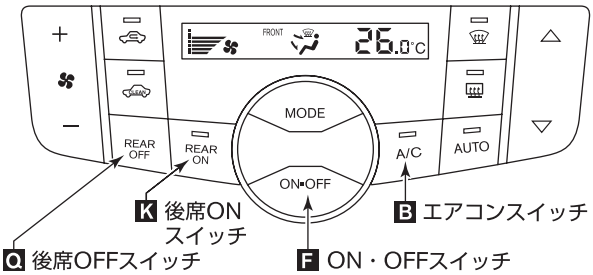
リヤクーラー★

リヤクーラーは、フロントエアコン（冷房・除湿機能）作動時に使えます。
※リヤ操作部は、セカンドシートの天井部右側にあります。

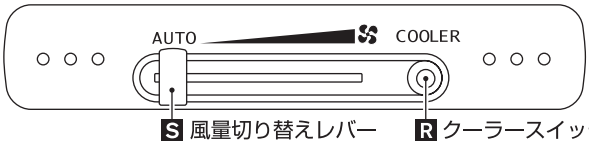
アドバイス

- フロント操作部でエアコン（冷房･除湿機能）の作動を停止させるとリヤクーラーも作動を停止します。

〈フロント操作部〉



〈リヤ操作部〉



ZAA0828

フロント操作部での使いかた

- フロント操作部の後席ONスイッチKを押して、リヤクーラーをONにします。
（スイッチの表示灯が点灯）

※前席用エアコン、リヤクーラーの両方を止めるときは、ON・OFFスイッチFを押します。

※リヤクーラーのみを止めるときは、後席OFFスイッチQを押します。
（後席ONスイッチKの表示灯が消灯）

リヤ操作部での使いかた

- クーラースイッチRを押して、リヤクーラーをONにします。
（スイッチの表示灯が点灯）

※止めるときは、もう一度クーラースイッチRを押します。
（スイッチの表示灯が消灯）

風量の切り替えかた

- 風量切り替えレバーSが「AUTO」位置にあるときは、風量が自動調節されます。
- 風量を変更したいときは、風量切り替えレバーSを動かして調節します。
  左側：風量少ない
  右側：風量多い

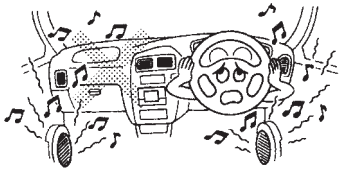
★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

オーディオの使いかた

オーディオを上手に使うために

■安全運転のために

運転中は車外の音が聞こえる適度な音量でお聞きください。



TCA0123Z

⚠警告

●音量が大きすぎると車外の状況が判らないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、走行中のオーディオ操作は前方不注意となるおそれがあります。十分注意して行ってください。

■ラジオの受信について

ラジオの受信は、車両の移動に伴う電波の変動、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することができない場合があります。



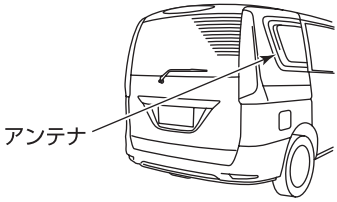
TCA0196Z

アドバイス

●オーディオを聞いているとき、車内、又は車の近くで携帯電話や無線機を使うと、ノイズ（雑音）が入ることがあります。

■アンテナについて

●アンテナ線はリヤサイドガラスの内側にあります。



ZAA0858

アドバイス

●リヤサイドウインドーにミラータイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けないでください。受信感度が低下し、ノイズ（雑音）などが入るおそれがあります。

●リヤサイドガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線を切らないように、水を含ませた柔らかい布でアンテナ線にそって軽くふいてください。

バックドア、リヤサイドウインドーの清掃…P.261

●アンテナ線は、手荷物などで傷つけないようにしてください。

カメラシステム

全方位モニター（MOD〔移動物検知〕機能付）★

全方位モニターは、自車位置を映し出すことにより、駐車スペースへの駐車時や縦列駐車時に運転者を補助します。

⚠警告

- 全方位モニターは障害物などの確認を補助するシステムです。車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。特に車両の四隅は、トップビュー、フロントビュー、リヤビューに障害物が映らない死角になります。必ず窓から目視し、安全を確認してから車両を操作してください。常に低速で車両を移動させてください。
- ドアミラーを格納した状態では使用しないでください。適切な範囲を映すことができません。また使用するときは、バックドアが確実に閉まっているか確認してください。
- 全方位モニター映し出される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
- カメラはフロントグリル中央部、ドアミラー、リヤナンバープレート上部に装着されています。作動を妨げるような物をカメラ部分に取り付けないでください。字光式ナンバープレートを装着すると、リヤビューモニターの映像が一部映らなくなることがあります。
- カメラ部は精密機械のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障、火災又は感電のおそれがあります。

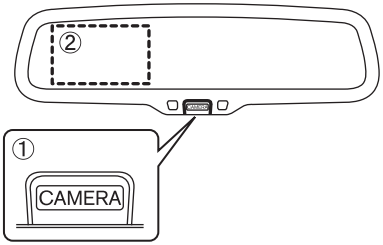
⚠注意

- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、ぬれた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。画面の映像へ影響が出ることがあります。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

全方位モニターの使いかた

- 電源ポジションがONのときにCAMERAスイッチを押すか、セレクトレバーを操作すると表示します。
- CAMERAスイッチ①と全方位モニター表示部②はルームミラーにあります。



ZAA0953

全方位モニターを表示する

■セレクトレバーの操作

- セレクトレバーをRに入れると全方位モニターがONになり、トップビュー（左側画面）／リヤビュー（右側画面）を表示します。セレクトレバーをRから他の位置に動かすとOFFになります。
- セレクトレバーがD又はLのときに、ソナー（P.233）が障害物を検知したときは、全方位モニターがONになり、トップビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）を表示します。
  障害物の検知がなくなると、全方位モニターはOFFになります。

■CAMERAスイッチの操作

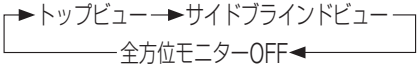
- CAMERAスイッチを押すと全方位モニターがONになり、トップビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）を表示します。

■3分タイマー機能

CAMERAスイッチを押してから約3分後に自動的に全方位モニター表示が消える機能です。セレクトレバーがR以外のときに作動します。（ただし、タイマー作動中にCAMERAスイッチを押すとタイマーがリセットされます。）

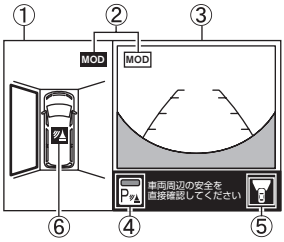
■画面の切り替え

- CAMERAスイッチを押すことで、左側画面を切り替えることができます。



- 右側画面にフロントビューが表示されているときにセレクトレバーをRに入れると、リヤビューに切り替わります。
  セレクトレバーをRから他の位置に動かすと、再度、フロントビューに切り替わります。

全方位モニター画面



ZAA0955

①左側画面

●トップビュー又はサイドブラインドビューを表示します。

②MOD（移動物検知）（P.231）機能作動状態アイコン

●どちらのビューでMOD（移動物検知）機能が作動するかを表します。

MOD：MOD（移動物検知）機能が作動します

MOD：MOD（移動物検知）機能が作動しません

アドバイス

●表示しているビューで映している範囲のみMOD（移動物検知）機能が作動します。例えば、リヤビューでMOD（移動物検知）機能を作動させている場合には、車両前方の移動物は検知しません。

③右側画面

●セレクトレバーがRのときはリヤビューを、R以外のときはフロントビューを表示します。

④ソナーインジケーター

●ソナー機能のON又はOFFを表します。
ソナー機能がONのときはソナーインジケーターが点灯し、OFFのときは消灯します。

⑤方向指示アイコン

●右側画面の映している方向を表します。

：リヤビュー表示

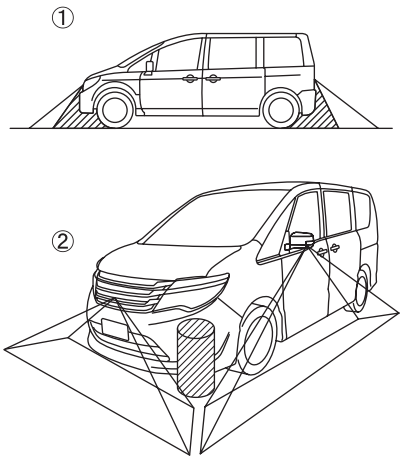
：フロントビュー表示

⑥ソナーインジケーターOFFアイコン

●ソナー機能がOFFのとき（約3秒間）点滅し、消えます。

映し出す範囲

●特定の領域は、カメラに映し出されません。フロントビュー又はリヤビューでは、バンパー下側又は地上面の部分は表示されないことがあります①。トップビューでは、カメラの映し出す範囲の境目付近にあるもの、路面より高さのあるものは表示されないことがあります②。



ZAA0984

画面表示の種類

⚠ 警告

●距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離は目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
●目安ラインや予想進路線は、乗車人数や燃料の容量などの影響により実際の距離と異なることがあります。目安としてお使いください。
●サイズが異なるタイヤと交換すると、予想進路線とトップビューが不適切に表示されることがあります。
●上り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。下り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも近くにあるように見えます。ミラーを併用するか、目視によって正確な距離を判断してください。

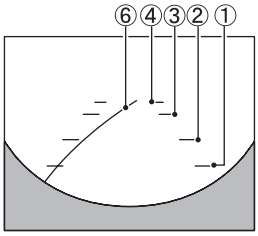
アドバイス

●カメラレンズの特性により、画面上の距離と実際の距離が異なって見えたり、対象物が変形して見えることがあります。
車幅目安ラインと予想進路線は、実際の車幅と進路よりも広くなっています。

■フロントビュー／リヤビュー

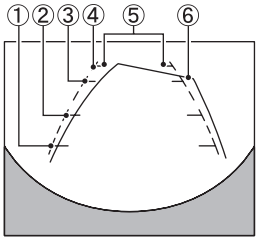
●車両の前方／後方の映像を全方位モニター右側画面に表示します。

〈フロントビュー〉



ZAA0960

〈リヤビュー〉



ZAA0961

距離目安ライン

●車体からの距離の目安を示します。
- ①赤色：約0.5m
- ②黄色：約1m
- ③緑色：約2m
- ④緑色：約3m

⑤車幅目安ライン

●車幅の目安を示します。

⑥予想進路線

●運転操作時に予想進路を示します。予想進路線は、ハンドルを切ったときに表示されます。予想進路線はハンドルを切った角度に応じて移動し、ハンドルを中立位置にすると表示されなくなります。

●フロントビューは、車速が10km/hを超えると表示されなくなります。

⚠警告

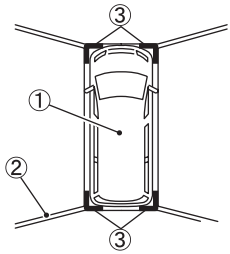
- リヤビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
- リヤビューモニターの映像は、ルームミラーやドアミラーで見るのと同様に左右反転させた鏡像です。
- 雪道や滑りやすい路面では、予想進路線と実際の進路が異なることがあります。
- リヤビューカメラは車幅の中心よりずれた位置に取り付けられているため、リヤビューの表示は多少右にずれて見えます。

⚠注意

- フロントビューが表示されているときに、中立位置から約90度の範囲内でハンドルを切ると、予想進路線が左右に表示されます。約90度以上ハンドルを切ると、予想進路線はハンドルを切った方向とは逆方向にのみ表示されます。

■トップビュー

- 自車位置や駐車スペースへの進入コースが分かりやすい、車両を上から見たような映像を全方位モニター左側画面に表示します。
  車両アイコン①は、自車位置を示しています。トップビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
  カメラで撮影できない領域②は、黒色で表示されます。
  電源ポジションをONにし、トップビューを表示すると、トップビュー境目②と撮影されないコーナー部分③は、約4秒間黄色で強調表示されます。
  フロント＆バックソナーがOFFのとき、撮影されないコーナー部③は赤色で表示されます。



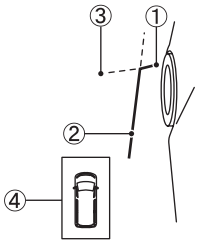
ZAA0962

⚠警告

- ドアミラー、車両前方、車両後方に装着されているカメラからの映像を組み合わせて処理した疑似的な映像のため、トップビューは、障害物を実際より遠く映します。
- 囲いや車両といった高さのある障害物は、映像の継ぎ目で位置がずれたり、表示されないことがあります。
- カメラの高さよりも上にある障害物は表示されません。
- トップビューの映像は、カメラの位置が変化するとずれることがあります。
- 路上の線は映像の継ぎ目でずれたり、曲がって見えたりすることがあります。ずれは、車両から遠ざかるにつれて大きくなります。

■サイドブラインドビュー

- 車両の左側前輪付近から前方を、全方位モニター左側画面に表示します。
  道路端への幅寄せ駐車などに便利です。



ZAA0963

目安ライン

- モニターには車幅と車両の前端を示す目安ラインが表示されます。
  - ・前端目安ライン①は、車両前部の位置の目安を示します。
  - ・側方目安ライン②は、ドアミラーを含めた車幅の目安を示します。
  - ・前端目安ライン①と側方目安ライン②の延長線③は、緑色の破線で表示します。

ソナー表示

- サイドブラインドビューを表示させると、ソナー表示④（P.233）を表示します。

⚠注意

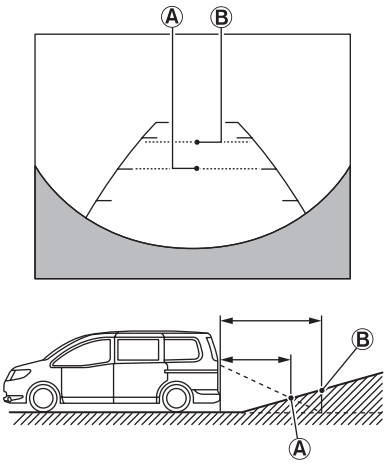
- カメラから汚れや雪を取り除くときに、カバーに傷をつけないように注意してください。
- 方向指示器の光が側方目安ラインと重なる場合がありますが、異常ではありません。

映像と実際の路面との誤差について

●フロントビューとリヤビューに表示される距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離はあくまでも目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

急な上り坂が後方にあるとき

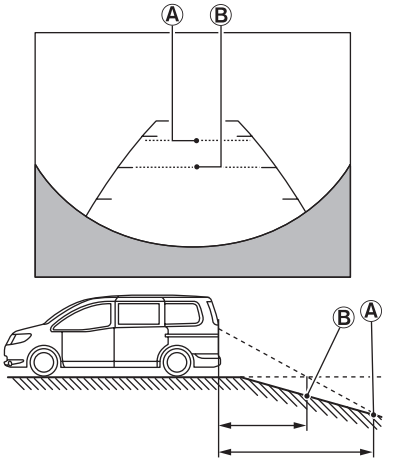
●距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも手前に表示されます。
例えば、位置Ⓐまでの距離が1mと表示されていても、実際に1mの距離にあるのは、位置Ⓑです。上り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。



ZAA0954

急な下り坂が後方にあるとき

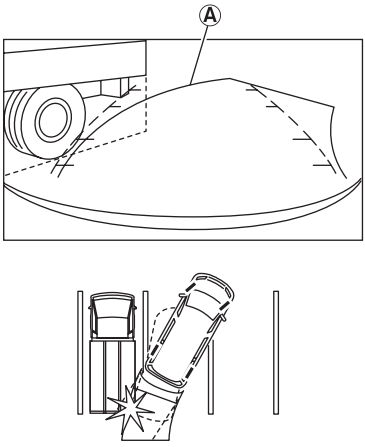
●距離目安ラインと車幅目安ラインは実際の距離よりも後ろに表示されます。
例えば、位置Ⓐまでの距離が1mと表示されていても、実際に1mの距離にあるのは、位置Ⓑです。下り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも近くにあるように見えます。



ZAA0965

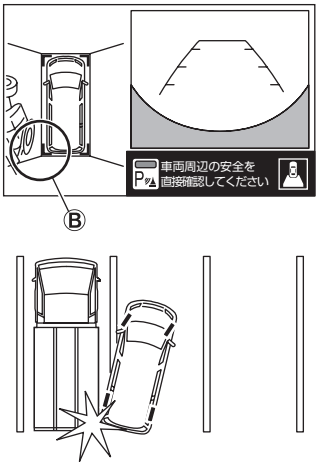
立体物が近くにあるとき

●立体物が近くにある場合には実際の距離と異なって表示される場合があります。
例）1
予想進路線Ⓐは表示されているトラックの車体に触れていません。しかし、トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、ぶつかることがあります。



ZAA0966

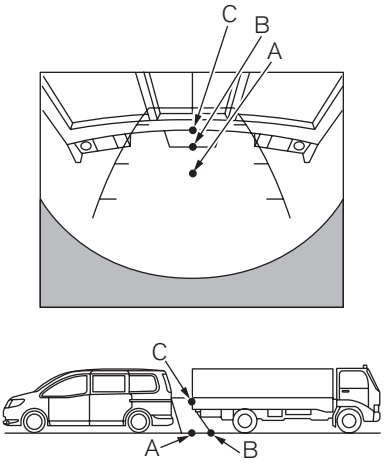
例）2
表示されているトップビューⒷでは、自車とトラックの車体間にはわずかな距離があるように見えます。しかし、実際の距離は表示されているよりも短く、トラックの車体にぶつかることがあります。



ZAA0967

立体物に接近するとき

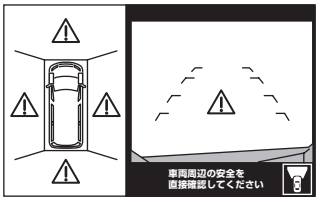
Ⓒの位置はⒷの位置よりも遠くにあるように見えますが、実際はⒶの位置と同じ距離です。トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、Ⓐの位置まで下がるとぶつかることがあります。



ZAA0968

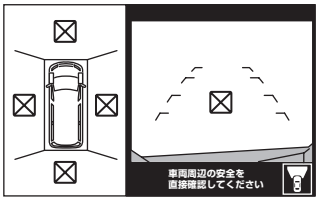
画面のエラー表示について

⚠アイコンが画面内に表示された場合は、全方位モニターの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、スズキサービス工場で点検を受けてください。



ZAA0978

☒アイコンが画面内に表示された場合は、カメラ映像が一時的に周囲の電子機器の影響を受けている可能性があります。頻繁に表示される場合はスズキサービス工場で点検を受けてください。



ZAA0979

作動に関する注意事項

- フロントビュー及びリヤビューの表示線は、路面の状況により障害物への距離が実際と異なって見えることがあります。特徴をよく理解してください。
- セレクトレバーがR以外のとき、CAMERAボタンを押して全方位モニターを表示させた後３分間操作を行わないでいると、自動的に全方位モニター表示が消えます。
- 画面の切り替わり後は、映像の表示が遅れることがあります。全方位モニターが完全に表示されるまでは、映像が一時的にゆがむことがあります。
- 外気温が極端に高いか、低いときは、映像の映りが悪くなることがありますが、異常ではありません。
- カメラに直接強い光を当てると、映像の映りが悪くなることがありますが、異常ではありません。
- 蛍光灯照明が当たると、映像にちらつきが出ることがありますが、異常ではありません。
- 全方位モニター映像の色味は、実際とはわずかに異なって見えることがあります。
- 暗い所や夜間時には映りが悪くなり、色味が異なって見えることがありますが、異常ではありません。
- トップビューの各カメラの映像に鮮明さの違いが生じることがあります。
- トップビューの画像は、４つのカメラからの映像を加工処理して表示するため、次のように表示される場合があります。
  - ・立体物が倒れこんで見える
  - ・路面よりも高い位置にある車両などが実際より遠くに見える
  - ・高さのあるものが画像の継ぎ目でずれて表示される
  - ・各カメラ画像の明るさが違う
- カメラに汚れ、雨、雪が付着すると、映像の映りが悪くなることがあります。カメラを清掃してください。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用してカメラを清掃しないでください。変色する原因となります。中性洗剤を薄めて含ませた布でふき取った後、乾いた布でふいてください。
- モニター映像に悪影響が生じるため、カメラに傷をつけないよう注意してください。
- カメラにはワックスを使用しないでください。中性洗剤を薄めて含ませた清潔な布でワックスをふき取ってください。

MOD（移動物検知）機能

車庫入れや駐車場からの発進時などに自車周辺の移動物をドライバーにお知らせすることで、安全確認をサポートする機能です。

⚠注意

●車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。

●車両周辺に移動物があるときに、音と黄枠を表示してお知らせします。

アドバイス

●ソナーブザーが鳴っている場合はMOD（移動物検知）機能ブザーは鳴りません。

●トップビューにMOD表示がある場合には移動物を検知したエリア（前後左右）に黄枠を表示します。

●MOD（移動物検知）機能は以下の条件のとき、MODが表示されている画面で作動します。

・セレクトレバーがPまたはNで車両が停車しているときに、トップビュー側で作動します。

・セレクトレバーがDで車速約8km/h以下のときに、フロントビューで作動します。

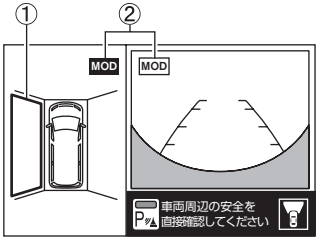
・セレクトレバーがRで車速約8km/h以下のときに、リヤビューで作動します。

アドバイス

●サイドブラインドビューにはMOD（移動物検知）機能がないので、MODアイコンを表示しません。

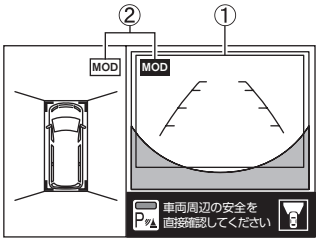
■MOD（移動物検知）機能表示画面

〈トップビュー〉



ZAA0971

〈フロントビュー〉



ZAA0972

①MOD（移動物検知）表示

●MOD（移動物検知）機能で移動物を検知したときに、黄枠でお知らせします。

②MOD（移動物検知）機能作動状態アイコン

●MOD（移動物検知）機能を作動させる側の画面のアイコンを青色で表示します。

MOD：MOD（移動物検知）機能が作動します

MOD：MOD（移動物検知）機能が作動しません

アドバイス

●以下の場合にはMOD（移動物検知）機能は作動しません。
- 車速やセレクトレバーの位置がMOD（移動物検知）機能の作動条件から外れている場合
- トップビューによるMOD（移動物検知）機能作動中でいずれかのドアが開いている場合
- リヤビューによるMOD（移動物検知）機能作動中でバックドアが開いている場合

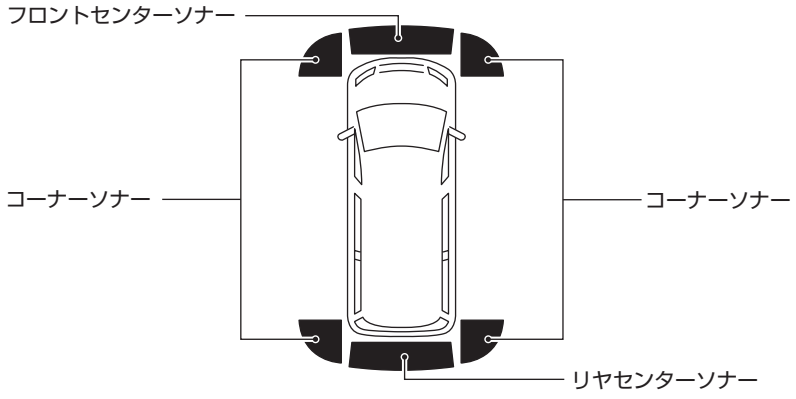
●トップビューによるMOD（移動物検知）機能作動中で電動格納ミラーが作動している場合、誤検知する場合があります。

フロント&バックソナー機能

⚠注意

- **気温や天候、路面状態などの周囲の状況や、障害物が動いていたり小さい場合にはセンサーが検知できないことがあります。必ず周囲の安全を確認してから運転してください。**
- **センサーは前後バンパーについています。バンパーには、ステッカーを貼ったりアクセサリーなどを取り付けないでください。**
- **バンパーに凹みなどがあると正確な距離が測定できず、誤検知する場合があります。**
- **適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤警報や誤操作の原因になります。**

- 車速約10km/h以下で前進中にソナーが障害物を検知した場合は、自動的に全方位モニター画面に切り替わり、ソナー表示とブザーでお知らせします。
  ソナー表示はトップビュー又はサイドブラインドビュー画面に表示されます。



ZAA0969

■コーナーソナー

障害物までの距離（目安）	60～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄	赤
表示点滅速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ…	ピピピピピ…	ピー

■フロントセンターソナー

障害物までの距離（目安）	100～70cm	70～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	緑	黄	赤
表示点滅速度	遅い	遅い	早い	点灯
ブザー音	無し	ピッ、ピッ、ピッ…	ピピピピピ…	ピー

■リヤセンターソナー

障害物までの距離（目安）	150～70cm	70～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄	赤
表示点滅速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ…	ピピピピピ…	ピー

〈ソナー表示色〉

●ソナー表示の色は、障害物に近づくにしたがって、緑、黄、赤と変化します。ソナーの表示の色と距離目安線とでは障害物までの距離は異なります。

〈ブザー音〉

●障害物との距離が近づくにしたがって、断続音の間隔が短くなります。表示が赤の場合は連続音になります。
●障害物との距離が広がった場合は断続音が消え、ソナー表示のみとなります。
●フロントソナーが検知したときは低音、リヤソナーが検知したときは高音でお知らせします。
●コーナーソナーが検知したときは障害物との距離が3秒間変わらない場合は断続音は消え、ソナー表示のみとなります。

〈ソナー機能OFF〉

●カメラ画面表示中にCAMERAボタンを長押し（約3秒間）すると、フロント&バックソナー機能がOFFになります。再度CAMERAボタンを長押し（約3秒間）するとONになります。

アドバイス

●カメラ画面非表示でCAMERAボタンを長押し（3秒間）すると、ルームミラーの自動防眩システムがOFFになります。

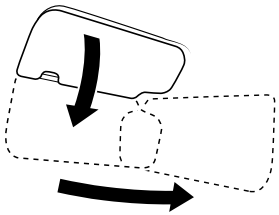
〈ソナーによるカメラ画面の自動表示機能〉

●セレクトレバーがDかつ車速約10km/h以下でカメラが表示されていない場合に、車両前方の障害物を検知した場合は全方位モニター画面を自動で表示します。
●障害物がなくなると、自動的に全方位モニターはOFFになります。
●CAMERAスイッチを操作した場合には戻りません。

室内装備品の使いかた

サンバイザー

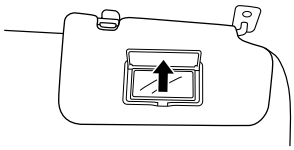
●前方からの日差しを防ぐときは、下に下げて使います。
●横からの日差しを防ぐときは、下に下げてフックから外し、横にして使います。



ESA1660Z

バニティーミラー

●サンバイザー裏側にバニティーミラー（鏡）が付いています。



ESC0996Z

室内照明

アドバイス

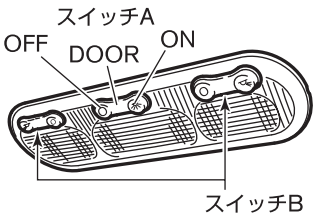
●エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

バッテリーセーバー

●スイッチが中立（マップランプのスイッチBは○（水平））位置のとき、ドアを開けたまま約15分以上放置した場合には、バッテリーあがりを防止するためランプが消灯します。（ルームランプを除く）

■マップランプ

●次のように点灯・消灯します。



ZAA0712

スイッチA

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
ON	常時点灯
DOOR（中立）	ドア（バックドアを除く）を開けると点灯し、閉めると消灯します。
OFF	消　灯

スイッチB

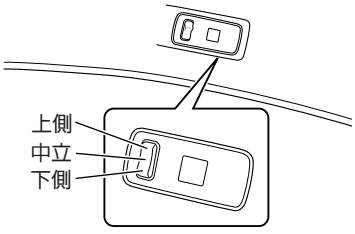
スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
	常時点灯
○（水平）	スイッチAが中立のとき、ドア（バックドアを除く）を開けると点灯し、閉めると消灯します。

■パーソナルランプ

セカンドシート天井の左右にあります。

●次のように点灯・消灯します。

スイッチ位置		点灯・消灯のしかた
上側	右側ランプ	常時点灯
	左側ランプ	消　灯
中立		ドア（バックドアを除く）を開けると点灯し、閉めると消灯します。
下側	右側ランプ	消　灯
	左側ランプ	常時点灯



ESF0091Z

※イラストは、セカンドシートの左側です。

キー連動室内照明システム

ドアの施錠、解錠に連動して、マップランプとパーソナルランプが点灯・消灯します。

- スイッチが中立位置にあるときに作動します。
- 電源ポジションがOFF又はLOCKのときに作動します。

乗車時

- 運転席ドアを解錠すると、ランプが約15秒間点灯後、消灯します。
- ランプ点灯中に、電源ポジションをAcc又はONにするか、運転席ドアを施錠すると消灯します。

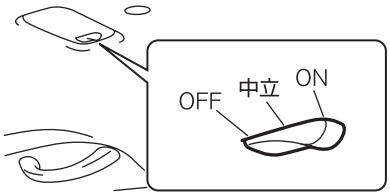
降車時

- 電源ポジションをOFF又はLOCKにするとランプが約15秒間点灯後、消灯します。
- ランプ点灯中に運転席ドアを施錠すると消灯します。
- キー連動室内照明システムのON/OFFを切り替えたい場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店へご相談ください。

■ルームランプ(サード&ラゲッジ用)

次のように点灯、消灯します。

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
OFF	消灯
中立	バックドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。
ON	常時点灯



ZAA0796

アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

カップホルダー／ボトルホルダー

⚠警告

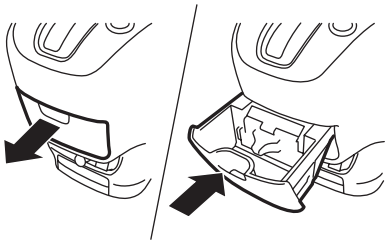
●運転中は、信号待ちなどの停車中に使ってください。走行中に飲物を出し入れすると前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

●飲物の容器によっては確実に固定されないことがあるため、こぼさないよう注意してください。

■フロントシート用カップホルダー

●カップホルダーを引き出します。
●格納するときは、カップホルダーを押し戻します。



ZAA0797

アドバイス

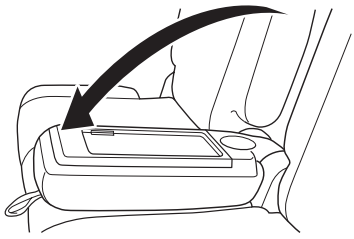
●物を入れたまま格納しないでください。入れた物やカップホルダーが破損します。
●前席から後席に移動するときや、スマートマルチセンターシートを前席側に移動させるときは、カップホルダーを格納してください。

■セカンドシート用カップホルダー

スマートマルチセンターシート部にあります。

●前方へスライドさせて、フロントシート用としても使えます。また、テーブルとして使うこともできます。

①ストラップを引いて背もたれを前に倒します。
②上から押してロックさせます。



ZAA0798

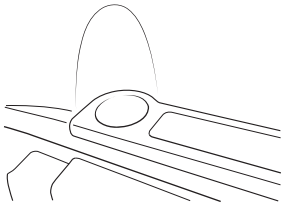
※元に戻すときは、ストラップを引いて背もたれを起こします。

⚠注意

●カップホルダーやテーブルとして使うときは、確実にロックさせてください。熱い飲物がこぼれるとやけどをするおそれがあります。

■サードシート用カップホルダー

サードシート横のポケットにあります。

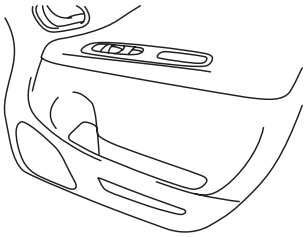


ESF0095Z

■ボトルホルダー

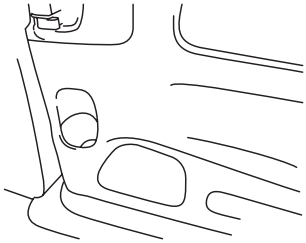
●ペットボトルのふたを閉めてから収納してください。

フロントドアポケット（前席ドア）左右



ZAA0799

スライドドアポケット左右



ZAA0800

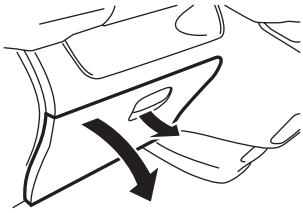
グローブボックス

⚠注意

- **グローブボックスを開けたまま走行しないでください。ブレーキをかけたとき収納した物が飛び出したり、ふたに当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。**
- **ふたを開けるときは、ゆっくり開けてください。ふたを全開にしたとき、身体に当たるおそれがあります。**

■開閉のしかた

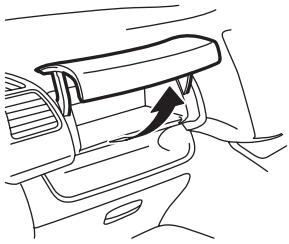
- ノブを手前に引いて開けます。
- 閉めるときは、前方へ押してロックします。



ZAA0801

助手席アッパーボックス

- 手前に引いて開けます。
- 閉めるときは、押し戻します。



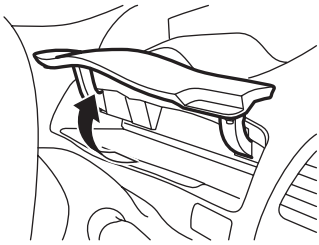
ZAA0802

⚠注意

- **ふたを開けたまま走行しないでください。収納した物が飛び出したりして、思わぬケガをしたり、事故につながるおそれがあります。**

運転席アッパーボックス

●手前に引いて開けます。
●閉めるときは、押し戻します。



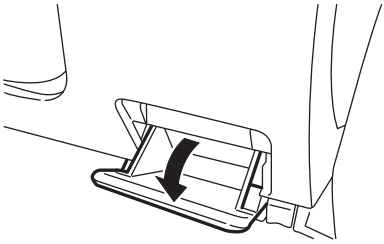
ZAA0809

⚠注意

●ふたを開けたまま走行しないでください。収納した物が飛び出したりして、思わぬケガをしたり、事故につながるおそれがあります。

運転席アンダーポケット

●ふたを引いて開けます。
●閉めるときは、前方へ押してロックします。



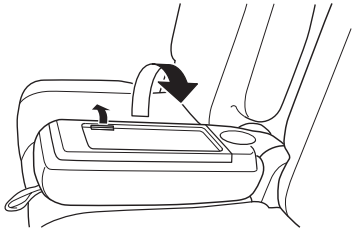
ZAA0803

アドバイス

●ふたを開けると、カードホルダーがあります。

ティッシュボックス収納

スマートマルチセンターシート部にあります。



ZAA0810

①ストラップを引いてスマートマルチセンターシートの背もたれを前に倒します。
②上から押してロックさせます。
③ノブを引きながらふたを開けます。
※ふたを閉めるときは、ふたを上から押してロックさせます。

⚠注意

- **ふたを開けたまま走行しないでください。収納した物が飛び出したりして、思わぬケガをしたり、事故につながるおそれがあります。**
- **ふたを開けたままで手を掛けるなど、ふたに無理な力を掛けないでください。破損して思わぬケガをするおそれがあります。**

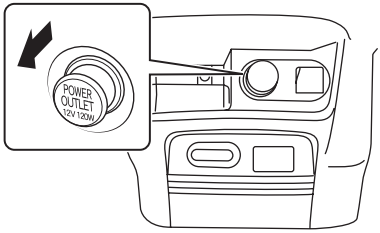
アクセサリーソケット

電源ポジションがAcc又はONのとき使えます。

カーアクセサリーの電源をとるときや、市販の車載電話及び携帯電話の車載キットの電源をとるときに使います。

容量は12V（ボルト）、10A（アンペア）、120W（ワット）です。

- ふたを取って使います。
- 使わないときは、ふたを閉めます。



ZAA0804

⚠注意

- **2マタソケットなどでタコ足配線をしないでください。**
- **安全のため、消費電力120W以下のものを使ってください。**
- **相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入して使ってください。挿入が不完全になると、異常発熱し、車両のヒューズが切れる場合があります。**
- **相手プラグを挿入したり抜いたりするときは、使用機器側の電源スイッチをOFFにするか、電源ポジションをLOCKにしてください。**
- **使用中や使用直後はソケットや相手プラグが熱くなっていることがあるため、注意してください。**
- **シガーライターをソケットに差し込まないでください。**
- **ソケットに水などがかからないようにしてください。**
- **ソケットには指や金属などを入れないでください。**

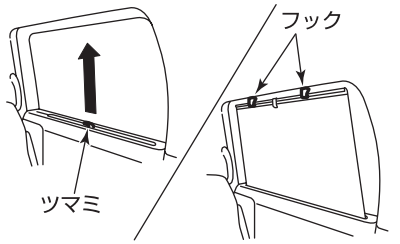
アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけて使ってください。また、アイドリング状態で長時間使ったり、エアコン、ヘッドランプ、リヤウインドーデフォッガーなどを同時に使わないでください。

ロールサンシェード

セカンドシートの左右にあります。

- ツマミを持って上方向に引き出し、フックに引っ掛けます。
- 格納するときは、フックから外して元の位置に格納します。



ZAA0756

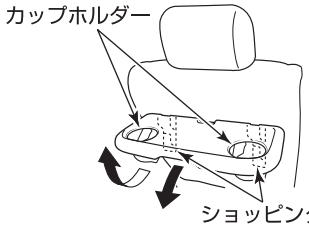
アドバイス

- ロールサンシェードを上方向以外に引っ張らないでください。破損の原因になります。

パーソナルテーブル★

フロントシート、セカンドシート左右の背もたれの後ろに折りたたみ式テーブルがあります。

- 手前に引き上げて使います。
- 格納するときは、テーブル先端の中央部を持ち、押し下げます。
- カップホルダーとショッピングフックがついています。



ZAA0848

⚠注意

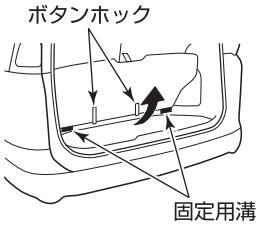
- **走行中はテーブルを格納し、使用しないでください。**
- **テーブルを使うときは、確実に固定されていることを確認してください。**
- **テーブルに3kg以上の物を載せないでください。破損したり、テーブルが格納してしまい、物が落ちたりして思わぬケガをするおそれがあります。また、カップホルダー部に熱い飲物を置いているときは、こぼれてやけどをするおそれがあります。**
- **ショッピングフックに3kg以上の物を掛けないでください。フックが破損するおそれがあります。**

ラゲッジアンダーボックス

収納スペースとしてお使いください。

①バックドアを開けます。
②ストラップを引いてふたを持ち上げ、ふたを固定用溝に合わせます。
③ふたの裏側にあるフックをサードシートのヘッドレストステーに引っ掛け、ふたを固定します。

※ふたを取り外すときは、ボタンホック（2箇所）を外します。



ZAA0808

アドバイス

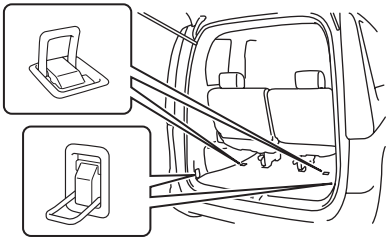
- ふたを開けたままサードシートを動かしたり、走行したりしないでください。荷物やふたなどを破損するおそれがあります。
- サードシートの位置によっては、ふたの裏側にあるフックがサードシートのヘッドレストステーに引っ掛けにくいときがあります。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

ラゲッジフック

ラゲッジルームにフックがあります。

- 荷物の固定用としてロープなどを掛けるときに使います。
- 使わないときは、格納しておきます。



ZAA0844

アドバイス

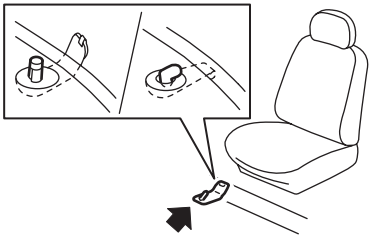
- 10kg以上の物を掛けないでください。フックが破損するおそれがあります。

フロアマット★

この車（年式）専用のフロアマットが設定されています。床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。

■固定のしかた

床面にはスズキ純正フロアマット用の固定クリップが付いています。
①フロアマットを床の形状に合わせて敷きます。
②フロアマットの取付穴に固定クリップのピンを通し、確実に固定します。



ZSS0043

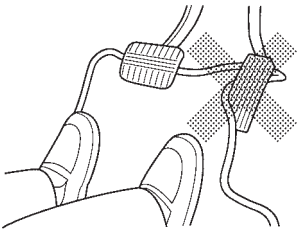
※車種により、固定クリップ・ピンの形状や、各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は、スズキ販売店またはスズキ代理店にお問い合わせください。

⚠警告

- **この車（年式）専用のフロアマットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアマットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。**

運転席にフロアマットを敷くときは

- **スズキ純正品であっても、他車種及び異なる年式のフロアマットは使用しない。**
- **フロアマットでペダルを覆わない。**
- **フロアマットを重ねて敷かない。**
- **フロアマットがずれないように固定クリップで確実に固定する。**
- **運転席専用のフロアマットを使用する。**
- **フロアを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない。**



ESD0143Z

運転する前に

- **フロアマットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認する。**
- **エンジン停止時及びセレクトレバーがPのときに各ペダルをいっぱいに踏み込み、フロアマットと干渉しないで運転に支障がないことを確認する。**

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

車との上手なつきあいかた 5

●快適ドライブのために…… 250
雨の日の快適ドライブ …… 250
夏の快適ドライブ …… 251
寒冷時の取り扱い …… 252
タイヤチェーンについて …… 256

●お手入れのしかた…… 257
外装のお手入れ …… 257
内装のお手入れ …… 260
その他のお手入れ …… 261
ワイパーの交換 …… 262
タイヤの交換 …… 263

快適ドライブのために

雨の日の快適ドライブ

■窓ガラスがくもるとき

フロント、サイドウインドーガラス

エアコンで除湿します。

エアコンの吹き出し口を⛆にして、吸い込み口は外気導入にします。

冬でもエアコンを活用してください。

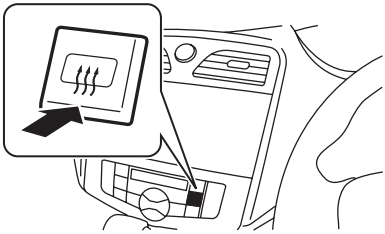
窓ガラスのくもりの取りかた… P.211

アドバイス

- 早くくもりを取りたいときは、吹き出し温度を高くし、吹き出し風量を多くします。

バックドアガラス

リヤウインドーデフォッガースイッチ（P.149）を使い、くもりを取ってください。



ZPA0908

■ガラスが油膜でギラギラするとき

ガラスクリーナーを使って、ガラスの表面やワイパーのゴムを清掃してください。

アドバイス

- 油膜があると、雨の夜などは対向車の光が乱反射して見にくくなることがあります。

■ワイパーのふき残しがあるとき

- ワイパーブレードのゴムが摩耗していたり、異物がかみ込んでいると線が残ります。ワイパーブレードを清掃し、異物を取り除いてください。
- ゴムが摩耗しているときは、早めにワイパーブレードを交換してください。

夏の快適ドライブ

■オーバーヒートを防ぐために

日常点検で冷却水の量を点検してください。

高水温警告灯が点灯したら、安全な場所に停車して冷やしてください。

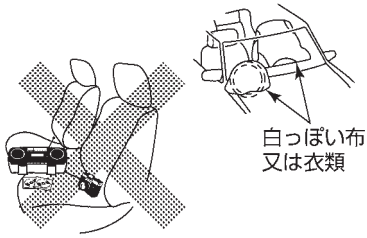
オーバーヒートしたときは…P.298

アドバイス

- 地面に水漏れの跡があるときや、冷却水が早くなくなるときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。

■炎天下で駐車するとき

シートやハンドルに白い布やサンシェードなどを掛けたり、ボディにカバーなどを掛けて温度の上昇を防いでください。熱に弱い製品は車内に置かないでください。



ZSD0011

⚠警告

- **お子さまや介護が必要な方だけを車内に残さないでください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。**

⚠注意

- **炎天下では、樹脂部品や金属部品が高温になっていることがあり、触れるとやけどをするおそれがあります。特に小さいお子さまを乗せるときは注意してください。**
  また、車内が高温になるので、CD、カメラ、サングラスなど樹脂製の小物、ガスライターや炭酸系の飲物などを置いたままにしないでください。変形したり爆発するおそれがあります。特にインストルメントパネルの上など、直射日光の当たる場所は大変高温になるので注意してください。

■海に出かけたあとは

- 車体に付着した塩分を早めに落としてください。塩分を付着させたまま放置しておくと、サビの原因となります。
- 洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

寒冷時の取り扱い

車の冬じたく

■エンジンオイルの準備

外気温に応じたエンジンオイルを使ってください。

サービスデータ（エンジンオイル）…P.310

■バッテリー液の点検、補給

メンテナンスノート「日常点検整備のしかた」をお読みください。

■冷却水の濃度点検

冷却水の凍結を防ぐため、エンジンクーラントの濃度を点検してください。

エンジンクーラントの濃度	凍結温度
30%	約－15℃
50%	約－35℃

冷却水を補充・交換するときは、ランディ用スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）を水で薄めずに、そのままお使いください。

サービスデータ（冷却水）…P.311

アドバイス

- 寒冷地仕様車は、工場出荷時に50%にしてあります。
- 冷却水の点検・補充・交換はスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

■冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

- 冬用タイヤに交換するときは、4輪とも必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤに交換してください。**（P.263）**
- タイヤチェーンはお客さまのタイヤサイズに合ったスズキ純正品をおすすめします。**（P.256）**

■ウオッシャー液の濃度点検

ウオッシャー液の凍結を防ぐため、ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。

スズキ純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。

ウオッシャー液の補給…P.261

⚠注意

- **外気温に応じた希釈割合に合わせてください。不適合の場合、ウインドーガラスに噴射した液が凍結し、視界不良となるおそれがあります。**

■寒冷地用ワイパーブレードの装着

寒冷地用ワイパーブレードは、ワイパーブレードの金属部分をゴムで包み、雪の付着を少なくするものです。装着するときは、車のサイズに合ったスズキ純正品をおすすめします。
詳しくは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

⚠注意

●高速走行時は通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなります。速度を落として走行してください。

アドバイス

●降雪期以外は通常ブレードに戻してください。

ワイパーブレードの交換…P.262

出発前の準備

■窓ガラスの雪や霜を落とす

プラスチックの板などを使って、ガラスを傷つけないように落としてください。

⚠警告

●ルーフに積もった雪は落としてください。窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■足回りの着氷を落とす

足回り（ブレーキホース、フェンダー裏側など）に付着した氷塊を、部品を破損しないように注意して取り除いてください。

■靴の雪を落とす

乗車時、靴に付いた雪はよく落としてください。ペダル類の操作時に滑ったり、窓ガラスのくもりの原因となります。

■車が凍結したら

凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐにふき取ってください。

アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- パワースライドドア（オートスライドドア）付車は、開閉できるかどうか手動で確認してから、オート作動させてください。凍結したまま操作を繰り返すと、故障の原因になります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウインドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。

雪道を走行するとき

■滑りやすい路面の走りかた

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離をとり、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。

タイヤチェーンについて…P.256

■走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。
  効きが悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

寒冷時の駐車

■長時間駐車するとき

- セレクトレバーをPに入れ、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- フロントグリルを風が吹いてくる方向に向けて駐車しないでください。エンジンルームに雪が入ったりエンジンが冷えて始動しにくくなります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。

雪道を走行したあとは

- 凍結防止剤をまいた道路を走行したあとは、サビの原因となるので早めに洗車してください。
  洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

アドバイス

- 寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

タイヤチェーンについて

●タイヤチェーンは必ず前2輪に装着してください。4WD車も前2輪に装着してください。
●お客さまのタイヤサイズに合ったタイヤチェーンでも使用できない場合があります。
タイヤチェーンはお客さまの車に適合したスズキ純正品をおすすめします。適合するタイヤチェーンについてはスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

■装着の前に

●安全に作業できる平坦な場所に停車してください。
●パーキングブレーキをかけエンジンを止めます。さらに、非常点滅表示灯を点滅させ、必要に応じて停止表示板（又は停止表示灯）を置きます。

■装着のしかた

●タイヤチェーンは付属の取扱説明書に従って正しく装着してください。

⚠注意

•不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものなどを使用すると、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

アドバイス

●タイヤチェーンを装着すると、ホイールカバーやアルミホイールに傷をつけるおそれがあります。
●タイヤチェーンを装着したときはタイヤチェーンに付属の取扱説明書で指示された速度で走行してください。安全が損われたりタイヤチェーンが切れやすくなります。
●雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。また、4WD車は機構に無理がかかり故障の原因となります。
●タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行したり、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

お手入れのしかた

外装のお手入れ

塗装面を美しく保つために

■駐車、保管場所に注意

風通しの良い車庫や屋根のある場所をおすすめします。

■洗車・ワックスがけの実施

●塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合はすぐに洗車してください。

・ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールタールなどが付着したとき。

・海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと。

・ほこり、汚れがひどいとき。

アドバイス

●ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあったものをお使いください。

●ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。

洗車のしかた

■水洗いするとき

①水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。

②水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。

・汚れがひどいときは、カーシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。

③はん点が残らないように水をふき取ります。

⚠注意

●下回りを洗うときはケガをしないように注意してください。

アドバイス

●洗車するときは、エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良やエンジンの不調、電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。

●硬いブラシや、たわしなどは使わないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。

●寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

■洗車機を使うとき

自動洗車機

ドアミラー（P.76）を格納してください。

高圧（コイン）洗車機

洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。

アドバイス

- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
- 自動洗車機で洗車すると、リヤワイパーを破損するおそれがあります。
- ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車内に水が漏れるおそれがあります。
- ルーフスポイラー付車は、洗車機の種類によってはスポイラーが引っ掛かり、洗車できないことがあります。

ワックスをかけるとき

ワックスがけは1か月に1回程度、又は水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリック及びパール塗装車とも同じです。

■ワックスのかけかた

①塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。

②塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

アドバイス

- 塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。

■ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスを使ってください。
  スズキ純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

アルミロードホイールのお手入れ★

●中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを洗い落としてください。スズキ純正アルミホイールクリーナーをおすすめします。

※詳しくは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

アドバイス

●変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあるため、次のことをお守りください。
- 強酸性、強アルカリ性の洗剤は使わない。
- 洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する。（体温以下が目安）
- 洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す。
- 硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使わない。

軽い補修のしかた

塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

内装のお手入れ

⚠注意

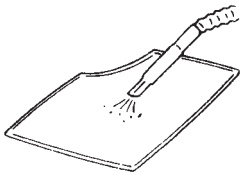
●車内に水をかけないでください。オーディオやスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。

アドバイス

●変色やしみなどの原因になるおそれがあるため、次のことをお守りください。
・ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。また、各種クリーナーには、これらの成分が含まれているおそれがありますので確認してから使ってください。
・芳香剤などは、中身がこぼれないように確実に固定してから使用してください。また、吊り下げタイプなどは、内装部品に接触しないようにしてください。

フロアマットの汚れ取り

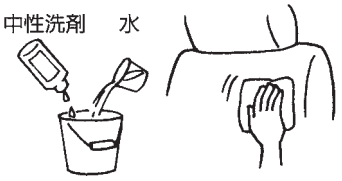
電気掃除機でほこりを取り除いてください。
フロアマットを取り外したときは、敷き直すときにフロアマットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。
フロアマット…P.247



TCG0049Z

布、ビニールレザーの汚れ取り

中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。
汚れがひどいときは、スズキ純正シートクリーナーなどで汚れを落としてください。



TCA0146Z

メーター表面の汚れ取り

柔らかい布を真水に浸し、固くしぼってからふき取ります。

アドバイス

●乾いた布やウエットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色の原因になります。
●ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。

イージークリーンシートの汚れ取り★

柔らかい布に水を含ませ、ふき取ります。

アドバイス

- 汚れの種類や程度によっては水を含ませても取れない場合があります。
- 汚れが取れない場合は、中性洗剤を薄めた水を含ませてから汚れをふき取ってください。

バックドアガラス、リヤサイドウインドーの清掃

- ガラスの内側を清掃するときは、熱線やアンテナ線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線やアンテナ線にそって軽くふいてください。
- ガラスクリーナー、洗剤などは使わないでください。

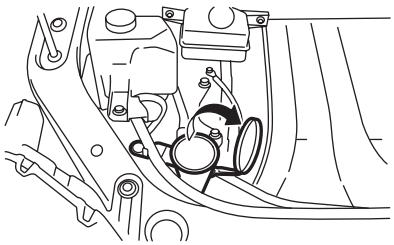
その他のお手入れ

ウオッシャー液の補給

ウオッシャー液が不足しているときは、ウオッシャータンクのキャップを外し、ウオッシャー液を補給してください。ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にして補給します。

- ウオッシャー液はスズキ純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。

ウオッシャータンク容量…P.311



ZSD0041

⚠注意

- **ウオッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけないようにしてください。出火するおそれがあります。**

アドバイス

- ウオッシャー液のかわりに石けん水などを入れないでください。塗装面がしみになるおそれがあります。
- フロントワイパーとリヤワイパーのウオッシャータンクは兼用です。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

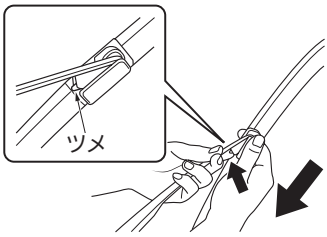
ワイパーの交換

アドバイス

●ワイパーアームを起こすときは、運転席側のワイパーアームを先に起こしてください。

ワイパーブレードの交換

①ワイパーブレードを持ち上げ、ブレードを少し傾けます。
②ブレードのツメを押しながらブレードを矢印の方向に引きます。



ESE0953Z

③ブレードをアームから取り外します。
④新しいブレードを取り付けます。
取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ブレードが確実に固定されていることを確認します。

⚠注意

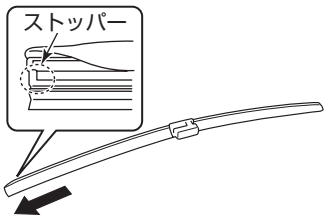
●交換するときは、ワイパーアーム及びワイパーブレードがガラスに当たらないよう気をつけてください。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。

アドバイス

●ワイパーブレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

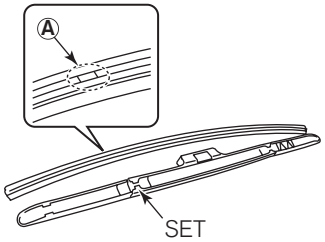
ワイパーゴムの交換

①ワイパーアームからワイパーブレードを取り外します。
②ワイパーゴムを矢印方向にスライドし、取り外します。



ZSD0002

③取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。
・ワイパーゴムのストッパーがない側からブレードに沿って差し込みます。
・ワイパーゴムのⒶ部をワイパーブレードの「SET」の位置で確実に押し込み、固定します。



ZSD0003

アドバイス

●ワイパーゴムに石けん水を塗ると脱着しやすくなります。

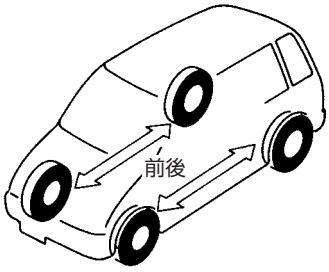
タイヤの交換

⚠注意

●タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検についてはスズキ販売店またはスズキ代理店へご相談ください。

■タイヤの位置交換（ローテーション）

左右それぞれで前後タイヤの交換を行ってください。
タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を伸ばすために、約5,000km走行ごとに定期的な位置交換をおすすめします。



TSA2431Z

⚠注意

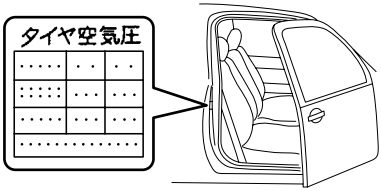
●タイヤ間に著しい摩耗差があったり、空気圧が規定値より著しく異なると、車の性能が十分発揮できなくなり、安全性を損ねたり故障の原因になります。

アドバイス

●タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。
●タイヤの位置交換については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

■タイヤ空気圧の点検

- タイヤの空気圧は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。
  タイヤ接地部のたわみが大きいときは、空気圧が不足しています。すみやかに調整するか、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。偏平タイヤの空気圧はたわみ状態ではわかりにくいので、タイヤエアゲージを使用し点検してください。
- タイヤ空気圧は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。
- タイヤ空気圧は走行に伴い約1割程度上がることがあります。
- タイヤの空気圧は運転席ドア開口部に表示、及び巻末のサービスデータに記載してあります。



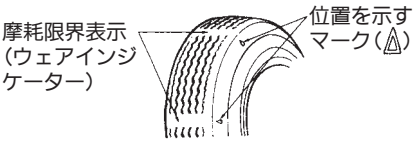
TCE0005Z

⚠注意

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■タイヤ摩耗の点検

摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が表れたら、タイヤを交換してください。



TCD0071Z

■タイヤ・ロードホイールを交換するとき

- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。

⚠注意

- **指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けないでください。不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損われ、思わぬ事故につながるおそれがあります。**
- **特に4WD車は径が異なるタイヤを装着すると、車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。また、VDC付車もシステムが正常に作動しないことがあります。**
  次のようなタイヤの装着はしないでください。
  - **・摩耗差の大きいタイヤの装着**
  - **・前輪又は後輪だけに冬用タイヤを装着**
  - **・サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着**
- **径が異なるタイヤを装着すると、VDCのシステムが正常に作動しないことがあります。次のようなタイヤの装着はしないでください。**
  - **・摩耗差の大きいタイヤの装着**
  - **・前輪又は後輪だけに冬用タイヤを装着**
  - **・サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着**
- **タイヤの修理や交換をするときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。**

- ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載してあります。

アドバイス

- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車の物は使えない場合があります。お手持ちの物をご使用になるときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

アドバイス

- アルミロードホイールには荷重制限がありますので、交換するときはスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実にとってください。
- バルブキャップはスズキ純正品を使用してください。スズキ純正品以外のバルブキャップを使用すると腐食して固着し、外れなくなる場合があります。



ZSD0035

- バルブキャップを工具などを使用して締め付けると、バルブキャップが破損するおそれがあります。

万一のとき 6

●ドアが開かないときは…… 268
携帯リモコンでドアが開かない …… 268

●エンジンが始動しないときは…… 269
携帯リモコンで始動できない …… 269
ジャンプスタートのしかた …… 270

●各種警告機能について…… 274
警告灯がついたときは …… 274
ブザー（警報音）が鳴ったときは …… 279

●くもりが取れないときは…… 280
窓ガラスのくもりの取りかた …… 280

●動かないときは…… 282
セレクトレバーが動かない …… 282
雪道やぬかるみからの脱出のしかた …… 282
けん引について …… 283
後ろ側のフックについて …… 285

●路上で故障したときは…… 286
発炎筒の使いかた …… 286
故障したときの対処方法 …… 287

●工具・ジャッキについて…… 288
格納場所 …… 288
ジャッキアップのしかた …… 289

●パンクしたときは…… 293
タイヤ応急修理のしかた …… 293

●オーバーヒートしたときは…… 298

●ヒューズを点検・交換するときは…… 299

●電球（バルブ）を交換するときは…… 301

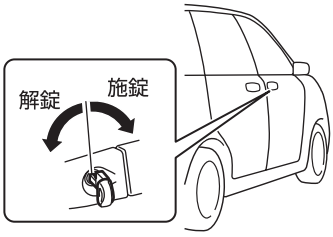
●事故がおきたときは…… 307

ドアが開かないときは

携帯リモコンでドアが開かない

■キーによるドアの施錠・解錠

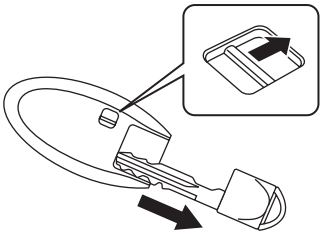
車両前方に回すと施錠し、車両後方に回すと解錠します。



ZIC0607

アドバイス

- キーは携帯リモコンに内蔵されています。



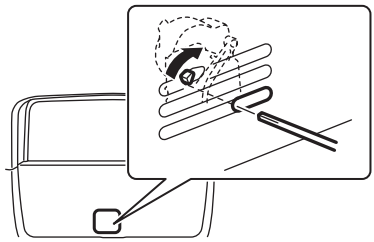
ZIC0035

■バックドアの解錠

バッテリーあがりなどにより、電磁式バックドアオープナースイッチでバックドアを開けられなくなったときは、次の操作をしてください。

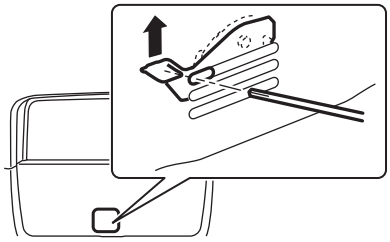
①バックドア車内側にある穴にお手持ちのマイナスドライバーなどを差し込みます。
②差し込んだマイナスドライバーでレバーを矢印の方向に動かし、解錠します。

バックドアクローザー無車



ZIC0565

バックドアクローザー付車



ZIC0566

③バックドアを持ち上げます。

アドバイス

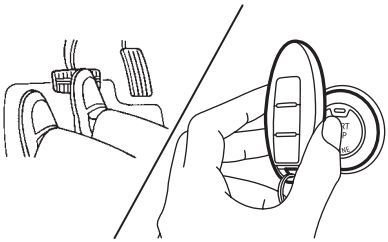
- 操作後はなるべく早くスズキサービス工場で点検を受けてください。

エンジンが始動しないときは

携帯リモコンで始動できない

携帯リモコンの電池が切れたときや、使用環境により携帯リモコンと車両の通信が正常に行われないときには、以下の手順でエンジンを始動してください。

①セレクトレバーがPにあることを確認し、ブレーキペダルを踏みます。
②携帯リモコンの裏面を、エンジンスイッチに接触させます。
（ブザーが“ピピッ”と鳴ります。）



ZPA0181

③ブザーが鳴ってから約10秒以内に、ブレーキペダルを踏んだままエンジンスイッチを押すとエンジンが始動します。
・ブレーキペダルから足を離してエンジンスイッチを押すと、電源が切り替わります。

アドバイス

- 上記の操作で始動できない場合は、早めにスズキ販売会社またはスズキ代理店へ連絡してください。

- エンジンを止めるときは、通常のときと同じように、セレクトレバーをPにしてからエンジンスイッチを押してください。

アドバイス

- ドアの施錠・解錠は、キーを使って行ってください。（P.37）
- 携帯リモコンの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。（P.32）

ジャンプスタートのしかた

アドバイス

S-HYBRID付車

- S-HYBRID専用にバッテリー（メイン）とバッテリー（サブ）の2つのバッテリーを使用しています。どちらかのバッテリーがあがるとエンジンが始動できません。バッテリーがあがったときは、バッテリー（メイン）から処置をしてください。
  バッテリーの位置については、エンジンルーム内配置図…P.313をお読みください。
- ブースターケーブルをつなぐときは、必ず12V（ボルト）バッテリー仕様の救援車を依頼してください。12V（ボルト）以上のバッテリーにブースターケーブルをつないだ場合、つなぎ方を間違えると車両が破損するおそれがあります。

■処置のしかた（S-HYBRID付車はバッテリー（メイン））

12V（ボルト）バッテリー仕様の救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつなぎ始動してください。

①電源ポジションをOFF又はLOCKにします。

②ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1本目

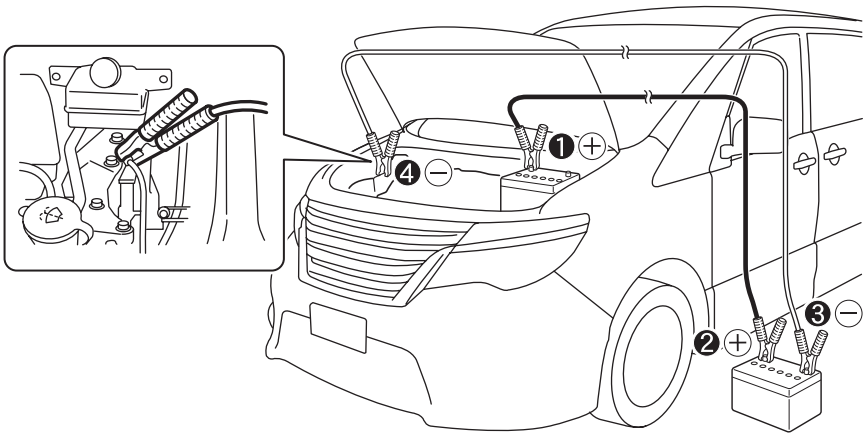
❶自車(あがった)バッテリーの⊕端子

❷救援車(正常な)バッテリーの⊕端子

2本目

❸救援車(正常な)バッテリーの⊖端子

❹自車の車体（バッテリーから離れたボルトなど）



ZCE0642

⚠警告

●ブースターケーブルをつなぐときは、以下のことを必ずお守りください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
・ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。
・ブースターケーブルを自車バッテリーの⊖端子に直接つながない。
・ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。

③救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。
④自車のエンジンをかけます。
・エンジンをかけるときは、ヘッドランプやエアコンなどはOFFにしてください。
・エンジンが始動しても、しばらくエアコンやオーディオを使わないでください。

アドバイス

●エンジンが始動できない場合には、一旦電源ポジションをOFFにして、10秒以上待ってから再始動してください。

S-HYBRID付車

●エンジンが始動できない場合は、バッテリー（サブ）あがりが考えられます。バッテリー（サブ）にブースターケーブルをつなぎエンジンを始動してください。
バッテリー（サブ）…P.272

⑤ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。
⑥早めにサービス工場で点検を受けてください。

⚠警告

●バッテリーを充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけないでください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
●バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受けてください。

⚠注意

●ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意してください。
●ブースターケーブルは、エンジン始動時の振動で外れたりしないように、確実につないでください。
●ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

アドバイス

- 押しがけでの始動はできません。
- アイドリングストップ付車は、充放電能力と寿命性能を強化したアイドリングストップ付車専用のバッテリーをご使用ください。専用バッテリー以外を使用すると、バッテリーの早期劣化やアイドリングストップ機能、エンジンアシスト機能（S-HYBRID付車）が正常に作動しなくなる原因となります。
- アイドリングストップ付車は、バッテリー交換したあとや長期間バッテリー端子を外したあとは、アイドリングストップのシステムが作動するまでに時間がかかる場合があります。
- バッテリーはお客さまの車に適合したスズキ純正部品をおすすめします。詳しくは、スズキ販売会社またはスズキ代理店にご相談ください。
- バッテリーがあがるとステアリングロックの解除が行えず、電源ポジションが切り替わらなくなります。すみやかにバッテリーを充電してください。

バッテリー（サブ）（S-HYBRID付車）

12V（ボルト）バッテリー仕様の救援車を依頼し、バッテリー（サブ）にブースターケーブルをつなぎエンジンを始動してください。

ブースターケーブルをつなぐときの注意や警告は、バッテリー（メイン）の処置のしかた（P.270）と同じです。

アドバイス

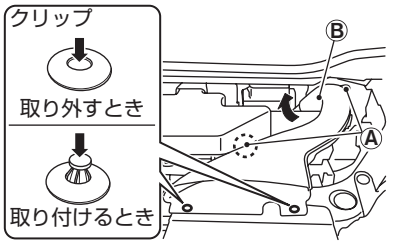
- 以下の手順でエンジンが始動できない場合は、バッテリー（メイン）とバッテリー（サブ）両方のバッテリーあがりが考えられます。スズキ販売店又はJAFなどに連絡してください。

①電源ポジションをOFF又はLOCKにします。

②エアダクトを外します。

・クリップの中央部を先の細い工具などで押し込み、ロックを解除してからクリップを引き抜きます。

・エアダクトのⒶ部を持ち上げてからⒷ部を矢印方向に回しながらエアダクト引き抜きます。



ZCE0604

③ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1本目

❶自車(あがった)バッテリーの⊕端子

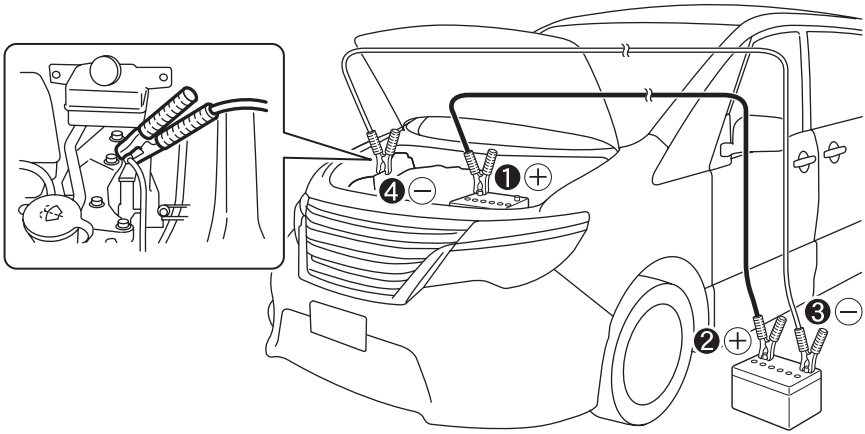
❷救援車(正常な)バッテリーの⊕端子

2本目

❸救援車(正常な)バッテリーの⊖端子

❹自車の車体（バッテリーから離れたボルトなど）

④ブースターケーブルをつないだあとは、バッテリー(メイン)があがったときの処置のしかたと同じです。



ZCE0643

各種警告機能について

警告灯がついたときは

運転中に警告灯・表示灯が点灯又は点滅したときは、次の対処方法に従ってください。

車両故障のおそれがない表示灯については、P.123をお読みください。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
油圧警告灯 	● 電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ● エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。	点灯したときは、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、スズキ販売店またはスズキ代理店に連絡してください。 点灯したまま走行しないでください。エンジンを破損するおそれがあります。
故障警告灯（MIL） 	● 電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ● エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯又は点滅します。	点灯又は点滅したときは、ただちにスズキ販売店またはスズキ代理店に連絡してください。
充電警告灯 	● 電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ● エンジン回転中、バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。	点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車して、スズキ販売店またはスズキ代理店に連絡してください。 点灯したまま走行しないでください。バッテリーが破損したり、エンジンが突然停止し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
ブレーキ警告灯 	●パーキングブレーキを解除しているとき、電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ●電源ポジションがONで、次のような場合に点灯します。	
	・パーキングブレーキをかけたとき。	走行中はパーキングブレーキを解除してください。
	・ブレーキ液が不足しているとき。（エンジン始動後でパーキングブレーキを解除しているとき。）	パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、ただちに安全な場所に停車して、スズキ販売店またはスズキ代理店に連絡してください。この場合はブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。
	・ABSのシステムに異常があるとき。（パーキングブレーキを解除し、ブレーキ液量が正常でABS警告灯と同時に点灯したとき。）	エンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、点灯したまま走行しないでください。また、ブレーキ液が規定量以下になっていたら走行しないでください。ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
ABS警告灯 	●電源ポジションをONにすると数秒間点灯後、消灯します。 ●電源ポジションがONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯します。	電源ポジションをONにしても点灯しないとき、又はエンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
EPS（電動パワーステアリング）警告灯 PS	●電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ●エンジン回転中、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。	点灯したときは、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。
シートベルト警告灯 	●電源ポジションがONのとき、運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。	点灯したときはシートベルトを着用してください。 走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。
高水温警告灯 （赤色表示） 	●電源ポジションをONのすると約2秒間点灯後、消灯します。 ●エンジン回転中、エンジン冷却水の温度が異常に高くなったとき点灯します。	点灯したときは、ただちに安全な場所に停車して処置してください。 そのまま走行を続けると、エンジンが故障する原因となり、火災につながるおそれがあります。
SRSエアバッグ警告灯 	●電源ポジションをONにすると約7秒間点灯後、消灯します。 ●電源ポジションがONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯又は点滅を続けます。	電源ポジションをONにしても点灯しないとき、又は約7秒間たっても点灯、点滅を続けるときは、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。 電源ポジションをONにしても点灯しないときや、点灯、点滅を続けるときは、放置したまま走行しないでください。万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
VDC警告灯 	• 電源ポジションをONにすると数秒間点灯後、消灯します。 • VDC作動中に点滅します。 • 電源ポジションがONのときVDCのシステムに異常があると点灯します。	点灯したときは、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。
KEY警告灯 	• 電源ポジションをONにすると約2秒間点灯後、消灯します。 • ステアリングロックや携帯リモコンのシステムに異常があると点灯します。	点灯したときはスズキ販売会社またはスズキ代理店へ連絡してください。エンジンがかからないことや電源ポジションがLOCKから動かないことがあります。
マスターウォーニング 	• 車両情報ディスプレイに警告が表示されると点灯します。	点灯したときは車両情報ディスプレイの警告表示を確認して、適切な処置をしてください。
LDW（車線逸脱警報）警告灯★ 	• 右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、点滅します。 • LDW（車線逸脱警報）に異常があると、点灯します。	点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。エンジン再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、スズキサービス工場で点検を受けてください。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯★ 	●正常なときは、電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ●次の場合に点灯します。 ・エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストスイッチをOFFにしているとき（踏み間違い衝突防止アシスト付車） ・メーター内のディスプレイで、エマージェンシーブレーキをOFFにしているとき（踏み間違い衝突防止アシスト無車） ・VDCをOFFにしているとき ・エマージェンシーブレーキまたは踏み間違い衝突防止アシストのシステムに異常が発生しているとき ●次の場合に点滅します。 ・フロントガラスの汚れなどにより、カメラが前方を認識できなくなったとき ・前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき ・炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき	点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。エンジン再始動後も点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、スズキサービス工場で点検を受けてください。 フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。 **踏み間違い衝突防止アシスト付車** エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストスイッチをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。 **踏み間違い衝突防止アシスト無車** メーター内のディスプレイでエマージェンシーブレーキをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。 VDCをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

ブザー（警報音）が鳴ったときは

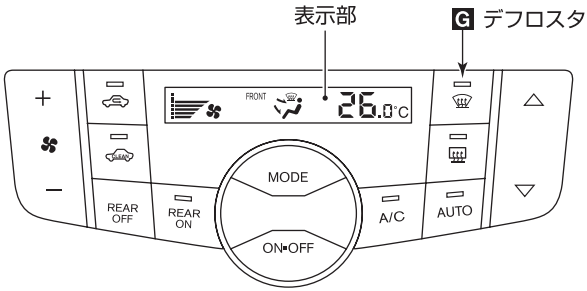
車両盗難などを防ぐため、車外でブザー（警報音）が鳴ることがあります。

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車外	ピピピピ…	リクエストスイッチを押したとき	電源ポジションがAcc又はONのままになっていませんか？ 携帯リモコンを車内又はラゲッジルーム内に置き忘れていませんか？ いずれかのドアが半ドアになっていませんか？ ドアを閉める前にリクエストスイッチを押していませんか？
		携帯リモコンの施錠スイッチを押したとき	ドアを閉める前にドア施錠スイッチを押していませんか？ いずれかのドアが半ドアになっていませんか？
		ドアを閉めたとき	無意識にリクエストスイッチを押していませんか？
	ピッピッピッ	ドアを閉めたとき	電源ポジションがAcc又はONのまま、携帯リモコンが車外へ持ち出されていませんか？
	ピー	ドアを閉めたとき	セレクトレバーがPになっていますか？
車内	ピピピピッ、ピピピピッ…	運転席ドアを開けたとき	電源ポジションがAcc又はONのままになっていませんか？
	ピピッピピッピピッ	ドアを閉めたとき	電源ポジションがAcc又はONのまま、携帯リモコンが車外へ持ち出されていませんか？
		エンジンスイッチを押したとき	携帯リモコンを携帯していますか？
	ピピピピピピッ	エンジンスイッチを押したとき	セレクトレバーがPになっていますか？
		セレクトレバーをPにしたとき	電源ポジションがAcc又はONのままになっていませんか？

くもりが取れないときは

窓ガラスのくもりの取りかた

■フロント、サイドウインドーガラス



ZAA0824

●デフロスタースイッチGを押します。
（スイッチの表示灯が点灯）
デフロスターから風が吹き出し、吸い込み口は外気導入になります。

※元に戻すときは、もう一度デフロスタースイッチGを押します。

⚠注意

●エアコンのセット温度を低くすると、フロントウインドーガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

アドバイス

●デフロスタースイッチGを押したときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。

●早くくもりを取りたいときは、設定温度を高くし、吹き出し風量を多くします。
風量を変更したいとき…P.212

アドバイス

●エアコン（冷房・除湿機能）を作動させていないとき、デフロスタースイッチGを押すとエアコン（冷房・除湿機能）も作動します。

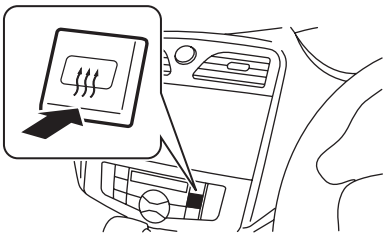
●AUTOスイッチの表示灯が点灯しているとき、デフロスタースイッチGを押すと表示灯は消灯しますが、風量と温度は自動調節します。

●バックドアガラスのくもりを取るときは、リヤウインドーデフォッガースイッチを使います。
リヤウインドーデフォッガースイッチ…P.149

●窓ガラスのくもりを取りながら足元への送風をしたいときは、吹き出し口を位置にします。
吹き出し口を変更したいとき…P.212

■バックドアガラス

リヤウインドーデフォッガースイッチ（P.149）を使い、くもりを取ってください。



ZPA0908

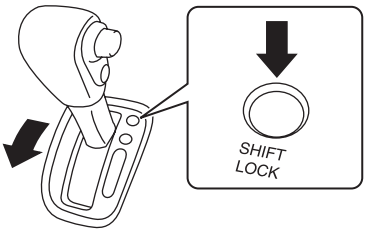
動かないときは

セレクトレバーが動かない

万一バッテリーあがりなどでセレクトレバーをPから動かせないときは、シフトロック解除ボタンを使います。

①安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。

②シフトロック解除ボタンを押しながらセレクトレバーのボタンを押して、セレクトレバーを動かします。



ZPA0865

アドバイス

●セレクトレバーをPから動かせないときは、シフトロックシステム（P.21）などの故障が考えられます。すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

雪道やぬかるみからの脱出のしかた

砂地、雪道、ぬかるみなどから抜け出せなくなったときは、次の方法で脱出してください。

①VDC OFFスイッチを押して、VDCをOFFにします。

②車両の前後に障害物がないことを確認します。

③ハンドルを左右に回し、前輪の周囲をならします。必要に応じ、タイヤの下に木材などをそえてください。

④ゆっくりとアクセルペダルを踏み込み、前進または後退します。
周囲の安全を確認したうえで、前進と後退を繰り返してください。

⚠警告

●周囲の人や物との衝突を避けるため、前進と後退を繰り返すときは、周辺に何もないことを確認してください。特に脱出の瞬間は、車両が前方または後方に飛び出すおそれがあります。

●必要以上にアクセルペダルを踏み込まないでください。急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

●数回試しても脱出できないときは、スズキ販売会社またはスズキ代理店、またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

けん引について

車が動かなかったり、異常な音がするときは、けん引せずにスズキ販売会社またはスズキ代理店へご連絡ください。
けん引が必要なときは、できるだけスズキ販売会社またはスズキ代理店、又は専門業者に依頼してください。

JAFの営業所一覧…別冊の「スズキ4輪車サービスネットワーク」をお読みください。

他車にけん引してもらうとき

⚠警告

●電源ポジションがLOCKでバッテリーがあがると、ステアリングロックの解除ができなくなるため、このままの状態でけん引しないでください。けん引するときは救援車のバッテリーとつなぎ、電源ポジションをAcc又はONにしてハンドル操作ができる状態で行ってください。また、けん引中は電源ポジションをLOCKにしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。

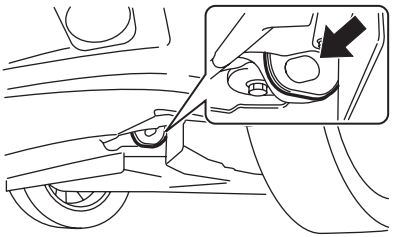
⚠注意

●エンジンが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。
●長い下り坂では、ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。
●前輪を上げてけん引するときは、電源ポジションをONにしないでください。VDCが作動しブレーキがかかることがあります。
●4WD車はトレーラーに4輪車載するか、4輪接地の状態でけん引してもらってください。2輪を上げた状態でけん引すると、上げた車輪が回転して、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。

アドバイス

●けん引してもらうときは、速度30km/h以下、距離30km以内にしてください。高速走行や長距離走行をすると、トランスアクスルが破損するおそれがあります。できるだけレッカー車、又はトレーラーを依頼してください。
●けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。

①自車及び他車のけん引フックにロープを掛けます。



ZCE0530

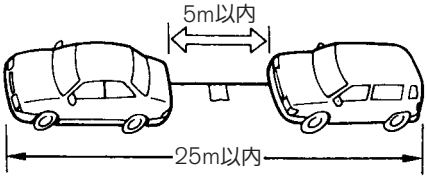
⚠注意

●指定以外のフックは絶対に使わないでください。フック部が破損するおそれがあります。

アドバイス

●ロープを掛けるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。

②ロープ中央に30cm×30cm以上の白い布を必ず取り付けます。



TSA2438Z

③エンジンをかけられるときはエンジンをかけ、セレクトレバーをNにします。

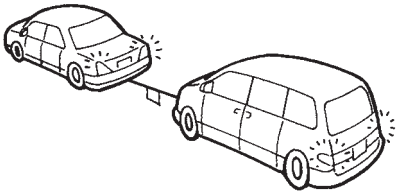
⚠注意

●エンジンをかけられないときは、電源ポジションをAcc又はONにしてください。



ZCE0403

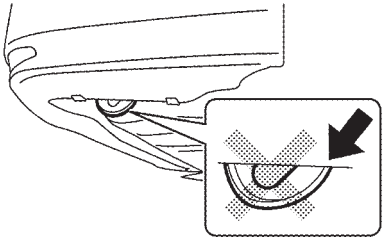
④パーキングブレーキを解除します。
⑤けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。



TCD0036Z

後ろ側のフックについて

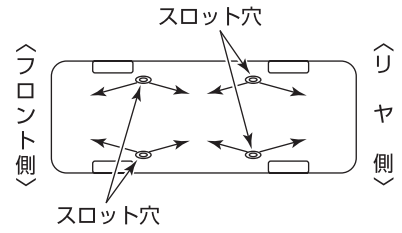
後ろ側のフックは船舶輸送時の固定専用です。
けん引やトレーラー輸送時などの固定には絶対に使わないでください。
この車で他車をけん引することはできません。



ZCE0531

アドバイス

- トレーラーなどで輸送するときは、車両下側のスロット穴を使い固定してください。



ZCE0562

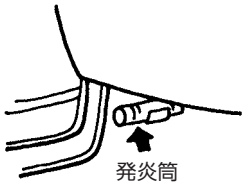
路上で故障したときは

必ず安全な場所に車を退避させ、非常点滅表示灯などで後続車に危険を知らせてください。
安全な場所に退避できないときは、発炎筒で後続車に危険を知らせてください。

発炎筒の使いかた

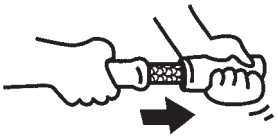
故障や事故などで緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

①助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。



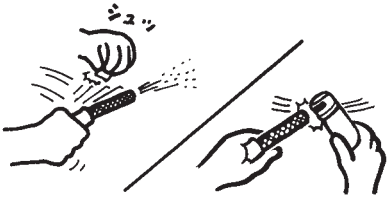
TCA0157Z

②本体を回しながらケースから引き抜きます。



TCA0158Z

③点火部をケースのすり薬でこすって点火します。



TCA0159Z

⚠警告

●お子さまには触らせないでください。いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
●可燃物の近くで使わないでください。引火する危険があります。
●点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけないでください。やけどをする危険があります。
●トンネル内では使わないでください。煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり事故をまねくおそれがあります。このときは非常点滅表示灯を使ってください。

アドバイス

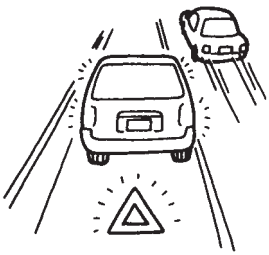
●点火後は約5分間燃え続けます。
●発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
●発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前にスズキ販売店またはスズキ代理店でお買い求めください。

故障したときの対処方法

■路上で故障したとき

①車を路肩などに止め、非常点滅表示灯を点滅させます。

②高速道路や自動車専用道路では、車の後方に停止表示板（別売り）又は停止表示灯（市販品）を置きます。

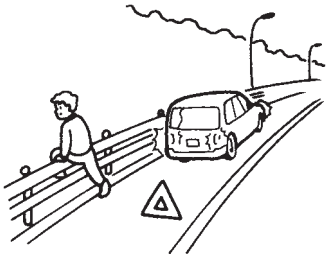


TCA0210Z

アドバイス

- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務づけられています。

③全員車から降り、ガードレールの外など安全な場所に、すみやかに避難してください。



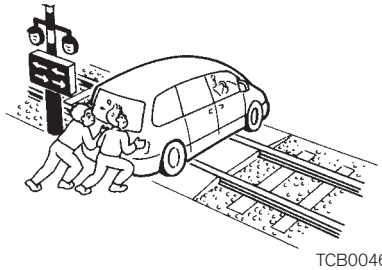
TCA0211Z

④安全を確保後、救援を頼みます。

■エンストしたとき

①あわてずエンジンをかけ直してみます。

②エンジンがかからないときは、付近の人に救援を求めて、車を押してもらい、安全な場所に移動してください。このときセレクトレバーをNにしてください。



TCB0046Z

③安全な場所に移動後、救援を頼みます。

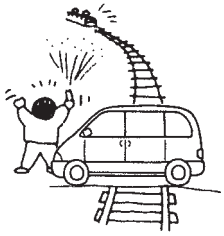
⚠注意

- **エンジンが止まると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。**

■踏み切りで出られないとき

①ただちに踏み切りの非常ボタンを押してください。

②発炎筒で一刻も早く列車に知らせてください。



TCB0047Z

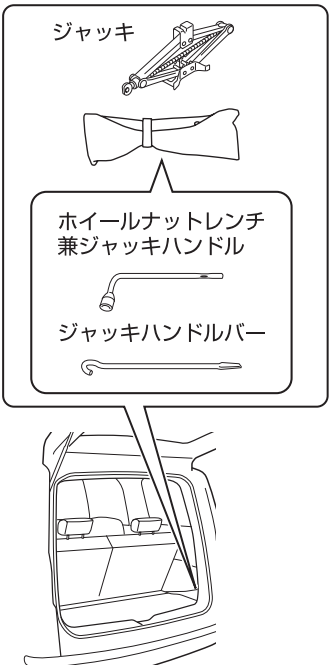
工具・ジャッキについて

格納場所

※この車両には、スペアタイヤは搭載されていません。

●工具・ジャッキはラゲッジルーム右側、タイヤパンク応急修理キットは、セカンドシートのシートアンダーボックスに格納されています。

工具、ジャッキ



ZCE0553

タイヤパンク応急修理キット



ZCE0554

※車種により、エアコンプレッサーの形状が異なります。

シートアンダーボックス…P.70

⚠注意

●工具、ジャッキを使ったあとは、元の場所に格納してください。車内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- 工具の種類、発炎筒（P.286）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。
- 修理剤ボトルには有効期限があります。期限が切れる前にスズキ販売会社またはスズキ代理店でお買い求めください。
- 修理剤ボトルの有効期限は、ボトル上面のラベルに記載されています。（例：○○/○○○○→月/年）
- タイヤパンク応急修理キットは、指定の格納場所に保管してください。

タイヤ応急修理のしかた…P.293

ジャッキアップのしかた

⚠警告

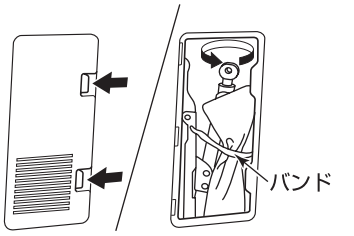
●ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らないでください。ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。
●ジャッキアップ中は、エンジンを始動しないでください。車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠注意

●ジャッキを使うときは、次のことを必ずお守りください。
- **ジャッキは必ずこの車両専用のものを使い、他車のジャッキは使わないでください。また、この車両専用のジャッキは他車に使わないでください。**
- **ジャッキはタイヤ交換又はタイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。**
- **平坦で硬いところに駐車して作業してください。**
- **使用前にパーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPにしてください。**
- **輪止めなどで車を固定してください。**
- **ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。**
- **人や荷物は必ず車から降ろしてください。**

■ジャッキの取り出しかた

①ラゲッジルーム右側のふたを取り外します。
②工具袋を固定しているバンドを外し工具袋を取り出します。
③ジャッキを緩めて取り出します。



ZCE0555

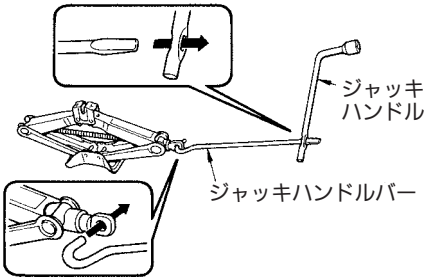
●格納するときは、取り出したときと逆の手順で行い、ガタツキがなくなるまでしっかりと締め付けます。

アドバイス

●ジャッキを格納するときは、ドライバーなどで無理に締め付けないでください。ジャッキ取り付け部が変形するおそれがあります。

■ジャッキハンドルのセットのしかた

●ジャッキにジャッキハンドルバーとジャッキハンドルをセットします。



TCA0215Z

アドバイス

●ジャッキハンドルバーは、確実にジャッキハンドルの穴に差し込んでください。

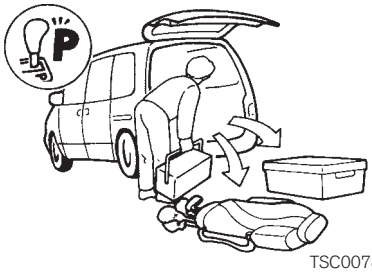
■ジャッキアップのしかた

交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。

⚠注意

●やわらかい地面の上では行わないでください。ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。

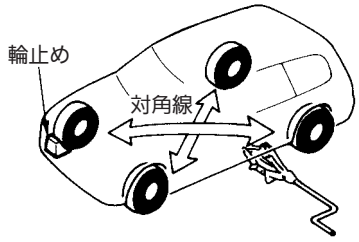
①パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーを**P**にし、エンジンを止めます。



TSC0078Z

②ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。

・輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。



TSA2453Z

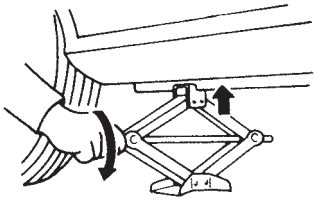
⚠注意

●やむを得ず傾斜地で作業する場合は、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにしてください。

アドバイス

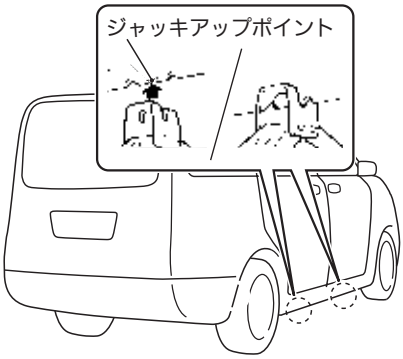
●輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

③ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイントの中央に入るまで上げます。



TCA0172Z

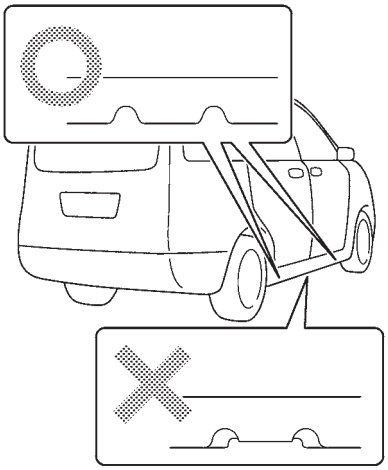
ジャッキアップポイント



ESF0144Z

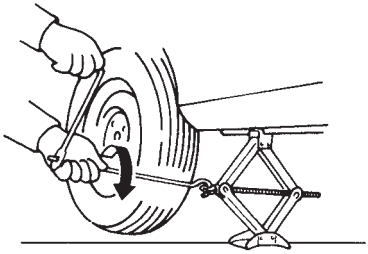
アドバイス

●ジャッキアップポイント以外の所にはジャッキをかけないでください。車体が変形するおそれがあります。



ZCE0552

④ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。



TCA0174Z

⚠注意

●ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

パンクしたときは

パンクしたときの応急処置として、パンクしたタイヤを応急修理してください。

タイヤ応急修理のしかた

タイヤトレッド部（接地面）に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクは、タイヤパンク応急修理キットで応急修理できます。
しかし本キットは応急修理を目的としているため、修理後はすみやかにスズキサービス工場又は専門の修理業者で点検、恒久修理を行ってください。

タイヤパンク応急修理キットの格納場所…P.288

次の場合、応急修理はできませんので、スズキ販売店またはスズキ代理店又はJAFなどに連絡してください。

- 修理剤の有効期限が切れている場合
- 約6mm以上の切り傷や刺し傷がある場合
- タイヤサイド部が損傷を受けた場合
- ほとんど空気の抜けた状態で走行した場合
- タイヤがリムの外側、又は内側へ完全に外れている場合
- リムが破損している場合
- タイヤが2本以上パンクしている場合

⚠注意

修理キットについて

- **応急修理キットは、必ずスズキ純正品を使用してください。**
- **応急修理キットは、搭載車両専用です。他の車には使用しないでください。**
- **応急修理キットは自動車用タイヤの空気充填や空気圧チェック以外で使用しないでください。**
- **応急修理キットはDC12V専用です。他の電源での使用はできません。**
- **水やほこりを避けて使用してください。**
- **分解、改造などは絶対にしないでください。**
- **コンプレッサーに衝撃を与えないでください。故障の原因となります。**
- **お子さまが誤って手を触れないように注意してください。**

修理剤について

- **飲むと健康に害があります。万一誤って飲んだ場合は、できるだけたくさんの水を飲み、ただちに医師の診療を受けてください。**
- **万一目や皮膚に付着した場合には、水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診療を受けてください。**

■応急修理のしかた

※車種により、エアコンプレッサーの形状が異なります。

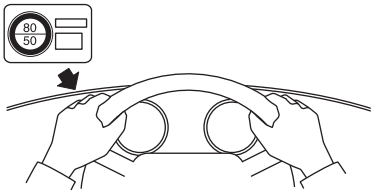
アドバイス

- タイヤに釘やネジが刺さっている場合は、抜かずにそのまま修理してください。

タイヤパンク応急修理キットは、セカンドシートのシートアンダーボックスから取り出します。

格納場所…P.288

①コンプレッサーの速度制限シールをはがし、運転者のよく見えるところに貼ります。

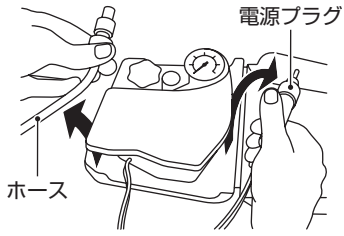


ZCE0342

⚠注意

- **ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。**
  また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。

②コンプレッサーからホースと電源プラグを取り出します。



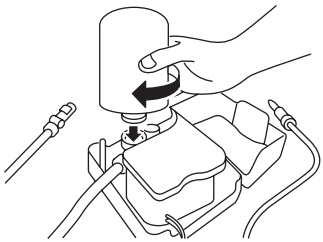
ZCE0343

③コンプレッサーから、ボトルホルダーのキャップを外します。



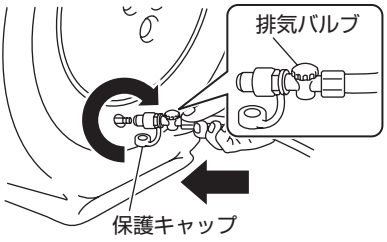
ZCE0344

④修理剤ボトルのキャップを外し、内ぶたをつけたままボトルホルダーに取り付けます。
（ボトルホルダーにねじ込むと内ぶたが破れます。）



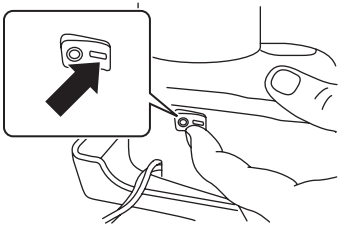
ZCE0345

⑤パンクしたタイヤのバルブからキャップを外します。
⑥ホース先端の保護キャップを外し、ホース（排気バルブが閉まっていることを確認してください）をパンクしたタイヤのバルブに確実にねじ込みます。



ZCE0346

⑦コンプレッサーのスイッチがOFF（「○」の位置）にあることを確認し、電源プラグを車内のアクセサリーソケットに差し込みます。
⑧電源ポジションをAccにしてコンプレッサーのスイッチをON（「－」の位置）にし、タイヤを指定空気圧又は180kPa以上まで昇圧させます。
この際、実際の空気圧が測れるようにコンプレッサーを一時停止して圧力計で測定してください。
空気圧が高すぎる場合は、排気バルブを反時計回りに回して、空気を抜いてください。



ZCE0347

⚠注意

- **ホースとタイヤの接続が不十分な場合、空気が漏れたり、修理剤が飛び散るおそれがあります。**
- **破裂の危険があるので応急修理キット作動中は補修中のタイヤから離れてください。タイヤに亀裂や変形が発生している場合、ただちにコンプレッサーのスイッチを切り、修理を中止してください。**
- **バルブを介して修理剤を注入するため、圧力が600kPaに達することがありますが、異常ではありません。通常は、30秒ほどで下がります。**

※タイヤの空気圧は運転席ドア開口部に表示、及び巻末のサービスデータに記載してあります。

アドバイス

- コンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10分以上連続して作動させないでください。タイヤ空気圧を昇圧できない場合は修理できません。

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。
この場合は、本修理キットで応急修理することができません。スズキ販売店またはスズキ代理店又はJAFなどに連絡してください。

JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

⑨指定空気圧又は180kPa以上まで昇圧できたら、コンプレッサーのスイッチを切り、電源プラグをアクセサリーソケットから抜きます。ホースをバルブからすばやく取り外し、ホースに保護キャップを取り付け、バルブにキャップを取り付けます。

アドバイス

- ボトル内に残った液剤がこぼれないように、ボトルはボトルホルダーにつけたままにしておいてください。

⑩修理剤をタイヤ内に広げるため、10分間又は3km程度走行してください。80km/h以下の速度で注意深く運転してください。

注意

- **空気を入れたあとは、ホースの口金が熱くなることがあります。やけどしないように注意してください。**
- **走行するときは、低速で慎重に運転してください。特にカーブや旋回時には注意してしてください。**

⑪走行後、再度コンプレッサーのスイッチが OFF（「○」の位置）にあることを確認し、コンプレッサーのホースをタイヤのバルブに取り付け、コンプレッサーに付属している空気圧計でタイヤ空気圧をチェックしてください。
指定空気圧より低下していたら、再度指定空気圧まで昇圧してください。

注意

- **空気圧が130kPa以下に低下したり、⑦～⑩の作業を繰り返しても空気圧が低下したりする場合は、本修理キットによる応急修理はできません。**
  運転を中止してスズキ販売会社またはスズキ代理店又はJAFなどのロードサービスに連絡してください。

JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

⑫空気圧が低下していなければ、応急修理は完了です。すみやかにスズキ販売店またはスズキ代理店又は専門の修理業者まで慎重に運転してください。

アドバイス

- 応急修理後の恒久修理の際、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻繁に空気圧の低下がみられるときは、スズキサービス工場又は修理業者で点検を受けてください。
- 修理剤を使用したタイヤは、新しいタイヤに交換されることをおすすめします。
  修理・再使用される場合は、専門の修理業者と相談してください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できますが、バルブは新しいものと取り替えてください。
- 修理剤とホースは再使用できません。使用後は新しい修理剤とホースをお求めください。
  詳しくはスズキ販売会社またはスズキ代理店にご相談ください。

オーバーヒートしたときは

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 高水温警告灯（P.132）が点灯したとき。
- エンジンルームのすき間から蒸気が出ているとき。

⚠警告

- **エンジンルーム内は高温になっているため、エンジンフードを開けるときは十分に注意してください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。**
- **エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターやリザーバータンクのキャップを外さないでください。蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。**

■処置のしかた

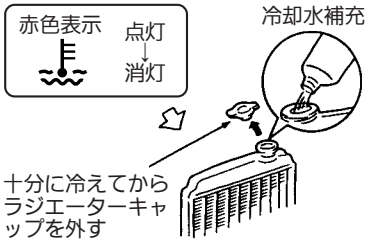
①ただちに安全な場所に停車します。

②エンジンをかけたままエンジンフードを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。
万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにエンジンを止め、自然冷却してください。

⚠警告

- **蒸気が出ているときは、エンジンフードを開けないでください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。**
  エンジンを止め蒸気が出なくなるまで待ち、エンジンフードを開けてください。

③高水温警告灯が消灯したら、エンジンを止めしばらく待ちます。
エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。



TSC0005Z

④冷却水が不足しているときは、ラジエーターとリザーバータンクに冷却水を補充してください。

・補充後は、しっかりキャップを閉めてください。

ラジエーター、リザーバータンク位置…P.313
サービスデータ（冷却水）…P.311

アドバイス

- 応急的に水だけを補充したときは、できるだけ早くエンジンクーラントを交換してください。

⑤走行中、再度高水温警告灯が点灯したときは、①～④の作業を繰り返し行ってください。

⑥早めにスズキサービス工場で点検を受けてください。

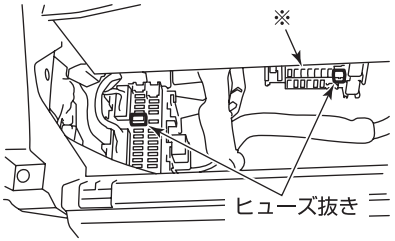
ヒューズを点検・交換するときは

ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。
故障の状況から、関係するヒューズの位置を確認してください。

■ヒューズボックスの位置

ヒューズボックスはグローブボックスの奥とエンジンルームにあります。

グローブボックス奥

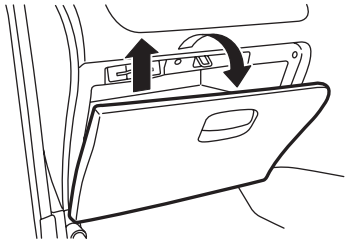


ZCE0533

※：アイドリングストップ付車のみ

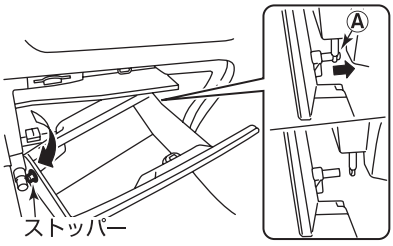
取り外しかた

①グローブボックスを開けた状態で上方向に引き、下側のロック部を外します。



ZCE0534

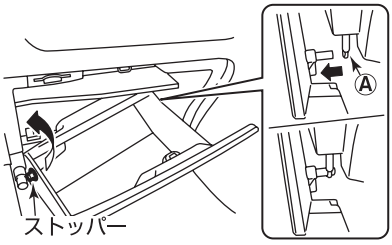
②グローブボックス左側のストッパーを抜き、ダンパーⒶ部を外してからグローブボックス右側のストッパー抜いて外します。



ZCE0535

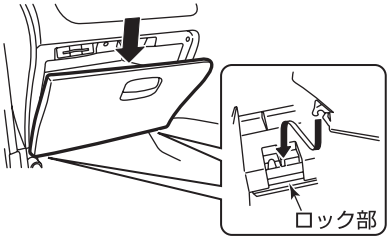
取り付けかた

①グローブボックス右側のストッパーを入れ、ダンパーⒶ部を取り付けてからグローブボックス左側のストッパー入れます。



ZCE0536

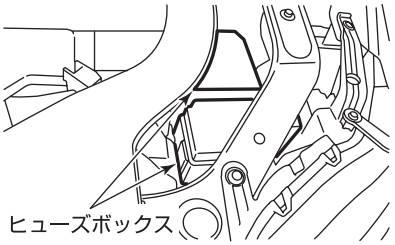
②グローブボックスの底面とロック部を合わせて“カチッ”と音がするまで押し込みます。



ZCE0537

③グローブボックスを閉めます。

エンジンルーム



ZCE0538

■ヒューズの位置

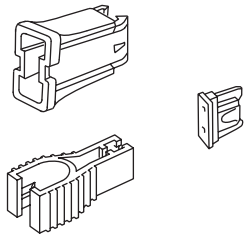
- グローブボックス及びヒューズボックスカバーの裏側に表示してあります。
- 車種により、付いていないヒューズがあります。

■ヒューズの交換のしかた

①電源ポジションをOFF又はLOCKにします。

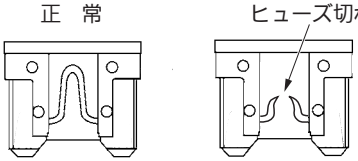
②グローブボックス奥はグローブボックスを外します。エンジンルームはヒューズボックスのふたを開けます。

③ヒューズ抜きをヒューズに差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか確認します。



ZCE0567

④ヒューズが切れているときは、同じ容量のヒューズと交換します。



TCE0058Z

⚠警告

●規定容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使わないでください。配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

アドバイス

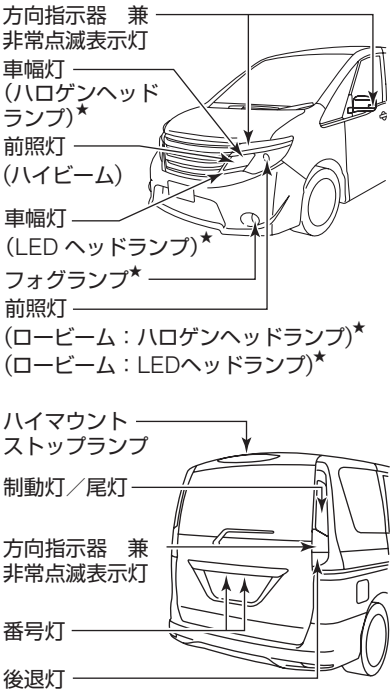
- 交換してもヒューズが切れるときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。
- ヒューズ抜きは、ヒューズに対して垂直に差し込み、引き抜いてください。
- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- エンジンルーム内のヒューズを交換するときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

電球（バルブ）を交換するときは

外装ランプが点灯しないときは、バルブ切れが考えられます。バルブを点検し、切れているときは交換してください。

●バルブの交換作業が不慣れな方や部品の破損などが心配な方は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

■外装ランプの位置



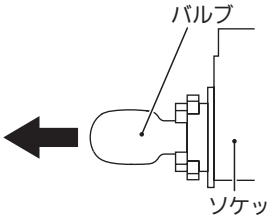
ZCE0661

●以下のバルブが点灯しないときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。
- 前照灯（ロービーム：LEDヘッドランプ）
- 車幅灯（LEDヘッドランプ付車）
- ハイマウントストップランプ
- 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（側面：ドアミラー内蔵タイプ）
- 制動灯／尾灯

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

■バルブの外しかた

各バルブをソケットから外すときは、バルブを持ち、引き抜きます。



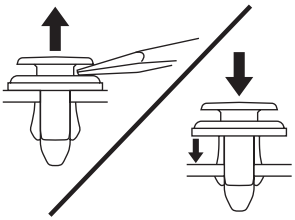
ESH0655Z

■クリップの脱着のしかた

バルブの交換作業をするときは、クリップを外し、内装などを脱着します。

以下の方法で、各クリップを脱着してください。

- 切り欠きにお手持ちの工具（マイナスドライバーなど）を差し込み、ロックを解除してから引き抜きます。
- 取り付けるときは、ロックが解除された状態で取り付け、指でロックを押し込みます。



ESG0745Z

■バルブ交換のしかた

- 交換をする前にバッテリーの㊀端子を外してください。
- 指定された容量のバルブ（P.312）に交換してください。
- 交換したあとは、点灯することを確認してください。
  点灯しない場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。

⚠注意

- バルブの交換は、エンジンルームやバルブが冷えた状態で行ってください。やけどをするおそれがあります。
- バルブ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。
- ステーなどの端で指や腕をケガしないように十分注意してください。

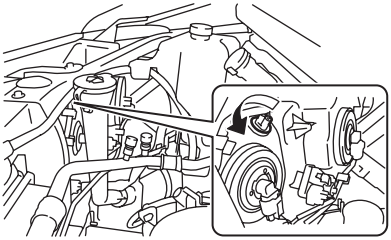
アドバイス

- 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。
- バルブに油が付着したときは柔らかい布などでふき取ってください。また、素手でガラス部分に触れないでください。バルブの寿命が短くなったりバルブが破損するおそれがあります。

車幅灯

LEDヘッドランプ付車はLEDのため、スズキサービス工場で点検を受けてください。

①ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。

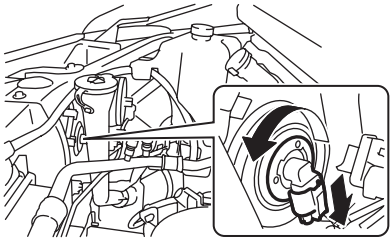


ZCE0653

②取り外したときと逆の手順で取り付けます。

前照灯（ハイビーム：ハロゲンヘッドランプ）

①コネクターを外してからソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。

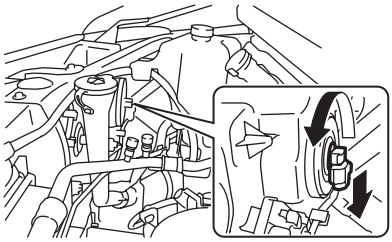


ZCE0654

②取り外したときと逆の手順で取り付けます。

前照灯（ロービーム：ハロゲンヘッドランプ）

①コネクターを外してからソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。

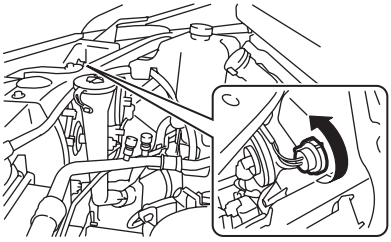


ZCE0655

②取り外したときと逆の手順で取り付けます。

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）

①ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。



ZCE0656

②取り外したときと逆の手順で取り付けます。

フォグランプ★

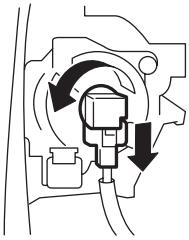
①作業スペースを確保するために、作業する側と反対方向にハンドルを切ります。

②フェンダープロテクターをめくります。



ZCE0545

③コネクターを外してからソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。



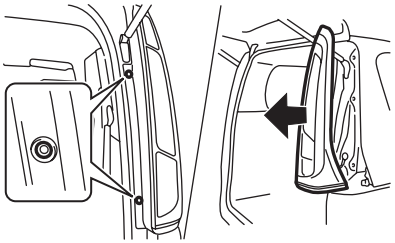
ZCE0651

④取り外したときと逆の手順で取り付けます。

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）、後退灯

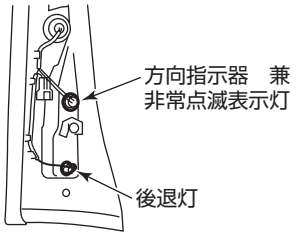
①バックドアを開けます。

②お手持ちの工具でボルトを外してリヤコンビランプを車両後方に引いて外します。



ZCE0547

③交換したいバルブのソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。



ZCE0652

④取り外したときと逆の手順で取り付けます。

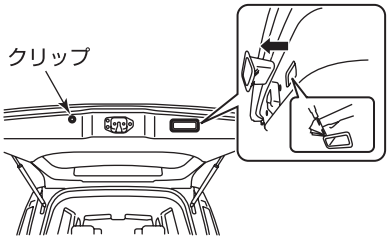
★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

番号灯

①バックドアを開けます。

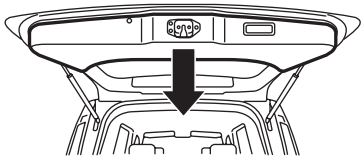
②バックドアフィニッシャーインナーを外します。

1）クリップとバックドアグリップを外します。



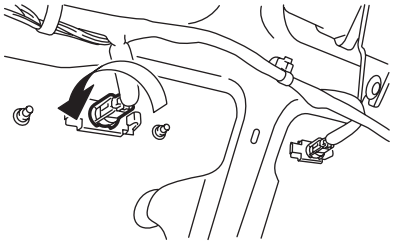
ZCE0549

2）バックドアフィニッシャーインナーを下方向に引きながら外します。



ZCE0550

③ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。



ZCE0551

④取り外したときと逆の手順で取り付けます。

事故がおきたときは

あわてずに次の処置をしてください。

1 続発事故の防止
他の交通の妨げにならないような安全な場所に車を移動させ、エンジンを止めます。

2 負傷者の救護
負傷者がいる場合は、医師・救急車が到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

3 警察への届け出
事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを連絡します。

4 相手方の確認とメモ
相手方の氏名、住所、電話番号などを確認してメモします。
同時に事故状況もメモしておいてください。

5 販売会社と保険会社への連絡
ご購入された販売会社と加入の保険会社へ連絡をします。

サービスデータ

■点検・整備について

メンテナンスノートに、点検・整備及び保証の内容について記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

- 点検・整備の実施、記録、保存は法律で義務づけられています。
- 点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。

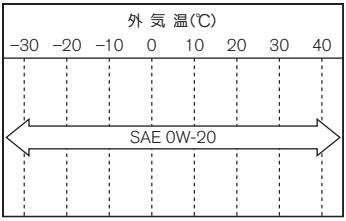
■点検値

項目		点検値
オルタネーター・ウオーターポンプ・エアコンコンプレッサーベルト		調整不要※
ブレーキペダル	遊び	3～11mm
	床板とのすき間 約490N（約50kg）で踏んだとき	90mm以上
パーキングブレーキ	踏みしろ 約196N（約20kg）で操作したとき	5～6ノッチ

※ベルトオートテンショナー（自動張力調整機構）を採用しており、ベルト張力調整は不要です。詳しくは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

■交換油脂類

油脂類の交換は、下記の指定油脂（規格品）を規定量でご使用ください。
また、交換時期についてはメンテナンスノートをお読みください。
なお、詳しくはスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

項　目	適　用	規定量（ℓ）※1		指定油脂
		オイルのみ交換	オイルとオイルフィルター交換	
エンジンオイル	MR20DD	3.6	3.8	スズキエクスターF SM/GF−4 0W−20  ESG0949Z ※2

※1：規定量はドレーンプラグからオイルを抜いた場合の量で、エンジンの内部に残ったオイル量を差し引いた目安の量です。よって、レベルゲージにより確認を行ってください。

※2：外気温に適した粘度（SAE規格）のものをご使用ください。

〈指定エンジンオイルについて〉

API 規格又は ILSAC 規格に適合した指定油脂をお使いください。
なお、規格適合油には右記マークが表示されています。
スズキ純正銘柄のご使用をおすすめします。



APIマーク



ILSACマーク

ZTI0060

項　目	適　用	規定量（ℓ）※1	指定油脂（規格）
CVTフルード	2WD	7.3	スズキCVTフルード グリーン2 ※2
	4WD	8.3	
リヤデファレンシャルオイル	4WD	0.8	スズキ四輪スーパーギヤオイル 80W−90（GL−5）
トランスファーオイル	4WD	0.36	
ブレーキフルード	全　車	−	スズキ純正ブレーキフルード（DOT−3）
冷却水	※3	6.3　※5	ランディ用スーパーロングライフクーラント（青色）
	※4	8.1　※5	
ウオッシャー液	全　車	3.5	スズキ純正ウインドーウオッシャー液 ●外気温に応じて濃度を調節してください。

※1：規定量は目安ですので、レベルゲージにより確認を行ってください。
なおレベルゲージで確認できないものについては、スズキ販売店またはスズキ代理店へご相談ください。

※2：CVTフルードは、専用のCVTフルード グリーン2を必ずご使用ください。それ以外のフルードを使用すると、CVTが破損するおそれがあります。

※3：フルオートエアコン＋リヤクーラー付車

※4：フルオートデュアルエアコン付車

※5：リザーバータンクのMAXレベル容量（0.7ℓ）を含みます。

■電球（バルブ）の容量

電球（バルブ）			容量（V−W）	バルブタイプ
前照灯（ヘッドランプ）	ハイビーム		12−60	HB3
	ロービーム	LEDヘッドランプ付車	LED	−
		LEDヘッドランプ無車	12−55	H11
前部霧灯（フォグランプ）			12−55	H11
車幅灯	LEDヘッドランプ付車		LED	−
	LEDヘッドランプ無車		12−5	W5W
番号灯			12−5	W5W
尾灯／制動灯			LED	−
ハイマウントストップランプ			LED	−
後退灯			12−16	W16W
方向指示器 兼 非常点滅表示灯		前面	12−21（アンバー）	WY21W
		側面	LED	−
		後面	12−21（アンバー）	WY21W

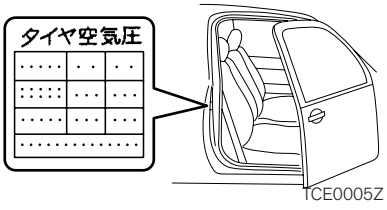
■タイヤ・ロードホイールサイズ

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D.	インセット
195/65R15	15×5½J 15×5½JJ	114.3mm （5穴）	45mm

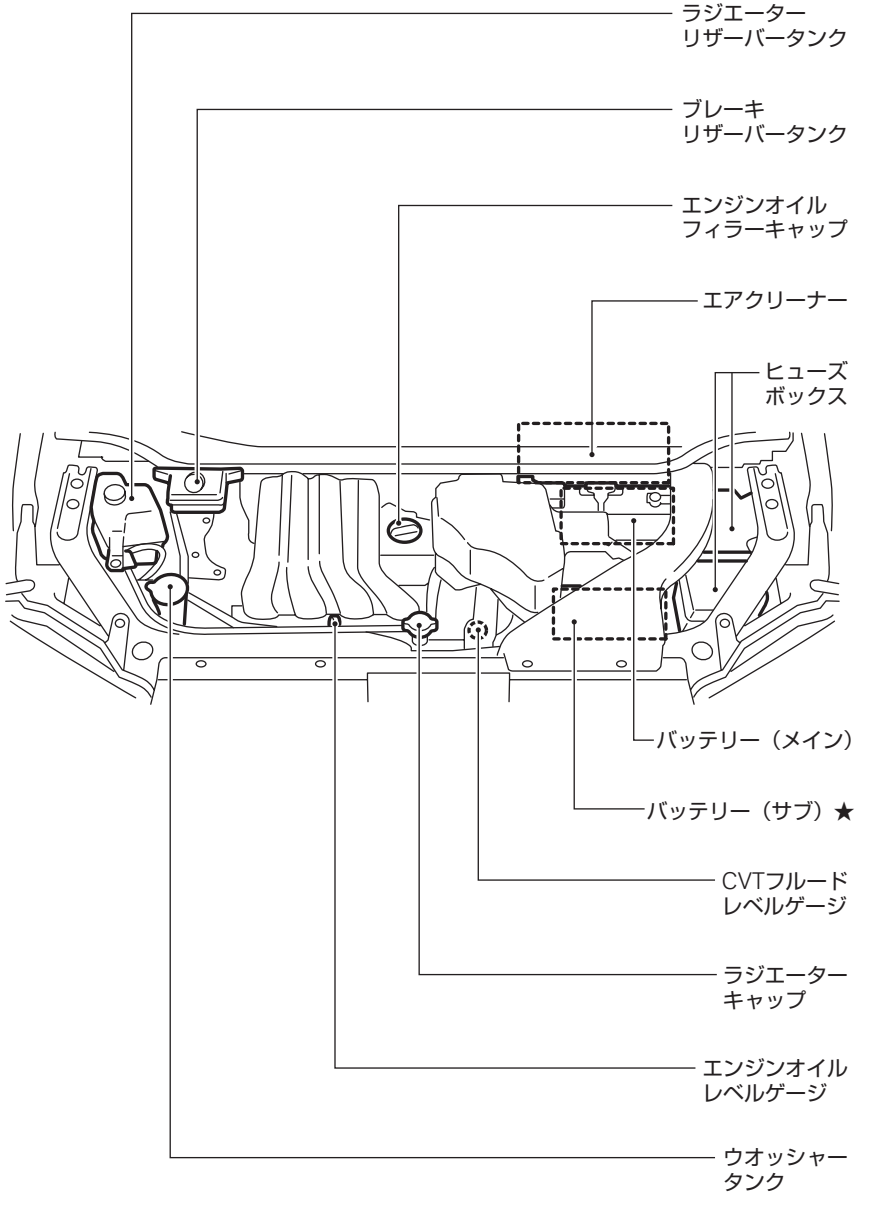
■タイヤ空気圧　　kPa（kgf/cm²）

タイヤサイズ		空気圧	
		前輪	後輪
195/65R15	アイドリングストップ無車	250 （2.5）	250 （2.5）
	アイドリングストップ付車	280 （2.8）	280 （2.8）

タイヤの空気圧は運転席ドアの開口部に表示してありますので、確認してください。



■エンジンルーム内配置図



ZTI0058

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

■五十音さくいん

※太字は、万一のときや困ったときについての項目です。

ア

アイドリングストップ ……166
アイドリングストップ警告ブザー ……141
アイドリングストップ時間節約燃料（積算値）表示 ……107
アイドリングストップ時間節約燃料（1トリップ）表示 ……108
アイドリングストップタイマー ……104
アイドリングストップ表示灯 ……126
アイドリングストップメッセージ ……116
アームレスト
　フロントシート ……65
　セカンドシート ……67
ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具について ……92
アウターミラー（ドアミラー） ……76
アクセサリーソケット ……243
アクティブヘッドレスト ……65
アダプティブシフトコントロール ……157
アラーム（キーレスプッシュスタートシステム） ……136
アラーム（警報装置） ……140
アラーム表示 ……110
アルミロードホイールのお手入れ ……259
アンチロックブレーキシステム→エ：ABS
アンテナ ……219

イ

イージークリーンシート ……261
イベントデータレコーダ ……25
イモビライザー（盗難防止装置） ……37
　表示灯（セキュリティーインジケーター） ……123
イルミネーションコントロール ……105
インテリジェントエアコンシステムについて ……207
インナーミラー（ルームミラー）
　ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー ……78
　防眩式ルームミラー ……77

ウ

ウインカー →ホ：方向指示器
ウインドーガラス（パワーウインドー） ……57
ウォークイン機構 ……68
ウォーニング（警告灯） ……127
ウオッシャー
　ウオッシャー液（規定量） ……311
　ウオッシャー液の補給 ……261
　寒冷時の取り扱い ……252
　スイッチ ……148
動かないときは ……282
動けなくなったときは ……286
運転席アッパーボックス ……242
運転席アンダーポケット ……242
運転のしかた ……150

エ

エアコン
　エアコンについて ……202
　インテリジェントエアコンシステムについて ……207
　フルオートエアコン（前席用） ……209
　フルオートエアコン（後席用） ……214
エアバッグ
　SRSエアバッグ ……94
　SRSエアバッグ警告灯 ……132
ABS
　ABS ……199
　ABS警告灯 ……130
エアフィルター ……203
エコドライブナビゲーター ……103
ECOメーター ……103
ECOメーター表示 ……111
ECOモード
　ECOモードインジケーター ……126
　ECOモードスイッチ ……166
S-HYBRID ……171
エマージェンシーブレーキ
　エマージェンシーブレーキ ……180
　警告灯 ……135
　警告表示 ……118

スイッチ ……182
LLC（冷却水）
寒冷時の取り扱い ……252
タンク容量 ……311
濃度 ……252
LDW（車線逸脱警報）
LDW（車線逸脱警報）……172
警告灯 ……134
スイッチ ……174
エンジンオイル
寒冷時の取り扱い ……252
規定量 ……310
エンジンが始動しないときは ……269
エンジン始動操作表示 ……119
エンジンスイッチ ……150
エンジンの始動・停止のしかた ……151
エンジンフード ……55
エンジンルームから蒸気が出ているとき ……298
エンジンルーム内配置図 ……313
エンストして始動ができなくなったとき ……287

オ

オイル ……310
オーディオについて ……219
オートマチック車の運転のしかた ……158
オートライトシステム ……143
オートレベリング（ヘッドランプ）……142
オーバーヒートしたときは ……298
オドメーター ……103

カ

外気温 ……107
外装のお手入れ ……257
各種警告機能について ……274
ガソリン（使用燃料、燃料補給口、タンク容量）……60
カップホルダー ……239
カメラシステム ……220
ガラスのお手入れ（バックドアガラス、リヤサイドウインドー）……261
寒冷時の取り扱い ……252
寒冷地用ワイパーブレードの装着 ……253

キ

キー ……28
KEY警告灯 ……133
キーレスプッシュスタートシステム ……29
キー連動室内照明システム ……238
キックダウン ……20

ク

空気圧（タイヤ）……312
くもりが取れないときは ……280
くもり取り
デフロスター ……211
リヤウインドーデフォッガースイッチ ……149
クラクション（ホーンスイッチ）……149
クリアランスランプ→シ：車幅灯
クリープ現象 ……20
クルーズコントロール
クルーズコントロールスイッチ ……176
クルーズ表示灯 ……177
セット表示灯 ……177
セット警告灯 ……177
車のお手入れ ……257
グローブボックス ……241

ケ

警告（車両情報ディスプレイ）……114
警告灯 ……127
携帯リモコン ……29
携帯リモコン持ち出し警告 ……121
携帯リモコン非作動時エンジン始動表示 ……120
携帯リモコン電池切れ表示 ……120
キー ……28
KEY警告灯 ……133
電池の交換 ……32
ドアの施錠・解錠 ……33
表示・警告 ……119
キー機能 ……37
キーレスエントリー機能 ……35

キーレスプッシュスタートシステム［警報が鳴ったとき］……136
携帯リモコンが正常に作動しないとき……153
警報ブザー音別一覧表（キーレスプッシュスタートシステム）……139
警報装置……140
けん引について……283

コ

高水温警告灯……132
工具（格納場所）……288
後席シート
セカンドシート……66
サードシート……72
後席用エアコン……214
航続可能距離表示……107
後退灯
電球（バルブ）の交換……301
電球（バルブ）の容量……312
故障警告灯（MIL）……128
故障したときは……286

サ

サードシート……72
サービスデータ……309
サイドミラー（ドアミラー）……76
サンバイザー……236

シ

シート
お手入れ……260
フロントシート……63
セカンドシート……66
サードシート……72
シートベルト
シートベルト警告灯……131
シートベルトの着用のしかた……79
シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）……141
事故がおきたときは……307
室内照明……236
シフトロック解除ボタン……157
シフトロックシステム……21
車載工具……288
車線逸脱警報（LDW）……172
ジャッキアップのしかた……289
車幅灯
電球（バルブ）の交換……301
電球（バルブ）の容量……312
車両情報ディスプレイ……105
助手席アッパーボックス……241
充電警告灯……128
瞬間燃費計（平均燃費表示機能付）…104

ス

水温計がオーバーヒートの範囲を示したとき……298
スイッチの使いかた……142
スタータースイッチ→エンジンスイッチ
ステアリング（ハンドル）……62
ステアリングロック未解除表示……119
スピードメーター……102
スポーツモードスイッチ……156
スモールランプ→シ：車幅灯
スライド（シート前後位置調節）
フロントシート……63
セカンドシート……66
スライドドアクローザー……44

セ

制動灯
電球（バルブ）の容量……312
セカンドシート……66
セキュリティーインジケーター……125
セレクトレバー
アダプティブシフトコントロール…157
セレクトレバーの使いかた……155
セレクトレバーをPから動かせないとき……157
洗車のしかた……257
前照灯→ヘッドランプ
前席シート……63
前席ドア……39
前席フォースリミッター付プリテンショナーシートベルト……87

ソ

走行するとブザーが鳴る
シートベルト非着用警報 ……141
パーキングブレーキ戻し忘れ警報 ‥140
走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がする（ブレーキパッド摩耗警報） ‥140
走行中にブレーキを踏んだとき、ペダルが振動する（ABS）……199
速度計（スピードメーター）……102

タ

ターンシグナル→ホ：方向指示器
タイヤ
アルミロードホイールのお手入れ ‥259
空気圧 ……312
空気圧の点検 ……264
タイヤチェーンについて ……256
タイヤの位置交換（ローテーション）……263
タイヤ・ロードホイールサイズ ‥312
タイヤ・ロードホイールを交換するとき ……265
タイヤ応急修理のしかた（パンクしたとき）……293
タイヤパンク応急修理キット ……288
タコメーター ……102
ダブルプリテンショナー機構 …… 87

チ

チャージランプ（充電警告灯）……128
チャイルドシート
チャイルドシートについて …… 88
チャイルドシート適合表 …… 90
ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具について …… 92
チャイルドプルーフ …… 44
チルト・テレスコピックステアリング …… 62

テ

低水温表示灯 ……125
ディスプレイ（車両情報ディスプレイ）……105
ティッシュボックス収納 ……243
テールランプ→ヒ：尾灯
テールランプ表示灯 ……124
デフロスター ……211
電球（バルブ）の容量 ……312
電球（バルブ）を交換するときは ‥‥301
電源ポジションOFF忘れ警告 ……122
電源ポジションの切り替えかた ……150
点検・整備について ……309
電池の交換 …… 32
電動格納式ドアミラー …… 76
電動パワーステアリング警告灯 ……130

ト

ドア、バックドア開き警告 ……114
ドア …… 38
前席ドア …… 39
スライドドア …… 41
バックドア …… 49
ドアが開かないときは ……268
ドアミラー …… 76
ドアロックスイッチ …… 41
ドアを室内から開けられないとき（チャイルドプルーフ） …… 44
盗難防止装置 …… 37
ドライブコンピューター表示 ……106
トリップメーター ……103

ナ

内装のお手入れ ……260
ナンバー灯→ハ：番号灯

ネ

燃費情報表示 ……107
燃料
燃料 …… 60
燃料計 ……102
燃料残量警告 ……115
燃料タンク容量 …… 60
燃料補給口 …… 59

ハ

パーキング（駐車）ブレーキ ……154

パーキングブレーキ戻し忘れ警告 ····115
パーキングブレーキ戻し忘れ警報 ····140
パーソナルテーブル ····245
パーソナルランプ ····237
ハイマウントストップランプ
電球（バルブ）の容量 ····312
ハザード→ヒ：非常点滅表示灯
挟み込み防止機構
パワーウインドー ····57
パワースライドドア
（オートスライドドア） ····45
発炎筒の使いかた ····286
バックドア ····49
バックドアクローザー ····53
バックドアが開けられなくなったとき ····52
バックミラー（ルームミラー） ····77
バックランプ→コ：後退灯
バッテリーがあがったときは ····270
バッテリーセーバー
室内照明 ····236
ヘッドランプ ····142
パッド摩耗警報 ····140
バニティーミラー ····236
バルブを交換するときは ····301
パワーウインドー ····57
パワーウインドー
［正常に作動しないとき］ ····59
パワースライドドア
（オートスライドドア） ····45
パワードアメインスイッチ ····46
パンクしたときは ····293
番号灯
電球（バルブ）の交換 ····301
電球（バルブ）の容量 ····312
ハンドル（ステアリング） ····62

ヒ

ヒーター付ドアミラー ····77
非常点滅表示灯
スイッチ ····145
電球（バルブ）の交換 ····301
電球（バルブ）の容量 ····312
ビタミンフィルター ····208
尾灯（テールランプ）
電球（バルブ）の交換 ····301
電球（バルブ）の容量 ····312
ヒューズを点検・交換するときは ····299
表示灯 ····123
ヒルホールドコントロール ····165

フ

VDC
VDC ····163
VDC OFF表示灯 ····125
VDC警告灯 ····133
ブースターケーブルのつなぎかた ····270
フード（エンジンフード） ····55
ブザー
キーレスプッシュスタートシステム
関連 ····136
シートベルト非着用警報 ····141
パーキングブレーキ戻し忘れ警報 ··140
フューエルフィラーリッド
（燃料補給口） ····59
フューエルメーター（燃料計） ····102
フォグランプ
スイッチ ····144
電球（バルブ）の交換 ····301
電球（バルブ）の容量 ····312
表示灯 ····124
フォースリミッター付プリテンショナー
シートベルト ····87
踏み間違い衝突防止アシスト
踏み間違い衝突防止アシスト ····186
警告灯 ····135
警告表示 ····118
スイッチ ····188
プラズマクラスターイオン®フルオート
エアコン ····207
ふらつき警報 ····184
ふらつき警報表示 ····117
フルオートエアコン ····209
フルオートデュアルエアコン
（前席用） ····209

フルオートデュアルエアコン
（後席用）……214
ブレーキ警告灯 ……129
ブレーキパッド摩耗警報 ……140
ブレーキペダルを踏むと音がする …… 24
ブレーキランプ→セ：制動灯
フロアマット ……247
フロントシート …… 63

ヘ

平均燃費表示、平均車速表示 ……107
ヘッドランプ
　オートライトシステム ……143
　オートレベリング ……142
　電球（バルブ）の交換 ……301
　電球（バルブ）の容量 ……312
　ヘッドランプ上向き表示灯 ……124
　ライト消し忘れ警告ブザー ……140
　ライトスイッチ ……142
ヘッドレスト
　フロントシート …… 64
　セカンドシート …… 67
　サードシート …… 74

ホ

ホイールサイズ ……312
ホイールナットレンチ ……288
防眩式ルームミラー …… 77
方向指示器
　スイッチ ……145
　電球（バルブ）の交換 ……301
　電球（バルブ）の容量 ……312
　方向指示表示灯 …… 123
防犯装置
　イモビライザー（盗難防止装置）…… 37
　セキュリティーインジケーター ……125
ホーンスイッチ ……149
ポジションインジケーター ……124
ポジションランプ→シ：車幅灯
ボトルホルダー ……239
ボンネット（エンジンフード）…… 55

マ

マスターウォーニング ……134
マップランプ ……237

ミ

ミラー
　ドアミラー …… 76
　バニティーミラー ……236
　ディスプレイ付自動防眩式
　ルームミラー …… 78
　防眩式ルームミラー …… 77

メ

メーター ……102
メンテナンスデータ
（サービスデータ）……309

ユ

油圧警告灯 ……128
雪道を走行するとき ……254

ヨ

4WD（4輪駆動）車の扱いかた ……162

ラ

ライトスイッチ ……142
ライト消し忘れ警告ブザー ……140
ライト類が点灯しないとき（バルブの交換） ……301
ラゲッジアンダーボックス ……245
ラゲッジフック ……246
ランプ（室内照明）
　マップランプ ……237
　パーソナルランプ ……237
　ルームランプ
　（サード&ラゲッジ用）……238
ランプのレンズ内面がくもる …… 24

リ

リクエストスイッチ
　ドア …… 39
　バックドア …… 50

リクライニング（背もたれの角度調節）
フロントシート ……63
セカンドシート ……66
サードシート ……73
リバースブザー ……140
リフター（シートの上下調節） ……63
リヤウインドーデフォッガースイッチ（バックドアガラスのくもり取り） …149
リヤコンビランプ→ヒ：尾灯
リヤシート
セカンドシート ……66
サードシート ……72
リヤワイパー ……148

ル

ルームミラー
ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー ……78
防眩式ルームミラー ……77
ルームランプ（室内照明） ……236

レ

冷却水
寒冷時の取り扱い ……252
冷却水（規定量） ……311
レバー（セレクトレバー） ……155

ロ

ロードホイールサイズ ……312
ロードホイールを交換するとき ……265
ロールサンシェード ……244
路上で故障したときは ……286

ワ

ワイパー
寒冷時の取り扱い ……253
スイッチ ……147
ワイパーの交換 ……262
ワックスをかけるとき ……258

■アルファベットさくいん

A

ABS（アンチロックブレーキシステム） ……199
ABS警告灯 ……130
A/C（エアコン） ……202

C

CRUISE（クルーズ表示灯） ……177
CVT（セレクトレバー） ……155

E

ECOメーター ……103
ECOメーター表示 ……111
ECOモード ……166
ECOモードインジケーター ……126
ECOモード連動 ……112
EPS（電動パワーステアリング）警告灯 ……130
ELR（緊急固定）付3点式シートベルト ……84

I

INT（ワイパー） ……147
ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具について ……92

K

KEY警告灯 ……133

L

LDW（車線逸脱警報）
LDW（車線逸脱警報） ……172
警告灯 ……134
スイッチ ……174

M

MIL（故障）警告灯 ……128
MIST（ワイパー） ……147

O

ODOメーター ……103

S
SET（セット表示灯）……177
SET（セット警告灯）……177
SRSエアバッグ……94
SRSエアバッグ警告灯……132
SPORT表示灯……125
SPORTモードスイッチ……156
S-HYBRID……171

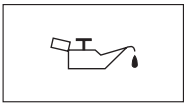
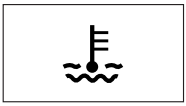
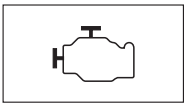
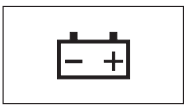
T
TRIP（トリップメーター）……103

V
VDC……163
VDC OFF表示灯……125
VDC警告灯……133

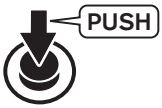
W
W数（電球の容量）……312

■警告灯・警告表示さくいん

警告灯又は警告表示が出たら、すみやかに適切な処置をしてください。
下記は警告灯及び警告表示のみ記載しています。
その他の表示については表示灯（P.123）、車両情報ディスプレイ（P.105）をお読みください。

メーター内警告灯			
	油圧警告灯 P.128		高水温警告灯 （赤色表示） P.132
	故障警告灯（MIL） P.128		SRSエアバッグ警告灯 P.132
	充電警告灯 P.128		VDC警告灯 P.133
	ブレーキ警告灯 P.129		KEY警告灯 P.133
	ABS警告灯 P.130		マスターウォーニング P.134
	EPS（電動パワーステアリング）警告灯 P.130		LDW（車線逸脱警報）警告灯 P.134
	シートベルト警告灯 P.131		エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯 P.135

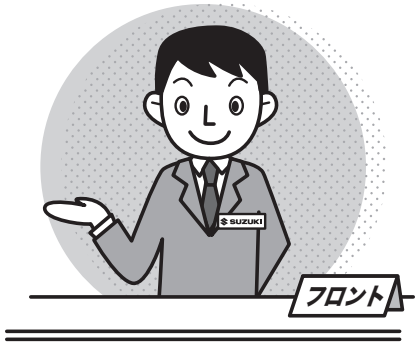
メーター内車両情報ディスプレイ	
携帯リモコン持ち出し警告 P.114 キーが 見つかりません 	ライト消し忘れ警告 P.116 ライト消灯 して下さい 
ドア、バックドア開き警告 P.114 ドア バックドア が開いて います 	アイドリングストップメッセージ P.116 アイドルストップ ブレーキを 踏み増して下さい 
パーキングブレーキ戻し忘れ警告 P.115 パーキング ブレーキを解除 して下さい	LEDヘッドランプシステム異常警告 P.117 ヘッドランプシステム異常 説明書を見て下さい
燃料残量警告 P.115 航続可能距離 000 km 	ふらつき警報システム故障警告 P.117 システム故障 
シートベルトリマインダー P.116 シートベルトを して下さい 	エマージェンシーブレーキ作動警告 P.118 

メーター内車両情報ディスプレイ	
踏み間違い衝突防止アシスト作動警告 P.118 踏み間違い 衝突防止アシスト が作動しました 	P戻し忘れ警告 P.122 
携帯リモコン持ち出し警告 P.121  キーが 見つかりません	電源ポジションOFF忘れ警告 P.122 

お問い合わせ、ご相談は

お車のことや、車検・点検などのアフターサービスについてのお問い合わせやご相談がございましたら

まずは、お買い求めいただきましたスズキ販売店またはスズキ代理店にお尋ねください。



スズキ代理店にお問い合わせやご相談をいただくときは、別冊の「**スズキ4輪車サービスネットワーク**」に記載してありますお近くの代理店にお気軽にご連絡ください。**お客様のご相談に対して的確な判断と迅速な処理をするため、あらかじめ、お手元に車検証をご準備いただき、次の事項をご確認のうえ、ご連絡願います。**

①車名、車台番号、ナンバープレートの番号など
②ご購入年月日
③走行距離
④ご相談内容
⑤お客様のご住所、お名前、お電話番号